

川口市
第9期高齢者福祉計画・介護保険事業
計画策定に係る高齢者等実態調査

結果報告書

令和5年3月

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象及び回収状況	1
3. 調査方法	1
4. 調査結果の見方	2
II 市民調査結果の概要	3
1—1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1. 回答者自身について	3
2. あなたのご家族や生活状況について	6
3. からだを動かすことについて	12
4. 毎日の生活について	22
5. 認知症に係る相談窓口の把握について	28
6. 地域の活動について	32
7. たすけあいについて	36
8. 健康について	46
9. 地域包括支援センターについて	55
10. 介護保険制度全般について	57
11. 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて	61
1—2. 生活機能評価	72
1. 生活機能評価について	72
2. 評価結果	76
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）	84
●回答者の基本属性について	84
1. 回答者及びご家族について	88
2. 日常生活や身の回りのことについて	93
3. 介護保険制度全般について	95
4. 身体と健康について	97
5. 介護サービスの利用状況について	107
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）	125
1. 回答者及びご家族について	125
2. 日常生活や社会活動について	128
3. あなたの身体や健康について	139
4. 介護保険制度全般について	162
5. 介護保険や高齢者福祉サービスの利用について	179
4. 調査対象者別の比較	188
■3種（65歳以上、在宅サービス利用者、2号被保険者）の比較	188
■65歳以上と2号被保険者（55～64歳）の比較	191
III 事業所アンケート調査	193
1. 全事業所対象設問	193
2. 居宅介護支援、小多機、看多機事業所対象設問	208
3. 施設・居住系サービス事業所対象設問	211

資料編（調査票）	219
1. 市民アンケート調査（65歳以上）	219
2. 市民アンケート調査（在宅サービス利用者）	223
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）	227
4. 介護サービス事業者	230

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第9期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、高齢者等の実態を踏まえ介護サービスの現状と需要を把握するとともに、本市における課題の整理を行い、今後目指すべきサービス基盤の方向性を検討する基礎資料を得るため、実施したものです。

2. 調査対象及び回収状況

(1)調査方法

郵送による配布・回収方式

(2)調査の対象者と配布数

調査の配布対象者と配布数は、次のとおりです。

調査種類	対 象	配布数	有効回収数 ／回収率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査(65歳以上)	65歳以上(要支援認定者でサービス利用者・要介護認定者を除く)の市民	4,000票	2,401票 60.0%
在宅介護実態調査	65歳以上、要支援・要介護認定者で、在宅介護サービス利用者	1,000票	626票 62.6%
2号被保険者調査	55歳~64歳の市民	800票	402票 50.3%
介護サービス事業者調査	市内介護サービス(介護予防サービス含む)を提供する事業者	300票	211票 70.3%

(3)基準日

令和4年12月1日(木)

(4)調査期間

令和4年12月14日(水)~12月28日(水)

3. 調査方法

・郵送配布・回収

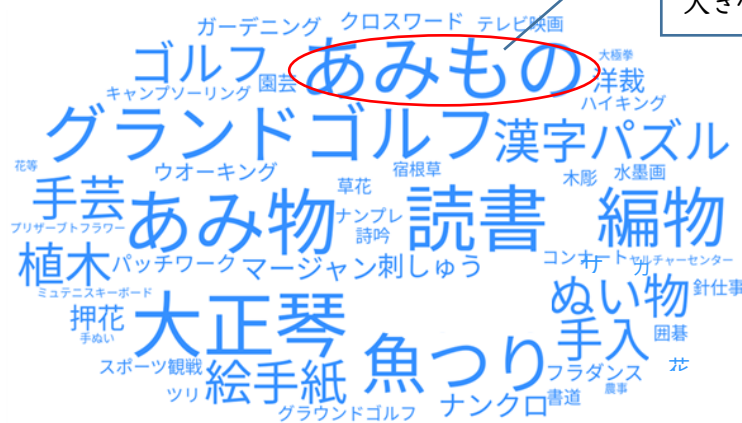
※2号被保険者調査及び介護サービス事業者調査はWEB調査を併用

4. 調査結果の見方

- ◇タイトル右には、設問に応じ、SA(単数回答)、MA(複数回答)、NA(数値回答)、FA(自由記述)を示しています。
- ◇各設問のカテゴリー(選択肢)等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値は、当該設問の回答者数を示しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反(例えば、SAの設問における複数回答など)の件数(票数)が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ◇選択肢のなかに「その他()」等の自由記述による回答が含まれるもののうち、当該選択肢の回答者の割合が多いものについては、以下のように自由記述の傾向を記載しています。

例) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【Q34 「1.趣味あり()」の自由記述】



出現頻度の高い単語程、大きな文字で表記しています。

- ◇前回調査と同一の設問のうち、結果に特徴のみられるものについては、当該設問のグラフ中に前回調査の結果を記載し、今回調査との比較を行っています。尚、前回調査の実施概要は以下のとおりとなります。

【前回調査実施概要】 調査期間:令和元年12月13日~12月27日

調査種類	対象	配布数	有効回収数 /回収率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査(65歳以上)	65歳以上(要支援認定者でサービス利用者・要介護認定者を除く)の市民	2,500票	1,706票 68.2%
在宅介護実態調査	65歳以上、要支援・要介護認定者で、在宅介護サービス利用者	2,000票	1,228票 61.4%
2号被保険者調査	55歳~64歳の市民	1,200票	718票 59.8%
介護サービス事業者調査	市内介護サービス(介護予防サービス含む)を提供する事業者	300票	230票 76.7%

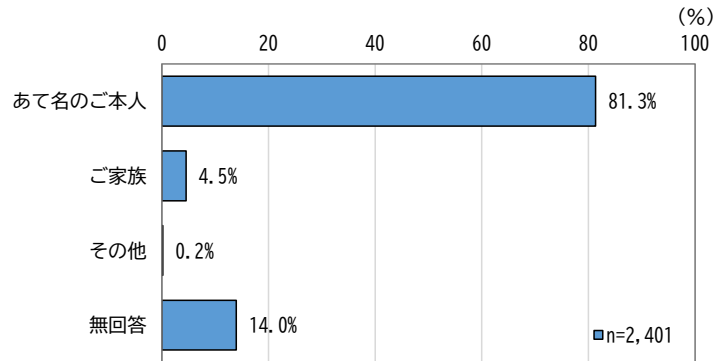
II 市民調査結果の概要

1—1. 市民アンケート調査(65歳以上の方)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

●調査票の記入者

(SA)

○調査票の記入者は、「あて名のご本人」が8割以上となっています。



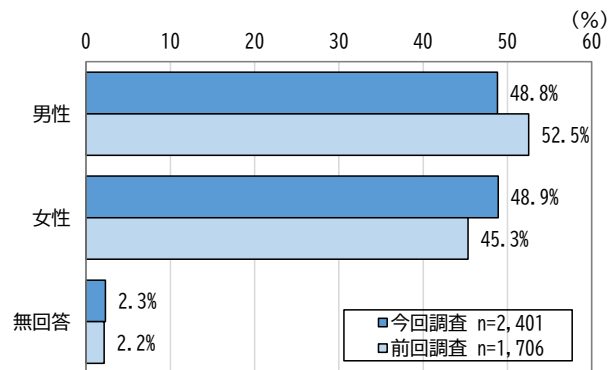
1. 回答者自身について

(1)性別[Q1]

(SA)

○性別の割合は半数ずつとなっており、大きな違いはみられません。

○前回調査に比べ、「男性」が3.7ポイント減少したのに対し、「女性」が3.6ポイント増加しています。



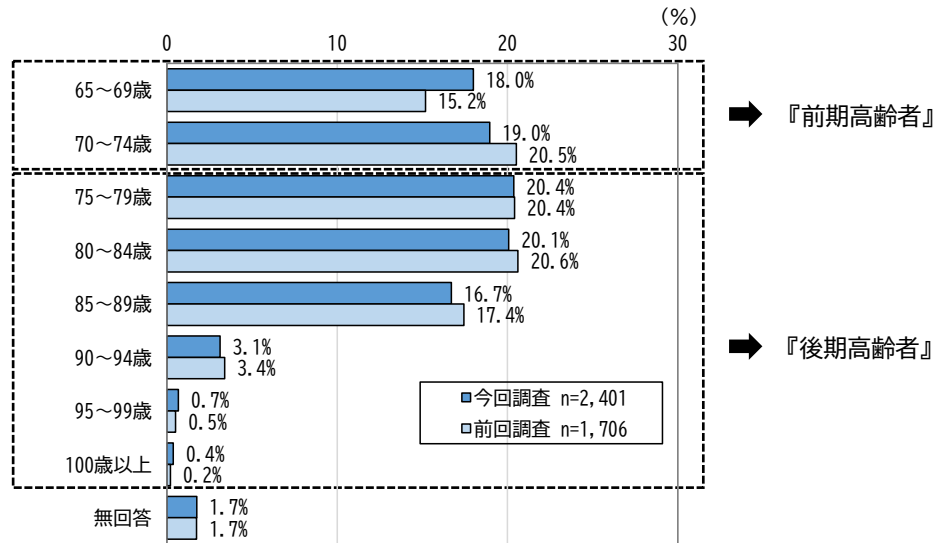
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(2)年齢[Q2]

(SA)

○年齢は、「65～69歳」と「70～74歳」を合わせた『前期高齢者』が37.0%、75歳以上の『後期高齢者』が61.4%となっています。

○前回調査と比べ、『前期高齢者』と『後期高齢者』の割合に、大きな違いはみられません。

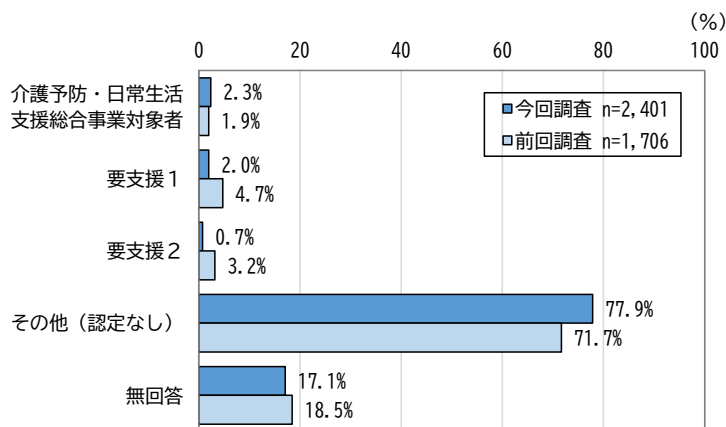


(3)要介護状態区分【Q3】

(SA)

○要介護状態区分は、「その他（認定なし）」が約8割となっています。

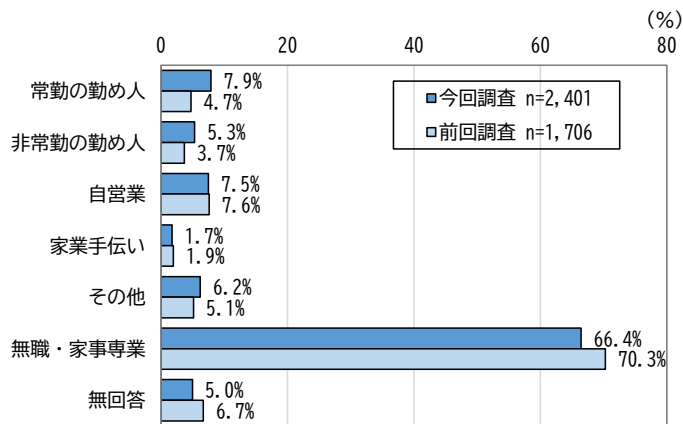
○前回調査に比べ、「その他（認定なし）」が6.2ポイント増加しています。



(4)職業【Q4】

(SA)

- 職業は、「無職・家事専業」が66.4%で最も高く、次いで「常勤の勤め人」が7.9%、「自営業」が7.5%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「無職・家事専業」が3.9ポイント減少している一方、「常勤の勤め人」が3.2ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、「常勤の勤め人」は“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて15ポイント高いのに対し、「無職・家事専業」は“後期高齢者”が“前期高齢者”に比べ25.2ポイント高くなっています。

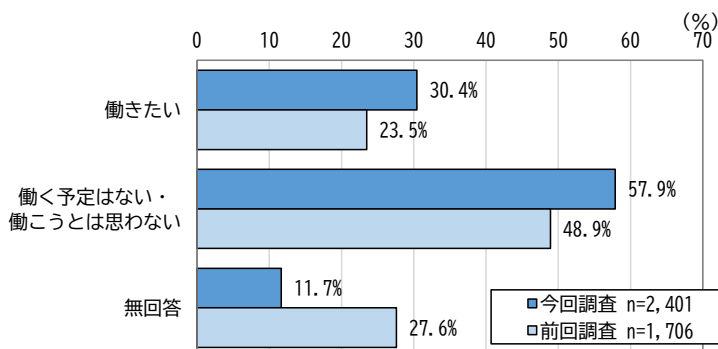


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q4.職業							
		常勤の勤め人	非常勤の勤め人	自営業	家業手伝い	その他	無職・家事専業	無回答	
全体	2401 100.0	189 7.9	127 5.3	180 7.5	42 1.7	149 6.2	1595 66.4	119 5.0	
年齢	前期高齢者	887 100.0	154 17.4	99 11.2	85 9.6	10 1.1	63 7.1	459 51.7	17 1.9
	後期高齢者	1447 100.0	35 2.4	28 1.9	94 6.5	32 2.2	83 5.7	1113 76.9	62 4.3

(5)勤務意向【Q5】

(SA)(※働きたい年齢はNA)

- 勤務意向は、「働きたい」が約3割、「働く予定はない・働こうとは思わない」が約6割となっています。
- 前回調査に比べ、「働きたい」が6.9ポイント、「働く予定はない・働こうとは思わない」が9.0ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「働きたい」が過半数、“後期高齢者”では「働く予定はない・働こうとは思わない」が約7割となっています。
- 「働きたい」と回答した人の働き続けたい年齢の平均は、『77.6歳』となっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q5.就業意向			
		働きたい	働く予定はない・働こうとは思わない	無回答	
全体	2401 100.0	731 30.4	1390 57.9	280 11.7	
年齢	前期高齢者	887 100.0	446 50.3	396 44.6	45 5.1
	後期高齢者	1447 100.0	281 19.4	972 67.2	194 13.4

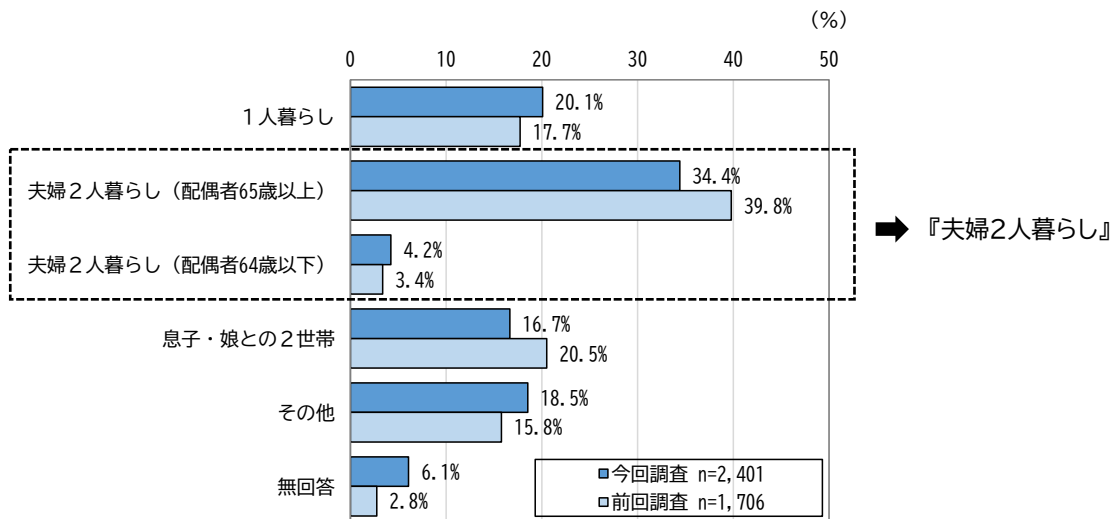
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

2. あなたのご家族や生活状況について

(6) 家族構成【Q7】

(SA)

- 家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が34.4%で最も高く、次いで「1人暮らし」が20.1%、「その他」が18.5%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「1人暮らし」が2.4ポイント増加しています。
- 日常生活圏域別にみると、「1人暮らし」が高いのは、“西”“中央”“芝”の順となっています。



II 市民調査結果

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q7.家族構成						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
全体	2401 100.0	482 20.1	826 34.4	102 4.2	400 16.7	445 18.5	146 6.1	
日常生活圏域	中央	114 100.0	33 28.9	35 30.7	8 7.0	18 15.8	16 14.0	4 3.5
	横曽根	115 100.0	31 27.0	38 33.0	5 4.3	17 14.8	19 16.5	5 4.3
	西	161 100.0	47 29.2	55 34.2	10 6.2	19 11.8	22 13.7	8 5.0
	青木	119 100.0	30 25.2	38 31.9	5 4.2	23 19.3	20 16.8	3 2.5
	上青木	108 100.0	24 22.2	40 37.0	5 4.6	12 11.1	22 20.4	5 4.6
	前川	120 100.0	28 23.3	37 30.8	5 4.2	17 14.2	28 23.3	5 4.2
	南平	112 100.0	27 24.1	38 33.9	4 3.6	17 15.2	20 17.9	6 5.4
	南平みなみ	104 100.0	16 15.4	36 34.6	7 6.7	25 24.0	18 17.3	2 1.9
	新郷	118 100.0	21 17.8	35 29.7	7 5.9	23 19.5	26 22.0	6 5.1
	新郷東	95 100.0	15 15.8	32 33.7	2 2.1	16 16.8	25 26.3	5 5.3
	神根	121 100.0	25 20.7	38 31.4	7 5.8	27 22.3	18 14.9	6 5.0
	神根東	106 100.0	15 14.2	36 34.0	6 5.7	18 17.0	26 24.5	5 4.7
	芝	104 100.0	29 27.9	34 32.7	2 1.9	21 20.2	16 15.4	2 1.9
	芝伊刈	120 100.0	25 20.8	43 35.8	7 5.8	14 11.7	27 22.5	4 3.3
	芝西	126 100.0	20 15.9	55 43.7	4 3.2	18 14.3	23 18.3	6 4.8
	安行	126 100.0	14 11.1	50 39.7	1 0.8	22 17.5	32 25.4	7 5.6
	戸塚	119 100.0	29 24.4	48 40.3	0 0.0	24 20.2	12 10.1	6 5.0
	戸塚西	121 100.0	14 11.6	50 41.3	6 5.0	27 22.3	19 15.7	5 4.1
	鳩ヶ谷東部	112 100.0	14 12.5	40 35.7	2 1.8	25 22.3	22 19.6	9 8.0
	鳩ヶ谷西部	118 100.0	22 18.6	40 33.9	6 5.1	15 12.7	26 22.0	9 7.6

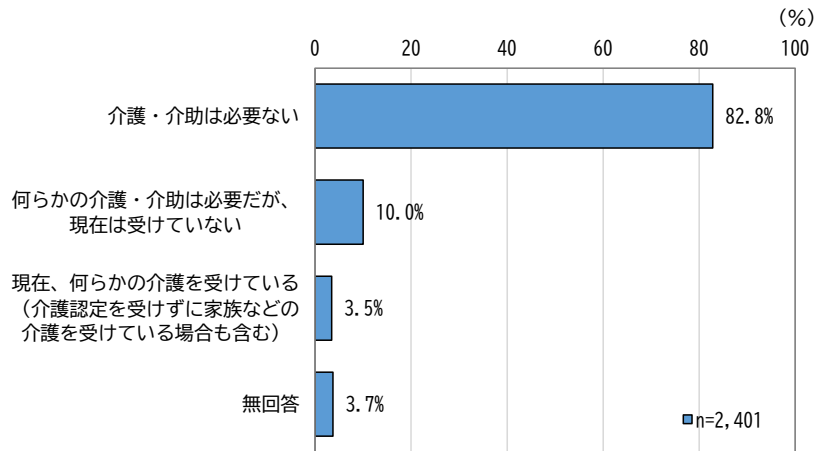
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(7)介護・介助の必要性【Q8】

(SA)

○介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が8割以上となっています。

○日常生活圏域別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は“中央”が18.4%で最も高く、「現在、何らかの介護を受けている」は“鳩ヶ谷東部”が8.0%で最も高くなっています。



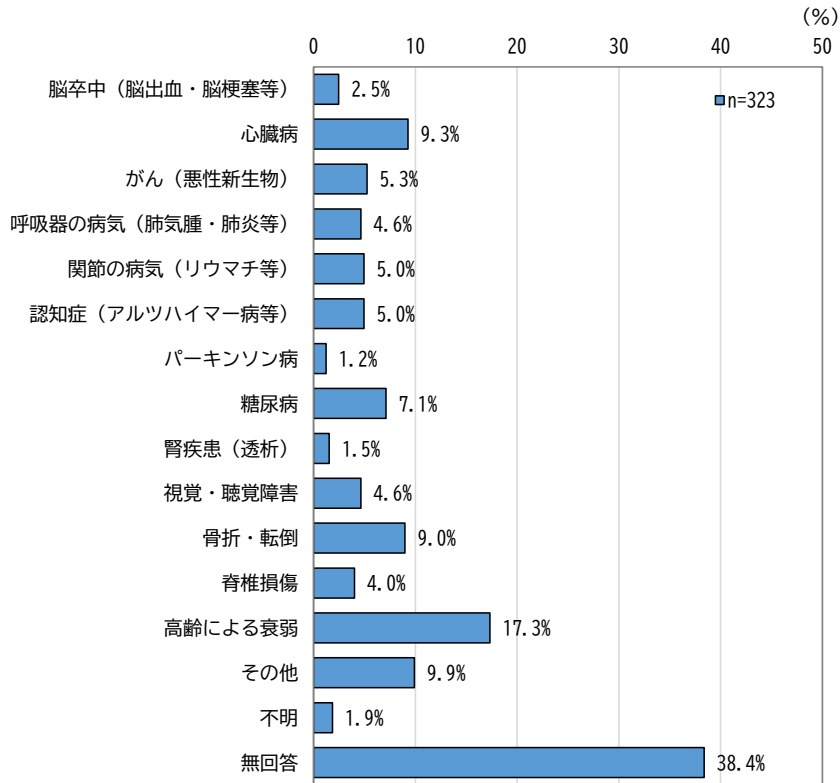
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q8.介護・介助の必要性			
		介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	2401 100.0	1989 82.8	240 10.0	83 3.5	89 3.7
日常生活圏域					
中央	114 100.0	90 78.9	21 18.4	3 2.6	0 0.0
横曽根	115 100.0	99 86.1	11 9.6	3 2.6	2 1.7
西	161 100.0	140 87.0	12 7.5	6 3.7	3 1.9
青木	119 100.0	96 80.7	15 12.6	8 6.7	0 0.0
上青木	108 100.0	98 90.7	3 2.8	5 4.6	2 1.9
前川	120 100.0	101 84.2	12 10.0	2 1.7	5 4.2
南平	112 100.0	90 80.4	16 14.3	4 3.6	2 1.8
南平みなみ	104 100.0	90 86.5	11 10.6	3 2.9	0 0.0
新郷	118 100.0	97 82.2	14 11.9	3 2.5	4 3.4
新郷東	95 100.0	75 78.9	13 13.7	5 5.3	2 2.1
神根	121 100.0	102 84.3	14 11.6	3 2.5	2 1.7
神根東	106 100.0	95 89.6	5 4.7	3 2.8	3 2.8
芝	104 100.0	82 78.8	12 11.5	5 4.8	5 4.8
芝伊刈	120 100.0	101 84.2	12 10.0	3 2.5	4 3.3
芝西	126 100.0	106 84.1	15 11.9	3 2.4	2 1.6
安行	126 100.0	109 86.5	12 9.5	2 1.6	3 2.4
戸塚	119 100.0	103 86.6	10 8.4	3 2.5	3 2.5
戸塚西	121 100.0	102 84.3	9 7.4	5 4.1	5 4.1
鳩ヶ谷東部	112 100.0	90 80.4	9 8.0	9 8.0	4 3.6
鳩ヶ谷西部	118 100.0	102 86.4	10 8.5	4 3.4	2 1.7

(8)介護・介助が必要になった原因【Q8-1】

(MA)

【Q8「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

- 介護・介助が必要になった原因は、「高齢による衰弱」が17.3%で最も高く、次いで「その他」が9.9%、「心臓病」が9.3%の順となっています。
- 「その他」の内容は、「足腰の痛み」「高血圧」が多くなっています。

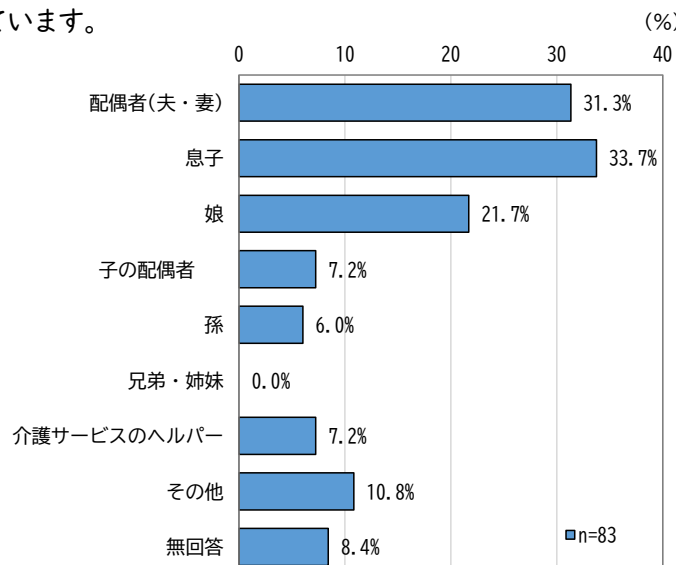


(9)主に介護・介助を受けている人【Q8-2】

(MA)

【Q8「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

- 主に介護・介助を受けている人は、「息子」が33.7%で最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が31.3%、「娘」が21.7%となっています。
- 性別にみると、“男性”では「配偶者(夫・妻)」、 “女性”では「息子」が最も高くなっています。
- 家族構成別にみると、『夫婦2人暮らし』では「配偶者(夫・妻)」が最も高く、特に配偶者65歳以上では7割以上となっています。



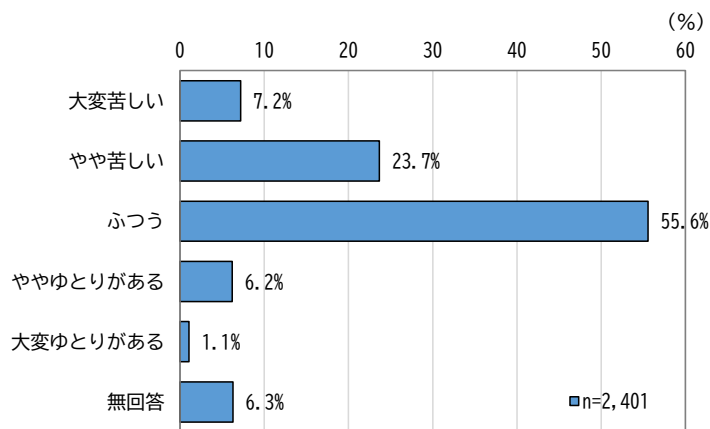
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【単位】 上段:美数(人) 下段:割合(%)	合計	Q8-2.主に介護・介助を受けている人									
		配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶 者	孫	兄弟・姉 妹	介護サー ビスのハ ルパー	その他	無回答	
全体	83 100.0	26 31.3	28 33.7	18 21.7	6 7.2	5 6.0	0 0.0	6 7.2	9 10.8	7 8.4	
性別	男性	35 100.0	16 45.7	6 17.1	9 25.7	1 2.9	1 2.9	0 0.0	3 8.6	3 8.6	4 11.4
	女性	47 100.0	9 19.1	22 46.8	9 19.1	5 10.6	4 8.5	0 0.0	3 6.4	6 12.8	3 6.4
家族 構成	1人暮らし	17 100.0	0 0.0	9 52.9	4 23.5	2 11.8	1 5.9	0 0.0	3 17.6	3 17.6	2 11.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳 以上)	19 100.0	14 73.7	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0	2 10.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳 以下)	7 100.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	2 28.6
	息子・娘との2 世帯	21 100.0	5 23.8	10 47.6	6 28.6	3 14.3	3 14.3	0 0.0	1 4.8	1 4.8	1 4.8
	その他	15 100.0	3 20.0	6 40.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 26.7	0 0.0

(10)現在の暮らしの経済的状況【Q9】

(SA)

○現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が55.6%で最も高く、次いで「やや苦しい」が23.7%、「大変苦しい」が7.2%となっています。

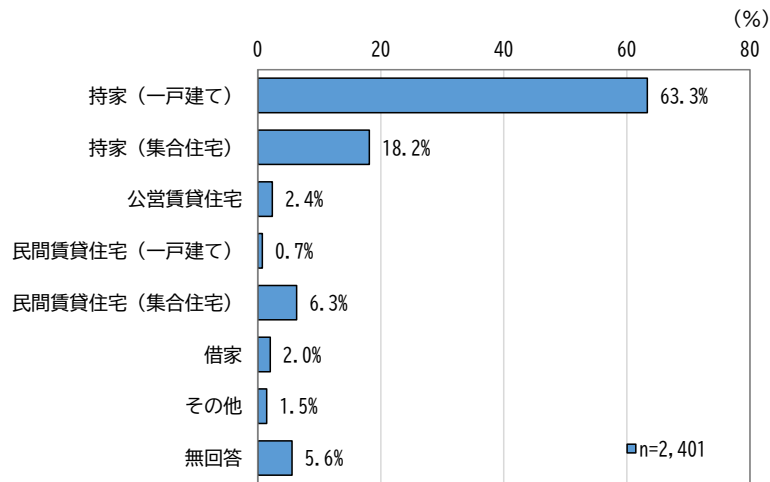


(11)住まいの種類【Q10】

(SA)

○住まいの種類は、「持家（一戸建て）」が63.3%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が18.2%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が6.3%の順となっています。

○日常生活圏域別にみると、「中央」「西」では「持家（集合住宅）」が最も高く、約半数となっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q10.住まいの種類								
		持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答	
全体	2401 100.0	1520 63.3	436 18.2	57 2.4	18 0.7	152 6.3	49 2.0	35 1.5	134 5.6	
日常生活圏域	中央	114 100.0	31 27.2	61 53.5	1 0.9	0 0.0	9 7.9	2 1.8	4 3.5	6 5.3
	横曽根	115 100.0	51 44.3	40 34.8	4 3.5	1 0.9	12 10.4	3 2.6	1 0.9	3 2.6
	西	161 100.0	60 37.3	73 45.3	6 3.7	4 2.5	6 3.7	3 1.9	1 0.6	8 5.0
	青木	119 100.0	60 50.4	40 33.6	2 1.7	0 0.0	13 10.9	1 0.8	1 0.8	2 1.7
	上青木	108 100.0	57 52.8	28 25.9	0 0.0	0 0.0	15 13.9	0 0.0	3 2.8	5 4.6
	前川	120 100.0	90 75.0	4 3.3	3 2.5	0 0.0	10 8.3	5 4.2	0 0.0	8 6.7
	南平	112 100.0	50 44.6	33 29.5	6 5.4	3 2.7	4 3.6	3 2.7	1 0.9	12 10.7
	南平みなみ	104 100.0	57 54.8	29 27.9	0 0.0	0 0.0	8 7.7	3 2.9	3 2.9	4 3.8
	新郷	118 100.0	95 80.5	7 5.9	1 0.8	1 0.8	5 4.2	1 0.8	3 2.5	5 4.2
	新郷東	95 100.0	76 80.0	10 10.5	0 0.0	0 0.0	4 4.2	0 0.0	2 2.1	3 3.2
	神根	121 100.0	89 73.6	10 8.3	9 7.4	2 1.7	5 4.1	1 0.8	1 0.8	4 3.3
	神根東	106 100.0	82 77.4	6 5.7	9 8.5	0 0.0	1 0.9	3 2.8	0 0.0	5 4.7
	芝	104 100.0	75 72.1	9 8.7	0 0.0	1 1.0	8 7.7	3 2.9	4 3.8	4 3.8
	芝伊刈	120 100.0	90 75.0	10 8.3	2 1.7	2 1.7	10 8.3	2 1.7	0 0.0	4 3.3
	芝西	126 100.0	90 71.4	9 7.1	3 2.4	1 0.8	10 7.9	3 2.4	0 0.0	10 7.9
	安行	126 100.0	99 78.6	5 4.0	3 2.4	0 0.0	4 3.2	3 2.4	2 1.6	10 7.9
	戸塚	119 100.0	85 71.4	17 14.3	0 0.0	1 0.8	3 2.5	3 2.5	3 2.5	7 5.9
	戸塚西	121 100.0	89 73.6	13 10.7	0 0.0	0 0.0	9 7.4	3 2.5	1 0.8	6 5.0
	鳩ヶ谷東部	112 100.0	83 74.1	10 8.9	5 4.5	0 0.0	5 4.5	2 1.8	3 2.7	4 3.6
	鳩ヶ谷西部	118 100.0	83 70.3	16 13.6	3 2.5	1 0.8	4 3.4	2 1.7	2 1.7	7 5.9

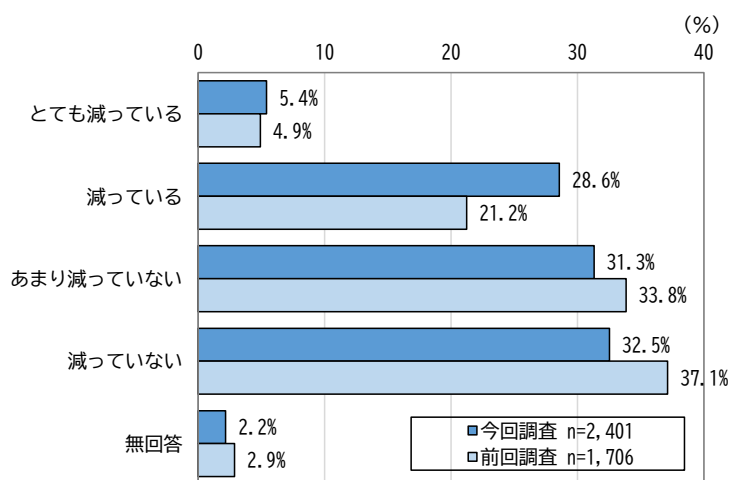
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

3. からだを動かすことについて

(12)昨年と比べた外出頻度【Q15】

(SA)

- 昨年と比べた外出頻度は、「減っていない」が32.5%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が31.3%、「減っている」が28.6%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「あまり減っていない」「減っていない」が減少しているのに対し、「減っている」「とても減っている」が増加しています。
- 性別にみると、“男性”では「減っていない」、「女性”では「あまり減っていない」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「減っていない」、「後期高齢者”では「減っている」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q15.昨年と比べた外出頻度					
		とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	
全体	2401 100.0	130 5.4	686 28.6	752 31.3	781 32.5	52 2.2	
性別	男性	1172 100.0	52 4.4	313 26.7	335 28.6	449 38.3	23 2.0
	女性	1174 100.0	76 6.5	353 30.1	407 34.7	319 27.2	19 1.6
年齢	前期高齢者	887 100.0	31 3.5	201 22.7	286 32.2	361 40.7	8 0.9
	後期高齢者	1447 100.0	98 6.8	463 32.0	453 31.3	402 27.8	31 2.1

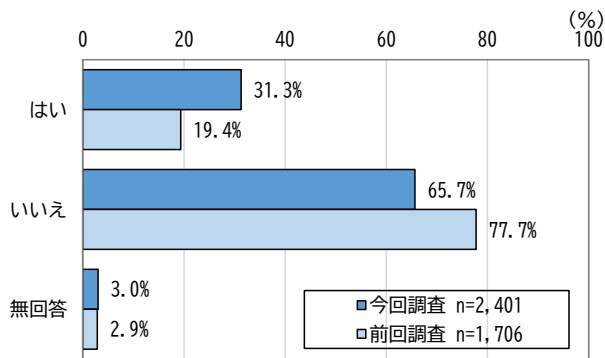
(13)外出を控えているか【Q16】

(SA)

○外出を控えているかでは、「はい」が31.3%、「いいえ」が65.7%となっています。

○前回調査に比べ、「はい」が11.9ポイント増加しているのに対し、「いいえ」が12ポイント減少しています。

○日常生活圏域別にみると、「はい」の割合が高いのは“中央”“青木”“芝伊刈”の順となっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q16.外出を控えているか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	752 31.3	1577 65.7	72 3.0	
日常生活圏域	中央	114 100.0	44 38.6	69 60.5	1 0.9
	横曽根	115 100.0	40 34.8	74 64.3	1 0.9
	西	161 100.0	45 28.0	111 68.9	5 3.1
	青木	119 100.0	45 37.8	72 60.5	2 1.7
	上青木	108 100.0	37 34.3	69 63.9	2 1.9
	前川	120 100.0	35 29.2	81 67.5	4 3.3
	南平	112 100.0	31 27.7	75 67.0	6 5.4
	南平みなみ	104 100.0	38 36.5	66 63.5	0 0.0
	新郷	118 100.0	42 35.6	74 62.7	2 1.7
	新郷東	95 100.0	34 35.8	58 61.1	3 3.2
	神根	121 100.0	33 27.3	87 71.9	1 0.8
	神根東	106 100.0	25 23.6	79 74.5	2 1.9
	芝	104 100.0	26 25.0	75 72.1	3 2.9
	芝伊刈	120 100.0	44 36.7	75 62.5	1 0.8
	芝西	126 100.0	43 34.1	77 61.1	6 4.8
	安行	126 100.0	39 31.0	82 65.1	5 4.0
	戸塚	119 100.0	40 33.6	75 63.0	4 3.4
	戸塚西	121 100.0	26 21.5	92 76.0	3 2.5
	鳩ヶ谷東部	112 100.0	34 30.4	75 67.0	3 2.7
	鳩ヶ谷西部	118 100.0	27 22.9	85 72.0	6 5.1

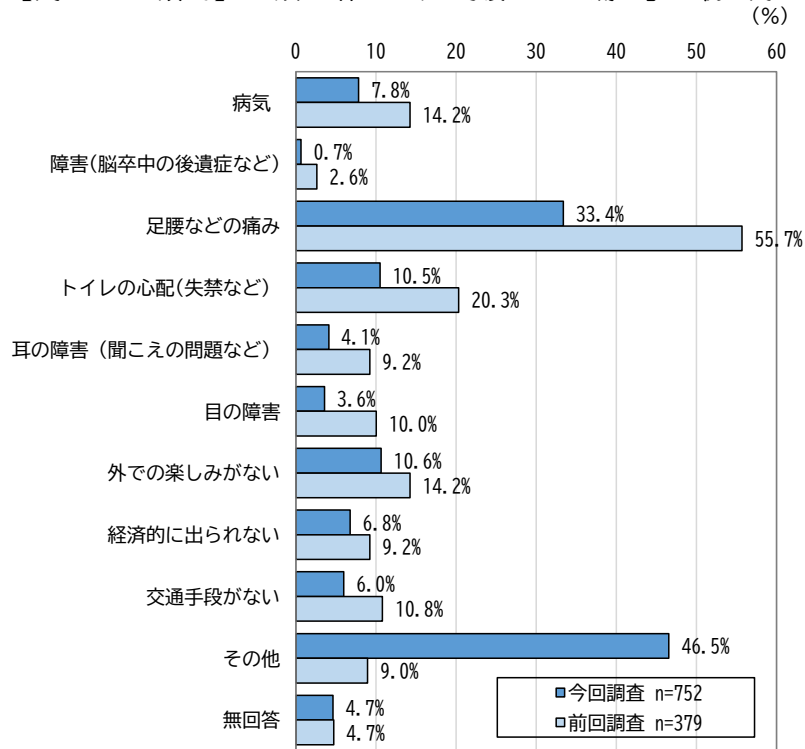
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(14)外出を控えている理由【Q16-1】

(MA)

【Q16「1.はい」の方のみ】

- 外出を控えている理由は、「その他」が46.5%で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が33.4%、「外での楽しみがない」が10.6%となっています。
- 「その他」の内容は「コロナ」が約9割となっており、前回調査に比べ、37.5ポイントと大きく増加しています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「その他」、「後期高齢者」では「足腰などの痛み」が最も高くなっています。
- 生活機能評価【閉じこもり傾向】¹の該当者では、「足腰などの痛み」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q16-1.外出を控えている理由											
		病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答	
全体	752	59	5	251	79	31	27	80	51	45	350	35	
	100.0	7.8	0.7	33.4	10.5	4.1	3.6	10.6	6.8	6.0	46.5	4.7	
年齢	前期高齢者	222	19	1	42	10	4	7	20	15	4	151	7
	後期高齢者	507	39	4	198	66	26	17	56	31	39	192	28
	100.0	7.7	0.8	39.1	13.0	5.1	3.4	11.0	6.1	7.7	37.9	5.5	
閉じこもり傾向	該当	268	29	2	114	46	11	13	25	23	22	91	9
	非該当	477	30	3	134	29	20	14	55	26	21	258	26
	100.0	6.3	0.6	28.1	6.1	4.2	2.9	11.5	5.5	4.4	54.1	5.5	

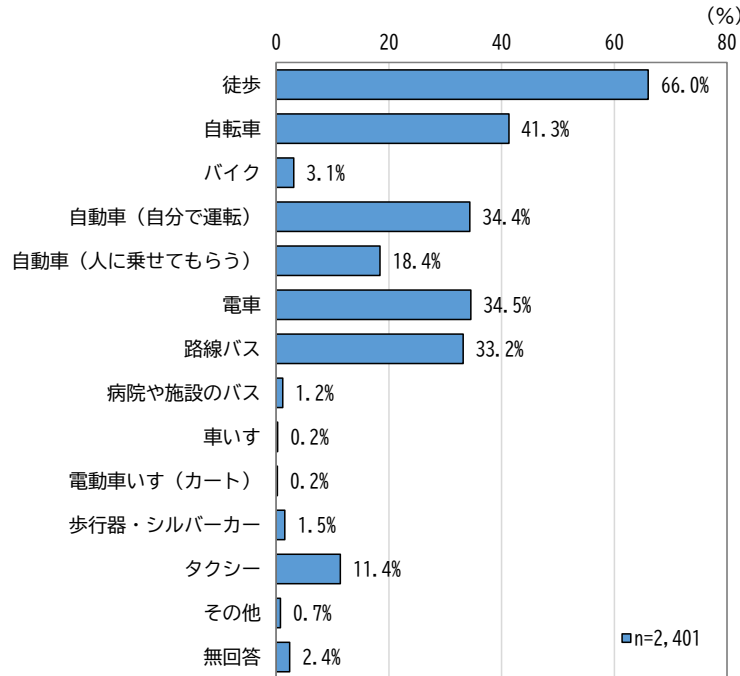
¹ 生活機能評価【閉じこもり傾向】:詳細は72ページ参照。

(15)外出する際の移動手段【Q17】

(MA)

○外出する際の移動手段は、「徒歩」が66.0%で最も高く、次いで「自転車」が41.3%、「電車」34.5%となっています。

○日常の買い物に不便を感じているかで見ると、「自動車(人に載せてもらう)」と「路線バス」、「タクシー」では“感じている”と回答した人が多くなっています。



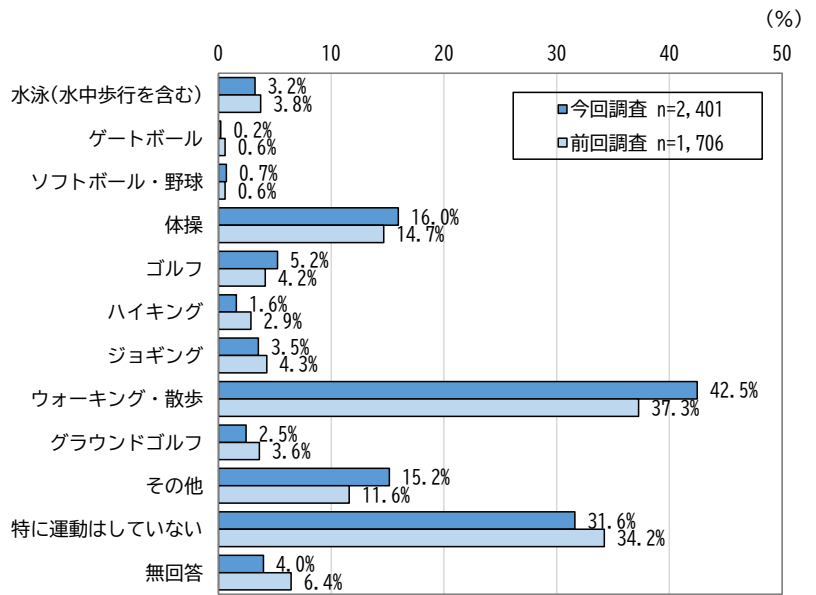
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q17.外出する際の移動手段														
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バス	病院や施 設のバス	車いす	電動 車いす (カート)	歩行器・ シルバー カー	タクシー	その他	無回答	
全体	2401	1585	991	75	825	442	829	796	28	6	5	37	273	18	57	
	100.0	66.0	41.3	3.1	34.4	18.4	34.5	33.2	1.2	0.2	0.2	1.5	11.4	0.7	2.4	
不 便 を 日 常 の 買 い 物 に 感 じ て い る か	感じている	268	150	66	6	37	67	62	93	9	2	1	20	59	4	8
		100.0	56.0	24.6	2.2	13.8	25.0	23.1	34.7	3.4	0.7	0.4	7.5	22.0	1.5	3.0
	あまり感じて いない	780	515	326	18	233	159	263	270	10	2	1	11	96	5	15
	100.0	66.0	41.8	2.3	29.9	20.4	33.7	34.6	1.3	0.3	0.1	1.4	12.3	0.6	1.9	
感じていない	1248	877	572	50	528	196	486	411	9	2	3	4	111	8	18	
	100.0	70.3	45.8	4.0	42.3	15.7	38.9	32.9	0.7	0.2	0.2	0.3	8.9	0.6	1.4	

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(16) 普段行っている運動【Q18】

(MA)

- 普段行っている運動は、「ウォーキング・散歩」が42.5%で最も高く、次いで「特に運動はしていない」が31.6%、「体操」が16.0%の順となっています。
- 前回調査と比べ、最も増加したのは「ウォーキング・散歩」で5.2ポイント増加しています。
- 生活機能評価【運動器機能低下】²の該当者では、「特に運動はしていない」が過半数となり、非該当者に比べて高くなっています。

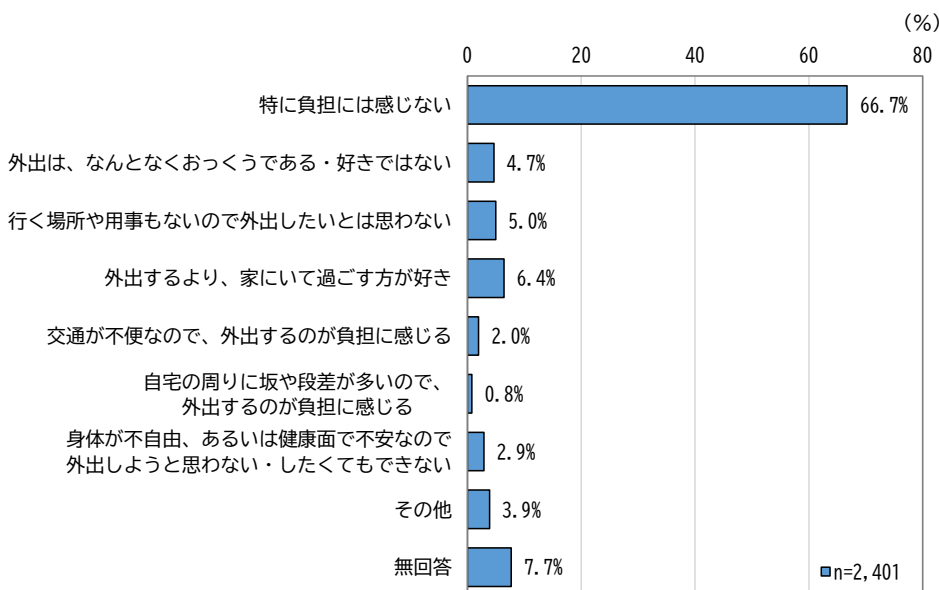


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q18. 普段行っている運動											
		水泳(水中歩行を含む)	ゲートボール	ソフトボール・野球	体操	ゴルフ	ハイキング	ジョギング	ウォーキング・散歩	グラウンドゴルフ	その他	特に運動はしていない	無回答
全体	2401	78	5	17	383	126	38	85	1020	59	364	759	96
	100.0	3.2	0.2	0.7	16.0	5.2	1.6	3.5	42.5	2.5	15.2	31.6	4.0
機能低下 運動器	該当	299	2	1	0	34	2	0	4	63	9	35	162
	100.0	0.7	0.3	0.0	11.4	0.7	0.0	1.3	21.1	3.0	11.7	54.2	5.4
	非該当	1960	71	4	17	330	123	36	72	926	49	320	567
	100.0	3.6	0.2	0.9	16.8	6.3	1.8	3.7	47.2	2.5	16.3	28.9	1.6

(17) 外出することに対する考え【Q19】

(SA)

- 外出することに対する考えでは、「特に負担には感じない」が66.7%で最も高く、次いで「外出するより、家において過ごす方が好き」が6.4%、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」が5.0%の順となっています。



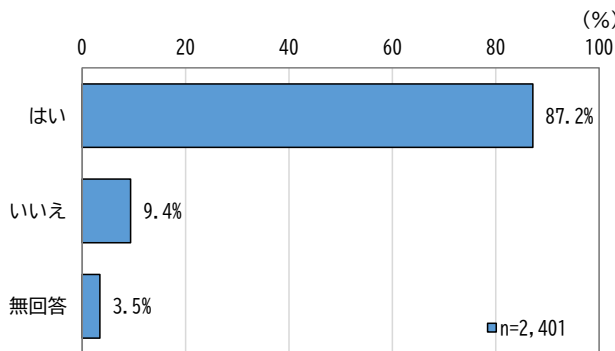
² 生活機能評価【運動器機能低下】: 詳細は 72 ページ参照。

(18)歯磨きを毎日しているか【Q24】

(SA)

○歯磨きを毎日しているかでは、「はい」が約9割となっています。

○生活機能評価【口腔機能低下】³の該当者と非該当者で、大きな差はみられません。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q24.歯磨きを毎日しているか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	2093 87.2	225 9.4	83 3.5	
口腔機能低下	該当	611 100.0	537 87.9	65 10.6	9 1.5
	非該当	1706 100.0	1533 89.9	155 9.1	18 1.1

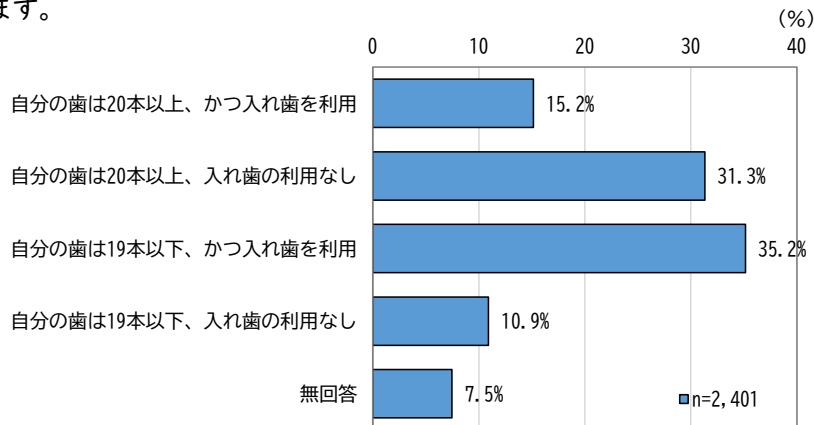
(19)歯の数と入れ歯の利用状況【Q25】

(SA)

○歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.2%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が31.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.2%の順となっています。

○年齢別にみると、“前期高齢者”では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」、「後期高齢者”では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が最も高くなっています。

○生活機能評価【口腔機能低下】の該当者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q25.歯の数と入れ歯の利用状況				無回答	
		自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		
全体	2401 100.0	364 15.2	752 31.3	844 35.2	262 10.9	179 7.5	
年齢	前期高齢者	887 100.0	123 13.9	386 43.5	241 27.2	112 12.6	25 2.8
	後期高齢者	1447 100.0	231 16.0	351 24.3	584 40.4	145 10.0	136 9.4
口腔機能低下	該当	611 100.0	87 14.2	123 20.1	281 46.0	81 13.3	39 6.4
	非該当	1706 100.0	275 16.1	622 36.5	555 32.5	176 10.3	78 4.6

³ 生活機能評価【口腔機能低下】:詳細は72ページ参照。

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

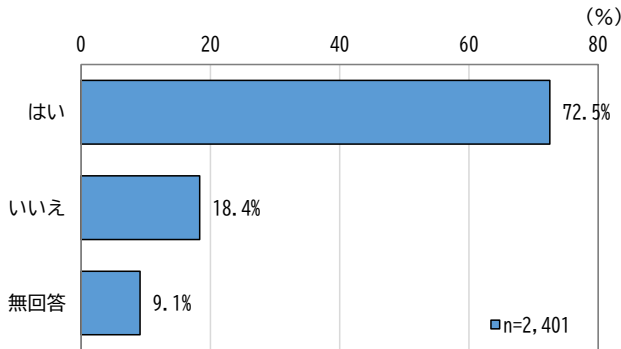
(20) 噛み合わせは良いか【Q25-1】

(SA)

○噛み合わせは良いかでは、「はい」が約7割となっています。

○要介護状態区別にみると、「いいえ」の割合は、“要支援1”が3割以上となり、他と比べて高くなっています。

○生活機能評価【口腔機能低下】の該当者では、「いいえ」の割合が3割以上となり、非該当者に比べて高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q25-1.噛み合わせは良いか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	1741 72.5	441 18.4	219 9.1	
要介護状態区分	事業対象者	56 100.0	36 64.3	10 17.9	10 17.9
	要支援1	47 100.0	26 55.3	16 34.0	5 10.6
	要支援2	18 100.0	12 66.7	4 22.2	2 11.1
	その他(認定なし)	1870 100.0	1405 75.1	327 17.5	138 7.4
口腔機能低下	該当	611 100.0	353 57.8	207 33.9	51 8.3
	非該当	1706 100.0	1378 80.8	225 13.2	103 6.0

(21) 毎日入れ歯の手入れをしているか【Q25-2】

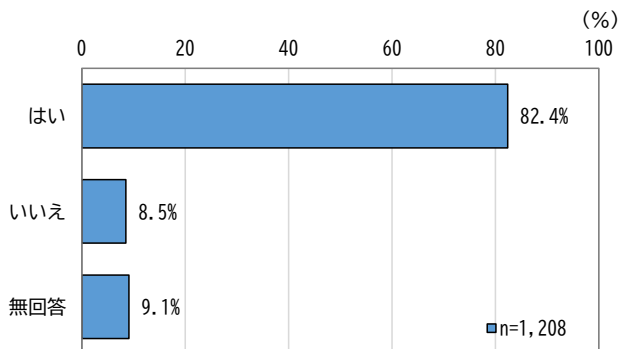
(SA)

【Q25-1「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」

「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

○毎日入れ歯の手入れをしているかでは、「はい」が約8割となっています。

○生活機能評価【口腔機能低下】の該当者と非該当者で、大きな差はみられません。

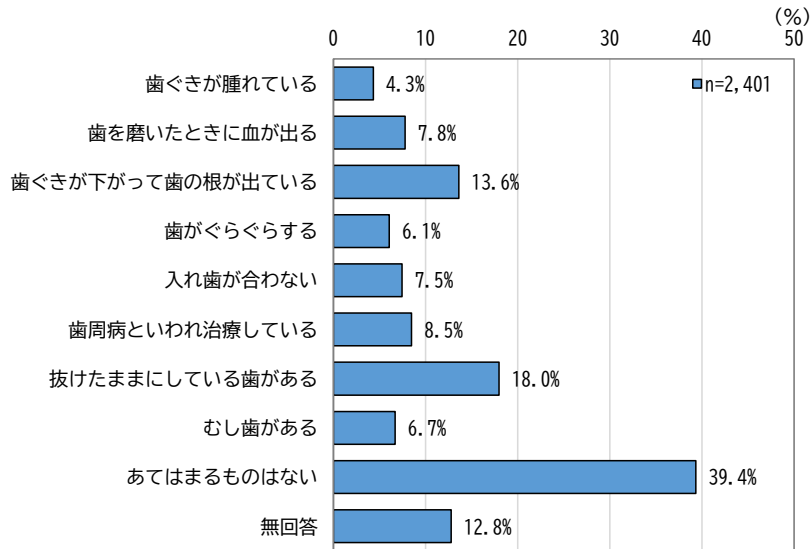


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q25-2.毎日入れ歯の手入れをしているか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	1208 100.0	995 82.4	103 8.5	110 9.1	
口腔機能低下	該当	368 100.0	282 76.6	40 10.9	46 12.5
	非該当	830 100.0	706 85.1	63 7.6	61 7.3

(22)現在の歯ぐき・口の状態【Q26】

(MA)

- 現在の歯ぐき・口の状態は、「あてはまるものはない」が39.4%で最も高く、次いで「抜けたままにしている歯がある」が18.0%、「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が13.6%となっています。
- 生活機能評価【口腔機能低下】の該当者では、「抜けたままにしている歯がある」が最も高くなっています。また、「あてはまるものはない」の割合は非該当者が47.2%であるのに対し、該当者は21.8%と低くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q26.現在の歯ぐき・口の状態									
		歯ぐきが腫れている	歯を磨いたときに血が出る	歯ぐきが下がって歯の根が出ている	歯がぐらぐらする	入れ歯が合わない	歯周病といわれ治療している	抜けたままにしている歯がある	むし歯がある	あてはまるものはない	無回答
全体	2401	104	187	327	146	179	204	432	161	945	307
	100.0	4.3	7.8	13.6	6.1	7.5	8.5	18.0	6.7	39.4	12.8
口腔機能低下 該当	611	61	77	134	66	102	74	140	49	133	59
	100.0	10.0	12.6	21.9	10.8	16.7	12.1	22.9	8.0	21.8	9.7
非該当	1706	42	109	191	80	74	130	285	109	805	184
	100.0	2.5	6.4	11.2	4.7	4.3	7.6	16.7	6.4	47.2	10.8

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

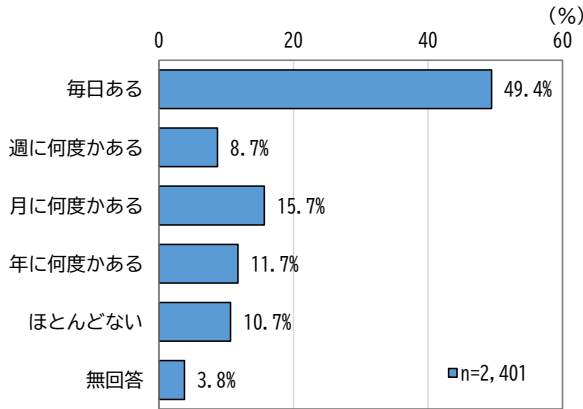
(23)どなたかと食事をとる機会【Q28】

(SA)

○どなたかと食事をとる機会は、「毎日ある」が49.4%で最も高く、次いで「月に何度かある」が15.7%、「年に何度かある」が11.7%となっています。

○日常生活圏域別にみると、「ほとんどない」の割合が高いのは、“横曽根”“西”“上青木”の順となっています。

○生活機能評価【閉じこもり傾向】の該当者では、「ほとんどない」の割合が16.2%となり、非該当者に比べて高くなっています。



【単位】 上段:美数(人) 下段:割合(%)	合計	Q28.どなたかと食事をとる機会							
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答		
全体	2401 100.0	1187 49.4	209 8.7	376 15.7	282 11.7	256 10.7	91 3.8		
日常生活圏域	中央	114 100.0	64 56.1	13 11.4	14 12.3	12 10.5	9 7.9	2 1.8	
	横曽根	115 100.0	52 45.2	9 7.8	24 20.9	8 7.0	20 17.4	2 1.7	
	西	161 100.0	73 45.3	10 6.2	25 15.5	24 14.9	25 15.5	4 2.5	
	青木	119 100.0	58 48.7	12 10.1	17 14.3	12 10.1	14 11.8	6 5.0	
	上青木	108 100.0	50 46.3	6 5.6	16 14.8	16 14.8	16 14.8	4 3.7	
	前川	120 100.0	53 44.2	7 5.8	22 18.3	16 13.3	17 14.2	5 4.2	
	南平	112 100.0	57 50.9	12 10.7	12 10.7	13 11.6	16 14.3	2 1.8	
	南平みなみ	104 100.0	53 51.0	9 8.7	12 11.5	22 21.2	7 6.7	1 1.0	
	新郷	118 100.0	60 50.8	10 8.5	17 14.4	17 14.4	8 6.8	6 5.1	
	新郷東	95 100.0	48 50.5	8 8.4	20 21.1	10 10.5	7 7.4	2 2.1	
	神根	121 100.0	64 52.9	10 8.3	19 15.7	12 9.9	14 11.6	2 1.7	
	神根東	106 100.0	63 59.4	4 3.8	23 21.7	9 8.5	3 2.8	4 3.8	
	芝	104 100.0	51 49.0	12 11.5	14 13.5	10 9.6	12 11.5	5 4.8	
	芝伊刈	120 100.0	59 49.2	12 10.0	22 18.3	13 10.8	6 5.0	8 6.7	
	芝西	126 100.0	65 51.6	12 9.5	14 11.1	16 12.7	14 11.1	5 4.0	
	安行	126 100.0	68 54.0	11 8.7	14 11.1	11 8.7	16 12.7	6 4.8	
	戸塚	119 100.0	52 43.7	15 12.6	23 19.3	15 12.6	11 9.2	3 2.5	
	戸塚西	121 100.0	57 47.1	10 8.3	20 16.5	15 12.4	12 9.9	7 5.8	
	鳩ヶ谷東部	112 100.0	53 47.3	12 10.7	24 21.4	13 11.6	9 8.0	1 0.9	
	鳩ヶ谷西部	118 100.0	64 54.2	10 8.5	16 13.6	13 11.0	12 10.2	3 2.5	
	閉じこもり傾向	該当	401 100.0	193 48.1	21 5.2	51 12.7	53 13.2	65 16.2	18 4.5
		非該当	1939 100.0	973 50.2	185 9.5	319 16.5	222 11.4	185 9.5	55 2.8

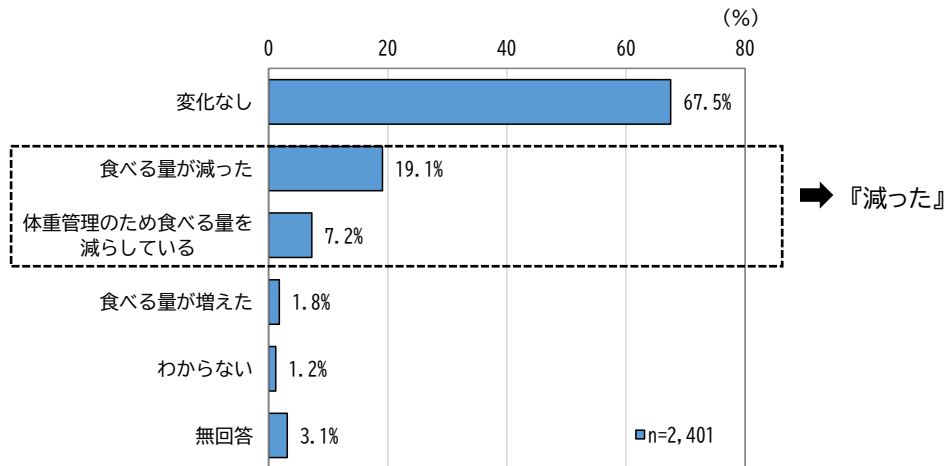
(24)半年前と比べた食事量の変化【Q29】

(SA)

○半年前と比べた食事量の変化は、「変化なし」が67.5%で最も高く、「食べる量が減った」と「体重管理のため食べる量を減らしている」を合わせた『減った』が26.3%で「食べる量が増えた」1.8%に比べ高くなっています。

○年齢別にみると、『減った』は“後期高齢者”が“前期高齢者”に比べて5.3ポイント高くなっています。

○生活機能評価【低栄養】⁴の該当者では、「食べる量が減った」が6割以上で最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q29.半年前と比べた食事量の変化						
		変化なし	食べる量が減った	体重管理のため食べる量を減らしている	食べる量が増えた	わからない	無回答	
全体	2401 100.0	1621 67.5	459 19.1	174 7.2	43 1.8	29 1.2	75 3.1	
年齢	前期高齢者	887 100.0	629 70.9	110 12.4	96 10.8	20 2.3	15 1.7	17 1.9
	後期高齢者	1447 100.0	955 66.0	337 23.3	75 5.2	22 1.5	14 1.0	44 3.0
低栄養	該当	33 100.0	5 15.2	22 66.7	1 3.0	0 0.0	3 9.1	2 6.1
	非該当	2235 100.0	1542 69.0	411 18.4	169 7.6	43 1.9	19 0.9	51 2.3

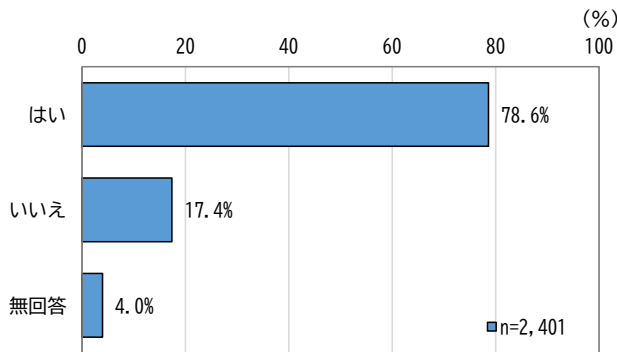
⁴ 生活機能評価【低栄養】:詳細は72ページ参照。

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

4. 毎日の生活について

(25)自分で電話番号を調べて、電話をかけているか【Q30-②】 (SA)

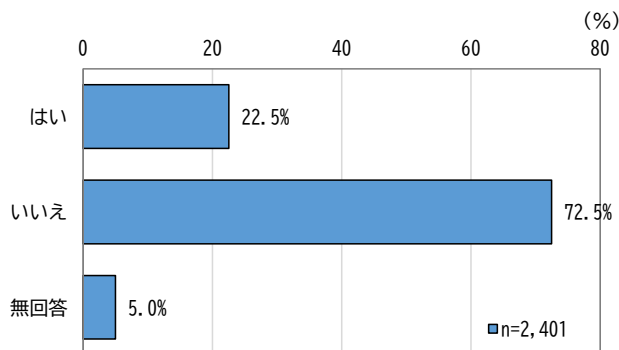
- 自分で電話番号を調べて、電話をかけているかでは、「はい」が約8割となっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”は“後期高齢者”に比べ、「いいえ」が5.8ポイント高くなっています。
- 生活機能評価【認知機能低下】⁵の該当者では、「いいえ」の割合が2割以上となり、非該当者に比べて高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q30.②自分で電話番号を調べて、電話をかけているか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	1888 78.6	418 17.4	95 4.0	
年齢	前期高齢者	887 100.0	681 76.8	188 21.2	18 2.0
	後期高齢者	1447 100.0	1162 80.3	223 15.4	62 4.3
認知機能低下	該当	994 100.0	775 78.0	203 20.4	16 1.6
	非該当	1286 100.0	1068 83.0	213 16.6	5 0.4

(26)今日が何月何日かわからないときがあるか【Q30-③】 (SA)

- 今日が何月何日かわからないときがあるかでは、「いいえ」が約7割となっています。
- 年齢別にみると、“後期高齢者”は“前期高齢者”に比べ、「はい」が8.0ポイント高くなっています。
- 生活機能評価【認知機能低下】の該当者では、「はい」の割合が約4割となり、非該当者に比べて高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q30.③今日が何月何日かわからないときがあるか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	541 22.5	1740 72.5	120 5.0	
年齢	前期高齢者	887 100.0	155 17.5	714 80.5	18 2.0
	後期高齢者	1447 100.0	369 25.5	993 68.6	85 5.9
認知機能低下	該当	994 100.0	389 39.1	580 58.4	25 2.5
	非該当	1286 100.0	142 11.0	1139 88.6	5 0.4

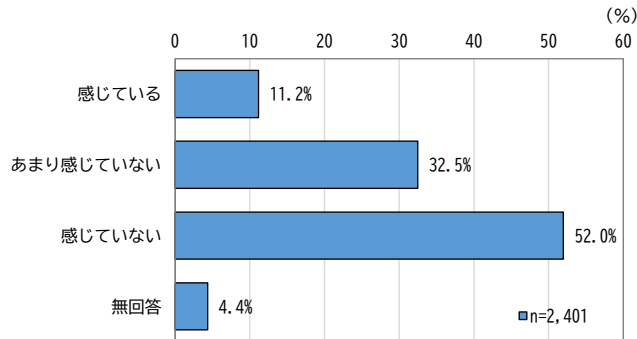
⁵ 生活機能評価【認知機能】:詳細は 72 ページ参照。

(27)日常の買物に不便を感じているか【Q31】

(SA)

○日常の買物に不便を感じているかでは、「感じていない」が過半数となっています。

○日常生活圏域別にみると、「感じている」の割合が最も高いのは、“新郷東”“神根東”で17.9%となっています。



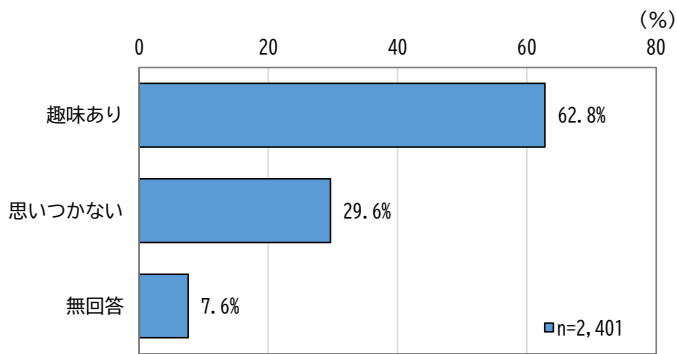
【単位】 上段:美数(人) 下段:割合(%)	合計	Q31.日常の買物に不便を感じているか				
		感じてい る	あまり感 じていな い	感じてい ない	無回答	
全体	2401 100.0	268 11.2	780 32.5	1248 52.0	105 4.4	
日常生活圏域	中央	114 100.0	14 12.3	37 32.5	60 52.6	3 2.6
	横曽根	115 100.0	7 6.1	24 20.9	78 67.8	6 5.2
	西	161 100.0	19 11.8	40 24.8	97 60.2	5 3.1
	青木	119 100.0	11 9.2	43 36.1	62 52.1	3 2.5
	上青木	108 100.0	9 8.3	36 33.3	61 56.5	2 1.9
	前川	120 100.0	10 8.3	38 31.7	66 55.0	6 5.0
	南平	112 100.0	16 14.3	31 27.7	59 52.7	6 5.4
	南平みなみ	104 100.0	8 7.7	35 33.7	59 56.7	2 1.9
	新郷	118 100.0	9 7.6	41 34.7	60 50.8	8 6.8
	新郷東	95 100.0	17 17.9	34 35.8	39 41.1	5 5.3
	神根	121 100.0	19 15.7	29 24.0	70 57.9	3 2.5
	神根東	106 100.0	19 17.9	33 31.1	49 46.2	5 4.7
	芝	104 100.0	10 9.6	29 27.9	60 57.7	5 4.8
	芝伊刈	120 100.0	10 8.3	43 35.8	62 51.7	5 4.2
	芝西	126 100.0	19 15.1	46 36.5	57 45.2	4 3.2
	安行	126 100.0	22 17.5	47 37.3	51 40.5	6 4.8
	戸塚	119 100.0	9 7.6	43 36.1	63 52.9	4 3.4
	戸塚西	121 100.0	16 13.2	39 32.2	61 50.4	5 4.1
	鳩ヶ谷東部	112 100.0	10 8.9	52 46.4	48 42.9	2 1.8
	鳩ヶ谷西部	118 100.0	10 8.5	40 33.9	64 54.2	4 3.4

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(28)趣味はあるか【Q34】

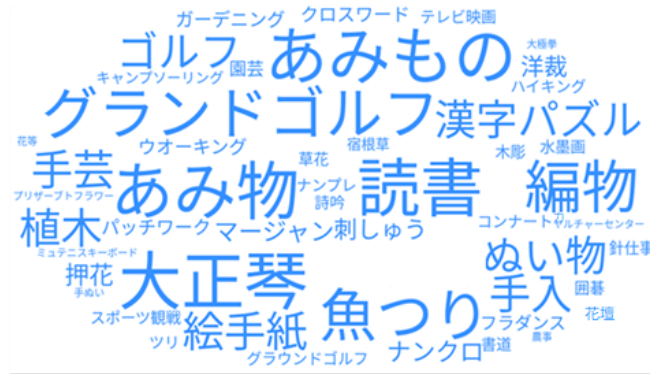
(SA)

- 趣味はあるかでは、「趣味あり」が62.8%、「思いつかない」が29.6%となっています。
- 「趣味あり」は、性別にみると“男性”、年齢別にみると“前期高齢者”で高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q34.趣味はあるか			
		趣味あり	思いつかない	無回答	
全体	2401 100.0	1508 62.8	711 29.6	182 7.6	
性別	男性	1172 100.0	743 63.4	351 29.9	78 6.7
	女性	1174 100.0	739 62.9	346 29.5	89 7.6
年齢	前期高齢者	887 100.0	593 66.9	265 29.9	29 3.3
	後期高齢者	1447 100.0	885 61.2	428 29.6	134 9.3

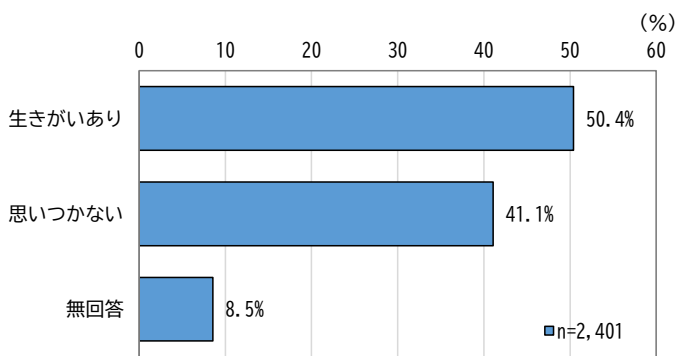
【趣味】



(29)生きがいはあるか【Q35】

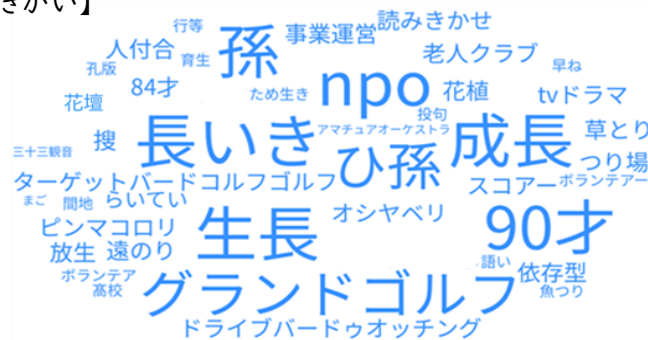
(SA)

- 生きがいはあるかでは、「生きがいあり」が50.4%、「思いつかない」が41.1%となっています。
- 「生きがいあり」は、性別にみると“女性”、年齢別にみると“前期高齢者”で高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q35.生きがいはあるか			
		生きがいあり	思いつかない	無回答	
全体	2401 100.0	1210 50.4	986 41.1	205 8.5	
性別	男性	1172 100.0	566 48.3	517 44.1	89 7.6
	女性	1174 100.0	628 53.5	446 38.0	100 8.5
年齢	前期高齢者	887 100.0	480 54.1	371 41.8	36 4.1
	後期高齢者	1447 100.0	705 48.7	589 40.7	153 10.6

【生きがい】



II 市民調査結果

(30)平日の日中の居場所【Q36】

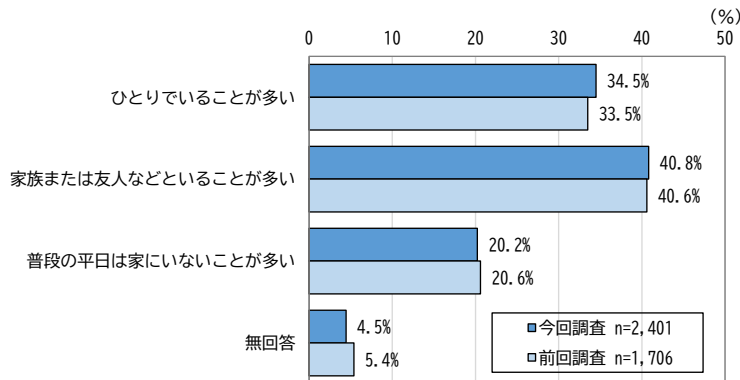
(SA)

○平日の日中の居場所は、「家族または友人などといることが多い」が40.8%で最も高く、次いで「ひとりであることが多い」が34.5%、「普段の平日は家にいないことが多い」が20.2%となっています。

○前回調査と比べ、大きな違いはみられません。

○性別にみると、「ひとりであることが多い」の割合は、「女性」が「男性」に比べ9.2ポイント高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、「横曽根」「西」「上青木」「前川」「新郷」では、「ひとりであることが多い」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q36. 平日の日中の居場所			
		ひとりであることが多い	家族または友人などといることが多い	普段の平日は家にいないことが多い	無回答
全体	2401 100.0	828 34.5	980 40.8	486 20.2	107 4.5
性別					
男性	1172 100.0	349 29.8	504 43.0	275 23.5	44 3.8
女性	1174 100.0	458 39.0	458 39.0	205 17.5	53 4.5
日常生活圏域					
中央	114 100.0	40 35.1	52 45.6	20 17.5	2 1.8
横曽根	115 100.0	47 40.9	38 33.0	26 22.6	4 3.5
西	161 100.0	72 44.7	45 28.0	39 24.2	5 3.1
青木	119 100.0	40 33.6	48 40.3	24 20.2	7 5.9
上青木	108 100.0	42 38.9	40 37.0	24 22.2	2 1.9
前川	120 100.0	49 40.8	39 32.5	24 20.0	8 6.7
南平	112 100.0	37 33.0	51 45.5	22 19.6	2 1.8
南平みなみ	104 100.0	34 32.7	44 42.3	23 22.1	3 2.9
新郷	118 100.0	43 36.4	43 36.4	24 20.3	8 6.8
新郷東	95 100.0	31 32.6	45 47.4	16 16.8	3 3.2
神根	121 100.0	37 30.6	53 43.8	23 19.0	8 6.6
神根東	106 100.0	29 27.4	41 38.7	30 28.3	6 5.7
芝	104 100.0	36 34.6	44 42.3	20 19.2	4 3.8
芝伊刈	120 100.0	34 28.3	58 48.3	23 19.2	5 4.2
芝西	126 100.0	47 37.3	52 41.3	24 19.0	3 2.4
安行	126 100.0	42 33.3	62 49.2	16 12.7	6 4.8
戸塚	119 100.0	44 37.0	51 42.9	20 16.8	4 3.4
戸塚西	121 100.0	31 25.6	54 44.6	28 23.1	8 6.6
鳩ヶ谷東部	112 100.0	38 33.9	46 41.1	26 23.2	2 1.8
鳩ヶ谷西部	118 100.0	36 30.5	56 47.5	24 20.3	2 1.7

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

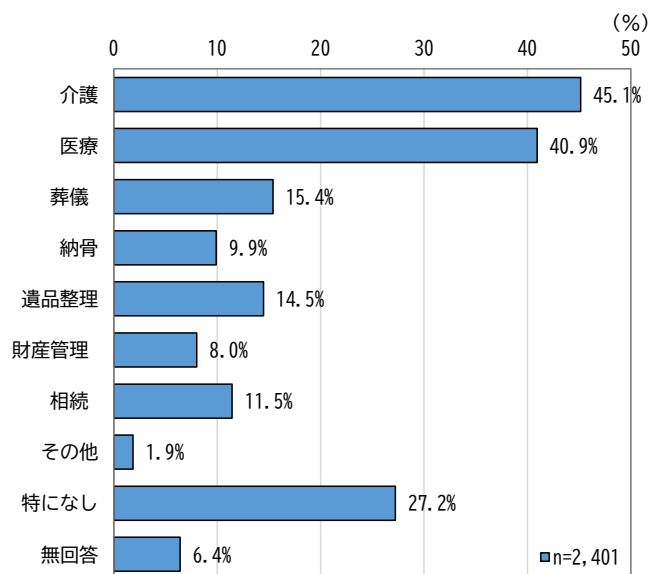
(31)自分の将来についての不安【Q38】

(MA)

○自分の将来についての不安は、「介護」が45.1%で最も高く、次いで「医療」が40.9%、「特になし」が27.2%の順となっています。

○性別にみると、“男性”では「医療」、「女性”では「介護」が最も高くなっています。

○年齢別にみると、“前期高齢者”では「医療」、「後期高齢者”では「介護」が最も高くなっています。

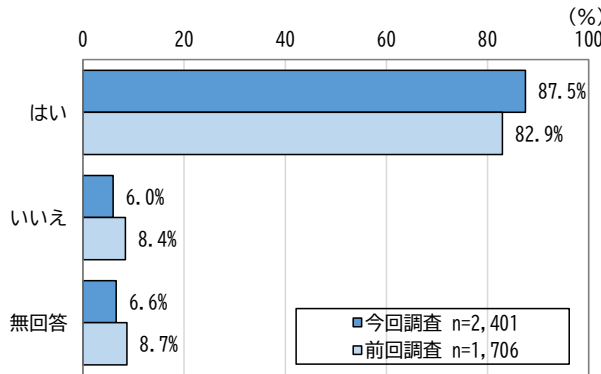


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q38.自分の将来についての不安										
		介護	医療	葬儀	納骨	遺品整理	財産管理	相続	その他	特になし	無回答	
全体	2401 100.0	1084 45.1	983 40.9	370 15.4	238 9.9	348 14.5	193 8.0	275 11.5	45 1.9	654 27.2	154 6.4	
性別	男性	1172 100.0	484 41.3	508 43.3	203 17.3	117 10.0	122 10.4	99 8.4	140 11.9	20 1.7	334 28.5	77 6.6
	女性	1174 100.0	581 49.5	457 38.9	156 13.3	114 9.7	220 18.7	90 7.7	130 11.1	25 2.1	305 26.0	67 5.7
年齢	前期高齢者	887 100.0	392 44.2	397 44.8	152 17.1	107 12.1	146 16.5	92 10.4	113 12.7	23 2.6	241 27.2	38 4.3
	後期高齢者	1447 100.0	668 46.2	567 39.2	207 14.3	124 8.6	192 13.3	95 6.6	155 10.7	21 1.5	396 27.4	104 7.2

(32)終活という言葉の認知度【Q39】

(SA)

- 終活という言葉の認知度は、「はい」が約9割となっています。
- 前回調査に比べ、「はい」が4.6ポイント増加しています。
- 性別、年齢別で大きな違いはみられません。

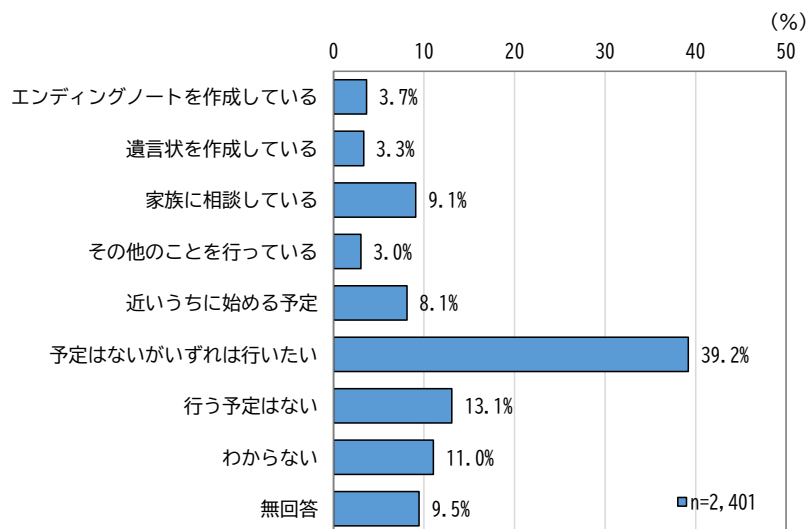


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q39.終活という言葉の認知度			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	2100 87.5	143 6.0	158 6.6	
性別	男性	1172 100.0	1008 86.0	81 6.9	83 7.1
	女性	1174 100.0	1051 89.5	58 4.9	65 5.5
年齢	前期高齢者	887 100.0	834 94.0	24 2.7	29 3.3
	後期高齢者	1447 100.0	1220 84.3	111 7.7	116 8.0

(33)終活を行っているか【Q40】

(SA)

- 終活を行っているかでは、「予定はないがいずれは行いたい」が39.2%で最も高く、次いで「行う予定はない」が13.1%、「わからない」が11.0%となっています。

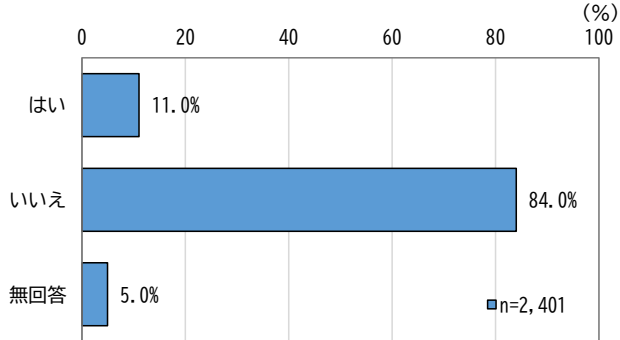


1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

5. 認知症に係る相談窓口の把握について

(34) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無【Q41】 (SA)

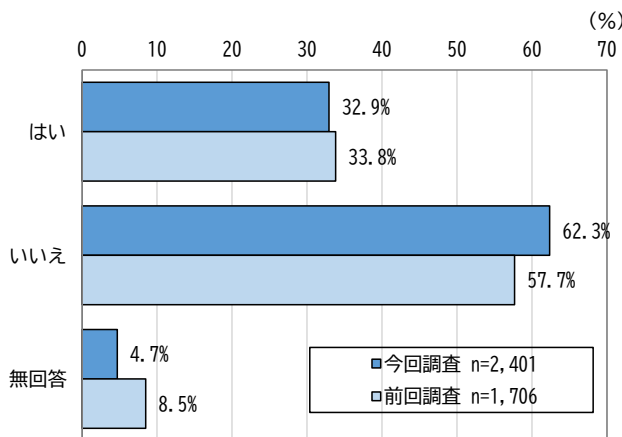
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無は、「いいえ」が約8割となっています。
- 「はい」は、性別、年齢別にみても大きな差異はみられません。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q41.認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	265 11.0	2017 84.0	119 5.0	
性別	男性	1172 100.0	133 11.3	978 83.4	61 5.2
	女性	1174 100.0	128 10.9	998 85.0	48 4.1
年齢	前期高齢者	887 100.0	103 11.6	759 85.6	25 2.8
	後期高齢者	1447 100.0	156 10.8	1209 83.6	82 5.7

(35) 認知症に関する相談窓口の認知度【Q42】 (SA)

- 認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」が32.9%、「いいえ」が62.3%となっています。
- 性別にみると、「いいえ」の割合は“男性”が“女性”に比べて7.5ポイント高くなっています。
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無で「はい」と答えた人の42.6%は、認知症に関する相談窓口を知らないと回答しています。

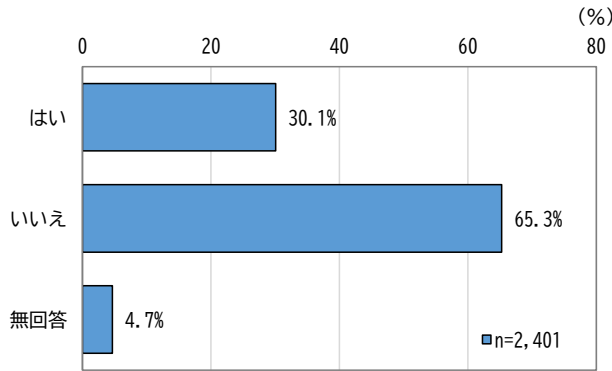


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q42.認知症に関する相談窓口の認知度			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	791 32.9	1497 62.3	113 4.7	
性別	男性	1172 100.0	336 28.7	775 66.1	61 5.2
	女性	1174 100.0	443 37.7	688 58.6	43 3.7
認知症の症状の有無	はい	265 100.0	150 56.6	113 42.6	2 0.8
	いいえ	2017 100.0	631 31.3	1371 68.0	15 0.7

(36) 認知症予防の対策【Q43】

(SA)

- 認知症予防の対策では、「はい」が30.1%、「いいえ」が65.3%となっています。
- 性別にみると、「はい」の割合は“女性”が“男性”に比べ13.4ポイント高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「はい」の割合が高いのは“神根東”“青木”“戸塚西”の順となっています。
- 生活機能評価【認知機能低下】の該当者では、「いいえ」の割合が約7割となり、非該当者に比べやや高くなっています。



【単位】 上段:美数(人) 下段:割合(%)	合計	Q43.認知症予防の対策			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2401 100.0	722 30.1	1567 65.3	112 4.7	
性別	男性	1172 100.0	278 23.7	829 70.7	65 5.5
	女性	1174 100.0	435 37.1	700 59.6	39 3.3
日常生活圏域	中央	114 100.0	38 33.3	72 63.2	4 3.5
	横曽根	115 100.0	28 24.3	83 72.2	4 3.5
	西	161 100.0	49 30.4	105 65.2	7 4.3
	青木	119 100.0	42 35.3	73 61.3	4 3.4
	上青木	108 100.0	32 29.6	72 66.7	4 3.7
	前川	120 100.0	38 31.7	72 60.0	10 8.3
	南平	112 100.0	24 21.4	82 73.2	6 5.4
	南平みなみ	104 100.0	32 30.8	67 64.4	5 4.8
	新郷	118 100.0	31 26.3	80 67.8	7 5.9
	新郷東	95 100.0	26 27.4	66 69.5	3 3.2
	神根	121 100.0	36 29.8	83 68.6	2 1.7
	神根東	106 100.0	48 45.3	53 50.0	5 4.7
	芝	104 100.0	31 29.8	69 66.3	4 3.8
	芝伊刈	120 100.0	32 26.7	81 67.5	7 5.8
	芝西	126 100.0	30 23.8	88 69.8	8 6.3
	安行	126 100.0	42 33.3	78 61.9	6 4.8
	戸塚	119 100.0	39 32.8	78 65.5	2 1.7
	戸塚西	121 100.0	42 34.7	74 61.2	5 4.1
	鳩ヶ谷東部	112 100.0	31 27.7	79 70.5	2 1.8
	鳩ヶ谷西部	118 100.0	37 31.4	77 65.3	4 3.4
認知機能	該当	994 100.0	266 26.8	691 69.5	37 3.7
	非該当	1286 100.0	433 33.7	804 62.5	49 3.8

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(37)認知症予防のため心がけていること【Q43-1】

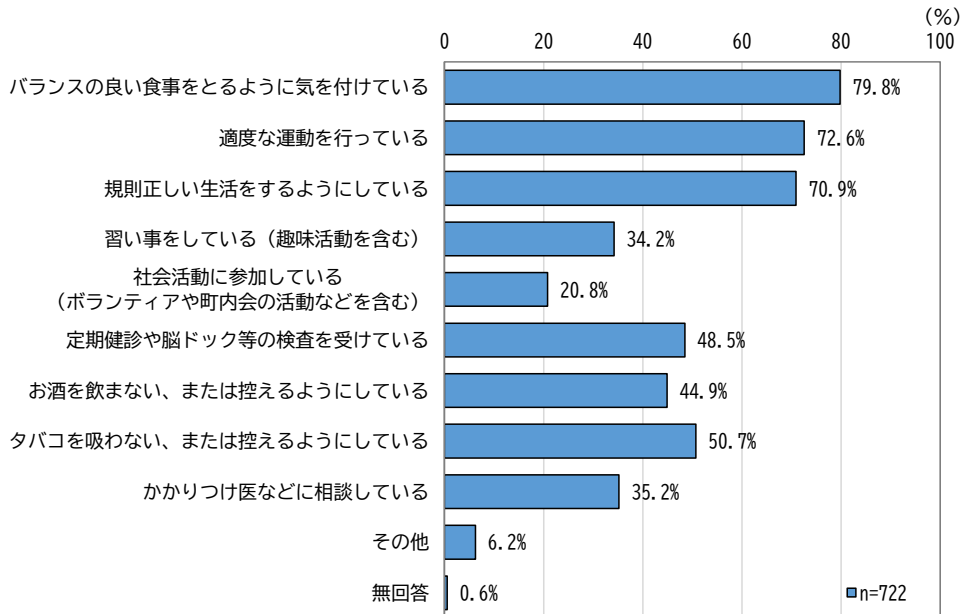
(MA)

【Q43「1. はい」の方のみ】

○認知症予防のため心がけていることでは、「バランスの良い食事をするように気を付けている」が79.8%で最も高く、次いで「適度な運動を行っている」が72.6%、「規則正しい生活をするようにしている」が70.9%となっています。

○性別にみると、“男性”では「適度な運動を行っている」が最も高くなっています。

○生活機能評価【認知機能低下】の該当者では、「規則正しい生活をするようにしている」が“非該当”に比べて9.7ポイント低くなっています。

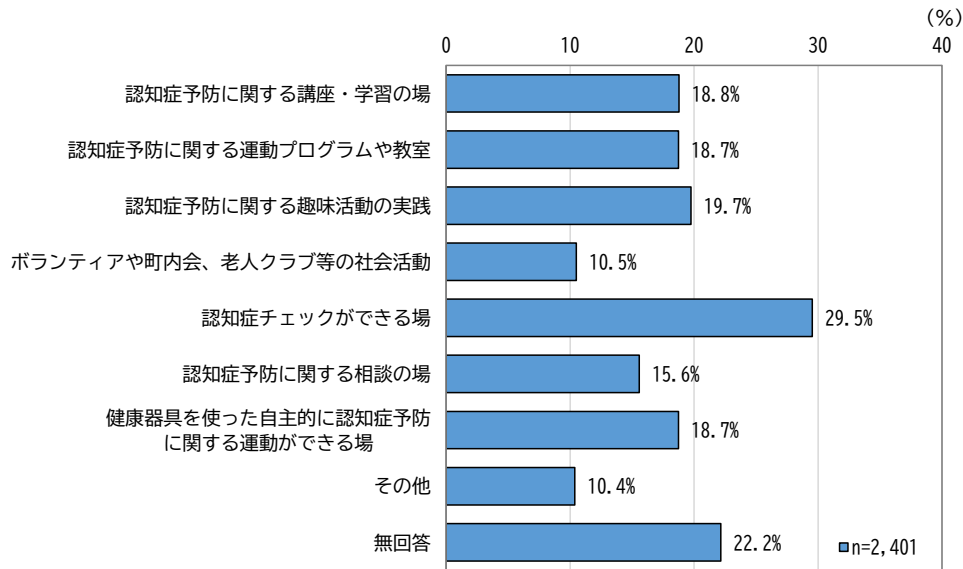


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q43-1.認知症予防のため心がけていること											
		バランスの良い食事をするように気を付けている	適度な運動を行っている	規則正しい生活をするようにしている	習い事をしている (趣味活動を含む)	社会活動に参加している (ボランティアや町内会の活動などを含む)	定期健診や脳ドック等の検査を受けている	お酒を飲まない、または控えるようにしている	タバコを吸わない、または控えるようにしている	かかりつけ医などに相談している	その他	無回答	
全体	722 100.0	576 79.8	524 72.6	512 70.9	247 34.2	150 20.8	350 48.5	324 44.9	366 50.7	254 35.2	45 6.2	4 0.6	
性別	男性	278 100.0	200 71.9	207 74.5	191 68.7	92 33.1	57 20.5	141 50.7	125 45.0	161 57.9	107 38.5	15 5.4	3 1.1
	女性	435 100.0	368 84.6	312 71.7	317 72.9	151 34.7	92 21.1	205 47.1	198 45.5	202 46.4	146 33.6	29 6.7	1 0.2
認知機能 低下	該当	266 100.0	214 80.5	191 71.8	174 65.4	86 32.3	55 20.7	134 50.4	118 44.4	131 49.2	101 38.0	19 7.1	2 0.8
	非該当	433 100.0	346 79.9	318 73.4	325 75.1	154 35.6	91 21.0	208 48.0	194 44.8	225 52.0	145 33.5	23 5.3	2 0.5

(38)参加したい認知症予防活動【Q44】

(MA:3つまで)

- 参加したい認知症予防活動は、「認知症チェックができる場」が29.5%で最も高く、次いで「認知症予防に関する趣味活動の実践」が19.7%、「認知症予防に関する講座・学習の場」が18.8%の順となっています。
- 「認知症予防に関する運動プログラムや教室」は、性別にみると“女性”が“男性”に比べて6.2ポイント高く、年齢別にみると“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて5.2ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q44.参加したい認知症予防活動									
		認知症 予防に 関する講 座・学習 の場	認知症 予防に 関する運 動プロ グラム や教室	認知症 予防に 関する 趣味活 動の実 践	ボラン ティア や町内 会、老 人クラ ブ等の 社会活 動	認知症 チェッ クが でき る場	認知症 予 防に 関 する 相 談の 場	健康器具 を使った 自主的に 認知症 予 防に 関 する 運 動が でき る場	その他	無回答	
全体	2401 100.0	451 18.8	450 18.7	474 19.7	252 10.5	709 29.5	374 15.6	450 18.7	249 10.4	532 22.2	
性別	男性	1172 100.0	211 18.0	186 15.9	231 19.7	130 11.1	354 30.2	189 16.1	204 17.4	129 11.0	254 21.7
	女性	1174 100.0	233 19.8	260 22.1	234 19.9	118 10.1	341 29.0	177 15.1	237 20.2	116 9.9	257 21.9
年齢	前期高齢者	887 100.0	165 18.6	198 22.3	204 23.0	94 10.6	288 32.5	125 14.1	191 21.5	84 9.5	136 15.3
	後期高齢者	1447 100.0	282 19.5	248 17.1	261 18.0	153 10.6	408 28.2	241 16.7	251 17.3	158 10.9	365 25.2
認知 低下 機能	該当	994 100.0	170 17.1	189 19.0	200 20.1	100 10.1	303 30.5	168 16.9	204 20.5	111 11.2	216 21.7
	非該当	1286 100.0	263 20.5	251 19.5	267 20.8	146 11.4	371 28.8	191 14.9	237 18.4	122 9.5	265 20.6

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

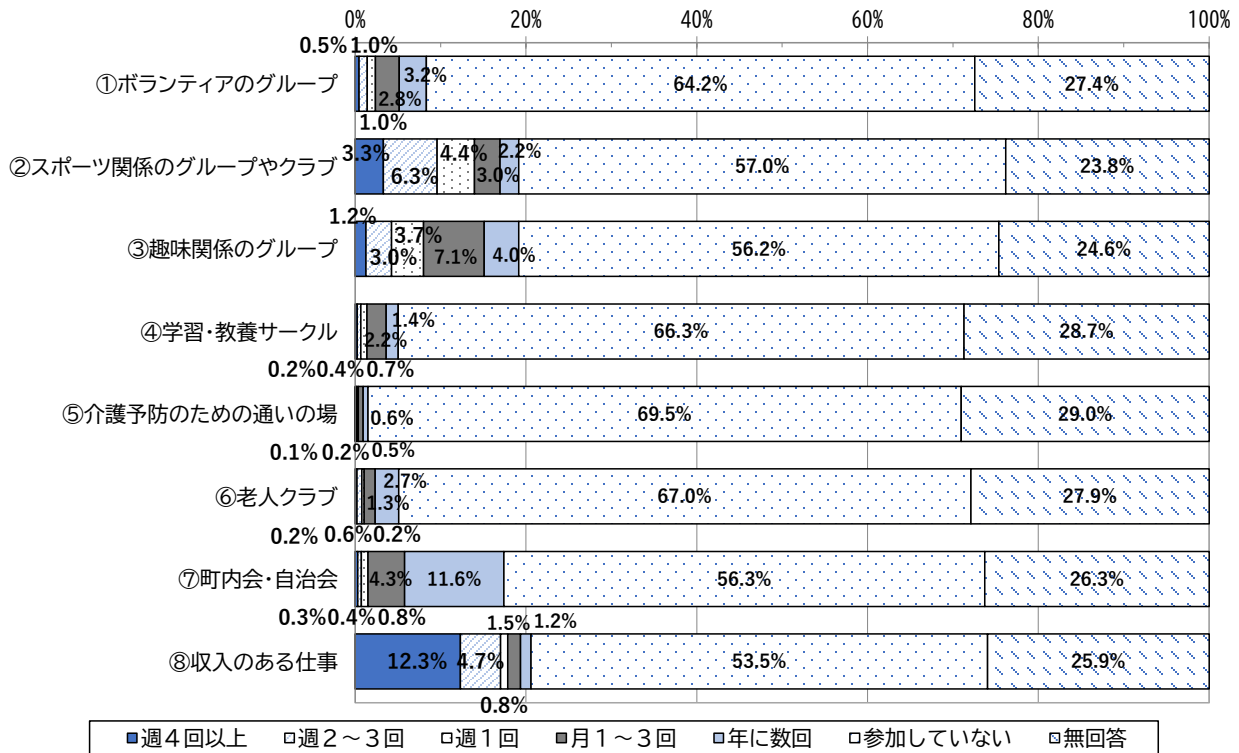
6. 地域の活動について

(39)会・グループ等への参加頻度【Q45】

(SA)

○「週4回以上」と「週2～3回」、「週1回」を合わせた『週1回以上』と比較すると、“収入のある仕事”が17.8%で最も高く、次いで“スポーツ関係のグループやクラブ”が14.0%、“趣味関係のグループ”が7.9%となっています。

○“収入のある仕事”について年齢別にみると、『週1回以上』の割合は“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて24.0ポイント高く、性別にみると‘男性“が”女性“に比べて6.7ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q45.⑧収入のある仕事							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	2401	296	113	20	36	29	1284	623	
	100.0	12.3	4.7	0.8	1.5	1.2	53.5	25.9	
性別	男性	1172	184	64	11	24	16	613	260
	100.0	15.7	5.5	0.9	2.0	1.4	52.3	22.2	
年齢	女性	1174	106	48	9	11	12	651	337
	100.0	9.0	4.1	0.8	0.9	1.0	55.5	28.7	
前期高齢者	887	207	78	7	16	14	455	110	
	100.0	23.3	8.8	0.8	1.8	1.6	51.3	12.4	
後期高齢者	1447	83	34	13	19	14	806	478	
	100.0	5.7	2.3	0.9	1.3	1.0	55.7	33.0	

II 市民調査結果

(40)地域づくり活動や趣味等のグループ活動に参加したいか【Q46】

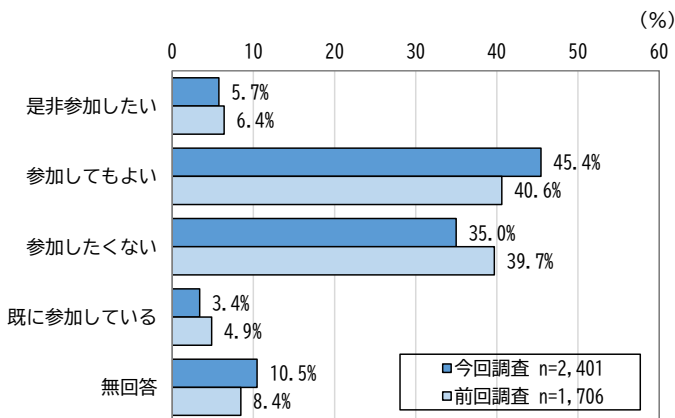
(SA)

○地域づくり活動や趣味等のグループ活動に参加したいかでは、「参加してもよい」が45.4%で最も高く、次いで「参加したくない」が35.0%、「是非参加したい」が5.7%の順となっています。

○前回調査に比べ、「参加してもよい」が4.8ポイント増加、「参加したくない」が4.7ポイント減少しています。

○「既に参加している」は、性別にみると「男性」、年齢別にみると「後期高齢者」がやや高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、「上青木」「南平」「芝」「芝伊刈」では「参加したくない」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q46.地域づくり活動や趣味等のグループ活動に参加したいか					
		是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答	
全体	2401 100.0	138 5.7	1091 45.4	840 35.0	81 3.4	251 10.5	
性別	男性	1172 100.0	56 4.8	551 47.0	400 34.1	46 3.9	119 10.2
	女性	1174 100.0	79 6.7	522 44.5	420 35.8	33 2.8	120 10.2
年齢	前期高齢者	887 100.0	44 5.0	439 49.5	331 37.3	19 2.1	54 6.1
	後期高齢者	1447 100.0	91 6.3	636 44.0	482 33.3	58 4.0	180 12.4
日常生活圏域	中央	114 100.0	6 5.3	57 50.0	36 31.6	5 4.4	10 8.8
	横曽根	115 100.0	4 3.5	57 49.6	44 38.3	2 1.7	8 7.0
	西	161 100.0	8 5.0	77 47.8	59 36.6	3 1.9	14 8.7
	青木	119 100.0	6 5.0	53 44.5	45 37.8	2 1.7	13 10.9
	上青木	108 100.0	8 7.4	36 33.3	44 40.7	5 4.6	15 13.9
	前川	120 100.0	5 4.2	52 43.3	48 40.0	2 1.7	13 10.8
	南平	112 100.0	6 5.4	45 40.2	45 40.2	4 3.6	12 10.7
	南平みなみ	104 100.0	9 8.7	45 43.3	30 28.8	8 7.7	12 11.5
	新郷	118 100.0	4 3.4	58 49.2	40 33.9	6 5.1	10 8.5
	新郷東	95 100.0	3 3.2	47 49.5	34 35.8	1 1.1	10 10.5
	神根	121 100.0	9 7.4	57 47.1	40 33.1	5 4.1	10 8.3
	神根東	106 100.0	7 6.6	56 52.8	30 28.3	3 2.8	10 9.4
	芝	104 100.0	5 4.8	40 38.5	42 40.4	3 2.9	14 13.5
	芝伊刈	120 100.0	5 4.2	48 40.0	50 41.7	4 3.3	13 10.8
	芝西	126 100.0	9 7.1	62 49.2	37 29.4	2 1.6	16 12.7
	安行	126 100.0	8 6.3	51 40.5	49 38.9	4 3.2	14 11.1
	戸塚	119 100.0	13 10.9	60 50.4	32 26.9	4 3.4	10 8.4
	戸塚西	121 100.0	9 7.4	58 47.9	38 31.4	6 5.0	10 8.3
	鳩ヶ谷東部	112 100.0	7 6.3	52 46.4	34 30.4	6 5.4	13 11.6
	鳩ヶ谷西部	118 100.0	5 4.2	59 50.0	42 35.6	4 3.4	8 6.8

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

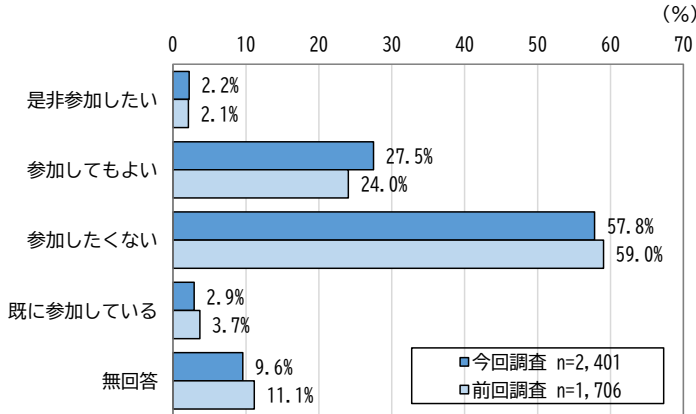
(41)地域づくりの活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加したいか【Q47】 (SA)

○地域づくりの活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加したいかでは、「参加したくない」が57.8%で最も高く、次いで「参加してもよい」が27.5%、「既に参加している」が2.9%となっています。

○前回調査に比べ、「参加してもよい」が3.5ポイント増加しています。

○「既に参加している」は、性別にみると「男性」、年齢別にみると“後期高齢者”がやや高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、「参加してもよい」の割合が高いのは“戸塚西”“神根東”“安行”の順となっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q47.地域づくりの活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加したいか				
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	2401	53	660	1388	70	230
	100.0	2.2	27.5	57.8	2.9	9.6
性別						
男性	1172	22	370	653	45	82
	100.0	1.9	31.6	55.7	3.8	7.0
女性	1174	31	278	707	24	134
	100.0	2.6	23.7	60.2	2.0	11.4
年齢						
前期高齢者	887	20	284	535	14	34
	100.0	2.3	32.0	60.3	1.6	3.8
後期高齢者	1447	31	365	818	53	180
	100.0	2.1	25.2	56.5	3.7	12.4
日常生活圏域						
中央	114	3	31	67	4	9
	100.0	2.6	27.2	58.8	3.5	7.9
横曽根	115	3	35	68	1	8
	100.0	2.6	30.4	59.1	0.9	7.0
西	161	3	41	98	3	16
	100.0	1.9	25.5	60.9	1.9	9.9
青木	119	4	26	74	3	12
	100.0	3.4	21.8	62.2	2.5	10.1
上青木	108	6	20	71	1	10
	100.0	5.6	18.5	65.7	0.9	9.3
前川	120	1	30	68	2	19
	100.0	0.8	25.0	56.7	1.7	15.8
南平	112	2	34	68	3	5
	100.0	1.8	30.4	60.7	2.7	4.5
南平みなみ	104	2	32	56	5	9
	100.0	1.9	30.8	53.8	4.8	8.7
新郷	118	3	31	73	4	7
	100.0	2.5	26.3	61.9	3.4	5.9
新郷東	95	1	27	58	0	9
	100.0	1.1	28.4	61.1	0.0	9.5
神根	121	4	31	72	4	10
	100.0	3.3	25.6	59.5	3.3	8.3
神根東	106	2	35	57	1	11
	100.0	1.9	33.0	53.8	0.9	10.4
芝	104	3	23	63	5	10
	100.0	2.9	22.1	60.6	4.8	9.6
芝伊刈	120	2	36	70	4	8
	100.0	1.7	30.0	58.3	3.3	6.7
芝西	126	1	37	71	4	13
	100.0	0.8	29.4	56.3	3.2	10.3
安行	126	3	41	69	4	9
	100.0	2.4	32.5	54.8	3.2	7.1
戸塚	119	2	34	66	3	14
	100.0	1.7	28.6	55.5	2.5	11.8
戸塚西	121	4	43	66	3	5
	100.0	3.3	35.5	54.5	2.5	4.1
鳩ヶ谷東部	112	3	27	58	8	16
	100.0	2.7	24.1	51.8	7.1	14.3
鳩ヶ谷西部	118	1	33	67	5	12
	100.0	0.8	28.0	56.8	4.2	10.2

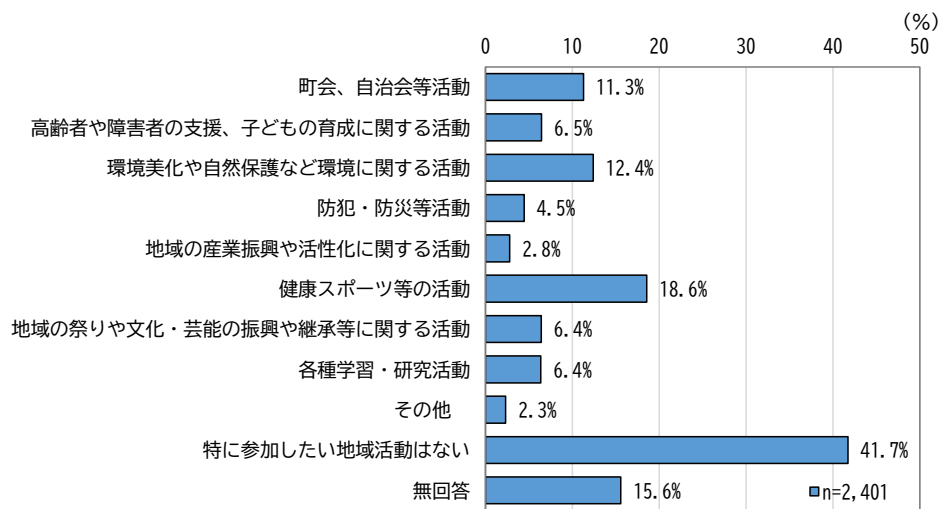
(42)参加したい、または続けたい地域活動【Q48】

(MA)

○参加したい、または続けたい地域活動は、「特に参加したい地域活動はない」が41.7%で最も高く、次いで「健康スポーツ等の活動」が18.6%、「環境美化や自然保護など環境に関する活動」が12.4%の順となっています。

○地域づくりの活動等への参加者としての参加意向別にみると、「是非参加したい」では「健康スポーツ等の活動」、「既に参加している」では「町会、自治会等活動」が最も高くなっています。

○地域づくりの活動等への企画・運営としての参加意向別にみると、「是非参加したい」「参加してもよい」では「健康スポーツ等の活動」、「既に参加している」では「町会、自治会等活動」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q48.参加したい、または続けたい地域活動											
		町会、自治会等活動	高齢者や障害者の支援、子どもの育成に関する活動	環境美化や自然保護など環境に関する活動	防犯・防災等活動	地域の産業振興や活性化に関する活動	健康スポーツ等の活動	地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動	各種学習・研究活動	その他	特に参加したい地域活動はない	無回答	
全体	2401 100.0	271 11.3	155 6.5	298 12.4	107 4.5	67 2.8	446 18.6	154 6.4	153 6.4	56 2.3	1002 41.7	374 15.6	
参加者としての参加意向	是非参加したい	138 100.0	40 29.0	30 21.7	37 26.8	20 14.5	9 6.5	73 52.9	28 20.3	25 18.1	1 0.7	11 8.0	13 9.4
	参加してもよい	1091 100.0	152 13.9	97 8.9	199 18.2	66 6.0	45 4.1	285 26.1	93 8.5	95 8.7	22 2.0	333 30.5	112 10.3
	参加したくない	840 100.0	32 3.8	9 1.1	28 3.3	3 0.4	7 0.8	36 4.3	11 1.3	21 2.5	19 2.3	593 70.6	121 14.4
	既に参加している	81 100.0	26 32.1	6 7.4	17 21.0	10 12.3	2 2.5	25 30.9	13 16.0	6 7.4	5 6.2	13 16.0	5 6.2
企画・運営としての参加意向	是非参加したい	53 100.0	23 43.4	20 37.7	15 28.3	8 15.1	4 7.5	30 56.6	14 26.4	9 17.0	1 1.9	1 1.9	3 5.7
	参加してもよい	660 100.0	138 20.9	93 14.1	175 26.5	59 8.9	52 7.9	242 36.7	88 13.3	81 12.3	15 2.3	94 14.2	36 5.5
	参加したくない	1388 100.0	69 5.0	29 2.1	88 6.3	29 2.1	8 0.6	137 9.9	32 2.3	57 4.1	30 2.2	878 63.3	164 11.8
	既に参加している	70 100.0	29 41.4	8 11.4	14 20.0	9 12.9	2 2.9	25 35.7	14 20.0	5 7.1	5 7.1	3 4.3	5 7.1

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

7. たすけあいについて

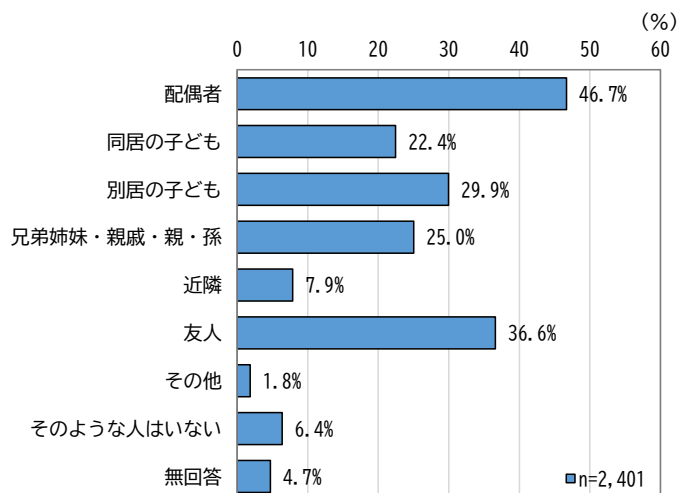
(43)心配事や愚痴を聞いてくれる人【Q49】

(MA)

○心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「配偶者」が46.7%で最も高く、次いで「友人」が36.6%、「別居の子ども」が29.9%となっています。

○性別にみると、“男性”では「配偶者」、「女性」では「友人」が最も高くなっています。

○生活機能評価【うつ傾向】⁶の該当者では、「そのような人はいない」が非該当者に比べ3.7ポイント高くなっています。



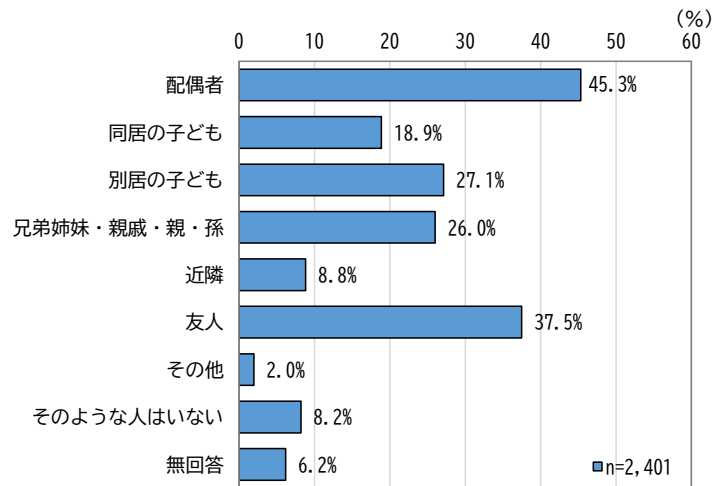
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q49.心配事や愚痴を聞いてくれる人									
		配偶者	同居の子 ども	別居の子 ども	兄弟姉 妹・親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのよ うな人はい ない	無回答	
全体	2401 100.0	1121 46.7	539 22.4	719 29.9	601 25.0	189 7.9	879 36.6	44 1.8	153 6.4	113 4.7	
性別	男性	1172 100.0	710 60.6	187 16.0	291 24.8	212 18.1	49 4.2	302 25.8	24 2.0	105 9.0	50 4.3
	女性	1174 100.0	393 33.5	341 29.0	421 35.9	379 32.3	138 11.8	561 47.8	20 1.7	42 3.6	53 4.5
うつ 傾向	該当	833 100.0	345 41.4	180 21.6	234 28.1	220 26.4	73 8.8	305 36.6	14 1.7	73 8.8	22 2.6
	非該当	1378 100.0	721 52.3	332 24.1	455 33.0	348 25.3	108 7.8	539 39.1	27 2.0	70 5.1	22 1.6

⁶ 生活機能評価【うつ傾向】:詳細は 72 ページ参照。

(44)心配事や愚痴を聞いてあげる人【Q50】

(MA)

- 心配事や愚痴を聞いてあげる人では、「配偶者」が45.3%で最も高く、次いで「友人」が37.5%、「別居の子ども」が27.1%となっています。
- 性別にみると、“男性”では「配偶者」、「女性」では「友人」が最も高くなっています。
- 生活機能評価【うつ傾向】の該当者では、「そのような人はいない」が非該当者に比べ5.2ポイント高くなっています。



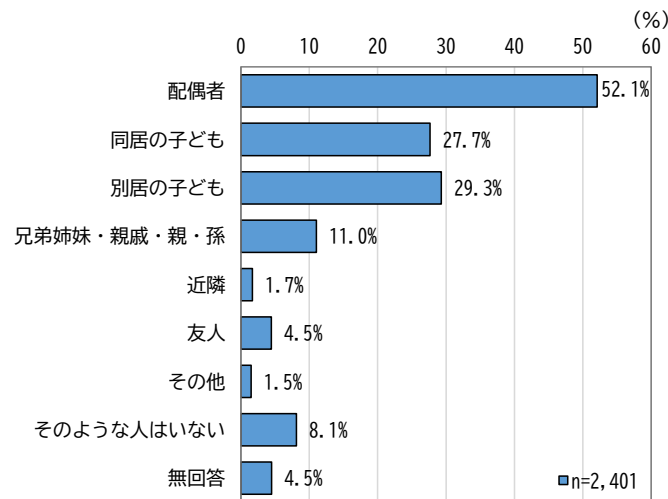
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q50.心配事や愚痴を聞いてあげる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2401 100.0	1088 45.3	453 18.9	651 27.1	624 26.0	212 8.8	900 37.5	47 2.0	197 8.2	148 6.2	
性別	男性	689 100.0	163 58.8	284 13.9	234 24.2	69 20.0	293 5.9	24 25.0	122 2.0	69 5.9	
	女性	1174 100.0	381 32.5	280 23.9	378 30.6	140 11.9	590 50.3	23 2.0	71 6.0	68 5.8	
うつ傾向	該当	833 100.0	338 40.6	149 17.9	198 23.8	216 25.9	81 9.7	326 39.1	17 2.0	98 11.8	31 3.7
	非該当	1378 100.0	699 50.7	289 21.0	430 31.2	377 27.4	123 8.9	542 39.3	28 2.0	91 6.6	30 2.2

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(45)看病や世話をしてくれる人【Q51】

(MA)

- 看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」が52.1%で最も高く、次いで「別居の子ども」が29.3%、「同居の子ども」が27.7%となっています。
- 性別にみると、“男性”では「配偶者」は“女性”に比べ28.8ポイント高くなっている一方で、「同居の子ども」と「別居の子ども」を合わせた『子ども』は25.5ポイント低くなっています。
- 生活機能評価【うつ傾向】の該当者では、「そのような人はいない」が非該当者に比べ6.7ポイント高くなっています。

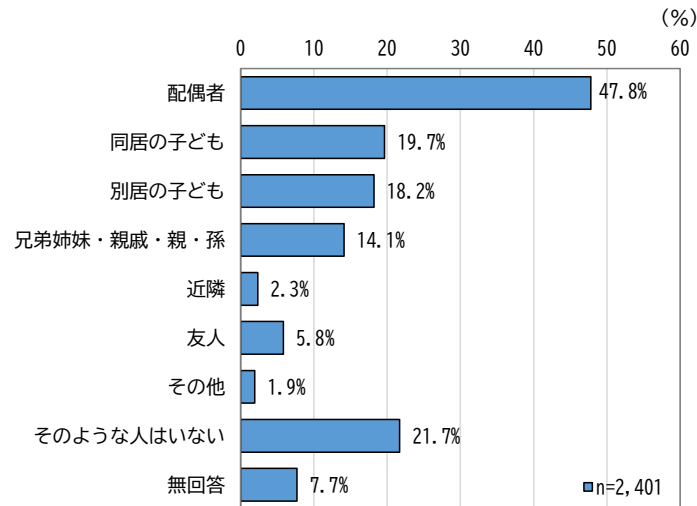


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q51.看病や世話をしてくれる人									
		配偶者	同居の子 ども	別居の子 ども	兄弟姉 妹・親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのよう な人はい ない	無回答	
全体	2401 100.0	1251 52.1	664 27.7	704 29.3	265 11.0	41 1.7	107 4.5	36 1.5	195 8.1	108 4.5	
性別	男性	1172 100.0	783 66.8	235 20.1	290 24.7	116 9.9	10 0.9	32 2.7	9 0.8	111 9.5	41 3.5
	女性	1174 100.0	446 38.0	417 35.5	408 34.8	144 12.3	31 2.6	73 6.2	25 2.1	78 6.6	55 4.7
うつ 傾向	該当	833 100.0	388 46.6	219 26.3	209 25.1	81 9.7	11 1.3	35 4.2	18 2.2	103 12.4	22 2.6
	非該当	1378 100.0	796 57.8	413 30.0	459 33.3	167 12.1	27 2.0	64 4.6	18 1.3	79 5.7	18 1.3

(46)看病や世話をしあける人【Q52】

(MA)

- 看病や世話をしあける人では、「配偶者」が47.8%、次いで「そのような人はいない」が21.7%、「同居の子ども」が19.7%となっています。
- 性別にみると、“男性”では「配偶者」は“女性”に比べ20.1ポイント高くなっている一方で、「同居の子ども」と「別居の子ども」を合わせた『子ども』は16.6ポイント低くなっています。
- 生活機能評価【うつ傾向】の該当者と非該当者で大きな差はありません。



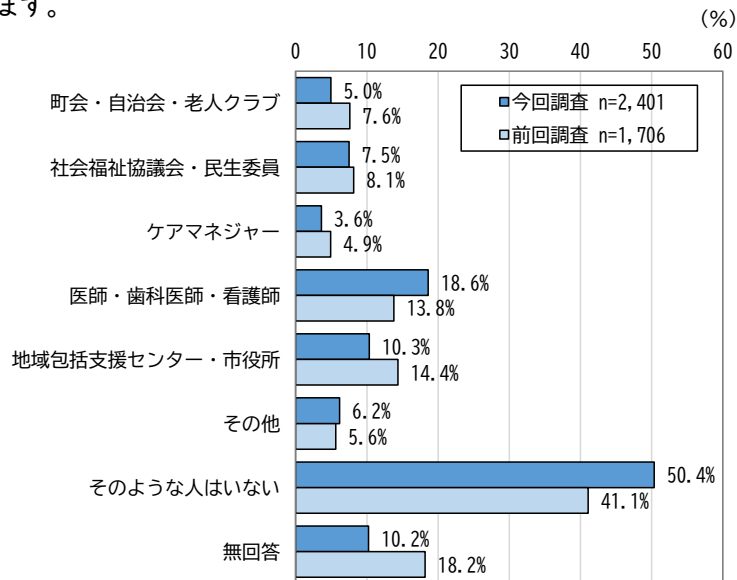
【単位】 上段:美数(人) 下段:割合(%)	合計	Q52. 看病や世話をしあける人									
		配偶者	同居の子 ども	別居の子 ども	兄弟姉 妹・親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのよう な人はい ない	無回答	
全体	2401 100.0	1148 47.8	472 19.7	437 18.2	339 14.1	56 2.3	140 5.8	46 1.9	521 21.7	185 7.7	
性別	男性	1172 100.0	682 58.2	173 14.8	176 15.0	140 11.9	14 1.2	39 3.3	23 2.0	263 22.4	69 5.9
	女性	1174 100.0	447 38.1	290 24.7	255 21.7	193 16.4	42 3.6	101 8.6	22 1.9	244 20.8	104 8.9
うつ 傾向	該当	833 100.0	388 46.6	157 18.8	123 14.8	121 14.5	21 2.5	44 5.3	17 2.0	196 23.5	50 6.0
	非該当	1378 100.0	704 51.1	291 21.1	295 21.4	203 14.7	33 2.4	90 6.5	28 2.0	292 21.2	55 4.0

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(47) 家族や友人・知人以外の相談相手【Q53】

(MA)

- 家族や友人・知人以外の相談相手は、「そのような人はいない」が50.4%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が18.6%、「地域包括支援センター・市役所」が10.3%の順となっています。
- 前回調査と比べて、「そのような人はいない」が9.3ポイントと大きく増加しています。
- 年齢別にみると、「前期高齢者」では「後期高齢者」に比べて、「そのような人はいない」が15.2ポイント高くなっています。
- 「地域活動にほぼ参加しない」の該当者では、「そのような人はいない」が非該当者に比べ12.6ポイント高くなっています。



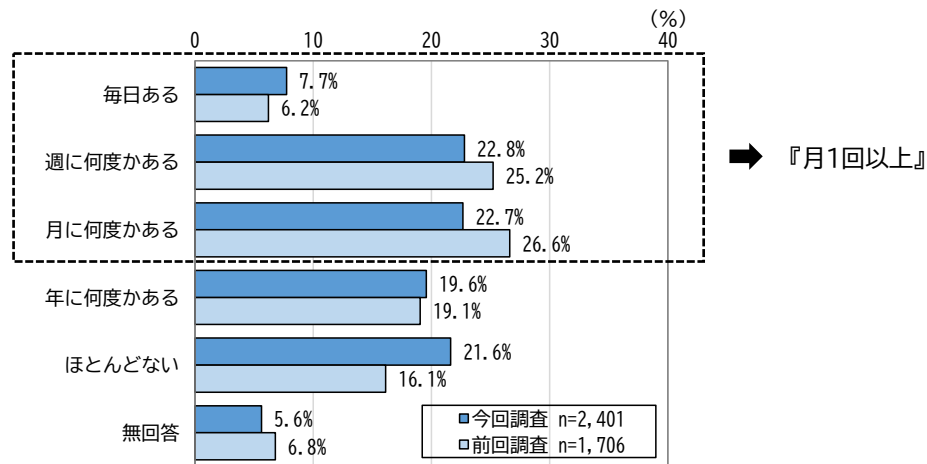
【単位】 上段: 実数(人) 下段: 割合(%)	合計	Q53. 家族や友人・知人以外の相談相手								
		町会・自治会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2401 100.0	119 5.0	180 7.5	87 3.6	447 18.6	248 10.3	148 6.2	1209 50.4	246 10.2	
年齢	前期高齢者	887 100.0	34 3.8	23 2.6	26 2.9	156 17.6	72 8.1	64 7.2	533 60.1	46 5.2
	後期高齢者	1447 100.0	82 5.7	152 10.5	60 4.1	283 19.6	168 11.6	81 5.6	650 44.9	184 12.7
地域参加活動に ほぼ参加しない	該当	919 100.0	23 2.5	55 6.0	32 3.5	157 17.1	79 8.6	50 5.4	548 59.6	61 6.6
	非該当	1144 100.0	90 7.9	98 8.6	43 3.8	252 22.0	144 12.6	80 7.0	538 47.0	77 6.7

※「地域活動にほぼ参加しない」=問45①～⑧のすべてで「5.年に数回」又は「6.参加していない」に該当する人

(48)友人・知人と会う頻度【Q54】

(SA)

- 友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」が22.8%で最も高く、次いで「月に何度かある」が22.7%、「ほとんどない」が21.6%の順となっています。
- 『月1回以上』は53.2%で、前回調査に比べ4.8ポイント減少した一方、「ほとんどない」が5.5ポイント増加しています。
- 性別にみると、“男性”では「ほとんどない」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”は「年に何度かある」、「後期高齢者”は「週に何度かある」が最も高くなっています。



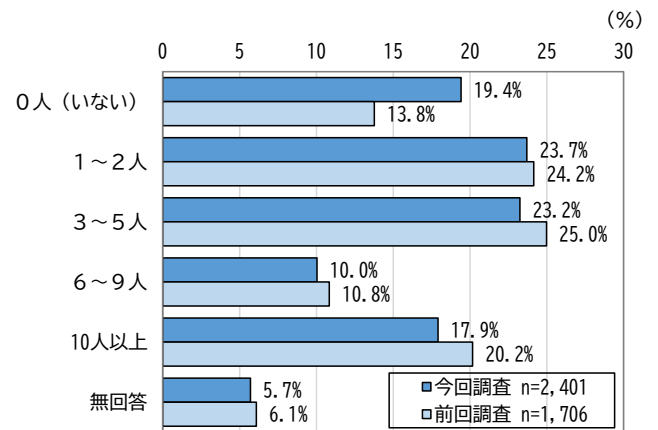
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q54.友人・知人と会う頻度						
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
全体	2401 100.0	186 7.7	547 22.8	544 22.7	470 19.6	519 21.6	135 5.6	
性別	男性	1172 100.0	101 8.6	224 19.1	254 21.7	252 21.5	291 24.8	50 4.3
	女性	1174 100.0	82 7.0	318 27.1	279 23.8	208 17.7	213 18.1	74 6.3
年齢	前期高齢者	887 100.0	81 9.1	194 21.9	194 21.9	203 22.9	188 21.2	27 3.0
	後期高齢者	1447 100.0	97 6.7	345 23.8	334 23.1	260 18.0	318 22.0	93 6.4

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(49)この1か月間、友人・知人と会った人数【Q55】

(SA)

- この1か月間、友人・知人と会った人数は、「1~2人」が23.7%で最も高く、次いで「3~5人」が23.2%、「0人(いない)」が19.4%の順となっています。
- 前回調査と比較すると、「0人(いない)」が5.6ポイント増加しています。
- 性別にみると、「男性」では「0人(いない)」、「女性」では「3~5人」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、「前期高齢者」は「3~5人」、「後期高齢者」は「1~2人」が最も高くなっており、年齢が上がるにつれて友人・知人と会う人数が減少する傾向がみられます。

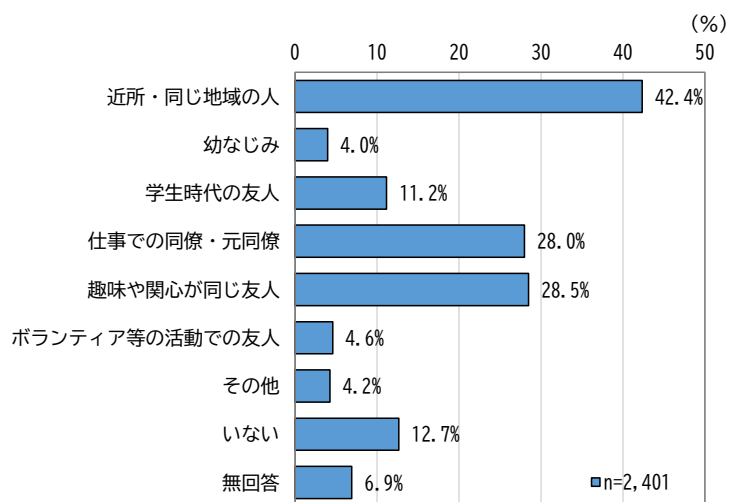


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q55.この1か月間、友人・知人と会った人数						
		0人(いない)	1~2人	3~5人	6~9人	10人以上	無回答	
全体	2401 100.0	466 19.4	569 23.7	558 23.2	241 10.0	430 17.9	137 5.7	
性別	男性	1172 100.0	275 23.5	266 22.7	252 21.5	114 9.7	215 18.3	50 4.3
	女性	1174 100.0	179 15.2	288 24.5	299 25.5	123 10.5	211 18.0	74 6.3
年齢	前期高齢者	887 100.0	195 22.0	194 21.9	199 22.4	88 9.9	190 21.4	21 2.4
	後期高齢者	1447 100.0	261 18.0	354 24.5	347 24.0	149 10.3	235 16.2	101 7.0

(50)よく会う友人・知人との関係【Q56】

(MA)

- よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が42.4%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が28.5%、「仕事での同僚・元同僚」が28.0%の順となっています。
- 性別にみると、男女とも「近所・同じ地域の人」が最も高くなっていますが、「女性」が50.3%で「男性」に比べ15.5ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「前期高齢者」では「仕事での同僚・元同僚」が最も高くなっています。



II 市民調査結果

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q56.よく会う友人・知人との関係								
		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	2401 100.0	1017 42.4	95 4.0	268 11.2	672 28.0	684 28.5	110 4.6	102 4.2	304 12.7	166 6.9
性別	男性	408 34.8	55 4.7	156 13.3	390 33.3	304 25.9	60 5.1	39 3.3	188 16.0	77 6.6
	女性	591 50.3	39 3.3	108 9.2	273 23.3	368 31.3	49 4.2	62 5.3	107 9.1	76 6.5
年齢	前期高齢者	282 31.8	33 3.7	148 16.7	357 40.2	272 30.7	38 4.3	31 3.5	120 13.5	38 4.3
	後期高齢者	709 49.0	60 4.1	116 8.0	305 21.1	399 27.6	70 4.8	68 4.7	179 12.4	112 7.7

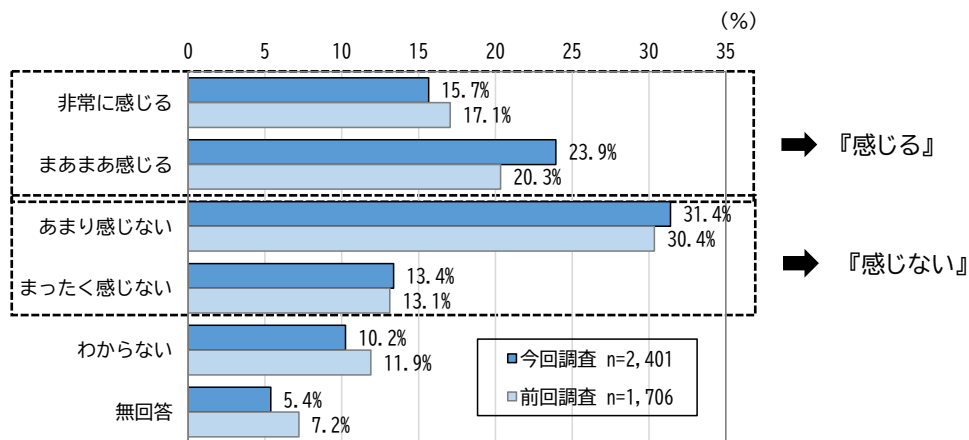
(51) 孤独死について身近な問題だと感じるか【Q57】

(SA)

○孤独死について身近な問題だと感じるかでは、「あまり感じない」が31.4%で最も高く、次いで「まあまあ感じる」が23.9%、「非常に感じる」が15.7%の順となっています。「非常に感じる」と「まあまあ感じる」を合わせた『感じる』が39.6%、「あまり感じない」と「まったく感じない」を合わせた『感じない』が44.8%となっています。

○前回調査と比べ、『感じる』は2.2ポイント増加、『感じない』は1.3ポイント増加となっています。

○家族構成別にみると、「1人暮らし」では『感じる』が7割以上となっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q57.孤独死について身近な問題だと感じるか						
		非常に感じる	まあまあ感じる	あまり感じない	まったく感じない	わからない	無回答	
全体	2401 100.0	376 15.7	575 23.9	754 31.4	321 13.4	246 10.2	129 5.4	
家族構成	1人暮らし	482 100.0	168 34.9	183 38.0	61 12.7	14 2.9	31 6.4	25 5.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	826 100.0	95 11.5	200 24.2	295 35.7	103 12.5	88 10.7	45 5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	102 100.0	12 11.8	18 17.6	47 46.1	17 16.7	5 4.9	3 2.9
	息子・娘との2世帯	400 100.0	35 8.8	65 16.3	142 35.5	88 22.0	46 11.5	24 6.0
	その他	445 100.0	43 9.7	76 17.1	172 38.7	77 17.3	63 14.2	14 3.1

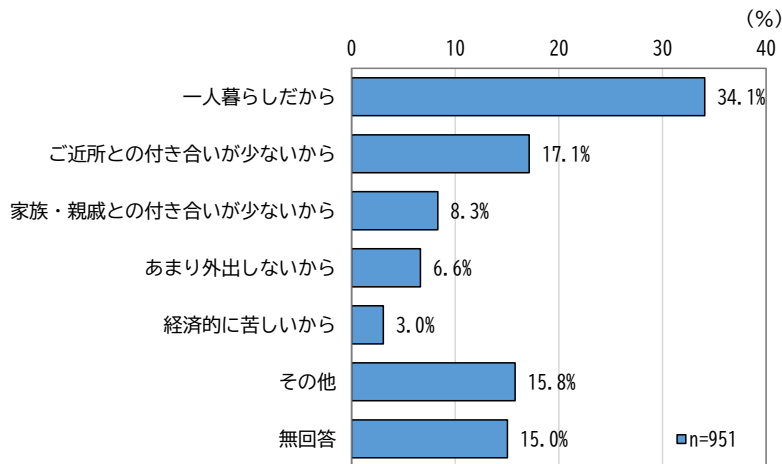
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(52) 孤独死が身近な問題だと感じる理由【Q57-1】

(SA)

【Q57「1. 非常に感じる」「2. まあまあ感じる」の方のみ】

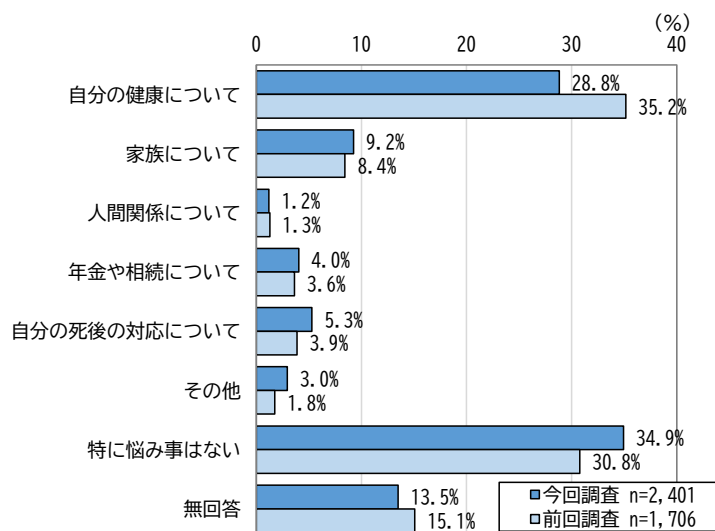
- 孤独死が身近な問題だと感じる理由は、「一人暮らしだから」が34.1%で最も高く、次いで「ご近所との付き合いが少ないから」が17.1%、「その他」が15.8%の順となっています。
- 「その他」の内容は、「将来一人暮らしになる可能性がある（配偶者が亡くなった時等）」「同居の家族が日中外出している」「家族が遠くに住んでいる」「知り合いにいないから」等となっています。



(53) 現在の悩み事【Q58】

(SA)

- 現在の悩み事は、「特に悩み事はない」が34.9%で最も高く、次いで「自分の健康について」が28.8%、「家族について」が9.2%の順となっています。
- 前回調査と比べて、「自分の健康について」が6.4ポイント減少、「特に悩み事はない」が4.1ポイント増加しています。
- 「自分の健康について」は、性別にみると「女性」は「男性」に比べ2.4ポイント高く、年齢別にみると「後期高齢者」は「前期高齢者」に比べ5.5ポイント高くなっています。
- 家族構成別にみると、「一人暮らし」は「自分の健康について」が最も高くなっています。



II 市民調査結果

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q58.現在の悩み事								
		自分の健康について	家族について	人間関係について	年金や相続について	自分の死後の対応について	その他	特に悩み事はない	無回答	
全体	2401 100.0	692 28.8	222 9.2	29 1.2	97 4.0	127 5.3	71 3.0	839 34.9	324 13.5	
性別	男性	1172 100.0	325 27.7	110 9.4	8 0.7	58 4.9	72 6.1	31 2.6	421 35.9	147 12.5
	女性	1174 100.0	353 30.1	112 9.5	20 1.7	39 3.3	49 4.2	38 3.2	401 34.2	162 13.8
年齢	前期高齢者	887 100.0	228 25.7	88 9.9	16 1.8	44 5.0	43 4.8	29 3.3	334 37.7	105 11.8
	後期高齢者	1447 100.0	451 31.2	131 9.1	12 0.8	52 3.6	77 5.3	40 2.8	484 33.4	200 13.8
家族構成	1人暮らし	482 100.0	168 34.9	16 3.3	6 1.2	13 2.7	51 10.6	15 3.1	159 33.0	54 11.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳)	826 100.0	228 27.6	91 11.0	8 1.0	43 5.2	33 4.0	23 2.8	296 35.8	104 12.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳)	102 100.0	31 30.4	11 10.8	2 2.0	5 4.9	3 2.9	4 3.9	35 34.3	11 10.8
	息子・娘との2 世帯	400 100.0	115 28.8	36 9.0	6 1.5	14 3.5	12 3.0	9 2.3	157 39.3	51 12.8
	その他	445 100.0	107 24.0	56 12.6	4 0.9	21 4.7	22 4.9	16 3.6	157 35.3	62 13.9

8. 健康について

(54)主観的健康感【Q59】

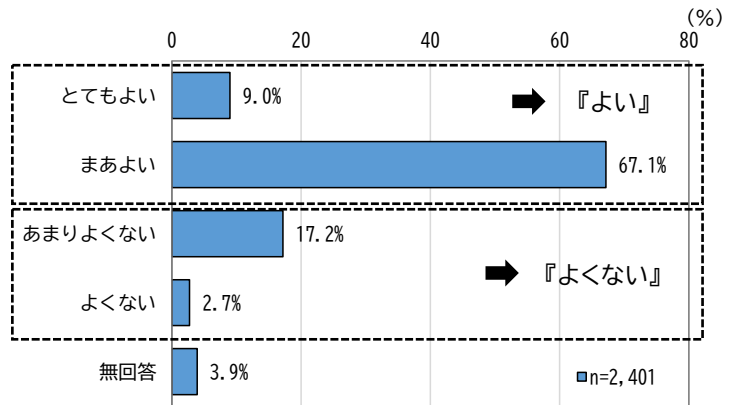
(SA)

○主観的健康感は、「まあよい」が67.1%で最も高くなっています。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が76.1%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が19.9%となっています。

○趣味、生きがいの有無別にみると、“趣味・生きがいあり”の人では、『よい』と回答した人が8割以上となり、“思いつかない”に比べて高くなっています。

○友人・知人と会う頻度別にみると、“毎日ある”の人では、『よい』と回答した人が9割以上となり、“ほとんどない”に比べて25.6ポイント高くなっています。

○現在の悩み事別にみると、“特に悩み事はない”人では、『よい』と回答した人が9割以上となっています。



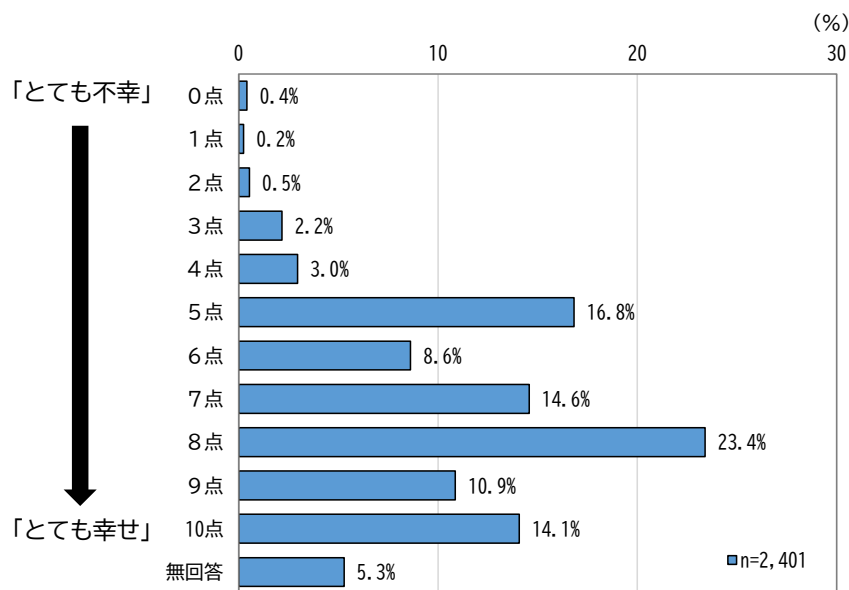
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q59.主観的健康感					
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全体	2401 100.0	216 9.0	1612 67.1	413 17.2	66 2.7	94 3.9	
趣味	趣味あり	1508 100.0	168 11.1	1074 71.2	198 13.1	23 1.5	45 3.0
	思いつかない	711 100.0	34 4.8	436 61.3	186 26.2	35 4.9	20 2.8
生きがい	生きがいあり	1210 100.0	159 13.1	846 69.9	150 12.4	22 1.8	33 2.7
	思いつかない	986 100.0	46 4.7	636 64.5	234 23.7	38 3.9	32 3.2
友人・知人と会う頻度	毎日ある	186 100.0	42 22.6	127 68.3	15 8.1	2 1.1	0 0.0
	週に何度かある	547 100.0	59 10.8	406 74.2	68 12.4	6 1.1	8 1.5
	月に何度かある	544 100.0	49 9.0	382 70.2	95 17.5	16 2.9	2 0.4
	年に何度かある	470 100.0	34 7.2	342 72.8	79 16.8	11 2.3	4 0.9
	ほとんどない	519 100.0	26 5.0	313 60.3	146 28.1	28 5.4	6 1.2
現在の悩み事	自分の健康について	692 100.0	23 3.3	416 60.1	217 31.4	29 4.2	7 1.0
	家族について	222 100.0	13 5.9	160 72.1	42 18.9	6 2.7	1 0.5
	人間関係について	29 100.0	1 3.4	25 86.2	3 10.3	0 0.0	0 0.0
	年金や相続について	97 100.0	9 9.3	75 77.3	9 9.3	3 3.1	1 1.0
	自分の死後の対応について	127 100.0	11 8.7	89 70.1	23 18.1	3 2.4	1 0.8
	その他	71 100.0	6 8.5	48 67.6	14 19.7	3 4.2	0 0.0
	特に悩み事はない	839 100.0	128 15.3	638 76.0	60 7.2	4 0.5	9 1.1

(55)主観的幸福感【Q60】

(SA)

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答

- 主観的幸福感は、「8点」が23.4%で最も高く、次いで「5点」が16.8%、「7点」が14.6%の順となっています。全体の平均は7.2点となっています。
- 趣味・生きがいの有無別にみると、“趣味・生きがいあり”の人では“思いつかない”人に比べ、平均が高くなっています。
- 友人・知人と会う頻度別にみると、友人・知人と会う頻度が多くなるほど、平均が高くなる傾向がみられます。
- 現在の悩み事別にみると、“特に悩み事はない”人の平均は「7.9点」となり、悩み事がある人に比べて高くなっています。
- 主観的健康感別にみると、主観的健康感が良いと答えた人ほど、平均が高くなる傾向がみられます。



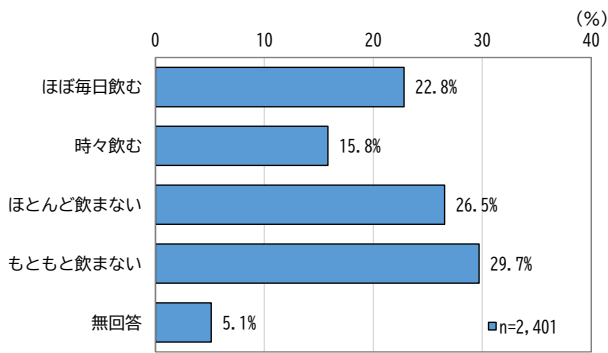
1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q60.主観的幸福感												平均	
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答		
全体	2401 100.0	10 0.4	6 0.2	13 0.5	52 2.2	71 3.0	404 16.8	207 8.6	350 14.6	562 23.4	261 10.9	338 14.1	127 5.3	7.2	
趣味	趣味あり	1508 100.0	3 0.2	3 0.2	6 0.4	25 1.7	31 2.1	217 14.4	115 7.6	228 15.1	380 25.2	194 12.9	247 16.4	59 3.9	7.5
	思いつかない	711 100.0	6 0.8	2 0.3	7 1.0	25 3.5	35 4.9	165 23.2	77 10.8	108 15.2	139 19.5	54 7.6	67 9.4	26 3.7	6.6
生きがい	生きがいあり	1210 100.0	3 0.2	3 0.2	0 0.0	16 1.3	19 1.6	128 10.6	87 7.2	178 14.7	330 27.3	177 14.6	229 18.9	40 3.3	7.7
	思いつかない	986 100.0	6 0.6	3 0.3	13 1.3	33 3.3	46 4.7	246 24.9	100 10.1	156 15.8	189 19.2	64 6.5	82 8.3	48 4.9	6.5
友人・知人と会う頻度	毎日ある	186 100.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	3 1.6	6 3.2	29 15.6	12 6.5	21 11.3	40 21.5	23 12.4	47 25.3	4 2.2	7.7
	週に何度かある	547 100.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	6 1.1	10 1.8	86 15.7	37 6.8	78 14.3	150 27.4	79 14.4	92 16.8	7 1.3	7.6
	月に何度かある	544 100.0	1 0.2	2 0.4	3 0.6	12 2.2	11 2.0	92 16.9	47 8.6	82 15.1	146 26.8	62 11.4	76 14.0	10 1.8	7.3
	年に何度かある	470 100.0	0 0.0	1 0.2	3 0.6	6 1.3	16 3.4	79 16.8	52 11.1	87 18.5	115 24.5	50 10.6	54 11.5	7 1.5	7.2
	ほとんどない	519 100.0	6 1.2	2 0.4	7 1.3	24 4.6	26 5.0	112 21.6	55 10.6	75 14.5	96 18.5	40 7.7	61 11.8	15 2.9	6.6
	現在の悩み事	自分の健康について	692 100.0	3 0.4	1 0.1	2 0.3	18 2.6	27 3.9	154 22.3	60 8.7	119 17.2	170 24.6	65 9.4	61 8.8	12 1.7
家族について	222 100.0	1 0.5	1 0.5	2 0.9	6 2.7	10 4.5	43 19.4	31 14.0	39 17.6	54 24.3	13 5.9	19 8.6	3 1.4	6.7	
人間関係について	29 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.9	2 6.9	5 17.2	1 3.4	7 24.1	8 27.6	3 10.3	1 3.4	0 0.0	6.7	
年金や相続について	97 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.1	2 2.1	23 23.7	14 14.4	18 18.6	20 20.6	11 11.3	5 5.2	2 2.1	6.8	
自分の死後の対応について	127 100.0	0 0.0	0 0.0	3 2.4	8 6.3	6 4.7	30 23.6	18 14.2	15 11.8	20 15.7	10 7.9	12 9.4	5 3.9	6.5	
その他	71 100.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 7.0	17 23.9	6 8.5	13 18.3	12 16.9	7 9.9	8 11.3	2 2.8	6.8	
特に悩み事はない	839 100.0	3 0.4	2 0.2	2 0.2	5 0.6	9 1.1	86 10.3	54 6.4	109 13.0	218 26.0	133 15.9	200 23.8	18 2.1	7.9	
主観的健康感	とてもよい	216 100.0	0 0.0	1 0.5	1 0.5	2 0.9	3 1.4	19 8.8	6 2.8	9 4.2	52 24.1	38 17.6	82 38.0	3 1.4	8.4
	まあよい	1612 100.0	4 0.2	2 0.1	2 0.1	18 1.1	38 2.4	249 15.4	147 9.1	281 17.4	416 25.8	203 12.6	218 13.5	34 2.1	7.4
	あまりよくない	413 100.0	3 0.7	2 0.5	6 1.5	28 6.8	26 6.3	113 27.4	43 10.4	53 12.8	83 20.1	15 3.6	30 7.3	11 2.7	6.2
	よくない	66 100.0	3 4.5	1 1.5	4 6.1	4 6.1	4 6.1	20 30.3	9 13.6	5 7.6	5 7.6	3 4.5	4 6.1	4 6.1	5.4

(56)お酒は飲むか【Q63】

(SA)

- お酒を飲むかでは、「もともと飲まない」が29.7%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.5%、「ほぼ毎日飲む」が22.8%の順となっています。
- 性別にみると、“男性”では「ほぼ毎日飲む」が最も高く、“女性”と比べて26.3ポイント高くなっています。“女性”では「もともと飲まない」が最も高く、“男性”と比べて27.0ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「ほぼ毎日飲む」が最も高くなっています。

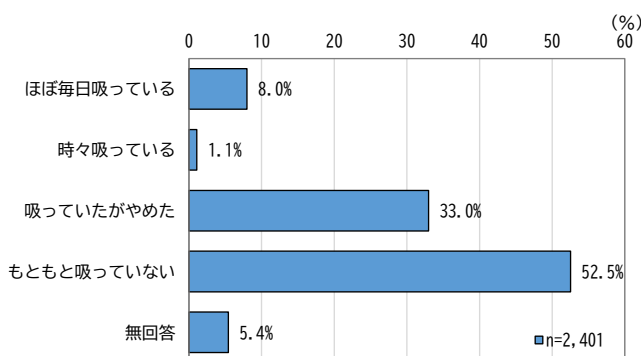


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q63.お酒は飲むか					
		ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答	
全体	2401	548	380	637	713	123	
	100.0	22.8	15.8	26.5	29.7	5.1	
性別	男性	1172	423	204	284	191	70
		100.0	36.1	17.4	24.2	16.3	6.0
女性	1174	115	168	341	508	42	
		100.0	9.8	14.3	29.0	43.3	3.6
年齢	前期高齢者	887	252	160	227	216	32
		100.0	28.4	18.0	25.6	24.4	3.6
後期高齢者	1447	286	213	392	478	78	
		100.0	19.8	14.7	27.1	33.0	5.4

(57)タバコは吸うか【Q64】

(SA)

- タバコは吸っているかでは、「もともと吸っていない」が52.5%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が33.0%、「ほぼ毎日吸っている」が8.0%の順となっています。
- 性別にみると、“男性”では「吸っていたがやめた」が最も高く、“女性”に比べて42.2ポイント高くなっています。“女性”では「もともと吸っていない」が最も高く、“男性”に比べて52.2ポイント高くなっています。



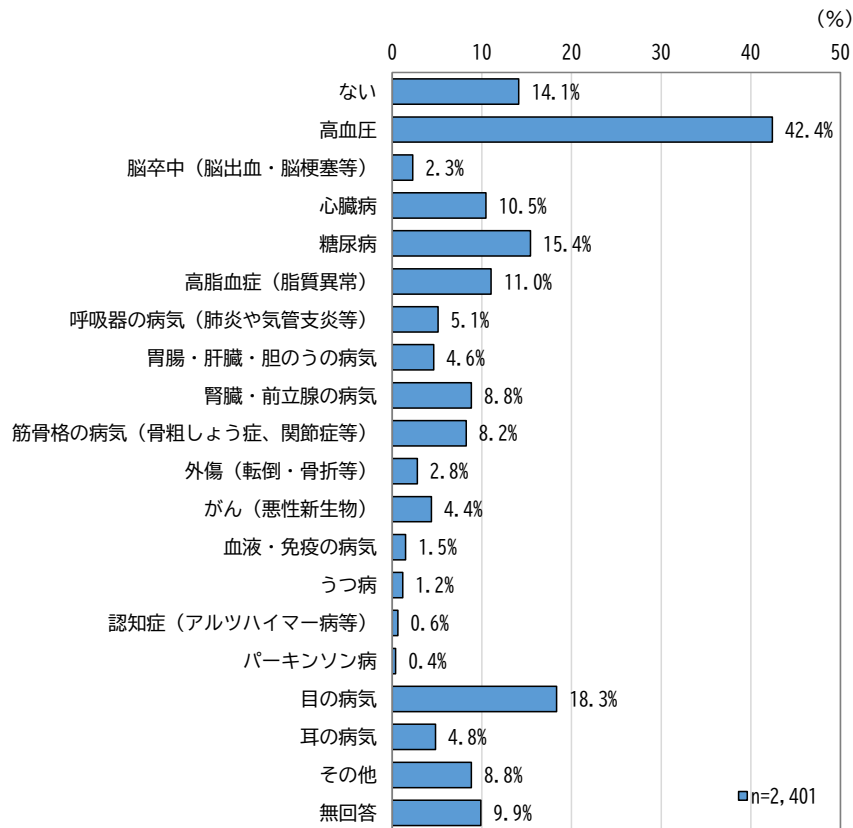
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q64.タバコは吸うか					
		ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答	
全体	2401	192	26	792	1261	130	
	100.0	8.0	1.1	33.0	52.5	5.4	
性別	男性	1172	142	14	637	310	69
		100.0	12.1	1.2	54.4	26.5	5.9
女性	1174	45	12	143	924	50	
		100.0	3.8	1.0	12.2	78.7	4.3

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(58)現在治療中、後遺症のある病気【Q65】

(MA)

- 現在治療中、後遺症のある病気では、「高血圧」が42.4%で最も高く、次いで「目の病気」が18.3%、「糖尿病」が15.4%の順となっています。
- 介護・介助が必要になった原因別にみると、原因を問わず「高血圧」が高い割合を占める傾向にあり、特に“脳卒中（脳出血・脳梗塞等）”が原因となる人では7割以上となっています。



II 市民調査結果

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q65.現在治療中、後遺症のある病気										
		ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の 病気(肺炎や気管 支炎等)	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の病 気	筋骨格の 病気(骨 粗しょう 症、関節 症等)	
全体	2401 100.0	323 13.5	1018 42.4	55 2.3	251 10.5	370 15.4	265 11.0	123 5.1	111 4.6	212 8.8	198 8.2	
介護・介助が必要になった原因	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	8 100.0	0 0.0	6 75.0	4 50.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5
	心臓病	30 100.0	1 3.3	17 56.7	0 0.0	26 86.7	5 16.7	2 6.7	3 10.0	6 20.0	4 13.3	6 20.0
	がん(悪性新生物)	17 100.0	0 0.0	5 29.4	0 0.0	2 11.8	2 11.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8	3 17.6
	呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	15 100.0	0 0.0	7 46.7	0 0.0	6 40.0	1 6.7	2 13.3	10 66.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7
	関節の病気(リウマチ等)	16 100.0	1 6.3	8 50.0	1 6.3	3 18.8	6 37.5	5 31.3	0 0.0	3 18.8	2 12.5	4 25.0
	認知症(アルツハイマー病等)	16 100.0	2 12.5	10 62.5	3 18.8	2 12.5	2 12.5	4 25.0	1 6.3	2 12.5	3 18.8	4 25.0
	パーキンソン病	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
	糖尿病	23 100.0	0 0.0	12 52.2	2 8.7	5 21.7	20 87.0	3 13.0	2 8.7	2 8.7	4 17.4	4 17.4
	腎疾患(透析)	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0
	視覚・聴覚障害	15 100.0	1 6.7	10 66.7	0 0.0	3 20.0	3 20.0	2 13.3	1 6.7	4 26.7	4 26.7	1 6.7
	骨折・転倒	29 100.0	2 6.9	16 55.2	0 0.0	5 17.2	5 17.2	7 24.1	3 10.3	3 10.3	2 6.9	8 27.6
	脊椎損傷	13 100.0	1 7.7	6 46.2	0 0.0	0 0.0	2 15.4	2 15.4	1 7.7	0 0.0	3 23.1	4 30.8
	高齢による衰弱	56 100.0	8 14.3	27 48.2	3 5.4	10 17.9	8 14.3	4 7.1	4 7.1	7 12.5	9 16.1	10 17.9
	その他	32 100.0	3 9.4	16 50.0	0 0.0	6 18.8	2 6.3	2 6.3	3 9.4	3 9.4	4 12.5	9 28.1
	不明	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7

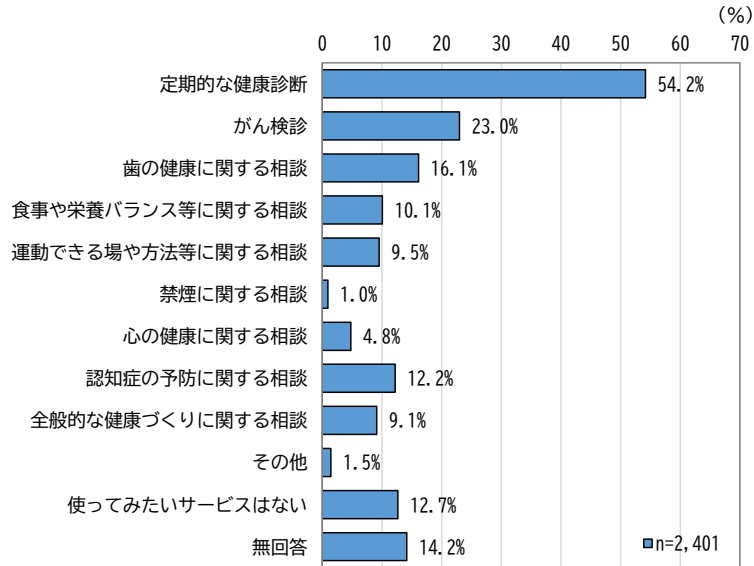
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q65.現在治療中、後遺症のある病気										
		外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
全体	2401 100.0	67 2.8	105 4.4	36 1.5	28 1.2	15 0.6	9 0.4	440 18.3	116 4.8	212 8.8	237 9.9	
介護・介助が必要になった原因	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	8 100.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
	心臓病	30 100.0	2 6.7	3 10.0	2 6.7	2 6.7	0 0.0	1 3.3	16 53.3	3 10.0	0 0.0	1 3.3
	がん(悪性新生物)	17 100.0	2 11.8	13 76.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 23.5	0 0.0	1 5.9	1 5.9
	呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	5 33.3	3 20.0	2 13.3	0 0.0
	関節の病気(リウマチ等)	16 100.0	2 12.5	2 12.5	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0	3 18.8	0 0.0	2 12.5	1 6.3
	認知症(アルツハイマー病等)	16 100.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0	3 18.8	6 37.5	2 12.5	5 31.3	2 12.5	0 0.0	0 0.0
	パーキンソン病	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
	糖尿病	23 100.0	4 17.4	1 4.3	1 4.3	1 4.3	1 4.3	1 4.3	10 43.5	1 4.3	1 4.3	3 13.0
	腎疾患(透析)	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	視覚・聴覚障害	15 100.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	13 86.7	5 33.3	1 6.7	0 0.0
	骨折・転倒	29 100.0	12 41.4	3 10.3	0 0.0	4 13.8	1 3.4	1 3.4	12 41.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4
	脊椎損傷	13 100.0	4 30.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	2 15.4
	高齢による衰弱	56 100.0	5 8.9	7 12.5	1 1.8	3 5.4	2 3.6	1 1.8	18 32.1	4 7.1	3 5.4	3 5.4
	その他	32 100.0	2 6.3	0 0.0	1 3.1	1 3.1	2 6.3	0 0.0	8 25.0	2 6.3	6 18.8	4 12.5
	不明	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(59)健康を維持するために利用したいもの【Q66】

(MA)

- 健康を維持するために利用したいものでは、「定期的な健康診断」が54.2%で最も高く、次いで「がん検診」が23.0%、「歯の健康に関する相談」が16.1%の順となっています。
- 性別にみると、“男性”は“女性”に比べて「定期的な健康診断」が9.5ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”は“後期高齢者”に比べて「がん検診」が11.2ポイント高くなっています。
- 生活機能評価による5大リスクの該当者別にみると、【運動器機能低下】と【閉じこもり傾向】の該当者では、非該当者に比べて「使ってみたくないサービスはない」が高くなっています。また、【うつ傾向】の該当者では、「認知症の予防に関する相談」が非該当者に比べて7.9ポイント高くなっています。



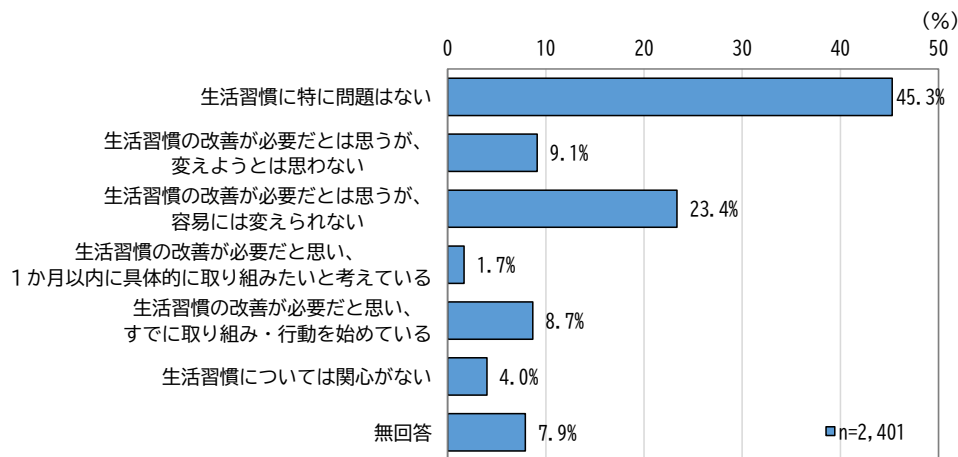
5大リスク

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q66.健康を維持するために利用したいもの												
		定期的な健康診断	がん検診	歯の健康に関する相談	食事や栄養バランス等に関する相談	運動できる場や方法等に関する相談	禁煙に関する相談	心の健康に関する相談	認知症の予防に関する相談	全般的な健康づくりに関する相談	その他	使ってみたくないサービスはない	無回答	
全体	2401	1301	552	387	242	229	23	115	293	219	35	304	340	
	100.0	54.2	23.0	16.1	10.1	9.5	1.0	4.8	12.2	9.1	1.5	12.7	14.2	
性別	男性	1172	696	306	182	96	114	20	40	124	105	18	143	142
		100.0	59.4	26.1	15.5	8.2	9.7	1.7	3.4	10.6	9.0	1.5	12.2	12.1
女性	1174	586	239	199	141	114	2	72	166	109	16	157	180	
		100.0	49.9	20.4	17.0	12.0	9.7	0.2	6.1	14.1	9.3	1.4	13.4	15.3
年齢	前期高齢者	887	532	267	150	93	108	11	47	103	82	6	123	82
		100.0	60.0	30.1	16.9	10.5	12.2	1.2	5.3	11.6	9.2	0.7	13.9	9.2
後期高齢者	1447	747	274	231	144	121	10	66	186	133	29	172	235	
		100.0	51.6	18.9	16.0	10.0	8.4	0.7	4.6	12.9	9.2	2.0	11.9	16.2
機能低下	運動器	299	123	35	34	28	19	2	19	44	29	8	53	56
		100.0	41.1	11.7	11.4	9.4	6.4	0.7	6.4	14.7	9.7	2.7	17.7	18.7
非該当	1960	1138	496	335	195	200	19	87	233	183	22	238	235	
		100.0	58.1	25.3	17.1	9.9	10.2	1.0	4.4	11.9	9.3	1.1	12.1	12.0
リスク	転倒	642	319	131	106	73	68	6	48	97	73	11	68	101
		100.0	49.7	20.4	16.5	11.4	10.6	0.9	7.5	15.1	11.4	1.7	10.6	15.7
非該当	1698	964	413	275	163	159	16	63	191	146	23	231	212	
		100.0	56.8	24.3	16.2	9.6	9.4	0.9	3.7	11.2	8.6	1.4	13.6	12.5
傾向	閉じこもり	401	183	65	39	31	22	4	26	44	32	8	73	70
		100.0	45.6	16.2	9.7	7.7	5.5	1.0	6.5	11.0	8.0	2.0	18.2	17.5
非該当	1939	1097	478	343	204	204	19	86	245	187	26	228	241	
		100.0	56.6	24.7	17.7	10.5	10.5	1.0	4.4	12.6	9.6	1.3	11.8	12.4
低下機能	口腔	611	306	138	121	74	67	9	40	90	70	13	67	86
		100.0	50.1	22.6	19.8	12.1	11.0	1.5	6.5	14.7	11.5	2.1	11.0	14.1
非該当	1706	963	402	253	161	158	14	72	196	148	18	234	220	
		100.0	56.4	23.6	14.8	9.4	9.3	0.8	4.2	11.5	8.7	1.1	13.7	12.9
うつ傾向	該当	833	441	198	145	97	88	10	82	150	92	17	83	96
		100.0	52.9	23.8	17.4	11.6	10.6	1.2	9.8	18.0	11.0	2.0	10.0	11.5
非該当	1378	821	335	230	135	135	12	31	139	125	16	214	118	
		100.0	59.6	24.3	16.7	9.8	9.8	0.9	2.2	10.1	9.1	1.2	15.5	8.6

(60)自分の生活習慣に関する考え【Q67】

(SA)

- 自分の生活習慣に関する考えでは、「生活習慣に特に問題はない」が45.3%で最も高く、次いで「生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない」が23.4%、「生活習慣の改善が必要だとは思いますが、変えようとは思わない」が9.1%の順となっています。
- 性別にみると、大きな差異はみられません。
- 年齢別にみると「後期高齢者」は「前期高齢者」に比べて「生活習慣に特に問題はない」が12.1ポイント高い一方で、「生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない」が11.9ポイント低くなっています。
- 生活機能評価による5大リスクの該当者別にみると、【運動器機能低下】の該当者では、「生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q67.自分の生活習慣に関する考え						無回答	
		生活習慣に特に問題はない	生活習慣の改善が必要だとは思いますが、変えようとは思わない	生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない	生活習慣の改善が必要だと思いい、1か月以内に具体的に取り組みたいと考えている	生活習慣の改善が必要だと思いい、すでに取り組み・行動を始めている	生活習慣については関心がない		
全体	2401 100.0	1087 45.3	219 9.1	561 23.4	40 1.7	208 8.7	96 4.0	190 7.9	
性別	男性	1172 100.0	525 44.8	124 10.6	262 22.4	17 1.5	101 8.6	49 4.2	94 8.0
	女性	1174 100.0	542 46.2	93 7.9	289 24.6	23 2.0	104 8.9	40 3.4	83 7.1
年齢	前期高齢者	887 100.0	335 37.8	78 8.8	275 31.0	20 2.3	112 12.6	23 2.6	44 5.0
	後期高齢者	1447 100.0	722 49.9	138 9.5	277 19.1	20 1.4	92 6.4	67 4.6	131 9.1
機能低下	運動器 該当	299 100.0	88 29.4	38 12.7	97 32.4	5 1.7	17 5.7	25 8.4	29 9.7
	非該当	1960 100.0	951 48.5	169 8.6	434 22.1	32 1.6	185 9.4	63 3.2	126 6.4
リスク	転倒 該当	642 100.0	240 37.4	62 9.7	195 30.4	13 2.0	49 7.6	27 4.2	56 8.7
	非該当	1698 100.0	831 48.9	153 9.0	353 20.8	23 1.4	157 9.2	69 4.1	112 6.6
傾向	閉じこもり 該当	401 100.0	144 35.9	43 10.7	117 29.2	8 2.0	22 5.5	33 8.2	34 8.5
	非該当	1939 100.0	926 47.8	171 8.8	432 22.3	31 1.6	184 9.5	63 3.2	132 6.8
口腔機能	低下 該当	611 100.0	242 39.6	58 9.5	189 30.9	9 1.5	46 7.5	27 4.4	40 6.5
	非該当	1706 100.0	814 47.7	156 9.1	362 21.2	30 1.8	155 9.1	67 3.9	122 7.2
うつ傾向	該当	833 100.0	283 34.0	77 9.2	277 33.3	19 2.3	83 10.0	46 5.5	48 5.8
	非該当	1378 100.0	754 54.7	135 9.8	270 19.6	20 1.5	120 8.7	47 3.4	32 2.3

5大リスク

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(61)生活機能低下予防のために利用したいサービス【Q68】

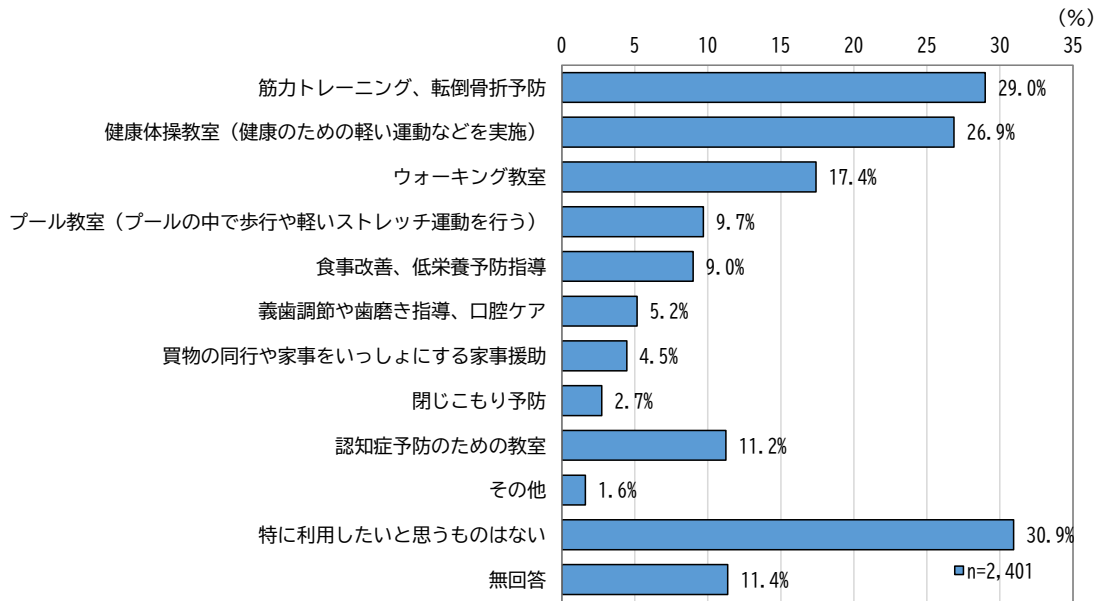
(SA)

○生活機能低下予防のために利用したいサービスでは、「特に利用したいと思うものはない」が30.9%で最も高く、次いで「筋力トレーニング、転倒骨折予防」が29.0%、「健康体操教室（健康のための軽い運動などを実施）」が26.9%の順となっています。

○性別にみると、「女性」では「健康体操教室（健康のための軽い運動などを実施）」が最も高く、「男性」に比べて10.1ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「前期高齢者」では「筋力トレーニング、転倒骨折予防」が最も高く、「後期高齢者」に比べて13.3ポイント高くなっています。

○生活機能評価による5大リスクの該当者別にみると、【転倒リスク】⁷と【口腔機能低下】の該当者では「筋力トレーニング、転倒骨折予防」が、【うつ傾向】の該当者では「健康体操教室（健康のための軽い運動などを実施）」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q68.生活機能低下予防のために利用したいサービス											特に利用 したいと 思うもの はない	無回答
		筋力 レーニ ング、 転倒 骨折 予防	健康 体操 教室 (健 康の ため の軽 い運 動な どを 実施)	ウォー キン グ教 室	プー ル教 室 (プ ール の中 で歩 行や 軽 いス トレ ッチ 運動 を行 う)	食 事改 善、 低栄 養予 防指 導	義 歯調 節 や 歯 磨 き 指 導、 口 腔 ケ ア	買 物 の 同 行 や 家 事 を い っ しょ に す る 家 事 援 助	閉 じ こ も り 予 防	認 知 症 予 防 の た め の 教 室	そ の 他			
全体	2401	696	645	418	233	216	124	107	66	270	39	743	273	
性別	100.0	29.0	26.9	17.4	9.7	9.0	5.2	4.5	2.7	11.2	1.6	30.9	11.4	
男性	1172	327	259	196	118	97	57	42	26	120	24	395	131	
女性	1174	357	378	218	112	116	63	64	40	146	14	333	125	
年齢	100.0	30.4	32.2	18.6	9.5	9.9	5.4	5.5	3.4	12.4	1.2	28.4	10.6	
前期高齢者	887	334	285	199	138	88	46	24	27	94	13	250	69	
後期高齢者	1447	353	354	214	92	125	72	81	39	171	26	470	183	
機能低下	100.0	24.4	24.5	14.8	6.4	8.6	5.0	5.6	2.7	11.8	1.8	32.5	12.6	
該当	299	68	50	23	24	19	12	19	10	26	8	107	43	
非該当	1960	601	575	378	201	184	100	83	51	235	27	598	193	
リスク	100.0	30.7	29.3	19.3	10.3	9.4	5.1	4.2	2.6	12.0	1.4	30.5	9.8	
該当	642	213	174	111	61	60	31	37	19	80	10	178	77	
非該当	1698	475	465	300	167	153	88	69	45	183	28	555	172	
傾向	100.0	28.0	27.4	17.7	9.8	9.0	5.2	4.1	2.7	10.8	1.6	32.7	10.1	
該当	401	78	74	40	24	28	11	30	18	43	12	148	58	
非該当	1939	607	563	371	206	185	110	76	44	221	26	585	191	
口腔機能	100.0	31.3	29.0	19.1	10.6	9.5	5.7	3.9	2.3	11.4	1.3	30.2	9.9	
該当	611	180	164	88	52	60	58	37	19	75	15	167	66	
非該当	1706	502	466	323	177	151	62	69	46	190	22	559	176	
うつ傾向	100.0	29.4	27.3	18.9	10.4	8.9	3.6	4.0	2.7	11.1	1.3	32.8	10.3	
該当	833	243	245	158	87	89	49	53	40	115	13	221	77	
非該当	1378	431	384	254	140	122	68	50	24	147	24	499	77	
傾向	100.0	31.3	27.9	18.4	10.2	8.9	4.9	3.6	1.7	10.7	1.7	36.2	5.6	

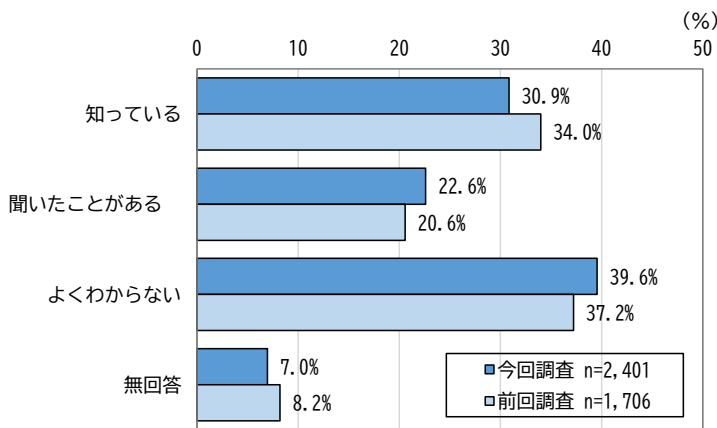
⁷ 生活機能評価【転倒リスク】:詳細は 72 ページ参照。

9. 地域包括支援センターについて

(62) 地域包括支援センターの認知度【Q69】

(SA)

- 地域包括支援センターの認知度は、「よくわからない」が39.6%、「知っている」が30.9%、「聞いたことがある」が22.6%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「知っている」が3.1ポイント減少した一方、「よくわからない」が2.4ポイント増加しています。
- 日常生活圏域別にみると、“西”“上青木”“前川”“新郷”“戸塚”では、「知っている」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q69.地域包括支援センターの認知度				
		知っている	聞いたことがある	よくわからない	無回答	
全体	2401	741	543	950	167	
	100.0	30.9	22.6	39.6	7.0	
日常生活圏域	中央	114	32	24	54	4
		100.0	28.1	21.1	47.4	3.5
	横曽根	115	30	32	48	5
		100.0	26.1	27.8	41.7	4.3
	西	161	56	39	55	11
		100.0	34.8	24.2	34.2	6.8
	青木	119	30	34	48	7
		100.0	25.2	28.6	40.3	5.9
	上青木	108	36	33	35	4
		100.0	33.3	30.6	32.4	3.7
	前川	120	49	19	45	7
		100.0	40.8	15.8	37.5	5.8
	南平	112	27	20	58	7
		100.0	24.1	17.9	51.8	6.3
	南平みなみ	104	36	19	45	4
		100.0	34.6	18.3	43.3	3.8
	新郷	118	40	28	39	11
		100.0	33.9	23.7	33.1	9.3
	新郷東	95	28	21	39	7
		100.0	29.5	22.1	41.1	7.4
	神根	121	42	29	44	6
		100.0	34.7	24.0	36.4	5.0
	神根東	106	37	21	39	9
		100.0	34.9	19.8	36.8	8.5
芝	104	33	30	39	2	
	100.0	31.7	28.8	37.5	1.9	
芝伊刈	120	36	25	48	11	
	100.0	30.0	20.8	40.0	9.2	
芝西	126	33	31	56	6	
	100.0	26.2	24.6	44.4	4.8	
安行	126	42	16	61	7	
	100.0	33.3	12.7	48.4	5.6	
戸塚	119	44	26	39	10	
	100.0	37.0	21.8	32.8	8.4	
戸塚西	121	35	34	44	8	
	100.0	28.9	28.1	36.4	6.6	
鳩ヶ谷東部	112	27	31	43	11	
	100.0	24.1	27.7	38.4	9.8	
鳩ヶ谷西部	118	32	23	52	11	
	100.0	27.1	19.5	44.1	9.3	

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

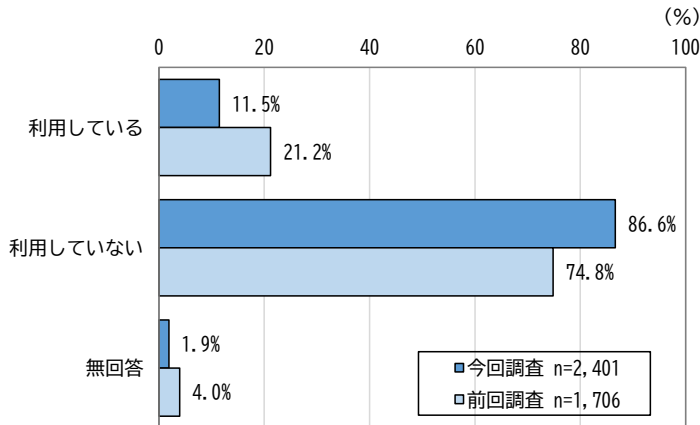
(63)地域包括支援センターを利用しているか【Q69-1】

(SA)

○地域包括支援センターを利用しているかでは、「利用していない」が約9割となっています。

○前回調査に比べ、「利用していない」が11.8ポイント増加しています。

○日常生活圏域別にみると、「利用している」の割合が高いのは、“上青木”“新郷東”“中央”の順となっています。



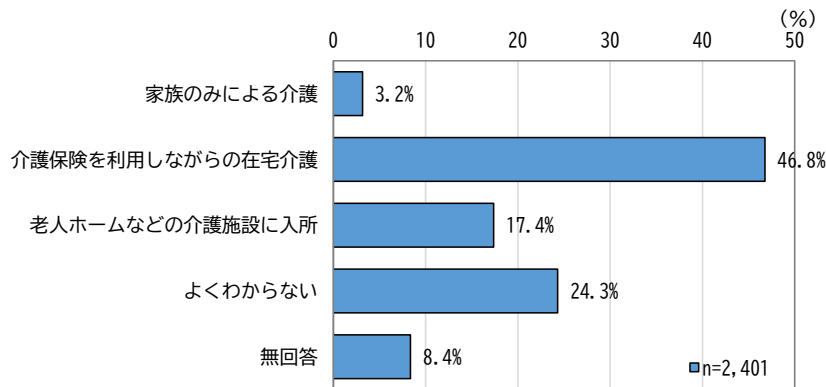
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q69-1.地域包括支援センターを利用しているか			
		利用している	利用していない	無回答	非該当
全体	741	85	642	14	1660
	100.0	11.5	86.6	1.9	
中央	32	6	26	0	82
	100.0	18.8	81.3	0.0	
横曽根	30	1	29	0	85
	100.0	3.3	96.7	0.0	
西	56	6	49	1	105
	100.0	10.7	87.5	1.8	
青木	30	1	27	2	89
	100.0	3.3	90.0	6.7	
上青木	36	8	28	0	72
	100.0	22.2	77.8	0.0	
前川	49	2	45	2	71
	100.0	4.1	91.8	4.1	
南平	27	3	23	1	85
	100.0	11.1	85.2	3.7	
南平みなみ	36	4	31	1	68
	100.0	11.1	86.1	2.8	
新郷	40	3	35	2	78
	100.0	7.5	87.5	5.0	
新郷東	28	6	22	0	67
	100.0	21.4	78.6	0.0	
神根	42	4	36	2	79
	100.0	9.5	85.7	4.8	
神根東	37	4	32	1	69
	100.0	10.8	86.5	2.7	
芝	33	5	28	0	71
	100.0	15.2	84.8	0.0	
芝伊刈	36	4	32	0	84
	100.0	11.1	88.9	0.0	
芝西	33	4	28	1	93
	100.0	12.1	84.8	3.0	
安行	42	5	37	0	84
	100.0	11.9	88.1	0.0	
戸塚	44	4	39	1	75
	100.0	9.1	88.6	2.3	
戸塚西	35	5	30	0	86
	100.0	14.3	85.7	0.0	
鳩ヶ谷東部	27	4	23	0	85
	100.0	14.8	85.2	0.0	
鳩ヶ谷西部	32	4	28	0	86
	100.0	12.5	87.5	0.0	

10. 介護保険制度全般について

(64)介護が必要になった場合、望む介護【Q70】

(SA)

- 介護が必要になった場合、望む介護では、「介護保険を利用しながらの在宅介護」が46.8%、次いで「よくわからない」が24.3%、「老人ホームなどの介護施設に入所」が17.4%の順となっています。
- 家族構成別にみると、「1人暮らし」では「老人ホームなどの介護施設に入所」が2割以上となり、他の家族構成に比べてやや高くなっています。
- 現在の経済的な暮らしの状況別にみると、経済的な状況にゆとりがあると答えた人ほど、「よくわからない」の割合が低くなる傾向がみられます。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q70.介護が必要になった場合、望む介護					
		家族のみによる介護	介護保険を利用しながらの在宅介護	老人ホームなどの介護施設に入所	よくわからない	無回答	
全体	2401 100.0	76 3.2	1123 46.8	417 17.4	584 24.3	201 8.4	
家族構成	1人暮らし	482 100.0	4 0.8	183 38.0	112 23.2	137 28.4	46 9.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	826 100.0	34 4.1	421 51.0	141 17.1	173 20.9	57 6.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	102 100.0	4 3.9	41 40.2	16 15.7	30 29.4	11 10.8
	息子・娘との2世帯	400 100.0	15 3.8	200 50.0	55 13.8	96 24.0	34 8.5
	その他	445 100.0	11 2.5	227 51.0	66 14.8	116 26.1	25 5.6
	現在の経済的な暮らしの状況	大変苦しい	173 100.0	4 2.3	67 38.7	28 16.2	56 32.4
やや苦しい	568 100.0	13 2.3	263 46.3	90 15.8	160 28.2	42 7.4	
ふつう	1334 100.0	46 3.4	648 48.6	224 16.8	311 23.3	105 7.9	
ややゆとりがある	149 100.0	7 4.7	81 54.4	30 20.1	24 16.1	7 4.7	
大変ゆとりがある	26 100.0	1 3.8	11 42.3	8 30.8	3 11.5	3 11.5	

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

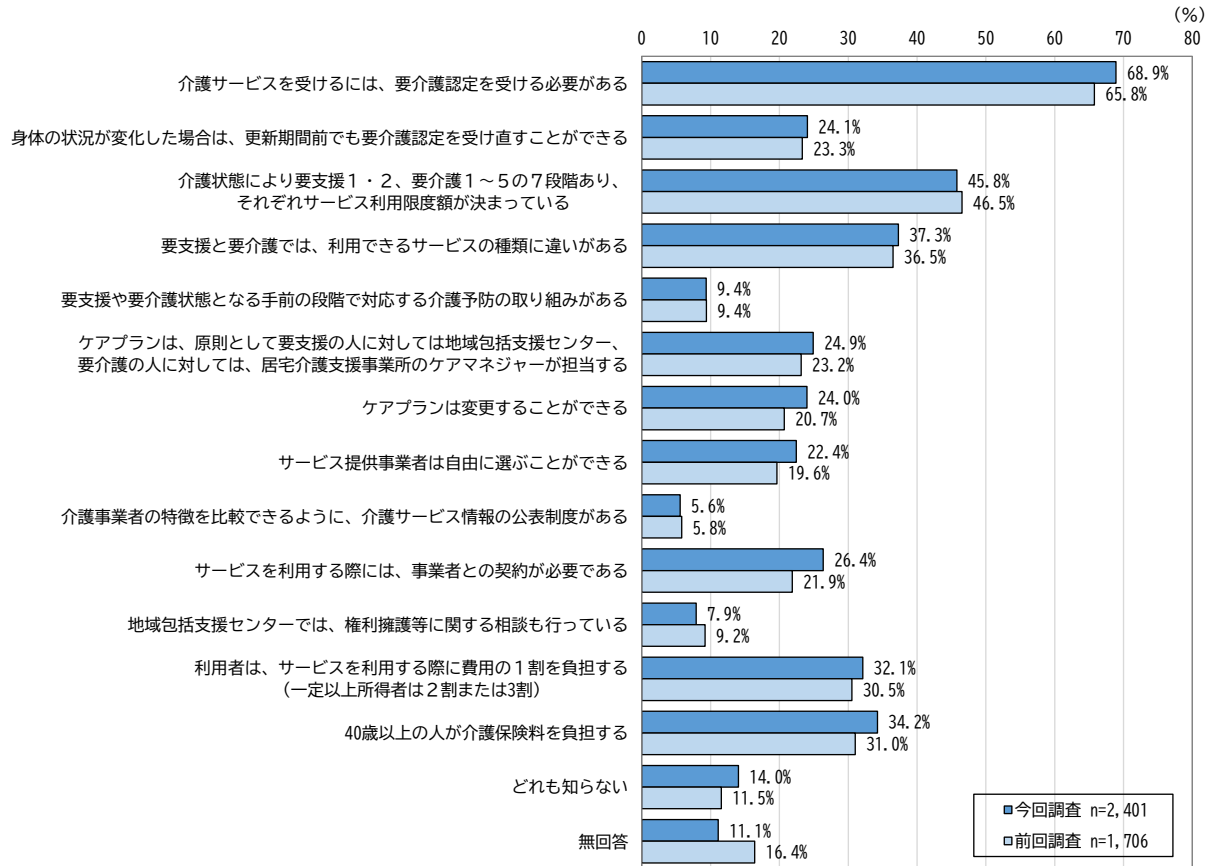
(65)介護保険制度について知っていること【Q71】

(MA)

○介護保険制度について知っていることでは、「介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が68.9%で最も高く、次いで「介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている」が45.8%、「要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある」が37.3%の順となっています。

○性別にみると、「どれも知らない」の割合は、“男性”が“女性”に比べて6.6ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「どれも知らない」の割合は、“後期高齢者”が“前期高齢者”に比べて4.3ポイント高くなっています。

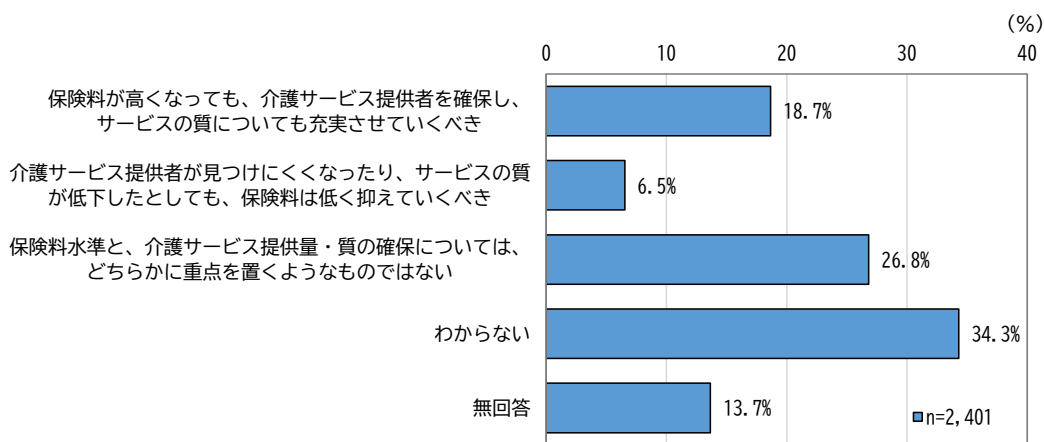


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q71.介護保険制度について知っていること															
		介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある	身体状況が変化した場合、更新期間前でも要介護認定を受け直すことができる	介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている	要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある	要支援や要介護状態となる手前の段階で対応する介護予防の取り組みがある	ケアプランは、原則として要支援の人に対しては、地域包括支援センター、要介護の人に対しては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する	ケアプランは変更することができる	サービス提供事業者は自由に選ぶことができる	介護事業者の特徴を比較できるように、介護サービス情報の公表制度がある	サービスを利用する際には、事業者との契約が必要である	地域包括支援センターでは、権利擁護等に関する相談も行っている	利用者は、サービスを利用する際に費用の1割を負担する（一定以上所得者は2割または3割）	40歳以上の人が介護保険料を負担する	どれも知らない	無回答	
全体	2401 100.0	1654 68.9	578 24.1	1099 45.8	895 37.3	225 9.4	598 24.9	576 24.0	539 22.4	134 5.6	633 26.4	190 7.9	771 32.1	822 34.2	337 14.0	267 11.1	
性別	男性	1172 100.0	780 66.6	229 19.5	486 41.5	398 34.0	94 8.0	266 22.7	225 19.2	230 19.6	58 4.9	272 23.2	82 7.0	352 30.0	377 32.2	202 17.2	129 11.0
	女性	1174 100.0	854 72.7	345 29.4	601 51.2	489 41.7	129 11.0	326 27.8	346 29.5	301 25.6	76 6.5	354 30.2	104 8.9	410 34.9	434 37.0	124 10.6	120 10.2
年齢	前期高齢者	887 100.0	689 77.7	280 31.6	493 55.6	417 47.0	101 11.4	264 29.8	289 32.6	263 29.7	67 7.6	303 34.2	69 7.8	320 36.1	393 44.3	99 11.2	44 5.0
	後期高齢者	1447 100.0	940 65.0	291 20.1	588 40.6	466 32.2	119 8.2	326 22.5	277 19.1	265 18.3	64 4.4	321 22.2	116 8.0	438 30.3	415 28.7	225 15.5	200 13.8

(66)介護保険料と介護サービスの整備のあり方【Q72】

(SA)

- 介護保険料と介護サービスの整備のあり方は、「わからない」が34.3%で最も高く、次いで「保険料水準と、介護サービス提供量・質の確保については、どちらかに重点を置くようなものではない」が26.8%、「保険料が高くなっても、介護サービス提供者を確保し、サービスの質についても充実させていくべき」が18.7%の順となっています。
- 保険料よりもサービスの質を重視する意見が高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「保険料水準と、介護サービス提供量・質の確保については、どちらかに重点を置くようなものではない」が最も高くなっています。
- 現在の経済的な暮らしの状況別にみると、経済的な状況にゆとりがあると答えた人ほど、「保険料が高くなっても、介護サービス提供者を確保し、サービスの質についても充実させていくべき」の割合が高くなる傾向がみられます。



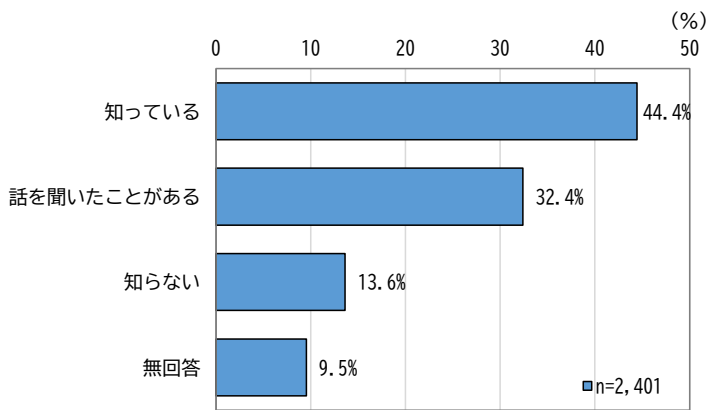
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q72.介護保険料と介護サービスの整備のあり方					
		保険料が高くなっても、介護サービス提供者を確保し、サービスの質についても充実させていくべき	介護サービス提供者が見つげにくくなったり、サービスの質が低下したとしても、保険料は低く抑えていくべき	保険料水準と、介護サービス提供量・質の確保については、どちらかに重点を置くようなものではない	わからない	無回答	
全体	2401 100.0	448 18.7	157 6.5	644 26.8	824 34.3	328 13.7	
年齢	前期高齢者	887 100.0	160 18.0	47 5.3	309 34.8	288 32.5	83 9.4
	後期高齢者	1447 100.0	278 19.2	105 7.3	324 22.4	517 35.7	223 15.4
現在の経済的な暮らしの状況	大変苦しい	173 100.0	16 9.2	20 11.6	44 25.4	69 39.9	24 13.9
	やや苦しい	568 100.0	75 13.2	56 9.9	152 26.8	214 37.7	71 12.5
	ふつう	1334 100.0	274 20.5	71 5.3	366 27.4	451 33.8	172 12.9
	ややゆとりがある	149 100.0	46 30.9	3 2.0	45 30.2	40 26.8	15 10.1
	大変ゆとりがある	26 100.0	10 38.5	0 0.0	5 19.2	4 15.4	7 26.9

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(67)介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知【Q73】

(SA)

- 介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知は、「知っている」が44.4%、「話を聞いたことがある」が32.4%、「知らない」が13.6%となっています。
- 年齢別にみると、前期・後期高齢者ともに「知っている」が最も高いなかでも、“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて9.3ポイント高くなっています。
- 要介護状態区分別にみると、「知らない」の割合は、“その他（認定なし）”“要支援1”が他の区分に比べてやや高くなっています。

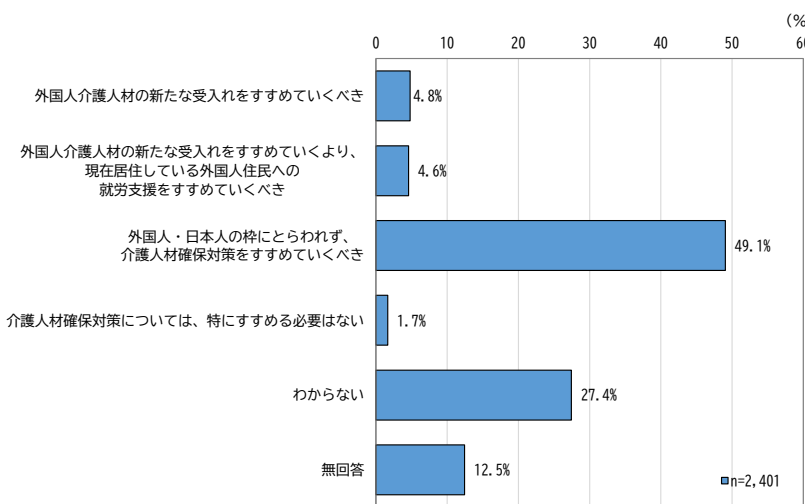


【単位】 上段:美数(人) 下段:割合(%)	合計	Q73.介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知				
		知っている	話を聞いたことがある	知らない	無回答	
全体	2401	1067	778	327	229	
	100.0	44.4	32.4	13.6	9.5	
年齢	前期高齢者	887	44.9	29.4	9.2	5.2
	後期高齢者	1447	59.8	47.1	22.3	15.5
	100.0	41.3	32.6	15.4	10.7	
要介護状態区分	事業対象者	56	2.6	1.7	0.4	0.9
	要支援1	47	1.8	1.5	0.7	0.7
	要支援2	18	0.9	0.5	0.1	0.3
	その他(認定なし)	1870	87.6	62.4	24.6	12.4
		100.0	46.8	33.4	13.2	6.6

(68)外国人介護人材受け入れに関する考え【Q74】

(SA)

- 外国人介護人材受け入れに関する考えは、「外国人・日本人の枠にとらわれず、介護人材確保対策をすすめていくべき」が49.1%で最も高く、次いで「わからない」が27.4%、「外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくべき」が4.8%の順となっています。
- 年齢別にみると、前期・後期高齢者ともに「外国人・日本人の枠にとらわれず、介護人材確保対策をすすめていくべき」が最も高いなかでも、“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて14.1ポイント高くなっています。
- 要介護状態区分別にみると、“要支援1・2”では「わからない」が最も高くなっています。



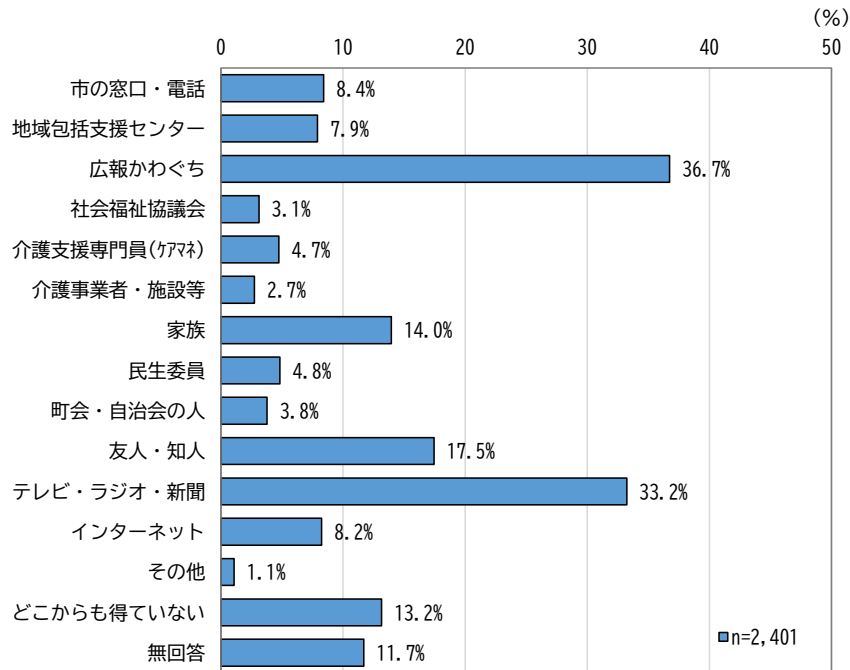
【単位】 上段:美数(人) 下段:割合(%)	合計	Q74.外国人介護人材受け入れに関する考え						
		外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくべき	外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくより、現在居住している外国人住民への就労支援をすすめていくべき	外国人・日本人の枠にとらわれず、介護人材確保対策をすすめていくべき	わからない	無回答		
全体	2401	115	110	1178	40	659	299	
	100.0	4.8	4.6	49.1	1.7	27.4	12.5	
年齢	前期高齢者	887	5.0	4.4	51.7	1.0	18.8	7.8
	後期高齢者	1447	5.6	5.0	58.3	1.1	21.2	8.8
	100.0	4.1	4.4	44.2	2.1	31.4	13.7	
要介護状態区分	事業対象者	56	3.0	5.0	2.4	1.0	1.3	1.0
	要支援1	47	1.0	2.0	1.6	0.0	1.8	1.0
	要支援2	18	1.0	0.0	0.6	1.0	0.6	0.4
	その他(認定なし)	1870	9.3	8.9	97.8	3.3	5.0	17.7
		100.0	5.0	4.8	52.3	1.8	26.7	9.5

11. 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて

(69) 高齢者福祉に関する情報の入手先【Q75】

(MA:3つまで)

- 高齢者福祉に関する情報の入手先は、「広報かわぐち」が36.7%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」が33.2%、「友人・知人」が17.5%の順となっています。
- 性別にみると、「友人・知人」の割合は、“女性”が“男性”に比べ10.2ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「インターネット」の割合は、“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて13.6ポイント高くなっています。



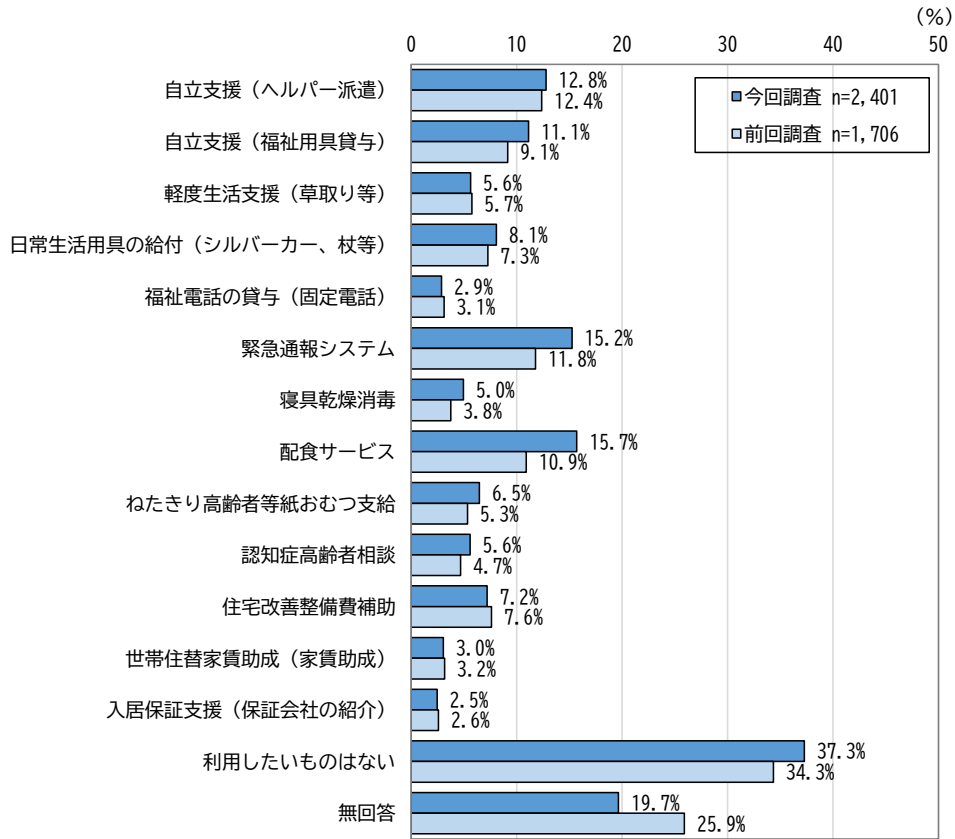
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q75. 高齢者福祉に関する情報の入手先															
		市の窓口・電話	地域包括支援センター	広報かわぐち	社会福祉協議会	介護支援専門員(ケアマネ)	介護事業者・施設等	家族	民生委員	町会・自治会の人	友人・知人	テレビ・ラジオ・新聞	インターネット	その他	どこからも得ていない	無回答	
全体	2401 100.0	202 8.4	190 7.9	882 36.7	75 3.1	114 4.7	66 2.7	335 14.0	116 4.8	91 3.8	419 17.5	798 33.2	198 8.2	26 1.1	316 13.2	281 11.7	
性別	男性	1172 100.0	120 10.2	92 7.8	424 36.2	39 3.3	52 4.4	31 2.6	174 14.8	52 4.4	40 3.4	146 12.5	392 33.4	133 11.3	10 0.9	170 14.5	130 11.1
	女性	1174 100.0	79 6.7	96 8.2	446 38.0	34 2.9	62 5.3	35 3.0	153 13.0	63 5.4	49 4.2	266 22.7	388 33.0	63 5.4	15 1.3	139 11.8	135 11.5
年齢	前期高齢者	887 100.0	74 8.3	41 4.6	335 37.8	21 2.4	34 3.8	33 3.7	110 12.4	16 1.8	24 2.7	155 17.5	310 34.9	149 16.8	15 1.7	134 15.1	72 8.1
	後期高齢者	1447 100.0	118 8.2	146 10.1	535 37.0	53 3.7	77 5.3	33 2.3	214 14.8	99 6.8	63 4.4	257 17.8	474 32.8	46 3.2	11 0.8	175 12.1	190 13.1

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(70)今後3年間ぐらいで利用したいサービス【Q76】

(MA)

- 今後3年間ぐらいで利用したいサービスは、「利用したいものはない」が37.3%で最も高く、次いで「配食サービス」が15.7%、「緊急通報システム」が15.2%の順となっています。
- 前回調査に比べ、最も増えたのは「配食サービス」で、4.8ポイント増加しています。
- 年齢別にみると、前期・後期高齢者ともに「利用したいものはない」が最も高いなかでも、“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて24.8ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q76.今後3年間ぐらいで利用したいサービス								
		自立支援 (ヘルパー派遣)	自立支援 (福祉用具貸与)	軽度生活 支援(草取り等)	日常生活 用具の給付 (シルバーカー、杖等)	福祉電話 の貸与 (固定電話)	緊急通報 システム	寝具乾燥 消毒	配食 サービス	
全体	2401 100.0	307 12.8	267 11.1	135 5.6	194 8.1	69 2.9	366 15.2	119 5.0	377 15.7	
年齢	前期高齢者	887 100.0	67 7.6	58 6.5	35 3.9	43 4.8	16 1.8	117 13.2	20 2.3	95 10.7
	後期高齢者	1447 100.0	236 16.3	205 14.2	96 6.6	146 10.1	50 3.5	244 16.9	97 6.7	275 19.0

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q76.今後3年間ぐらいで利用したいサービス							
		ねたきり 高齢者等 紙おむつ 支給	認知症高 齢者相談	住宅改善 整備費補 助	世帯住替 家賃助成 (家賃助成)	入居保証 支援(保 証会社の 紹介)	利用した いもの はない	無回答	
全体	2401 100.0	155 6.5	134 5.6	173 7.2	73 3.0	59 2.5	895 37.3	472 19.7	
年齢	前期高齢者	887 100.0	33 3.7	35 3.9	65 7.3	34 3.8	25 2.8	470 53.0	110 12.4
	後期高齢者	1447 100.0	118 8.2	95 6.6	107 7.4	37 2.6	31 2.1	408 28.2	333 23.0

(71)どんなサービスがあれば利用したいか【Q77】

(FA)

○利用したいサービスについて、“なし”“思いつかない”などを除くと127人から135件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

主な意見	件数(件)
移動支援(タクシー利用、巡回バス等) ・買物、病院などの時のタクシー利用サービスの充実。乗り合いタクシーがあれば利用する。巡回バス(みんななかまバス)の路線拡充。	27
家事代行 ・台所、お風呂等のそうじ。ベッドマットなど大きめのものをゴミ置場に出したくてももう自分では運べない。植木の手入れ。	16
相談支援、勉強会 ・日常生活の個人的指導。健康相談。健康、食事、運動、病気の知識などの講演会や講座。	14
経済的支援、補助・割引サービス ・お金の支援。住宅改善整備費補助。光熱費の援助金。映画観賞券(半額程度)、健康センター(半額程度)。	13
買い物支援 ・買い物の代行。時々訪ねて来てくれて買い物などを頼める方がほしいと思う。	8
配食サービス ・食事の支給。もし寝たきりになったら、配食サービスは受けたい。	7
運動のサポート ・プールが良い。散歩の同行。運動教室。	6
趣味、サークル活動 ・高齢者対象のパソコン教室(ネットの使い方の指導)。男の料理教室。仲間づくり支援。	5
サービス利用は考えていない ・今のところ、サービス等は考えていない	5
自立支援	4
現状のサービスを利用	4
安否確認、緊急時通報システム	4
入浴のサポート	3
日用品の支給	3
高齢者向け病院の整備	2
その他 ・高額医療費申請のネット申請(郵送)。今回のような調査を定期的を実施してほしい。生活が不自由なく暮せる支援をしてくれる所。入院時のサポート。代筆。散髪。住宅整備。災害時の支援。家族が同居できるための支援。	14

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

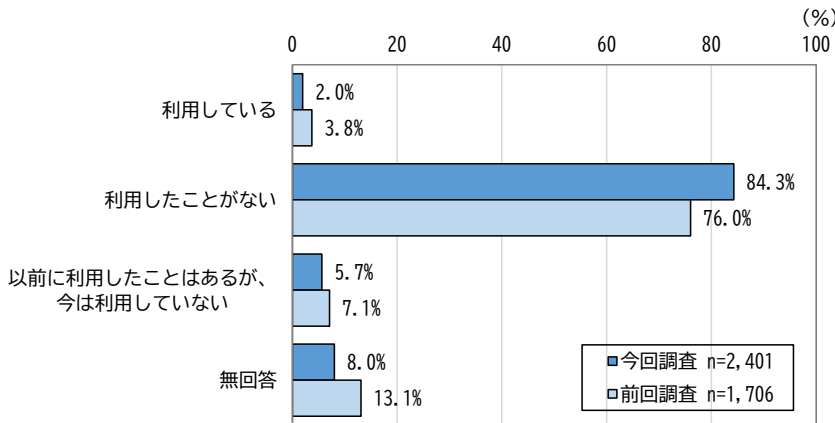
(72)たたら荘の利用について【Q78】

(SA)

○たたら荘の利用については、「利用したことがない」が8割以上となっています。

○前回調査と比べ、「利用したことがない」が8.3ポイント増加しています。

○年齢別にみると、「以前に利用したことはあるが、今は利用していない」の割合は、“後期高齢者”が“前期高齢者”に比べて6.9ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q78.たたら荘の利用について				
		利用している	利用したことがない	以前に利用したことはあるが、今は利用していない	無回答	
全体	2401 100.0	48 2.0	2024 84.3	136 5.7	193 8.0	
年齢	前期高齢者	887 100.0	8 0.9	816 92.0	12 1.4	51 5.7
	後期高齢者	1447 100.0	40 2.8	1162 80.3	120 8.3	125 8.6

(73)利用していない理由【Q78-1】

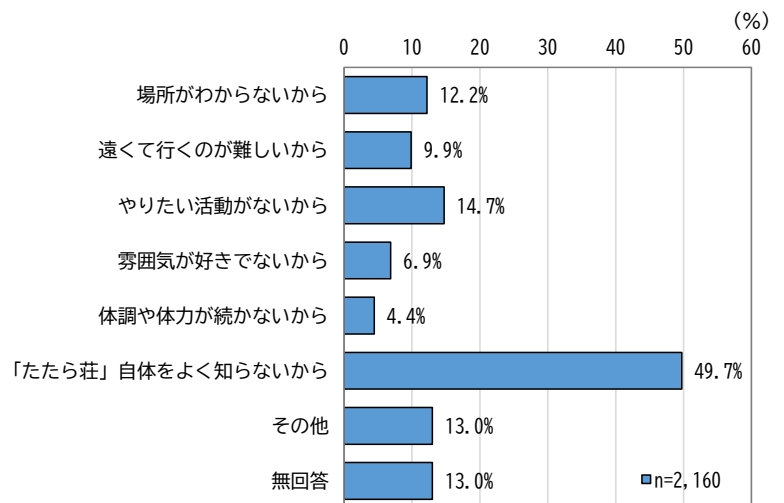
(MA)

【Q.78「2. 利用したことがない」「3. 以前に利用したことはあるが、今は利用していない」の方のみ】

○利用していない理由では、「たたら荘」自体をよく知らないから」が49.7%で最も高く、次いで「やりたい活動がないから」が14.7%、「その他」が13.0%の順となっています。

○「その他」の内容では、「(今は)必要性がない」「仕事をしている、時間がない」「利用したいと思わない」「よくわからないから」等が多くなっています。

○年齢別にみると、前期・後期高齢者ともに「たたら荘」自体をよく知らないから」が最も高いなかでも、“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べ11.5ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q78-1.利用していない理由							無回答	
		場所がわからないから	遠くに行くのが難しいから	やりたい活動がないから	雰囲気が好きでないから	体調や体力が続かないから	「たたら荘」自体をよく知らないから	その他		
全体	2160 100.0	264 12.2	213 9.9	318 14.7	148 6.9	96 4.4	1074 49.7	281 13.0	281 13.0	
年齢	前期高齢者	828 100.0	104 12.6	41 5.0	124 15.0	31 3.7	13 1.6	473 57.1	131 15.8	91 11.0
	後期高齢者	1282 100.0	158 12.3	164 12.8	184 14.4	113 8.8	81 6.3	585 45.6	145 11.3	180 14.0

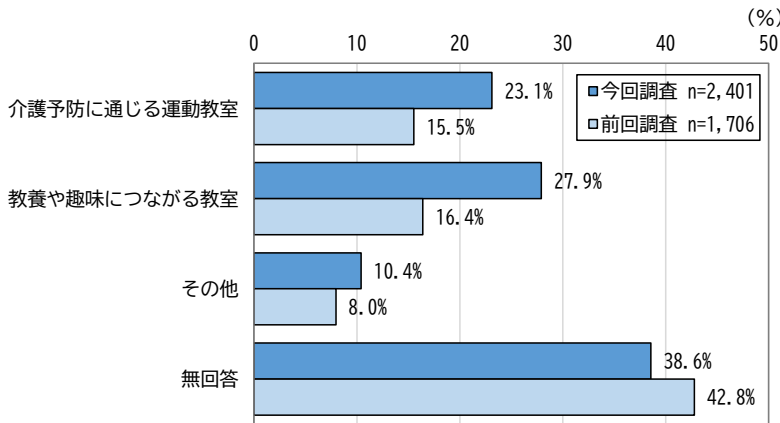
(74)たたら荘でやりたいこと【Q79】

(SA)

○たたら荘でやりたいことでは、「教養や趣味につながる教室」が27.9%、「介護予防に通じる運動教室」が23.1%、「その他」が10.4%となっています。

○前回調査に比べ、「介護予防に通じる運動教室」が7.6ポイント、「教養や趣味につながる教室」が11.5ポイント増加しています。

○年齢別にみると、“後期高齢者”では「介護予防に通じる運動教室」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q79.たたら荘でやりたいこと				
		介護予防に通じる運動教室	教養や趣味につながる教室	その他	無回答	
全体	2401 100.0	555 23.1	670 27.9	250 10.4	926 38.6	
年齢	前期高齢者	887 100.0	182 20.5	325 36.6	105 11.8	275 31.0
	後期高齢者	1447 100.0	362 25.0	330 22.8	142 9.8	613 42.4

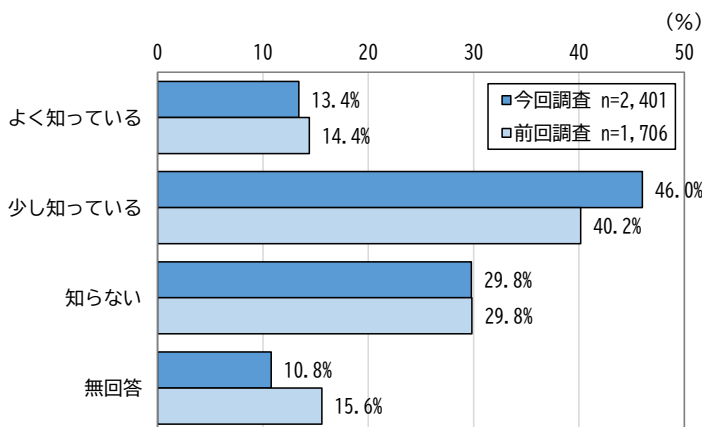
(75)成年後見制度の成年後見人等の支援に関する認知【Q80】

(SA)

○成年後見制度の成年後見人等の支援に関する認知は、「少し知っている」が46.0%、「知らない」が29.8%、「よく知っている」が13.4%となっています。

○前回調査に比べ、「少し知っている」が5.8ポイント増加しています。

○川口市成年後見センター業務の認知度別にみると、業務内容を「よく知っている」人では、成年後見制度の成年後見人等の支援についても「よく知っている」人が7割以上となっています。



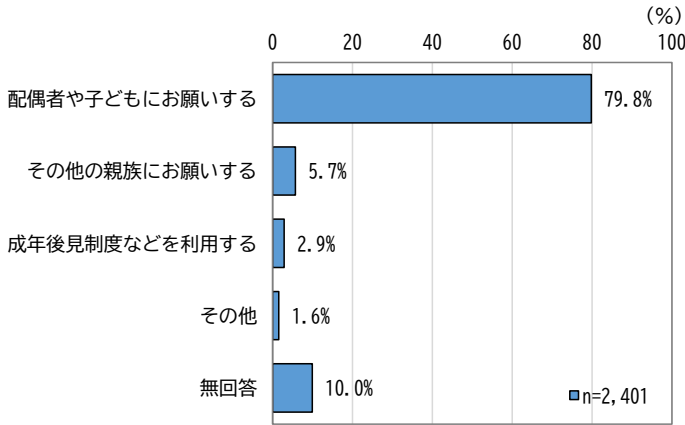
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q80.成年後見制度の成年後見人等の支援に関する認知			
		よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
全体	2401 100.0	322 13.4	1105 46.0	715 29.8	259 10.8
センター業務の認知度	よく知っている	63 100.0	47 74.6	12 19.0	2 3.2
	少し知っている	286 100.0	79 27.6	186 65.0	14 4.9
知らない	1809 100.0	190 10.5	878 48.5	690 38.1	51 2.8

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(76)判断能力が不十分になった場合の金銭管理等の手続き【Q81】

(SA)

- 判断能力が不十分になった場合の金銭管理等の手続きは、「配偶者や子どもに願ひする」が約8割となっています。なお、「成年後見制度などを利用する」は2.9%となっています。
- 家族構成別にみると、「1人暮らし」では、「その他の親族に願ひする」「成年後見制度などを利用する」の割合が、他の家族構成に比べて高くなっています。

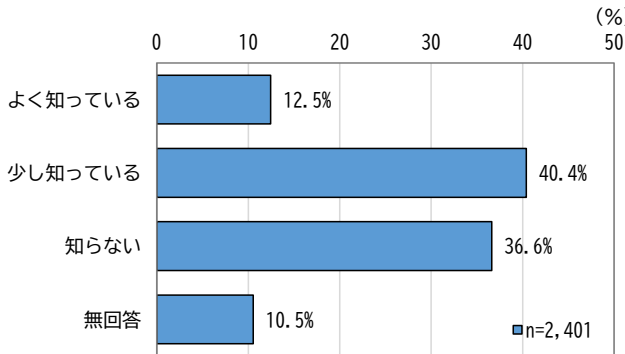


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q81.判断能力が不十分になった場合の金銭管理等の 手続き					
		配偶者や 子どもに 願ひする	その他の 親族にお 願ひする	成年後見 制度など を利用す る	その他	無回答	
全体	2401 100.0	1916 79.8	138 5.7	70 2.9	38 1.6	239 10.0	
家族 構成	1人暮らし	482 100.0	259 53.7	89 18.5	43 8.9	24 5.0	67 13.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以 上)	826 100.0	733 88.7	20 2.4	15 1.8	3 0.4	55 6.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以 下)	102 100.0	89 87.3	3 2.9	0 0.0	1 1.0	9 8.8
	息子・娘との2 世帯	400 100.0	359 89.8	2 0.5	2 0.5	3 0.8	34 8.5
	その他	445 100.0	373 83.8	20 4.5	5 1.1	4 0.9	43 9.7

(77)任意後見人制度の認知度【Q82】

(SA)

- 任意後見人制度の認知度では、「少し知っている」が40.4%、「知らない」が36.6%、「よく知っている」が12.5%となっています。
- 性別にみると、「男性」では「知らない」が最も高くなっています。

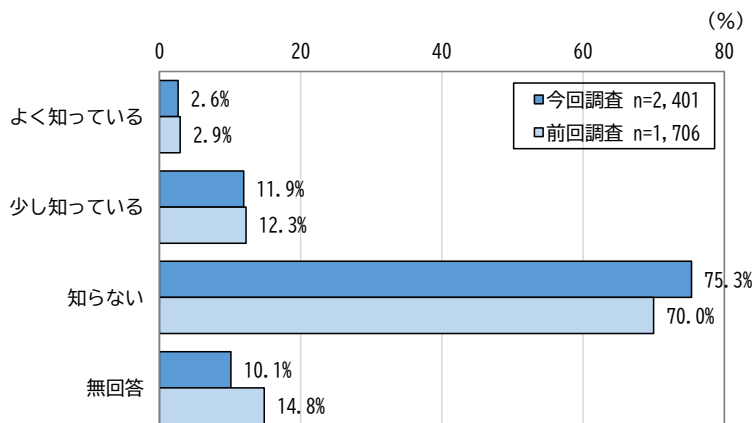


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q82.任意後見人制度の認知度				
		よく知っ ている	少し知っ ている	知らない	無回答	
全体	2401 100.0	299 12.5	970 40.4	879 36.6	253 10.5	
性別	男性	1172 100.0	139 11.9	455 38.8	470 40.1	108 9.2
	女性	1174 100.0	155 13.2	501 42.7	389 33.1	129 11.0

(78)川口市成年後見センター業務の認知度【Q83】

(SA)

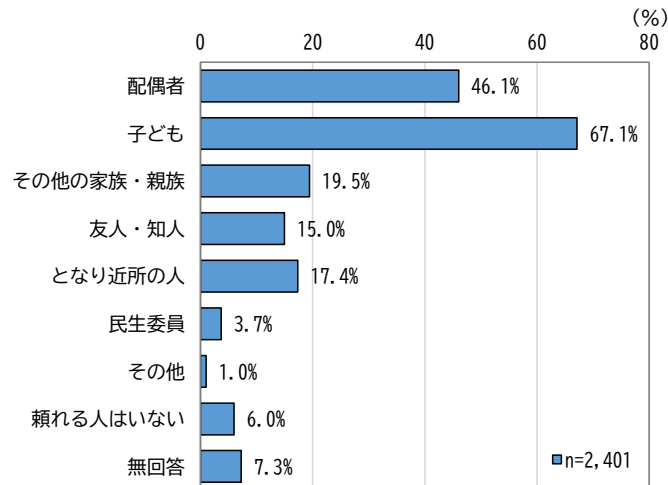
- 川口市成年後見センター業務の認知度は、「知らない」が約8割となっています。



(79)災害の際に頼れる人【Q84】

(MA)

- 災害の際に頼れる人は、「子ども」が67.1%で最も高く、次いで「配偶者」が46.1%、「その他の家族・親族」が19.5%の順になっています。
- 性別にみると、「配偶者」の割合は“男性”が“女性”に比べて18.9ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて、「配偶者」が15.2ポイント、「その他の家族・親族」が10.9ポイント高くなっています。
- 友人・知人と会う頻度別にみると、友人・知人と会う頻度が“ほとんどない”人では、災害の際に「頼れる人はいない」の割合が、他と比べて高くなっています。



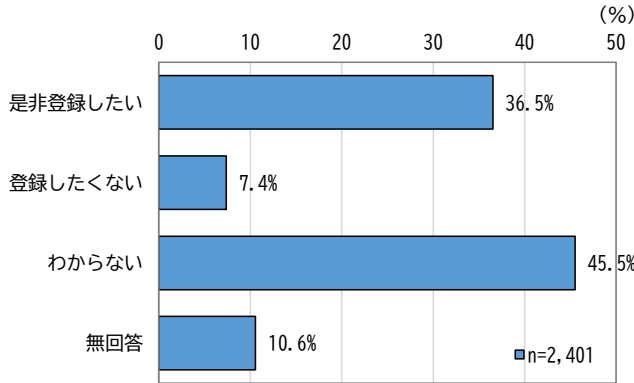
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q84.災害の際に頼れる人									
		配偶者	子ども	その他の 家族・親 族	友人・知 人	とおり近 所の人	民生委員	その他	頼れる人 はいない	無回答	
全体	2401 100.0	1106 46.1	1612 67.1	467 19.5	360 15.0	417 17.4	89 3.7	24 1.0	144 6.0	175 7.3	
性別	男性	1172 100.0	654 55.8	722 61.6	229 19.5	183 15.6	189 16.1	43 3.7	11 0.9	95 8.1	88 7.5
	女性	1174 100.0	433 36.9	859 73.2	231 19.7	173 14.7	219 18.7	44 3.7	13 1.1	47 4.0	75 6.4
年齢	前期高齢者	887 100.0	497 56.0	557 62.8	234 26.4	170 19.2	139 15.7	7 0.8	9 1.0	69 7.8	46 5.2
	後期高齢者	1447 100.0	591 40.8	1016 70.2	225 15.5	186 12.9	270 18.7	80 5.5	15 1.0	73 5.0	114 7.9
友人・知人と会う頻度	毎日ある	186 100.0	86 46.2	133 71.5	35 18.8	44 23.7	45 24.2	6 3.2	2 1.1	9 4.8	11 5.9
	週に何度かある	547 100.0	273 49.9	396 72.4	110 20.1	127 23.2	128 23.4	32 5.9	5 0.9	19 3.5	30 5.5
	月に何度かある	544 100.0	234 43.0	384 70.6	111 20.4	105 19.3	98 18.0	18 3.3	7 1.3	28 5.1	32 5.9
	年に何度かある	470 100.0	245 52.1	319 67.9	107 22.8	54 11.5	78 16.6	9 1.9	5 1.1	19 4.0	32 6.8
	ほとんどない	519 100.0	234 45.1	307 59.2	91 17.5	18 3.5	53 10.2	19 3.7	5 1.0	61 11.8	31 6.0

1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(80)避難行動要支援者登録制度について【Q85】

(SA)

- 避難行動要支援者登録制度については、「わからない」が45.5%、「是非登録したい」が36.5%、「登録したくない」が7.4%となっています。
- 日常生活圏域別にみると、“中央”“南平みなみ”では「是非登録したい」が最も高くなっています。
- 災害の際に頼れる人別にみると、災害の際に頼れる人が“友人・知人”“となり近所の人”“民生委員”と回答した人では、「是非登録したい」が最も高くなっています。

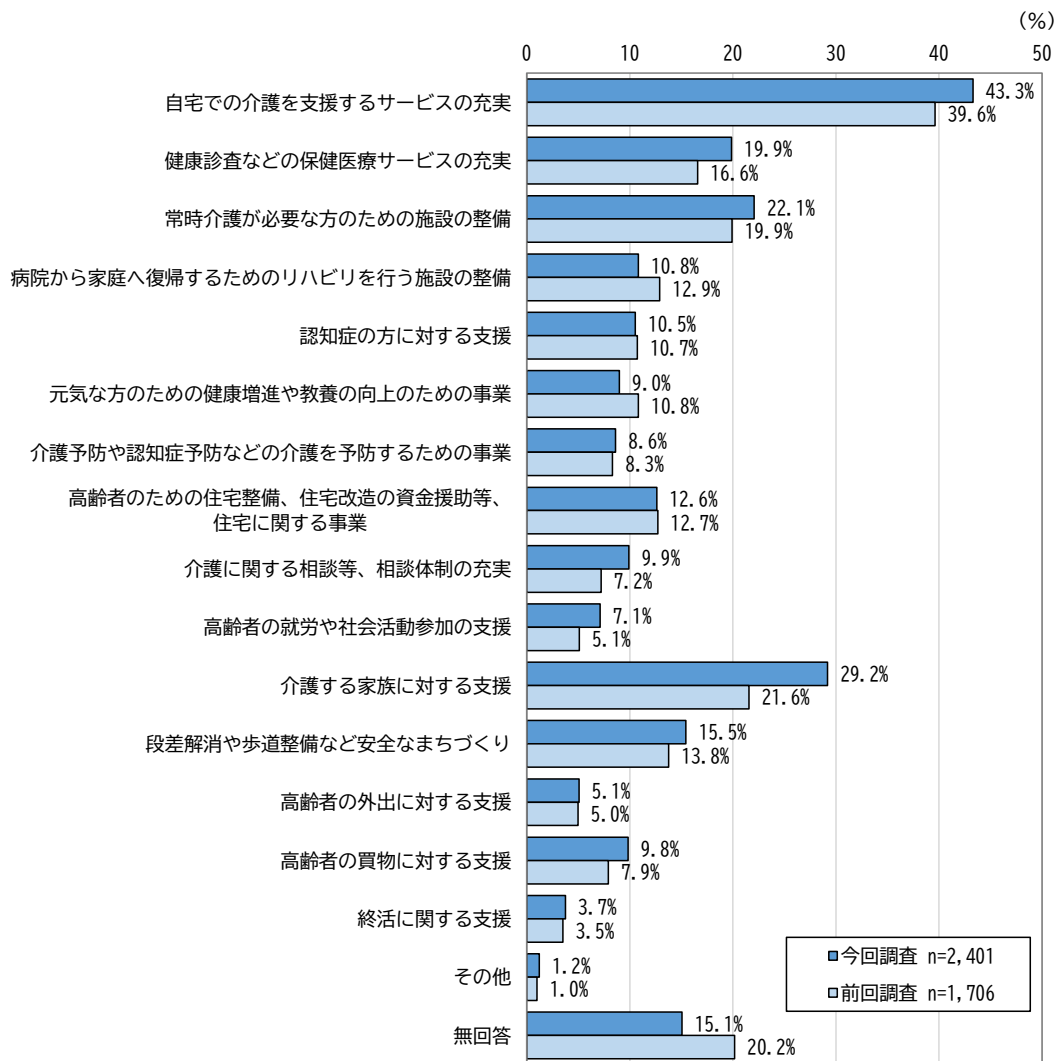


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q85.避難行動要支援者登録制度について			
		是非登録 したい	登録した くない	わから ない	無回答
全体	2401 100.0	877 36.5	177 7.4	1093 45.5	254 10.6
日常生活圏域					
中央	114 100.0	50 43.9	7 6.1	45 39.5	12 10.5
横曽根	115 100.0	37 32.2	9 7.8	54 47.0	15 13.0
西	161 100.0	64 39.8	15 9.3	65 40.4	17 10.6
青木	119 100.0	43 36.1	8 6.7	61 51.3	7 5.9
上青木	108 100.0	35 32.4	12 11.1	50 46.3	11 10.2
前川	120 100.0	38 31.7	13 10.8	58 48.3	11 9.2
南平	112 100.0	40 35.7	7 6.3	58 51.8	7 6.3
南平みなみ	104 100.0	51 49.0	9 8.7	37 35.6	7 6.7
新郷	118 100.0	41 34.7	7 5.9	59 50.0	11 9.3
新郷東	95 100.0	30 31.6	9 9.5	50 52.6	6 6.3
神根	121 100.0	42 34.7	9 7.4	54 44.6	16 13.2
神根東	106 100.0	41 38.7	6 5.7	46 43.4	13 12.3
芝	104 100.0	28 26.9	11 10.6	53 51.0	12 11.5
芝伊刈	120 100.0	46 38.3	9 7.5	51 42.5	14 11.7
芝西	126 100.0	49 38.9	4 3.2	61 48.4	12 9.5
安行	126 100.0	45 35.7	9 7.1	59 46.8	13 10.3
戸塚	119 100.0	46 38.7	6 5.0	54 45.4	13 10.9
戸塚西	121 100.0	43 35.5	13 10.7	51 42.1	14 11.6
鳩ヶ谷東部	112 100.0	44 39.3	6 5.4	51 45.5	11 9.8
鳩ヶ谷西部	118 100.0	41 34.7	6 5.1	61 51.7	10 8.5
災害の際に頼れる人					
配偶者	1106 100.0	405 36.6	85 7.7	545 49.3	71 6.4
子ども	1612 100.0	621 38.5	116 7.2	741 46.0	134 8.3
その他の家族・親族	467 100.0	200 42.8	36 7.7	202 43.3	29 6.2
友人・知人	360 100.0	167 46.4	27 7.5	135 37.5	31 8.6
となり近所の人	417 100.0	197 47.2	25 6.0	160 38.4	35 8.4
民生委員	89 100.0	43 48.3	7 7.9	33 37.1	6 6.7
その他	24 100.0	8 33.3	1 4.2	14 58.3	1 4.2
頼れる人はいない	144 100.0	38 26.4	17 11.8	77 53.5	12 8.3

(81)川口市が優先すべき取り組み【Q86】

(MA:3つまで)

- 川口市が優先すべき取り組みは、「自宅での介護を支援するサービスの充実」が43.3%で最も高く、次いで「介護する家族に対する支援」が29.2%、「常時介護が必要な方のための施設の整備」が22.1%の順となっています。
- 性別にみると、“女性”が“男性”に比べて、「介護する家族に対する支援」が4.9ポイント、「段差解消や歩道整備など安全なまちづくり」が9.4ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、前期・後期高齢者ともに「自宅での介護を支援するサービスの充実」が最も高いなかでも、“後期高齢者”が“前期高齢者”に比べて8.2ポイント高くなっています。
- 日常の買物に不便を感じているか別にみると、不便を感じている人ほど「高齢者の外出に対する支援」「高齢者の買物に対する支援」が高い傾向がみられます。
- 介護が必要になった際に望む介護別にみると、“老人ホームなどの介護施設に入所”と回答した人では、「常時介護が必要な方のための施設の整備」が最も高くなっています。また、“家族のみによる介護”と回答した人では「健康診査などの保健医療サービスの充実」が、“介護保険を利用しながらの在宅介護”と回答した人では「介護する家族に対する支援」が3割以上となり、他に比べて高くなっています。



1-1. 市民アンケート調査（65歳以上の方）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q86.川口市が優先すべき取り組み									
		自宅での介護を支援するサービスの充実	健康診査などの保健医療サービスの充実	常時介護が必要な方のための施設の整備	病院から家庭へ復帰するためのリハビリを行う施設の整備	認知症の方に対する支援	元気な方のための健康増進や教養の向上のための事業	介護予防や認知症予防などの介護を予防するための事業	高齢者のための住宅整備、住宅改造の資金援助等、住宅に関する事業	介護に関する相談等、相談体制の充実	
全体	2401 100.0	1040 43.3	477 19.9	530 22.1	260 10.8	253 10.5	216 9.0	207 8.6	303 12.6	238 9.9	
性別	男性	1172 100.0	539 46.0	293 25.0	270 23.0	106 9.0	125 10.7	116 9.9	112 9.6	142 12.1	109 9.3
	女性	1174 100.0	482 41.1	177 15.1	250 21.3	149 12.7	124 10.6	97 8.3	94 8.0	154 13.1	122 10.4
年齢	前期高齢者	887 100.0	342 38.6	205 23.1	219 24.7	95 10.7	97 10.9	93 10.5	89 10.0	142 16.0	83 9.4
	後期高齢者	1447 100.0	677 46.8	261 18.0	299 20.7	159 11.0	149 10.3	121 8.4	117 8.1	154 10.6	150 10.4
日常の買物に不便を感じているか	感じている	268 100.0	107 39.9	30 11.2	43 16.0	24 9.0	34 12.7	18 6.7	22 8.2	41 15.3	31 11.6
	あまり感じていない	780 100.0	352 45.1	135 17.3	169 21.7	86 11.0	80 10.3	68 8.7	61 7.8	100 12.8	79 10.1
	感じていない	1248 100.0	547 43.8	291 23.3	297 23.8	140 11.2	130 10.4	124 9.9	117 9.4	151 12.1	122 9.8
介護が必要になった場合、望む介護	家族のみによる介護	76 100.0	40 52.6	25 32.9	10 13.2	8 10.5	7 9.2	6 7.9	3 3.9	5 6.6	3 3.9
	介護保険を利用しながらの在宅介護	1123 100.0	627 55.8	224 19.9	239 21.3	135 12.0	113 10.1	105 9.3	104 9.3	135 12.0	114 10.2
	老人ホームなどの介護施設に入所	417 100.0	123 29.5	101 24.2	137 32.9	54 12.9	60 14.4	42 10.1	44 10.6	62 14.9	42 10.1
	よくわからない	584 100.0	187 32.0	102 17.5	117 20.0	44 7.5	59 10.1	52 8.9	43 7.4	81 13.9	63 10.8

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q86.川口市が優先すべき取り組み								
		高齢者の就労や社会活動参加の支援	介護する家族に対する支援	段差解消や歩道整備など安全なまちづくり	高齢者の外出に対する支援	高齢者の買物に対する支援	終活に関する支援	その他	無回答	
全体	2401 100.0	171 7.1	701 29.2	371 15.5	122 5.1	236 9.8	90 3.7	29 1.2	362 15.1	
性別	男性	1172 100.0	96 8.2	314 26.8	127 10.8	48 4.1	104 8.9	55 4.7	20 1.7	162 13.8
	女性	1174 100.0	73 6.2	372 31.7	237 20.2	70 6.0	128 10.9	35 3.0	7 0.6	184 15.7
年齢	前期高齢者	887 100.0	105 11.8	266 30.0	143 16.1	50 5.6	75 8.5	35 3.9	16 1.8	94 10.6
	後期高齢者	1447 100.0	64 4.4	419 29.0	223 15.4	68 4.7	153 10.6	55 3.8	12 0.8	245 16.9
日常の買物に不便を感じているか	感じている	268 100.0	9 3.4	71 26.5	35 13.1	28 10.4	64 23.9	12 4.5	3 1.1	47 17.5
	あまり感じていない	780 100.0	55 7.1	235 30.1	145 18.6	44 5.6	88 11.3	34 4.4	8 1.0	102 13.1
	感じていない	1248 100.0	103 8.3	370 29.6	183 14.7	47 3.8	78 6.3	41 3.3	17 1.4	179 14.3
介護が必要になった場合、望む介護	家族のみによる介護	76 100.0	0 0.0	18 23.7	8 10.5	3 3.9	8 10.5	2 2.6	1 1.3	13 17.1
	介護保険を利用しながらの在宅介護	1123 100.0	90 8.0	361 32.1	182 16.2	56 5.0	101 9.0	38 3.4	8 0.7	125 11.1
	老人ホームなどの介護施設に入所	417 100.0	27 6.5	111 26.6	67 16.1	20 4.8	40 9.6	21 5.0	5 1.2	51 12.2
	よくわからない	584 100.0	45 7.7	166 28.4	88 15.1	32 5.5	69 11.8	26 4.5	13 2.2	97 16.6

(82)自由意見

(FA)

○自由記述の意見は、483人から528件ありました。分野別の記述例は次表のとおりですが、「不安、心配、困りごと」が多くなっています。

分類	記述例	件数(件)
不安、心配、困りごと	ひとり暮らしのため体調急変時の対応が不安。在宅のまま最期を迎えられるか。災害時に避難できるか心配。家事がおっくう。市の防災無線広報無線が聞きとれない。たたら荘入浴(風呂)の再開。等	55
市政	高齢者支援の充実(ひとり暮らし、認知症、障害者、元気等)。介護家族の支援。まちのイメージ(安全・安心に生活できる、生きがいを持って健康で暮らせる、自分らしく生き続けることができる等)。アンケート結果の施策への反映。歩道・道路整備。等	52
介護保険料等 経済面	介護保険料が高い。年金だけの生活では保険料負担(介護保険、医療保険)が重い。年金から引かれるのが納得できない。等	45
情報提供、 相談対応、手続き	地域包括支援センターについて(何をしてくれるのかわからない、相談時間が短い、出張窓口を設けて等)。相談窓口の一覧がほしい。市の取組の広報が必要。丁寧にわかりやすい相談対応を。等	40
近況、健康状況	健康に不安がある。妻が入院中なので、妻の病気を看ながら自分のことを考え介護のことを勉強したい。等	39
感謝、今後よろしく	現在、母が利用しているが大変助かります。色々ありがとうございます。川口市の積極的な高齢者行政に感謝します。等	34
アンケート調査	15分では回答できない。質問が多く疲れた。日常を振り返ったり、高齢者福祉について考えるきっかけになった。等	29
介護施設	特別養護老人ホームの充実(増設、入所条件や費用負担の緩和、入所者への対応等)。等	28
介護予防、健康づくり、交流	健康寿命を延ばすための施策。予防に力を入れる。高齢者が気軽に集える場所があれば。市内のスポーツセンターにあるトレーニングジムを増やして。コロナ禍で人とのつながりが希薄になった。等	27
介護保険制度	介護保険を使わない人への還元(助成金の支給、払い戻し等)。介護を必要とする人が容易に受けられるように。介護保険料を払っていても介護を受ける側は収入がないとサービスを受けられない格差がある。等	19
介護保険サービス	介護人材の育成と地位の向上(給料や待遇の向上等)。高齢者本人のケアだけでなく、支える側の相談を地域包括支援センターで聞き入れてもらえればもっとサービスを利用できる。等	19
交通	バス利用の充実(便数、コース、交通費支援等)。通院支援。買い物等移動支援。等	14
その他	その時期になったら学ぶ。利用していないので身近に感じない。この制度について考えなければならない年齢となったと思う。これからもっと勉強していきたい。民生委員について。医療について。等	56
特になし	特になし。何もなし。	44
よくわからない	わからない。考えたことがない。	27

1-2. 生活機能評価

1-2. 生活機能評価

1. 生活機能評価について

(1)生活機能評価手法の概要

(1)生活機能

①運動器機能の低下:次の設問で3項目以上,該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
Q11①	階段	「3.できない」
Q11②	椅子からの立ち上がり	「3.できない」
Q11③	15分歩行	「3.できない」
Q12	過去1年間の転倒経験	「1.何度もある」「2.1度ある」
Q13	転倒不安	「1.とても不安である」「2.やや不安である」

②転倒リスク:次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
Q12	過去1年間の転倒経験	「1.何度もある」「2.1度ある」

③閉じこもり傾向:次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
Q14	週の外出回数	「1.ほとんど外出しない」「2.週1回」

④低栄養:次の設問で2問ともに該当する場合

問番号	設問	選択肢
Q20	身長・体重	()cm ()kg BMI[体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))]が18.5 以下の場合
Q27	6か月間での体重減少	「1.はい」

⑤口腔機能の低下:次の設問で2問に該当する場合

問番号	設問	選択肢
Q21	固いものの食べにくさ	「1.はい」
Q22	お茶や汁物でむせる	「1.はい」
Q23	口の渇き	「1.はい」

⑥認知機能の低下:次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
Q30①	物忘れ	「1.はい」

⑦うつ傾向:次の設問のいずれか1問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
Q61	ゆううつな気持ち	「1.はい」

II 市民調査結果

Q62	心から楽しめない	「1.はい」
-----	----------	--------

(2) 老研式活動能力指標: 手段的自立 (IADL)、知的能動性、社会的役割の3つの側面で構成された高次の生活機能評価指標

① 手段的自立度 (IADL): 次の5設問の合計点数で評価

5点: 高い 4点: やや低い 0~3点: 低い

問番号	設問	配点	選択肢
Q32①	外出	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
Q32②	買物	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
Q32③	食事の用意	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
Q32④	支払い	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
Q32⑤	預貯金	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」

② 知的能動性: 次の4設問の合計点数で評価

4点: 高い 0~3点: 低い

問番号	設問	配点	選択肢
Q33①	年金書類の記入	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
Q33②	新聞を読む	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
Q33③	本や雑誌を読む	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
Q33④	健康への関心	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」

③ 社会的役割: 次の4設問の合計点数で評価

4点: 高い 0~3点: 低い

問番号	設問	配点	選択肢
Q33⑤	友人の家訪問	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
Q33⑥	友人からの相談	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
Q33⑦	病人の見舞い	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
Q33⑧	若者への話しかけ	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」

1-2. 生活機能評価

II 市民調査結果

(3) 大友式認知症予測テスト

: 認知症のごく初期、認知症の始まり、あるいは認知症に進展する可能性のある状態を判定

0～8点:正常 9～13点:要注意 14～20点:要診断

問番号	設問	配点	選択肢
Q37①	同じ話を繰り返す	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37②	名前を思い出せない	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37③	物のしまい場所を忘れる	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37④	漢字を忘れる	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37⑤	今しようとしていることを忘れる	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37⑥	器具の説明を読むのを面倒がる	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37⑦	理由もないのに気がふさぐ	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37⑧	身だしなみに無関心である	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37⑨	外出がおっくうである	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」
Q37⑩	物が見当たらないことを他人のせいにする	0	「1.ほとんどない」
		1	「2.時々ある」
		2	「3.頻繁にある」

1-2. 生活機能評価

2. 評価結果

(2)生活機能

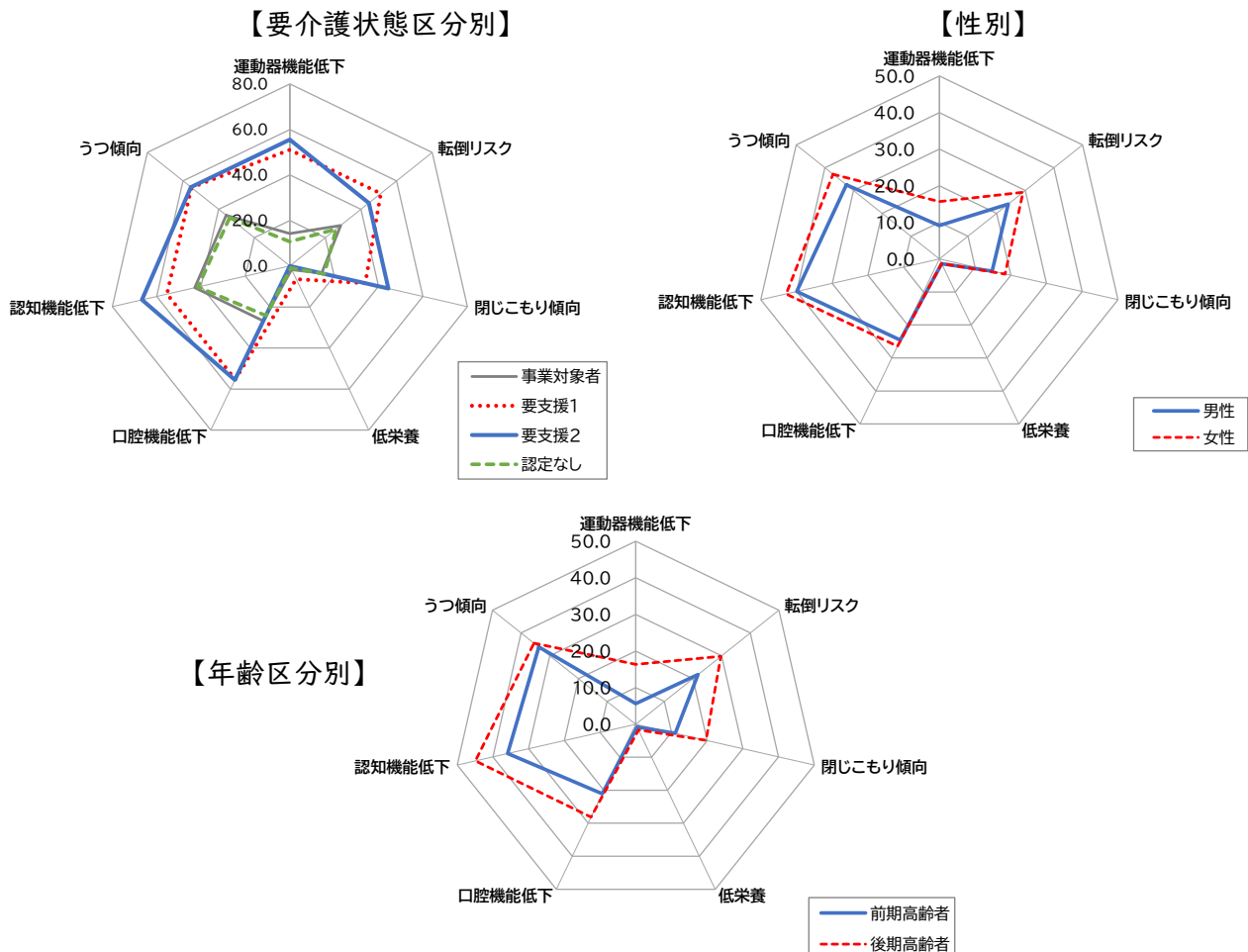
○生活機能の評価項目ごとの該当者(リスクあり)の割合をみると、“認定なし”でその割合が最も低く、また、全体的には、要支援1よりも要支援2で該当者の割合が高く、生活機能のレベルを反映した結果となっています。なかでも「運動器機能低下」「転倒リスク」「閉じこもり傾向」「口腔機能低下」の4項目については、“要支援1・2”で該当者の割合が大きく増加しています。一方、「低栄養」は、どの要介護状態区分においても該当者の割合は低く、「認知機能低下」「うつ傾向」は、要介護認定ではない“認定なし”“事業対象者”においても、該当者の割合は高くなっています。

○性別にみると、「低栄養」を除き、“女性”が“男性”に比べ高い割合となっています。

○年齢別にみると、すべての項目で、“後期高齢者”が“前期高齢者”に比べて高い割合となっており、特に「運動器機能低下」については10ポイント以上の差がみられます。

【市全体】

	要介護状態区分別				性別		年齢別	
	事業対象者	要支援1	要支援2	認定なし	男性	女性	前期高齢者	後期高齢者
運動器機能低下	14.3	51.1	55.6	10.7	9.1	15.7	5.6	16.4
転倒リスク	28.6	51.1	44.4	26.0	24.1	29.2	21.8	29.7
閉じこもり傾向	14.3	34.0	44.4	15.6	14.8	18.4	11.0	19.7
低栄養	1.8	6.4	0.0	1.0	1.5	1.4	0.8	1.7
口腔機能低下	26.8	55.3	55.6	24.2	24.6	26.4	21.1	28.1
認知機能低下	42.9	55.3	66.7	41.4	39.9	42.9	35.9	44.9
うつ傾向	35.7	55.3	55.6	33.9	32.5	37.1	33.8	35.5



II 市民調査結果

○評価項目ごとの該当者のクロス集計をみると、「運動器機能低下」の該当者と「IADL」の低い方は、その他の項目も該当する割合が高い傾向がみられます。

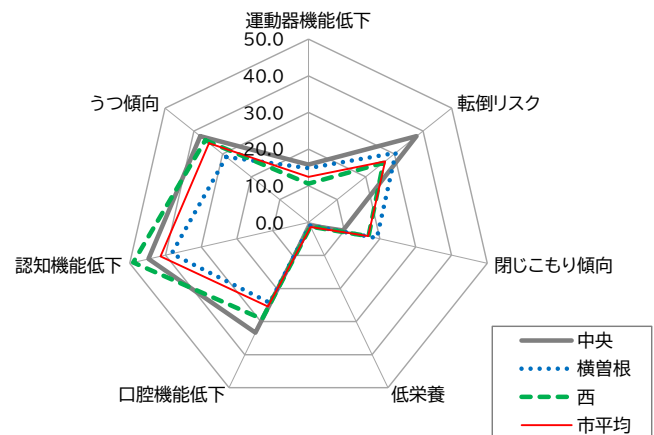
○「運動器機能低下」では、「転倒リスク」「閉じこもり傾向」「うつ傾向」の該当者の割合が全体に比べ20ポイント以上高くなっており、強い関連性がみられます。

		その他の該当項目									
		運動器機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養	口腔機能低下	認知機能低下	うつ傾向	IADL	知的能動性	社会的役割
		該当	該当	該当	該当	該当	該当	該当	低い	低い	低い
全体		12.5	26.7	16.7	1.4	25.4	41.4	34.7	5.0	46.9	65.7
主たる該当項目	運動器機能低下	該当	64.2	42.5	3.7	49.5	60.5	55.2	23.7	60.2	78.6
	転倒リスク	該当	29.9	21.3	1.7	39.7	55.8	48.0	8.4	52.2	68.5
	閉じこもり傾向	該当	31.7	34.2	3.0	36.4	52.4	45.4	19.2	56.6	79.1
	低栄養	該当	33.3	33.3	36.4	54.5	54.5	57.6	12.1	45.5	69.7
	口腔機能低下	該当	24.2	41.7	23.9	2.9	60.1	51.9	9.8	56.6	74.0
	認知機能低下	該当	18.2	36.0	21.1	1.8	36.9	46.4	8.4	57.4	71.8
	うつ傾向	該当	19.8	37.0	21.8	2.3	38.1	55.3	7.4	52.5	70.5
	IADL	低い	58.7	44.6	63.6	3.3	49.6	68.6	51.2	80.2	93.4
	知的能動性	低い	16.0	29.8	20.2	1.3	30.7	50.7	38.8	8.6	80.2
	社会的役割	低い	14.9	27.9	20.1	1.5	28.6	45.2	37.2	7.2	57.2

【圏域別の状況】

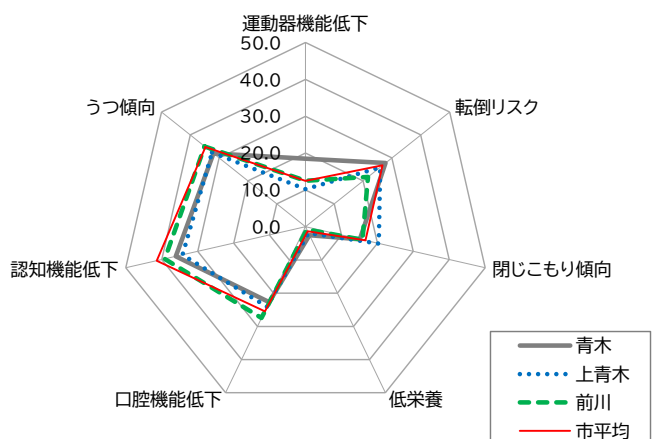
中央・横曽根・西

	(%)			
	中央	横曽根	西	市平均
運動器機能低下	15.8	14.8	10.6	12.5
転倒リスク	37.7	30.4	26.1	26.7
閉じこもり傾向	9.6	19.1	16.8	16.7
低栄養	0.9	0.9	1.2	1.4
口腔機能低下	33.3	24.3	29.2	25.4
認知機能低下	44.7	38.3	49.1	41.4
うつ傾向	37.7	28.7	36.0	34.7



青木・上青木・前川

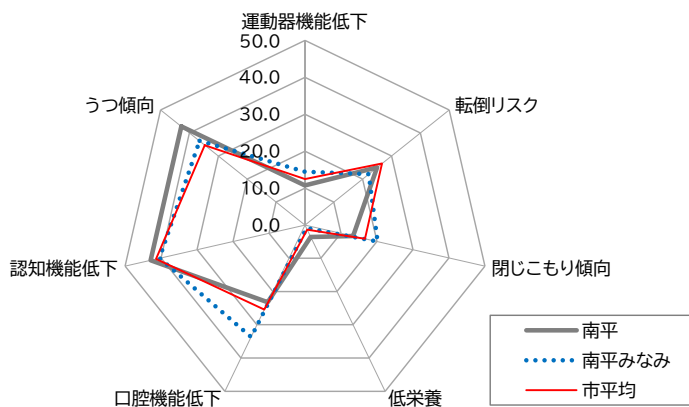
	(%)			
	青木	上青木	前川	市平均
運動器機能低下	18.5	10.2	12.5	12.5
転倒リスク	27.7	25.9	21.7	26.7
閉じこもり傾向	15.1	20.4	15.8	16.7
低栄養	2.5	1.9	0.8	1.4
口腔機能低下	22.7	24.1	27.5	25.4
認知機能低下	36.1	34.3	39.2	41.4
うつ傾向	31.9	32.4	35.0	34.7



1-2. 生活機能評価

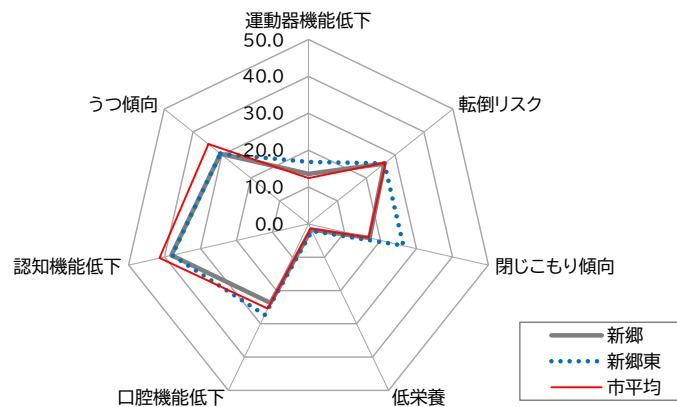
南平・南平みなみ

	南平・南平みなみ (%)		
	南平	南平みなみ	市平均
運動器機能低下	10.7	14.4	12.5
転倒リスク	25.0	22.1	26.7
閉じこもり傾向	13.4	20.2	16.7
低栄養	3.6	1.0	1.4
口腔機能低下	23.2	33.7	25.4
認知機能低下	42.9	40.4	41.4
うつ傾向	42.9	36.5	34.7



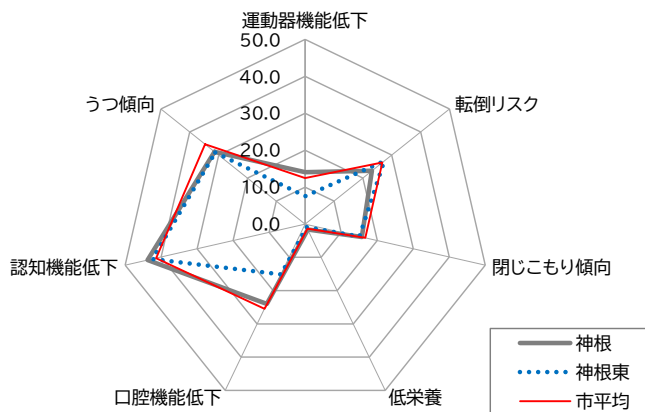
新郷・新郷東

	新郷・新郷東 (%)		
	新郷	新郷東	市平均
運動器機能低下	13.6	16.8	12.5
転倒リスク	26.3	26.3	26.7
閉じこもり傾向	16.9	26.3	16.7
低栄養	1.7	2.1	1.4
口腔機能低下	23.7	27.4	25.4
認知機能低下	38.1	37.9	41.4
うつ傾向	30.5	30.5	34.7



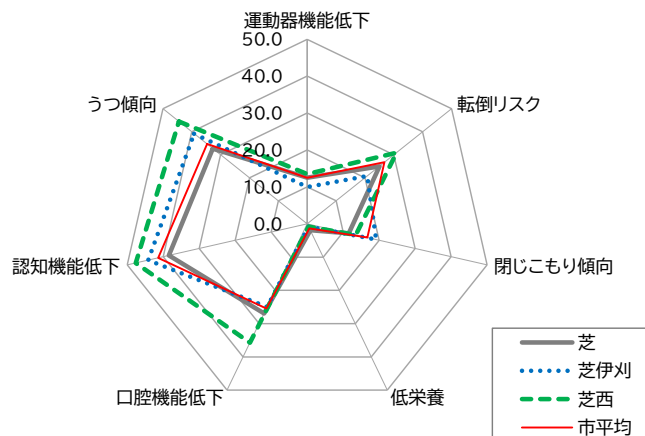
神根・神根東

	神根・神根東 (%)		
	神根	神根東	市平均
運動器機能低下	14.0	7.5	12.5
転倒リスク	23.1	27.4	26.7
閉じこもり傾向	15.7	15.1	16.7
低栄養	1.7	0.9	1.4
口腔機能低下	24.0	15.1	25.4
認知機能低下	43.8	42.5	41.4
うつ傾向	31.4	31.1	34.7



芝・芝伊刈・芝西

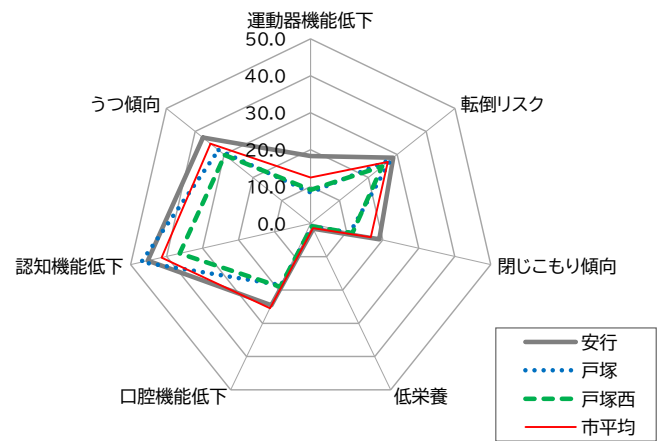
	芝・芝伊刈・芝西 (%)			
	芝	芝伊刈	芝西	市平均
運動器機能低下	12.5	10.0	13.5	12.5
転倒リスク	25.0	20.8	31.0	26.7
閉じこもり傾向	11.5	19.2	13.5	16.7
低栄養	1.9	0.8	0.8	1.4
口腔機能低下	26.9	25.0	35.7	25.4
認知機能低下	38.5	44.2	47.6	41.4
うつ傾向	32.7	39.2	44.4	34.7



II 市民調査結果

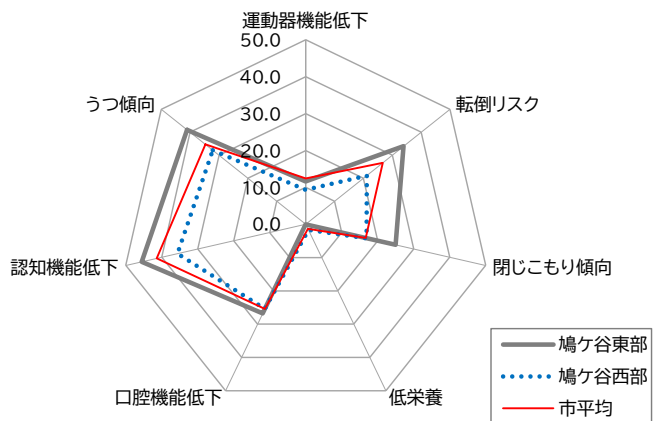
安行・戸塚・戸塚西

	安行	戸塚	戸塚西	市平均
運動器機能低下	18.3	8.4	9.1	12.5
転倒リスク	28.6	27.7	24.8	26.7
閉じこもり傾向	19.0	10.9	11.6	16.7
低栄養	1.6	0.8	0.8	1.4
口腔機能低下	24.6	18.5	19.0	25.4
認知機能低下	45.2	47.1	36.4	41.4
うつ傾向	37.3	31.9	29.8	34.7



鳩ヶ谷東部・鳩ヶ谷西部

	鳩ヶ谷東部	鳩ヶ谷西部	市平均
運動器機能低下	11.6	9.3	12.5
転倒リスク	33.9	21.2	26.7
閉じこもり傾向	25.0	16.9	16.7
低栄養	0.0	1.7	1.4
口腔機能低下	26.8	25.4	25.4
認知機能低下	45.5	35.6	41.4
うつ傾向	41.1	32.2	34.7



1-2. 生活機能評価

(3) 老研式活動能力指標

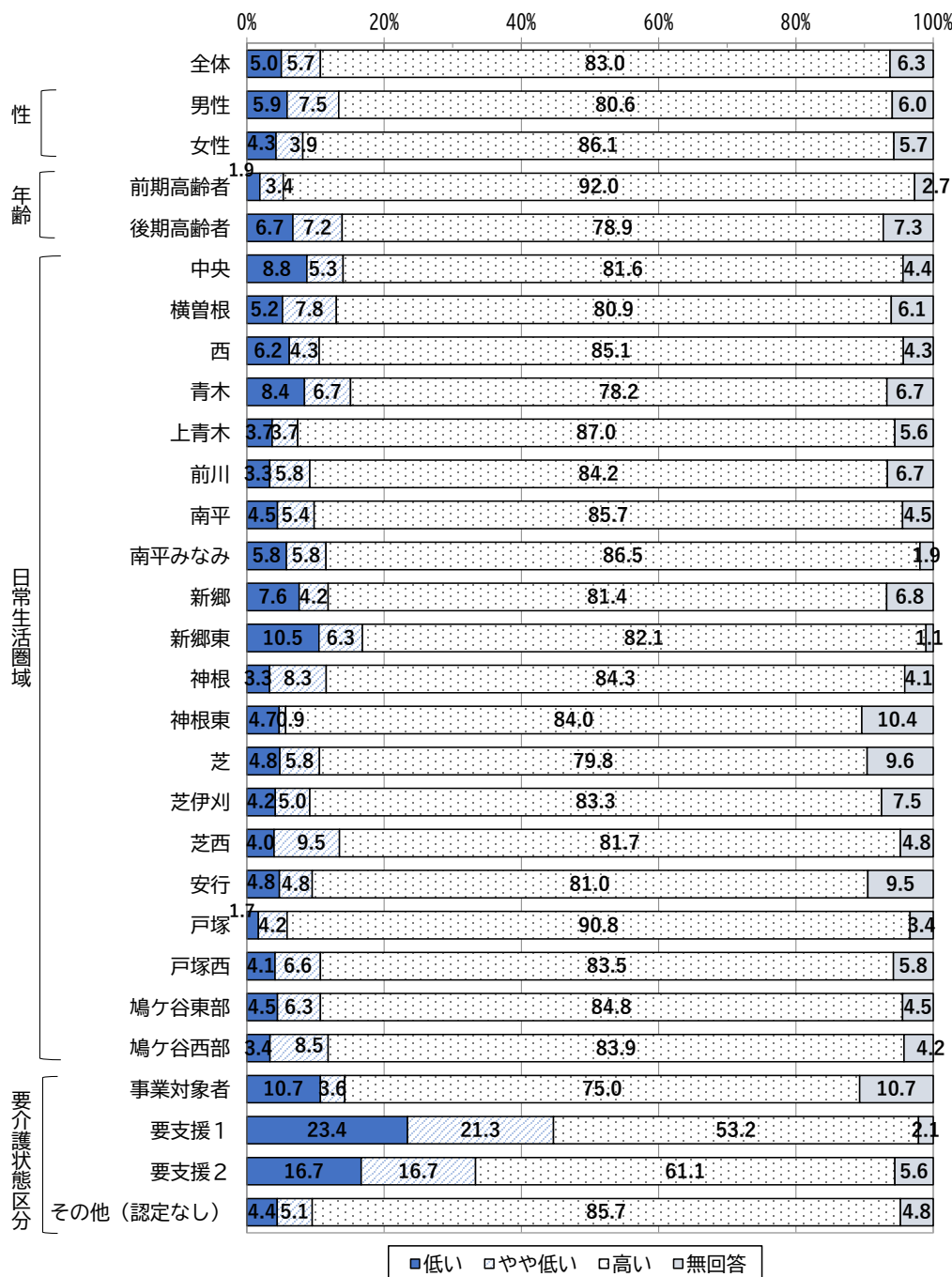
【①手段的自立度（IADL）】

○全体では、「高い」が83.0%、「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』が10.7%となっています。

○性、年齢別にみると、“男性”に比べて“女性”が、“後期高齢者”に比べて“前期高齢者”が高くなっています。

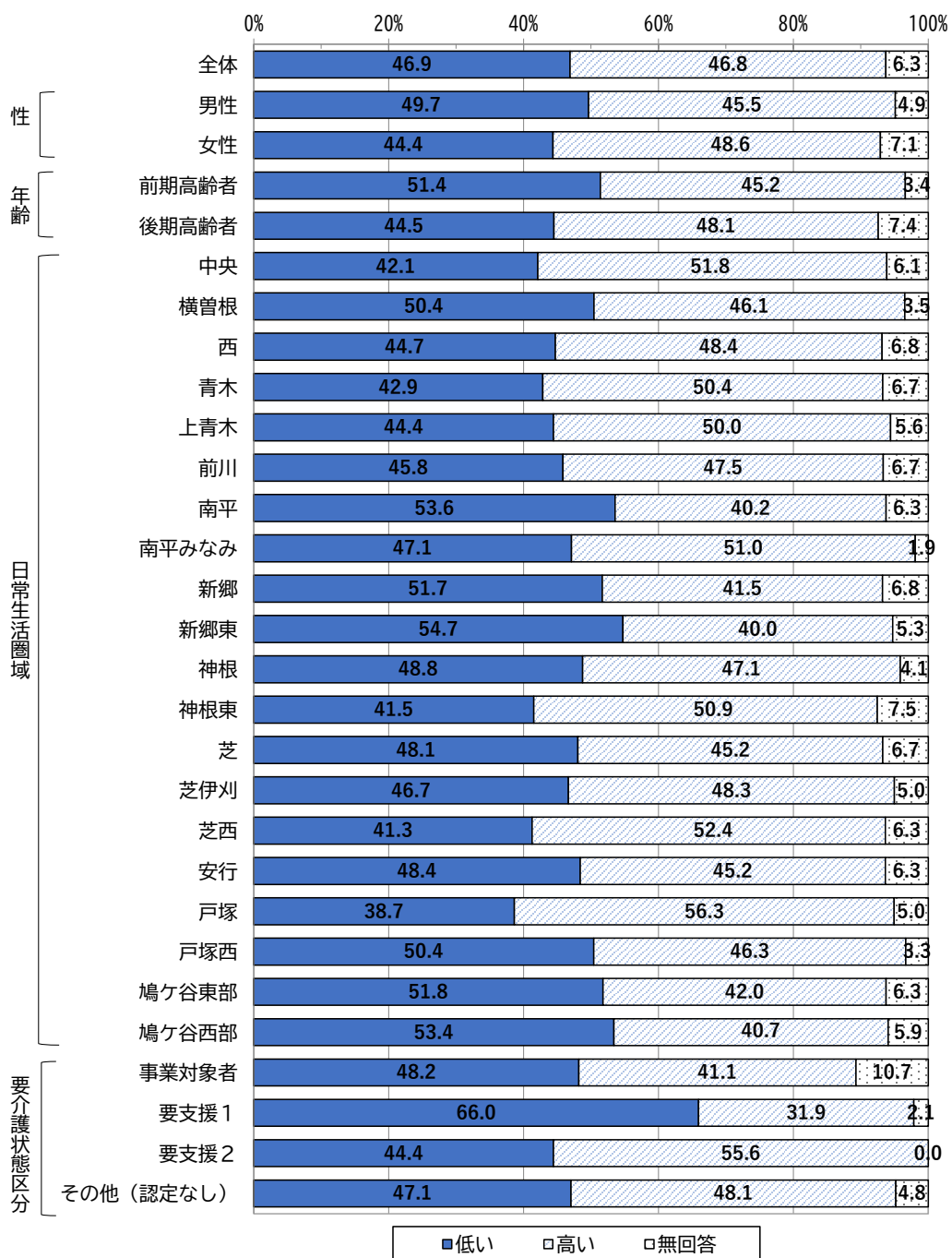
○日常生活圏域別にみると、「高い」が最も高いのは“戸塚”が90.8%、『低い』が最も高いのは“新郷東”で16.8%となっています。

○要介護状態区別にみると、『低い』の割合は“要支援2”に比べ“要支援1”が高く44.7%となっています。



【②知的能動性】

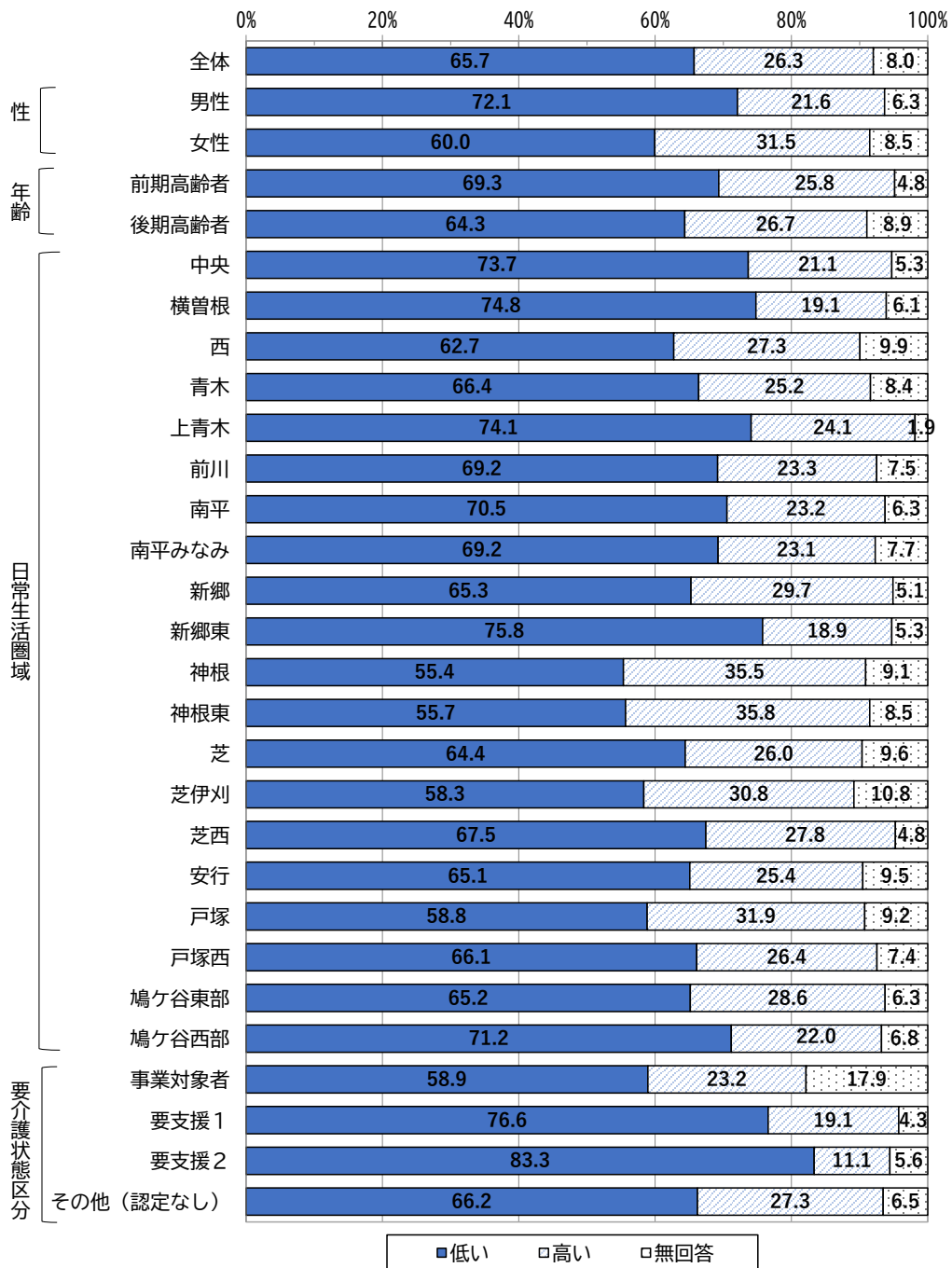
- 全体でみると、「低い」が46.9%、「高い」が46.8%となっています。
- 性別にみると、「高い」の割合は、“男性”に比べて“女性”が高くなっています。
- 年齢別にみると、「高い」の割合は、“前期高齢者”に比べ“後期高齢者”が高くなっています。また“前期高齢者”では“低い”が過半数となっています。
- 日常生活圏域別にみると、「低い」が最も高いのは“新郷東”が54.7%、「高い」が最も高いのは“戸塚”で56.3%となっています。
- 要介護状態区分別にみると、「高い」が最も高いのは“要支援2”が55.6%、「低い」が最も高いのは“要支援1”で66.0%となっています。



1-2. 生活機能評価

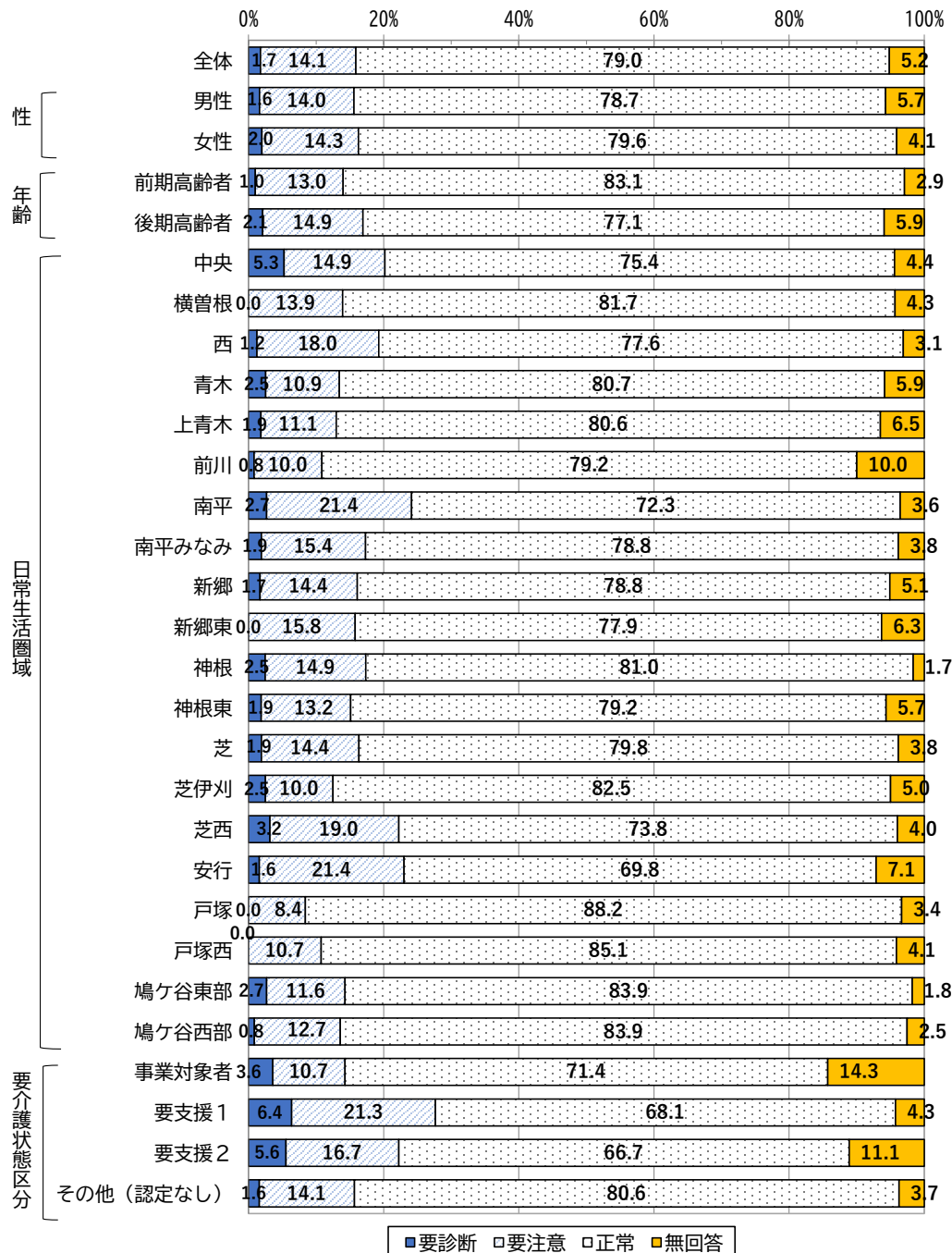
【③社会的役割】

- 全体でみると、「低い」が65.7%、「高い」が26.3%となっています。
- 性別にみると、「低い」の割合は、“男性”が“女性”に比べ12.1ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”と“後期高齢者”で大きな違いはみられません。
- 日常生活圏域別にみると、「高い」が最も高いのは“神根東”が35.8%、「低い」が最も高いのは“新郷東”で75.8%となっています。
- 要介護状態区分別にみると、「高い」が最も高いのは“その他（認定なし）”が27.3%、「低い」が最も高いのは“要支援2”で83.3%となっています。



(4)大友式認知症予測テスト

- 全体でみると、「正常」が約8割となっています。
- 性別にみると、“男性”と“女性”で大きな違いはみられません。
- 年齢別にみると、「正常」の割合は、“前期高齢者”が“後期高齢者”に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「正常」の割合が最も高いのは“戸塚”となっています。
- 要介護状態区分別にみると、“要支援1”では「要注意」が21.3%、「要診断」が6.4%で、他の区分に比べて高くなっています。



2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

2. 在宅サービス利用者調査(在宅介護実態調査)

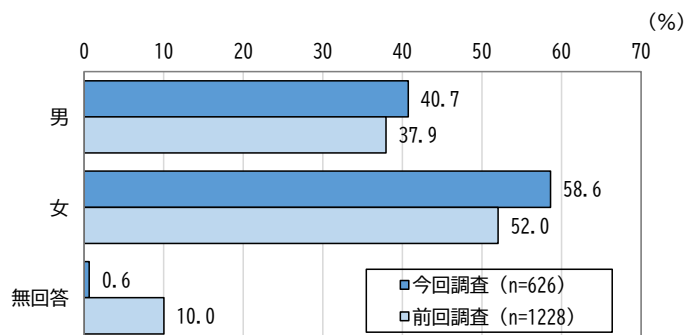
A票 調査対象者本人について

●回答者の基本属性について

●性別

(SA)

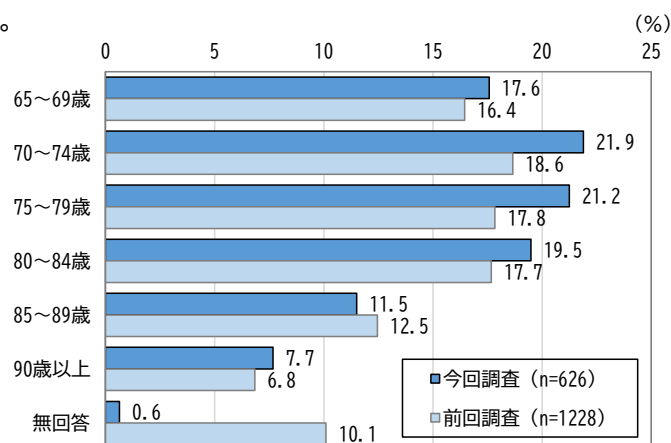
○性別は、“男性”が40.7%、“女性”が58.6%で、女性が高くなっています。



●年齢

(SA)

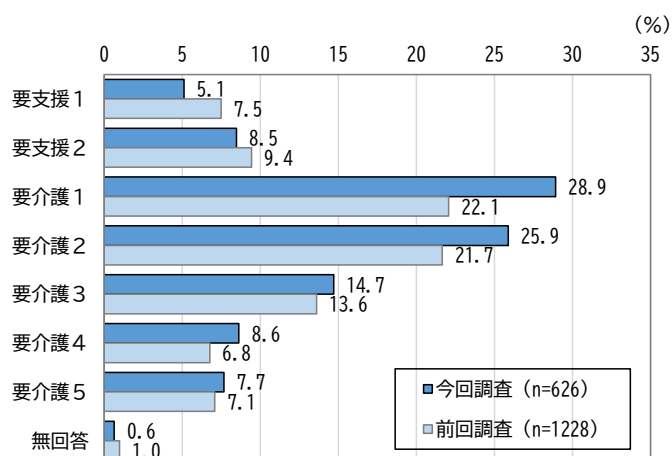
○年齢は、“70～74歳”が21.9%で最も高く、次いで“75～79歳”が21.2%、“80～84歳”が19.5%の順となっています。



●要介護度

(SA)

○要介護度は、“要介護1”が28.9%で最も高く、次いで“要介護2”が25.9%、“要介護3”が14.7%の順となっています。



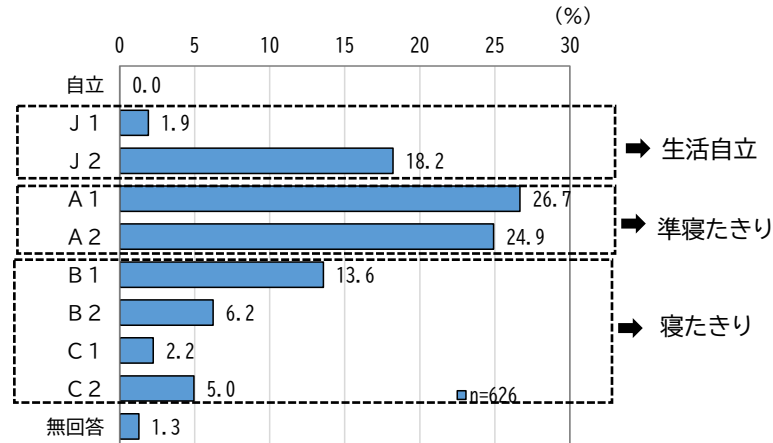
●障害高齢者自立度※

(SA)

※高齢者の日常生活自立度の程度を表す指標

○「A1」が26.7%で最も高く、次いで「A2」が24.9%、「J2」が18.2%となっており、『寝たきり』とされる分類が27.0%となっています。

○要介護度別にみると、“要介護3以上”では「寝たきり」が57.7%となっています。



		合計	障害高齢者自立度(統合)				
			自立	生活自立	準寝たきり	寝たきり	無回答
全体		626	0	126	323	169	8
		100.0	0.0	20.1	51.6	27.0	1.3
要介護度 (統合)	要支援1・2	85	0	41	37	7	0
		100.0	0.0	48.2	43.5	8.2	0.0
	要介護1・2	343	0	74	216	50	3
		100.0	0.0	21.6	63.0	14.6	0.9
	要介護3以上	194	0	11	70	112	1
		100.0	0.0	5.7	36.1	57.7	0.5

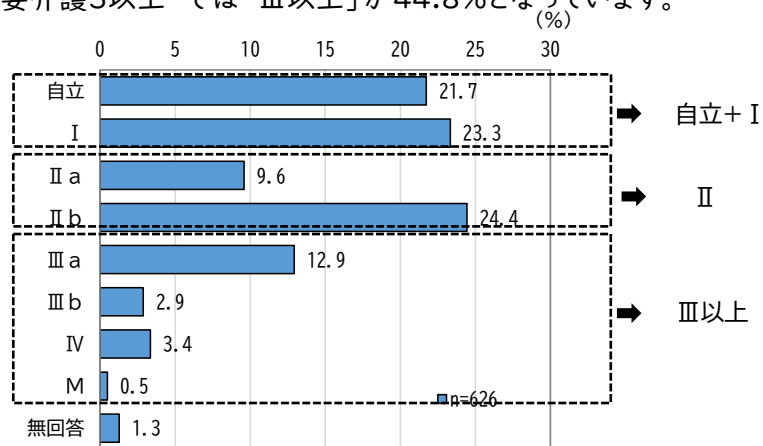
●認知症自立度※

(SA)

※高齢者の認知症の程度を踏まえた日常生活自立度の程度を表す指標

○「II b」が24.4%で最も高く、次いで「I」が23.3%、「自立」が21.7%の順となっています。

○要介護度別にみると、“要介護3以上”では「Ⅲ以上」が44.8%となっています。



		合計	認知症自立度(統合)			
			自立+I	II	Ⅲ以上	無回答
全体		626	282	213	123	8
		100.0	45.0	34.0	19.6	1.3
要介護度 (統合)	要支援1・2	85	75	10	0	0
		100.0	88.2	11.8	0.0	0.0
	要介護1・2	343	155	149	36	3
		100.0	45.2	43.4	10.5	0.9
	要介護3以上	194	52	54	87	1
		100.0	26.8	27.8	44.8	0.5

2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

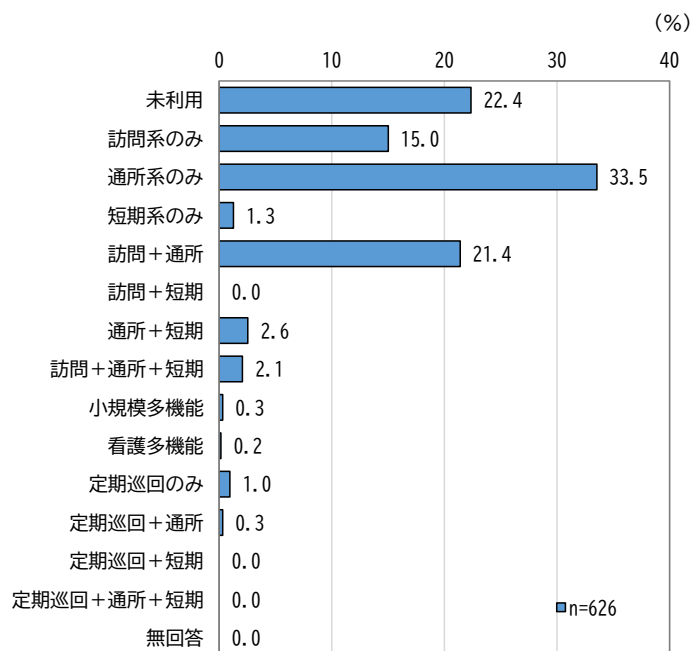
●サービス利用の組み合わせ

(SA)

○「通所系のみ」が33.5%で最も高く、次いで「未利用」が22.4%、「訪問+通所」が21.4%となっています。

○要介護度別にみると、「要介護度3以上」では、「訪問+通所」が29.4%で最も高く、介護度が低い方に比べ、組み合わせでサービスを利用している状況がみられます。

○「未利用」は、「要支援1・2」で48.2%、認知症自立度別にみると、「自立+1」が32.6%で、高くなっています。



	合計	サービス利用の組み合わせ													
		未利用	訪問系のみ	通所系のみ	短期系のみ	訪問+通所	訪問+短期	通所+短期	訪問+通所+短期	小規模多機能	看護多機能	定期巡回のみ	定期巡回+通所	定期巡回+短期	定期巡回+通所+短期
全体	626	140	94	210	8	134	0	16	13	2	1	6	2	0	0
	100.0	22.4	15.0	33.5	1.3	21.4	0.0	2.6	2.1	0.3	0.2	1.0	0.3	0.0	0.0
要介護度 (統合)	要支援1・2	85	41	15	20	0	7	0	0	2	0	0	0	0	0
		100.0	48.2	17.6	23.5	0.0	8.2	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1・2	343	69	54	135	1	70	0	10	1	0	1	2	0	0
	100.0	20.1	15.7	39.4	0.3	20.4	0.0	2.9	0.3	0.0	0.3	0.6	0.0	0.0	
	要介護3以上	194	30	25	55	7	57	0	6	10	2	1	0	0	0
	100.0	15.5	12.9	28.4	3.6	29.4	0.0	3.1	5.2	1.0	0.5	0.5	0.0	0.0	
認知症自立度 (統合)	自立+I	282	92	55	76	0	54	0	0	4	0	0	1	0	0
		100.0	32.6	19.5	27.0	0.0	19.1	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
	II	213	32	28	91	1	47	0	8	3	0	2	1	0	0
	100.0	15.0	13.1	42.7	0.5	22.1	0.0	3.8	1.4	0.0	0.9	0.5	0.0	0.0	
	III以上	123	16	11	41	7	31	0	8	6	2	1	0	0	0
	100.0	13.0	8.9	33.3	5.7	25.2	0.0	6.5	4.9	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	
世帯類型	単身世帯	161	31	34	31	2	54	0	2	2	0	3	2	0	0
		100.0	19.3	21.1	19.3	1.2	33.5	0.0	1.2	1.2	0.0	1.9	1.2	0.0	0.0
	夫婦のみ世帯	207	50	27	74	5	39	0	5	5	1	0	1	0	0
	100.0	24.2	13.0	35.7	2.4	18.8	0.0	2.4	2.4	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	
	その他	223	46	30	97	1	34	0	7	6	1	1	0	0	0
	100.0	20.6	13.5	43.5	0.4	15.2	0.0	3.1	2.7	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	

【サービス利用の組み合わせ】

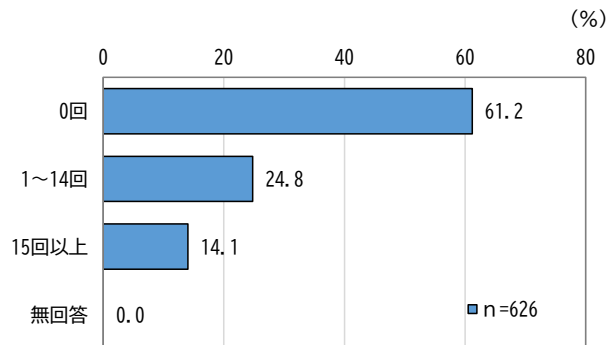
- ・「未利用」： 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外のサービスを利用していない人
 - ・「訪問系」： 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護のいずれかを利用している人
 - ・「通所系」： 通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護のいずれかを利用している人
 - ・「短期系」： 短期入所生活介護、短期入所療養介護のいずれかを利用している人
- ※小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は「訪問系を含む組み合わせ」に含む

●サービスの利用回数(1か月あたり)

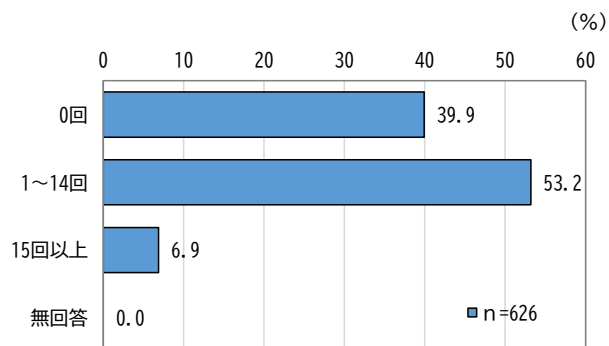
(NA)

○サービスの利用回数は、“訪問系”“通所系”はそれぞれ「1～14回」が多く、“短期系”は「1～9回」がやや多くなっています。

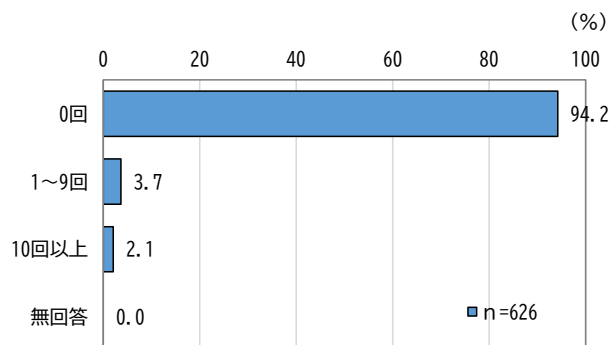
【訪問系】



【通所系】



【短期系】



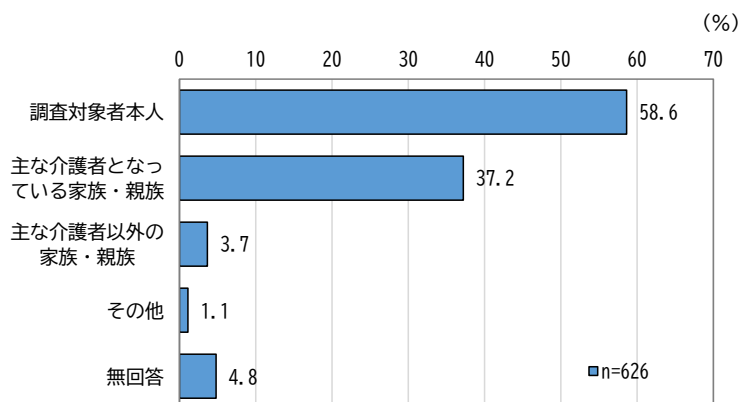
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

1. 回答者及びご家族について

Q1. 調査票の回答者

(SA)

○調査票の回答者は、「調査対象者本人」が58.6%、「主な介護者となっている家族・親族」が37.2%となっています。



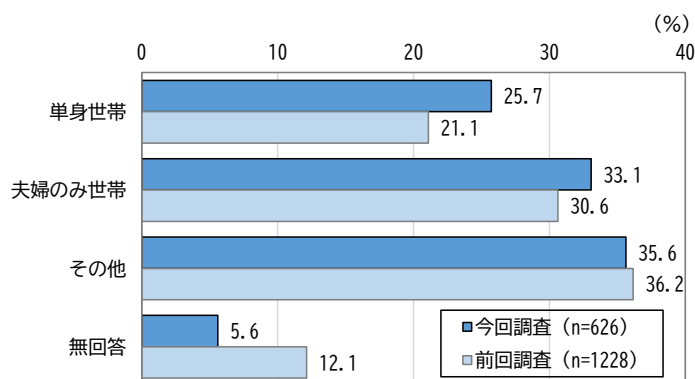
Q2. 世帯類型

(SA)

○世帯類型は、「その他」が35.6%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が33.1%、「単身世帯」が25.7%の順となっています。

○前回調査に比べ、「単身世帯」が4.6ポイント増加しています。

○年齢別にみると、「前期高齢者」、要介護度別にみると「要介護3以上」は「夫婦のみ世帯」が最も高くなっています。



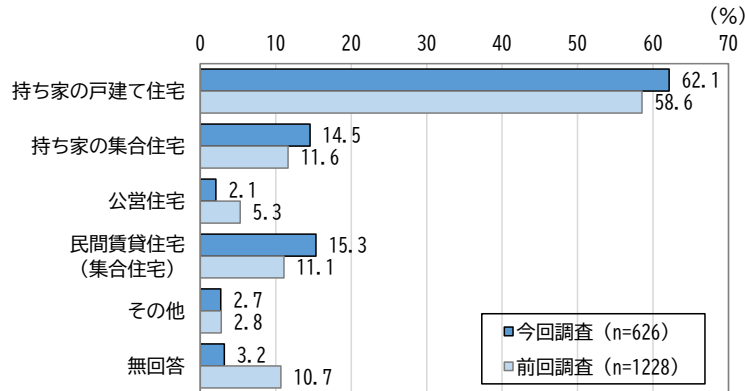
		合計	Q2.世帯類型			
			単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体		626	161	207	223	35
		100.0	25.7	33.1	35.6	5.6
年齢(統合)	前期高齢者	247	58	99	78	12
		100.0	23.5	40.1	31.6	4.9
	後期高齢者	375	102	107	144	22
		100.0	27.2	28.5	38.4	5.9
要介護度(統合)	要支援1・2	85	27	24	28	6
		100.0	31.8	28.2	32.9	7.1
	要介護1・2	343	92	100	131	20
		100.0	26.8	29.2	38.2	5.8
	要介護3以上	194	41	82	63	8
		100.0	21.1	42.3	32.5	4.1

Q3. 住まいの種類

(SA)

○住まいの状況は、「持ち家の戸建て住宅」が62.1%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」が15.3%、「持ち家の集合住宅」が14.5%の順となっています。

○前回調査では、第3位であった「民間賃貸住宅(集合住宅)」が、「持ち家の集合住宅」を上回っています。



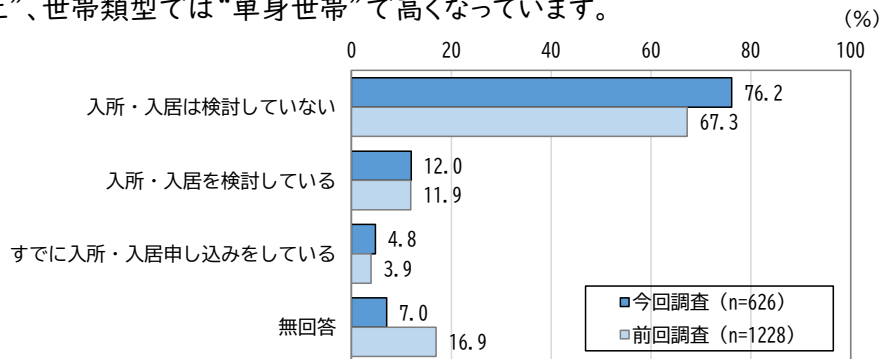
Q4. 施設等への入所・入居の検討状況

(SA)

○「入所・入居は検討していない」が76.2%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が12.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が4.8%となっています。

○前回調査に比べ、「入所・入居は検討していない」が8.9ポイント増加しています。

○「すでに入所・入居申し込みをしている」は、年齢別にみると“後期高齢者”、要介護度別にみると“要介護3以上”、世帯類型では“単身世帯”で高くなっています。



		合計	Q4. 施設等への入所・入居の検討状況			
			入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全体		626	477	75	30	44
		100.0	76.2	12.0	4.8	7.0
年齢(統合)	前期高齢者	247	193	26	9	19
	後期高齢者	375	281	48	21	25
		100.0	74.9	12.8	5.6	6.7
要介護度(統合)	要支援1・2	85	76	4	2	3
	要介護1・2	343	267	36	13	27
	要介護3以上	194	131	34	15	14
		100.0	67.5	17.5	7.7	7.2
世帯類型	単身世帯	161	116	24	12	9
	夫婦のみ世帯	207	161	31	9	6
	その他	223	186	19	9	9
		100.0	83.4	8.5	4.0	4.0

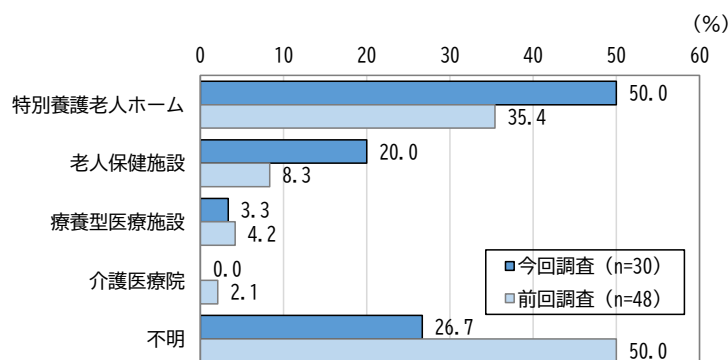
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q4-1. 申し込み施設

(MA)

【Q4で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」方のみ】

○「特別養護老人ホーム」が50.0%で半数、次いで「老人保健施設」が20.0%となっています。



○申し込み施設数は、“老人保健施設”が平均で1.25か所、“療養型医療施設”が1か所となっています。

	最大値 (か所)	最小値 (か所)	平均値 (か所)
老人保健施設(n=6)	2	1	1.25
療養型医療施設(n=1)	1	1	1
介護医療院(n=0)	-	-	-

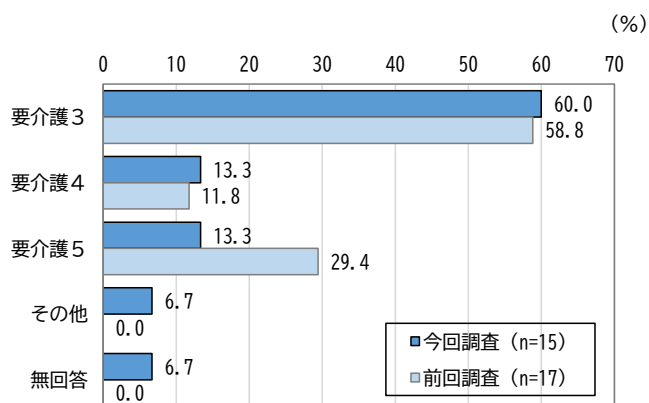
※「特別養護老人ホーム」については、施設数についての設問なし

Q4-2. 特別養護老人ホームへの申し込み時点の要介護度

(SA)

【Q4-1「1. 特別養護老人ホームに申し込みをしている」方のみ】

○「要介護3」が60.0%で最も高く、次いで「要介護4」と「要介護5」が同率の13.3%となっています。



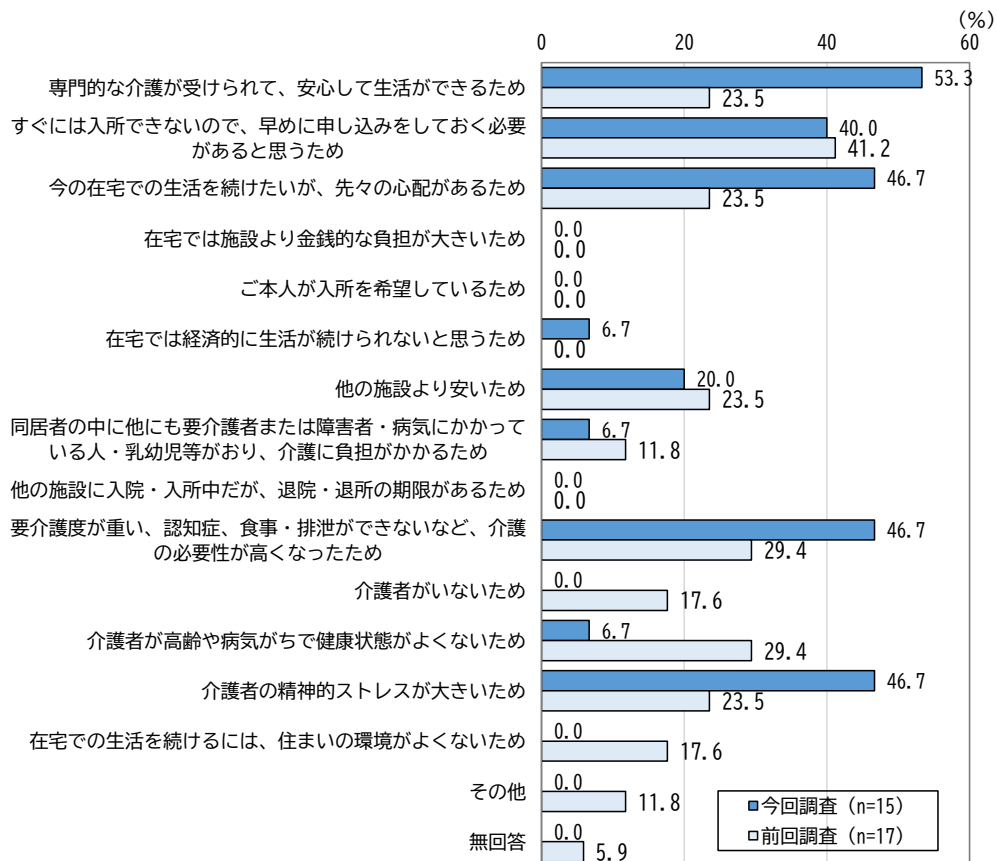
Q4-3. 特別養護老人ホームへの申し込み理由

(MA)

【Q4-1「1. 特別養護老人ホームに申し込みをしている」方のみ】

○「専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため」が53.3%で最も高く、次いで「今の在宅での生活を続けたいが、先々の心配があるため」「要介護度が重い、認知症、食事・排泄ができないなど、介護の必要性が高くなったため」「介護者の精神的ストレスが大きいため」が同率の46.7%となっています。

○前回調査では第3位であった「専門的な介護が受けられて、安心して生活ができるため」が第1位の理由となっています。

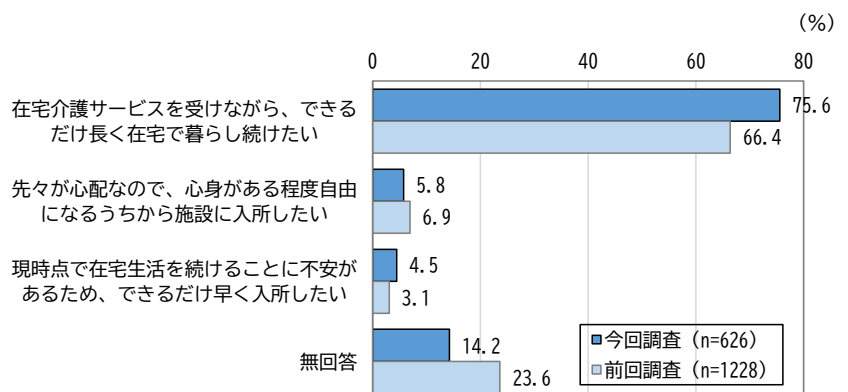


Q5. 施設入所に対する考え

(SA)

○「在宅介護サービスを受けながら、できるだけ長く在宅で暮らし続けたい」が75.6%で最も高く、次いで「先々が心配なので、心身がある程度自由になるうちから施設に入所したい」が5.8%、「現時点で在宅生活を続けることに不安があるため、できるだけ早く入所したい」が4.5%の順となっています。

○前回調査に比べ、「在宅介護サービスを受けながら、できるだけ長く在宅で暮らし続けたい」が9.2ポイント増加しています。



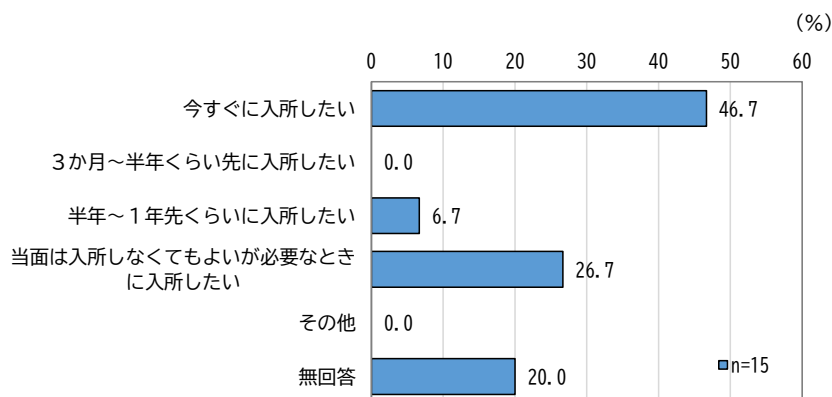
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q6. 特別養護老人ホームに入所したい時期

(SA)

【Q4-1「1. 特別養護老人ホームに入所申し込みをしている」方のみ】

○「今すぐに入所したい」が46.7%で最も高く、次いで「当面は入所しなくてもよいが必要なときに入所したい」が26.7%、「半年～1年先ぐらいに入所したい」が6.7%となっています。

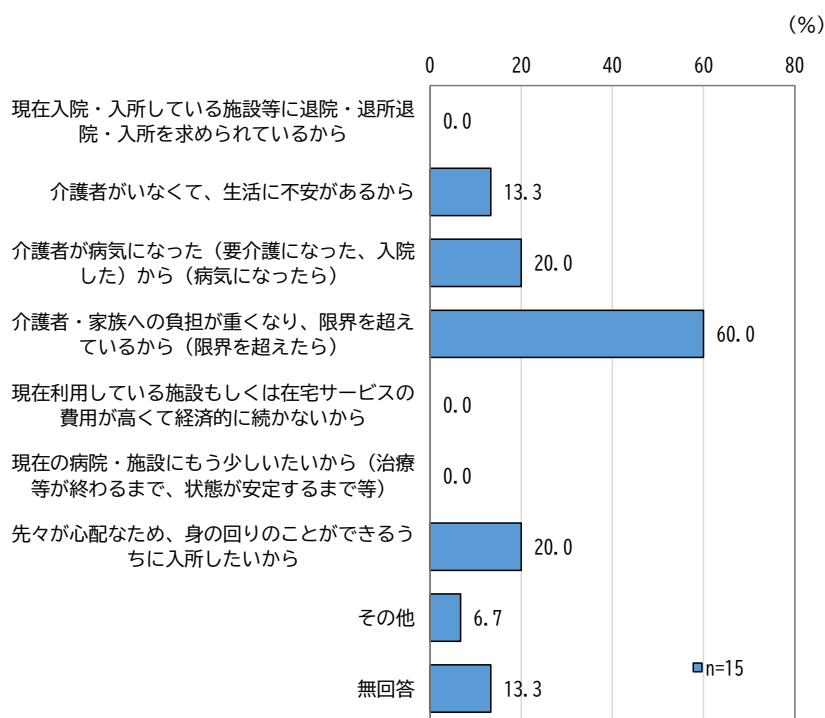


Q7. 特別養護老人ホームに入所したい時期を希望する理由

(MA)

【Q4-1「1. 特別養護老人ホームに入所申し込みをしている」方のみ】

○「介護者・家族への負担が重くなり、限界を超えているから（限界を超えたら）」が60.0%で最も高く、次いで「介護者が病気になった（要介護になった、入院した）から（病気になったら）」と「先々が心配なため、身の回りのことができるうちに入所したいから」が同率の20.0%となっています。

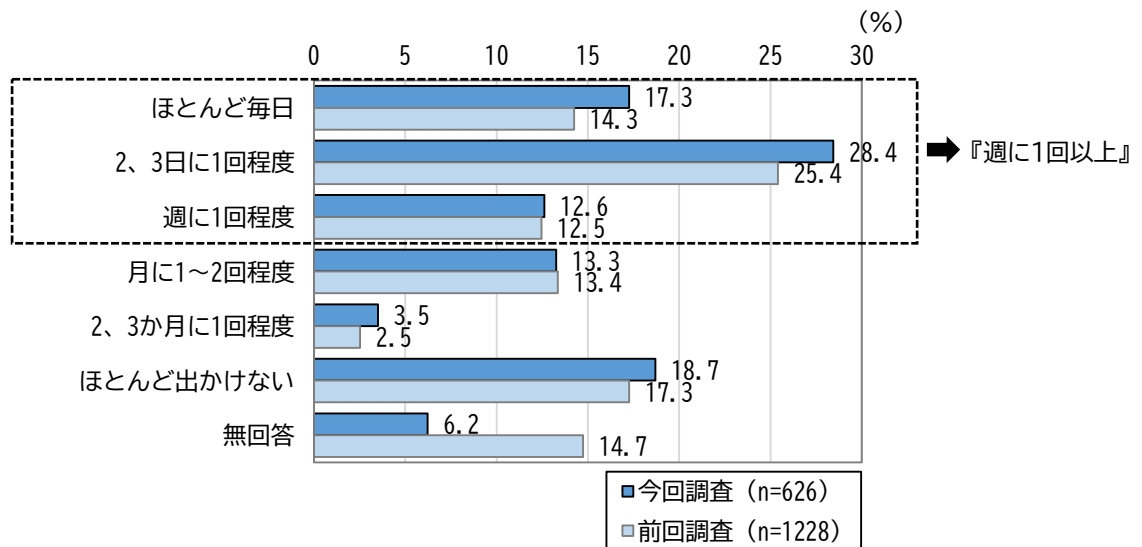


2. 日常生活や身の回りのことについて

Q8. 外出頻度

(SA)

- 「ほとんど毎日」と「2、3日に1回程度」、「週に1回程度」を合わせた『週に1回以上』が58.3%で、前回調査の52.2%に比べ6.1ポイント増加しています。
- 「ほとんど出かけない」は18.7%で、前回調査に比べ1.4ポイント増加しています。
- 「ほとんど出かけない」は要介護度別にみると“要介護3以上”、認知症自立度別にみると“Ⅲ以上”で最も高くなっています。

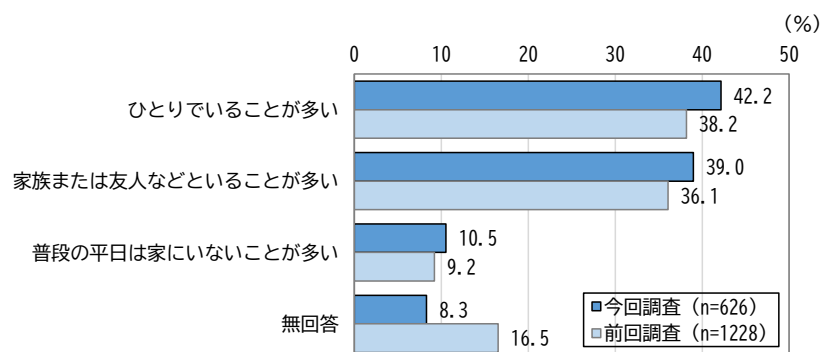


	合計	Q8.外出頻度							
		ほとんど毎日	2、3日に1回程度	週に1回程度	月に1~2回程度	2、3か月に1回程度	ほとんど出かけない	無回答	
全体	626 100.0	108 17.3	178 28.4	79 12.6	83 13.3	22 3.5	117 18.7	39 6.2	
要介護度 (統合)	要支援1・2	85 100.0	21 24.7	39 45.9	7 8.2	7 8.2	1 1.2	7 8.2	3 3.5
	要介護1・2	343 100.0	62 18.1	101 29.4	47 13.7	48 14.0	12 3.5	51 14.9	22 6.4
	要介護3以上	194 100.0	25 12.9	36 18.6	24 12.4	28 14.4	9 4.6	58 29.9	14 7.2
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282 100.0	54 19.1	94 33.3	41 14.5	35 12.4	7 2.5	37 13.1	14 5.0
	Ⅱ	213 100.0	34 16.0	58 27.2	23 10.8	32 15.0	7 3.3	45 21.1	14 6.6
	Ⅲ以上	123 100.0	19 15.4	24 19.5	14 11.4	15 12.2	8 6.5	33 26.8	10 8.1

Q9. 平日の日中の居場所

(SA)

- 「ひとりでいることが多い」が42.2%で最も高く、次いで「家族または友人などといることが多い」が39.0%、「普段の平日は家にいないことが多い」が10.5%の順となっています。



2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

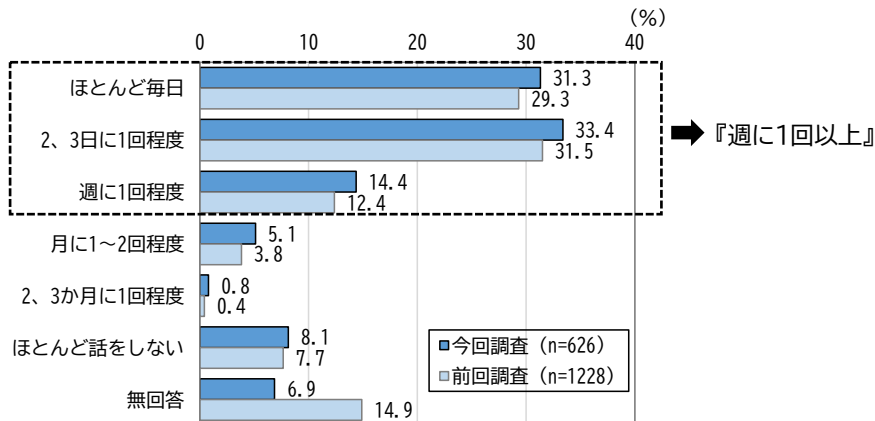
Q10. 家族以外との会話の頻度

(SA)

○「ほとんど毎日」と「2、3日に1回程度」、「週に1回程度」を合わせた『週に1回以上』が79.1%で、前回調査に比べ5.9ポイント増加しています。

○「ほとんど話をしない」は8.1%で前回調査に比べ0.4ポイント増加しています。

○「ほとんど毎日」は、要介護度別にみると、“要介護3以上”、認知症自立度別にみるとⅢ以上“で最も高くなっています。



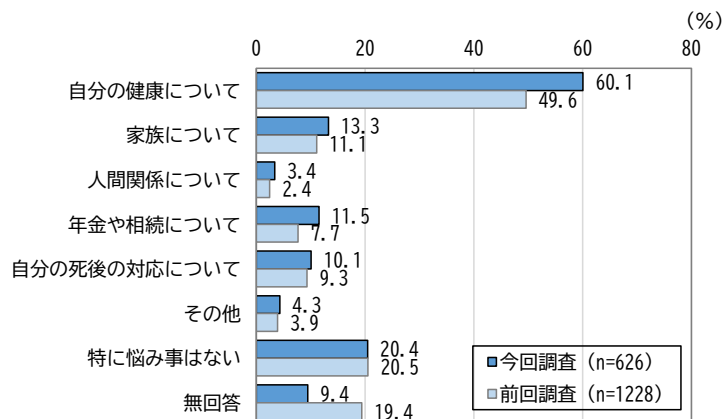
	合計	Q10. 家族以外との会話の頻度							
		ほとんど毎日	2、3日に1回程度	週に1回程度	月に1~2回程度	2、3か月に1回程度	ほとんど話をしない	無回答	
全体	626	196	209	90	32	5	51	43	
	100.0	31.3	33.4	14.4	5.1	0.8	8.1	6.9	
要介護度 (統合)	要支援1・2	85	25	39	8	5	0	5	3
		100.0	29.4	45.9	9.4	5.9	0.0	5.9	3.5
	要介護1・2	343	104	116	60	17	2	22	22
	100.0	30.3	33.8	17.5	5.0	0.6	6.4	6.4	
	要介護3以上	194	65	53	21	10	3	24	18
	100.0	33.5	27.3	10.8	5.2	1.5	12.4	9.3	
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282	93	101	41	15	3	19	10
		100.0	33.0	35.8	14.5	5.3	1.1	6.7	3.5
	Ⅱ	213	59	77	35	10	1	16	15
	100.0	27.7	36.2	16.4	4.7	0.5	7.5	7.0	
	Ⅲ以上	123	40	29	13	6	1	16	18
	100.0	32.5	23.6	10.6	4.9	0.8	13.0	14.6	

Q11. 現在の悩み事

(SA)

○現在の悩み事は、「自分の健康について」が60.1%で最も高く、次いで「特に悩み事はない」が20.4%、「家族について」が13.3%の順となっています。

○前回調査と比べて、「自分の健康について」が10.5ポイント増加しています。



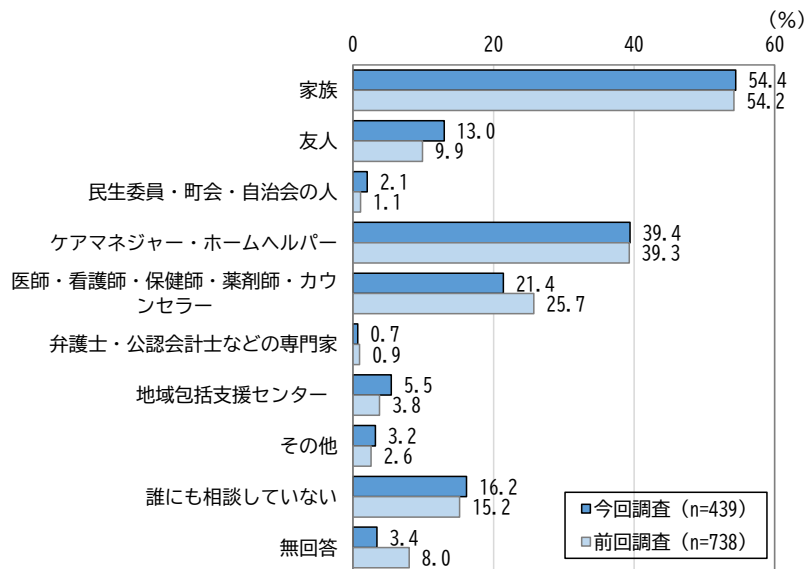
Q11-1. 悩み事の相談相手

(MA)

【Q11で「1」～「6」(何らかの悩み事がある)方のみ】

○相談相手は、「家族」が54.4%で最も高く、次いで「ケアマネジャー・ホームヘルパー」が39.4%、「医師・看護師・保健師・薬剤師・カウンセラー」が21.4%の順となっています。

○前回調査と比べて、大きな差異はみられません。



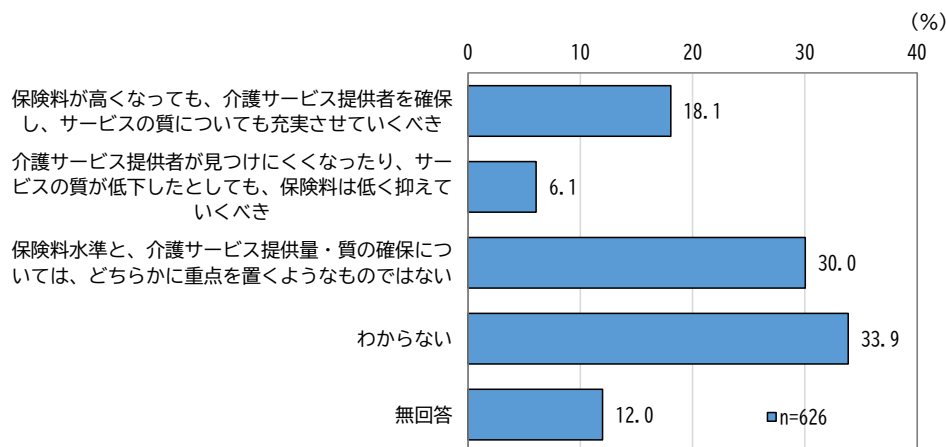
3. 介護保険制度全般について

Q12. 介護保険料と介護サービス整備のあり方

(SA)

○「わからない」が33.9%で最も高く、次いで「保険料水準と、介護サービス提供量・質の確保については、どちらかに重点を置くようなものではない」が30.0%、「保険料が高くなっても、介護サービス提供者を確保し、サービスの質についても充実させていくべき」が18.1%の順となっています。

○保険料よりもサービスの質を重視する意見が高くなっています。

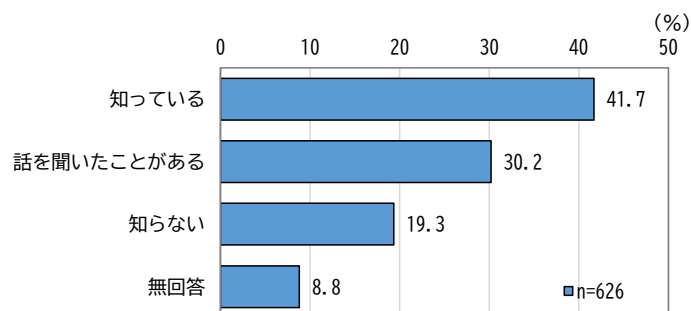


2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q13. 介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知

(SA)

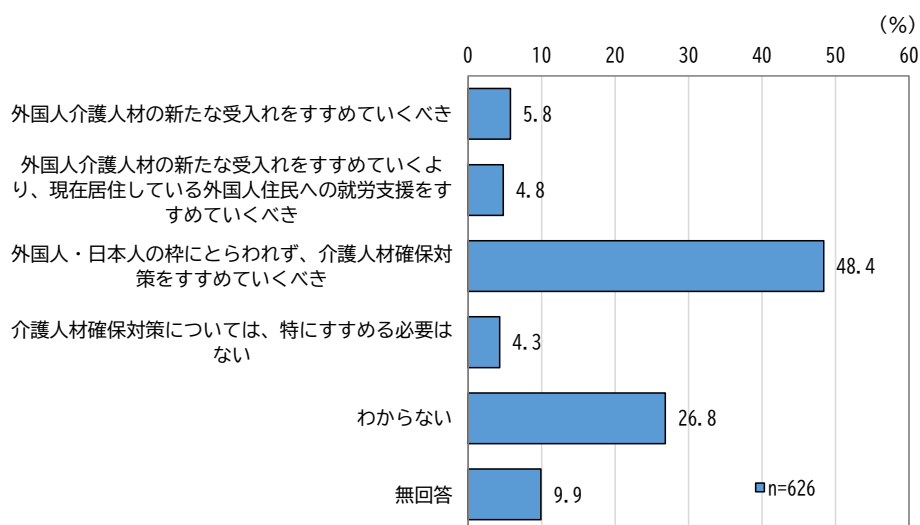
○「知っている」が41.7%、「話を聞いたことがある」が30.2%、「知らない」が19.3%の順となっていて、認知度は71.9%と高くなっています。



Q14. 外国人介護人材の受け入れに関する考え

(SA)

○「外国人・日本人の枠にとらわれず、介護人材確保対策をすすめていくべき」が48.4%で最も高く、次いで「わからない」が26.8%、「外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくべき」が5.8%の順となっています。

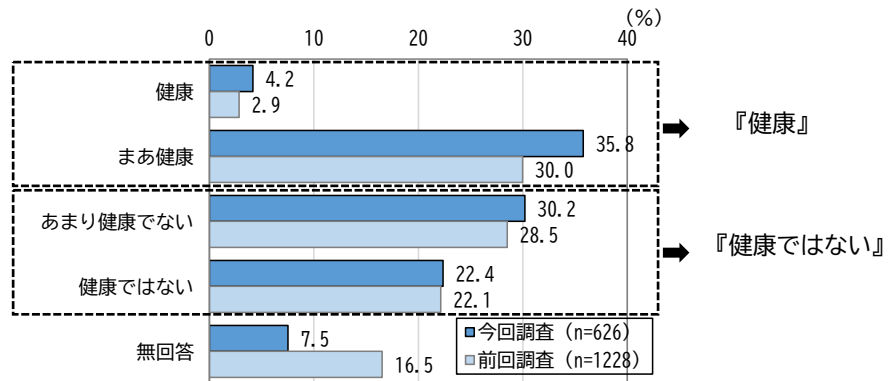


4. 身体と健康について

Q15. 主観的健康感

(SA)

- 主観的健康感は、「まあ健康」が35.8%で最も高くなっています。「健康」と「まあ健康」を合わせた『健康』が40.0%、「あまり健康ではない」と「健康ではない」を合わせた『健康ではない』が52.6%となっています。
- 『健康』は、要介護度別にみると“要支援1・2”で高くなっています。



		合計	Q15.主観的健康感				
			健康	まあ健康	あまり健康でない	健康ではない	無回答
全体		626	26	224	189	140	47
		100.0	4.2	35.8	30.2	22.4	7.5
要介護度 (統合)	要支援1・2	85	8	36	26	11	4
		100.0	9.4	42.4	30.6	12.9	4.7
	要介護1・2	343	13	127	109	73	21
	100.0	3.8	37.0	31.8	21.3	6.1	
	要介護3以上	194	5	61	51	55	22
	100.0	2.6	31.4	26.3	28.4	11.3	
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282	11	104	88	66	13
		100.0	3.9	36.9	31.2	23.4	4.6
	II	213	8	79	67	41	18
	100.0	3.8	37.1	31.5	19.2	8.5	
	III以上	123	6	39	31	31	16
	100.0	4.9	31.7	25.2	25.2	13.0	

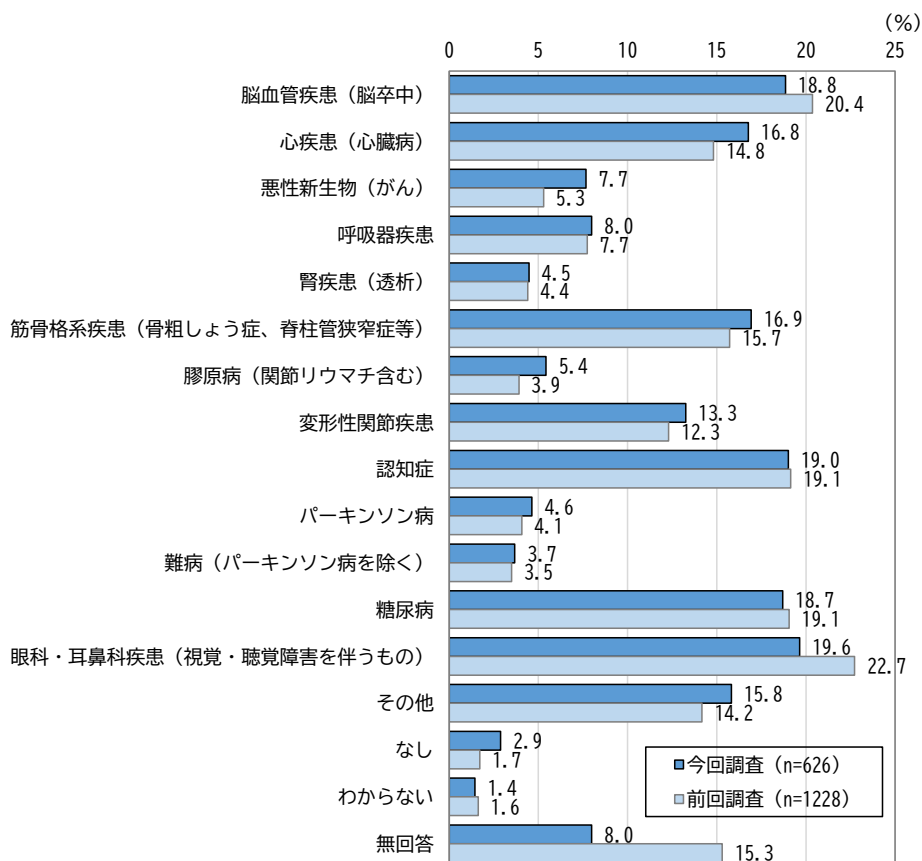
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q16. 現在の傷病

(MA)

○介護・介助が必要になった原因は、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が19.6%で最も高く、次いで「認知症」が19.0%、「脳血管疾患（脳卒中）」が18.8%の順となっています。

○「認知症」は、要介護度別にみると、「要介護3以上」、認知症自立度別にみると「Ⅱ」と「Ⅲ以上」で最も高くなっています。



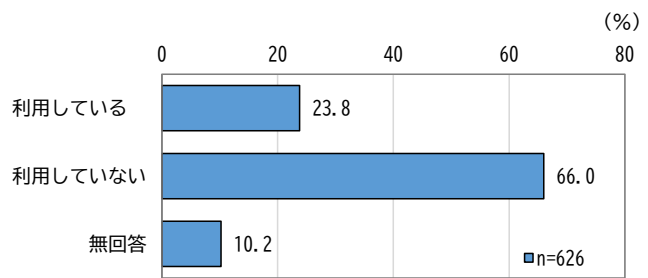
	合計	Q16.現在の傷病													
		脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他
全体	626	118	105	48	50	28	106	34	83	119	29	23	117	123	99
	100.0	18.8	16.8	7.7	8.0	4.5	16.9	5.4	13.3	19.0	4.6	3.7	18.7	19.6	15.8
要介護度(統合)	要支援1・2	85	8	15	5	8	2	24	7	14	2	1	3	13	13
		100.0	9.4	17.6	5.9	9.4	2.4	28.2	8.2	16.5	2.4	1.2	3.5	15.3	18.8
	要介護1・2	343	65	63	24	24	19	63	20	47	57	14	16	61	78
	100.0	19.0	18.4	7.0	7.0	5.5	18.4	5.8	13.7	16.6	4.1	4.7	17.8	22.7	
要介護3以上	194	44	26	18	18	7	19	7	21	60	14	4	41	31	
	100.0	22.7	13.4	9.3	9.3	3.6	9.8	3.6	10.8	30.9	7.2	2.1	21.1	16.0	
認知症自立度(統合)	自立+Ⅰ	282	47	53	28	25	17	69	18	41	4	12	17	54	53
		100.0	16.7	18.8	9.9	8.9	6.0	24.5	6.4	14.5	1.4	4.3	6.0	19.1	18.8
	Ⅱ	213	48	37	9	16	6	25	9	24	53	11	3	39	50
	100.0	22.5	17.4	4.2	7.5	2.8	11.7	4.2	11.3	24.9	5.2	1.4	18.3	23.5	
Ⅲ以上	123	21	14	9	9	5	11	7	17	62	6	3	22	19	
	100.0	17.1	11.4	7.3	7.3	4.1	8.9	5.7	13.8	50.4	4.9	2.4	17.9	15.4	

	合計	Q16.現在の傷病		
		なし	わからない	無回答
全体	626	18	9	50
	100.0	2.9	1.4	8.0
要介護度(統合)	要支援1・2	85	5	2
		100.0	5.9	2.4
	要介護1・2	343	9	6
	100.0	2.6	1.7	
要介護3以上	194	4	1	
	100.0	2.1	0.5	
認知症自立度(統合)	自立+Ⅰ	282	7	4
		100.0	2.5	1.4
	Ⅱ	213	6	3
	100.0	2.8	1.4	
Ⅲ以上	123	4	1	
	100.0	3.3	0.8	

Q17. 訪問診療の利用状況

(SA)

- 「利用している」が23.8%となっています。
- 要介護度別にみると、介護度が重度になるにつれて「利用している」割合も高くなっています。
- サービス利用の組み合わせでみると、「訪問系を含む組み合わせ」では「利用している」が最も高くなっています。



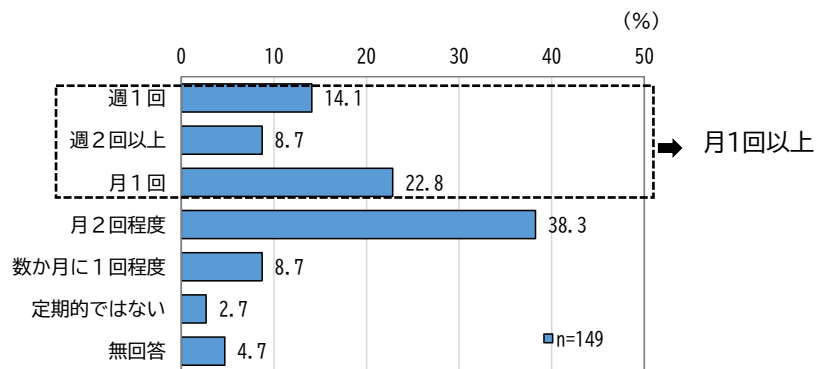
	合計	Q17.訪問診療の利用状況			
		利用している	利用していない	無回答	
全体	626 100.0	149 23.8	413 66.0	64 10.2	
要介護度 (統合)	要支援1・2	85 100.0	10 11.8	65 76.5	10 11.8
	要介護1・2	343 100.0	57 16.6	252 73.5	34 9.9
	要介護3以上	194 100.0	80 41.2	94 48.5	20 10.3
サービス利用 の組み合わせ (統合)	未利用	140 100.0	10 7.1	110 78.6	20 14.3
	訪問系のみ	94 100.0	22 23.4	64 68.1	8 8.5
	訪問系を含む組み合わせ	158 100.0	74 46.8	69 43.7	15 9.5
	通所系・短期系のみ	234 100.0	43 18.4	170 72.6	21 9.0

Q17-1. 訪問診療の往診頻度

(SA)

【Q17で「1. 利用している」方のみ】

- 「月2回程度」が38.3%で最も高く、次いで「月1回」が22.8%、「週1回」が14.1%の順で、「週1回」と「週2回以上」、「月1回」を合わせた『月1回以上』が45.6%となっています。
- 要介護度別にみると、『月1回以上』は、「要介護1・2」の56.2%が最も高くなっています。



	合計	Q17-1.訪問診療の往診頻度							
		週1回	週2回以上	月1回	月2回程度	数か月に1回程度	定期的ではない	無回答	
全体	149 100.0	21 14.1	13 8.7	34 22.8	57 38.3	13 8.7	4 2.7	7 4.7	
要介護度 (統合)	要支援1・2	10 100.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0
	要介護1・2	57 100.0	11 19.3	7 12.3	14 24.6	12 21.1	6 10.5	4 7.0	3 5.3
	要介護3以上	80 100.0	7 8.8	6 7.5	19 23.8	39 48.8	6 7.5	0 0.0	3 3.8

2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

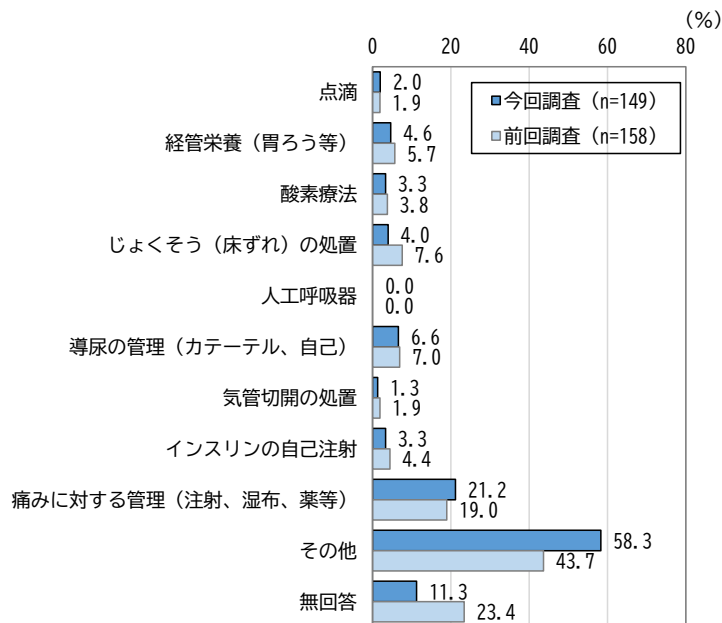
Q17-2. 往診で受けている診療の内容

(SA)

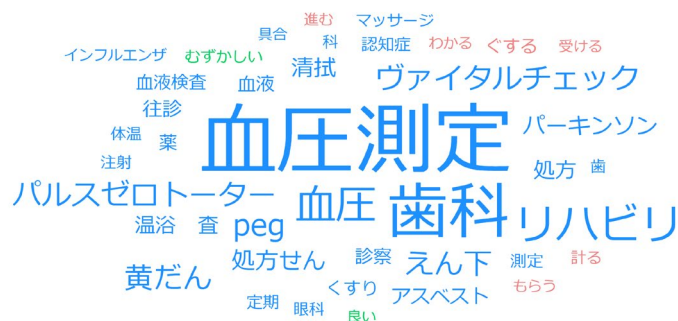
【Q17で「1. 利用している」方のみ】

○「その他」が58.3%で最も高く、次いで「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が21.2%、「導尿の管理（カテーテル、自己）」が6.6%の順となっています。

○前回調査に比べ「その他」が14.6ポイント増加しています。



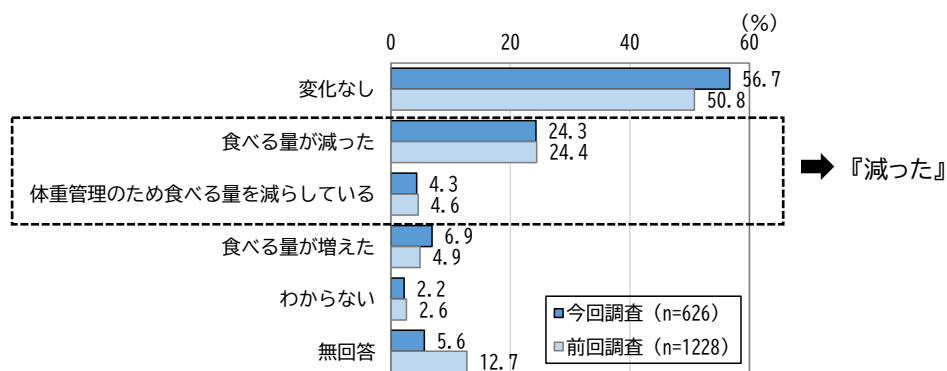
【その他】



Q18. 半年前と比べた食事量の変化

(SA)

○「変化なし」が56.7%で最も高く、「食べる量が減った」と「体重管理のため食べる量を減らしている」を合わせた『減った』が28.6%で「食べる量が増えた」6.9%に比べ高くなっています。

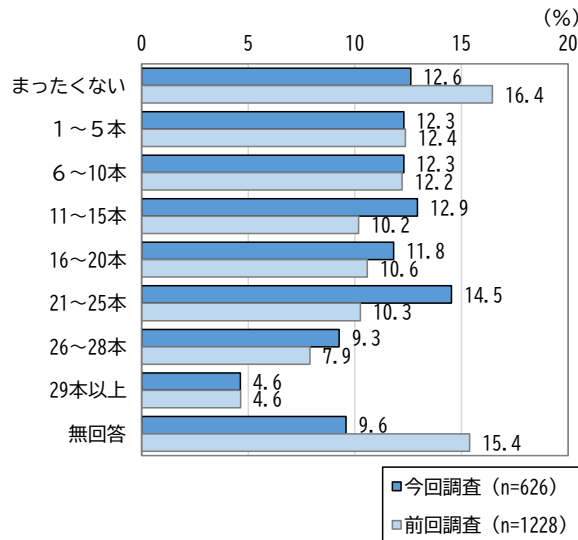


Q19. 自分の歯の本数

(SA)

○「21～25本」が14.5%で最も高く、次いで「11～15本」が12.9%、「まったくない」が12.6%となっています。

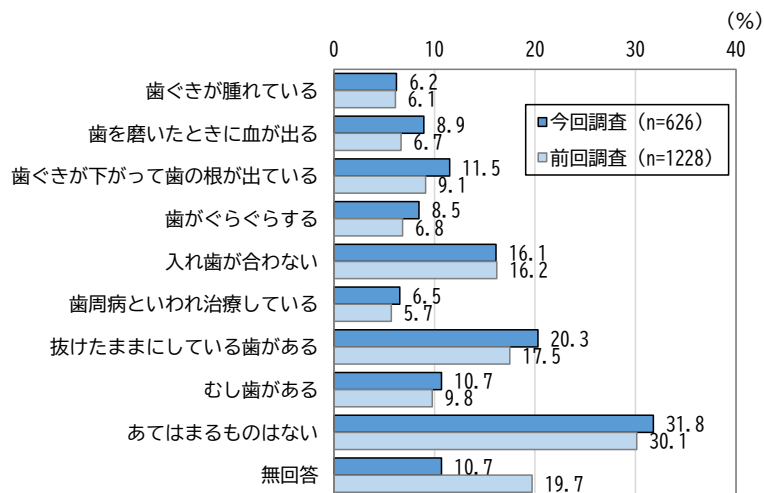
○前回調査に比べ「21～25本」が4.2ポイント増加し、「まったくない」が3.8ポイント減少しています。



Q20. 現在の歯ぐき・口の状態

(SA)

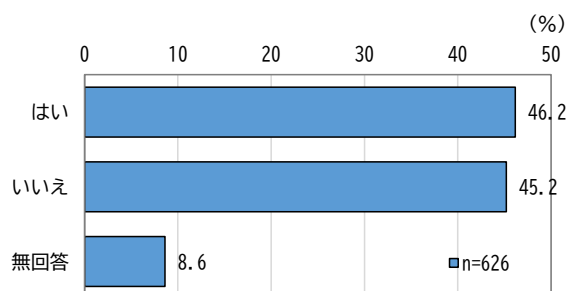
○現在の歯ぐき・口の状態は、「あてはまるものはない」が31.8%で最も高く、次いで「抜けたままにしている歯がある」が20.3%、「入れ歯が合わない」が16.1%の順となっています。



Q21. 半年前に比べ固いものが食べにくくなったか

(SA)

○「はい」が46.2%、「いいえ」が45.2%となっています。



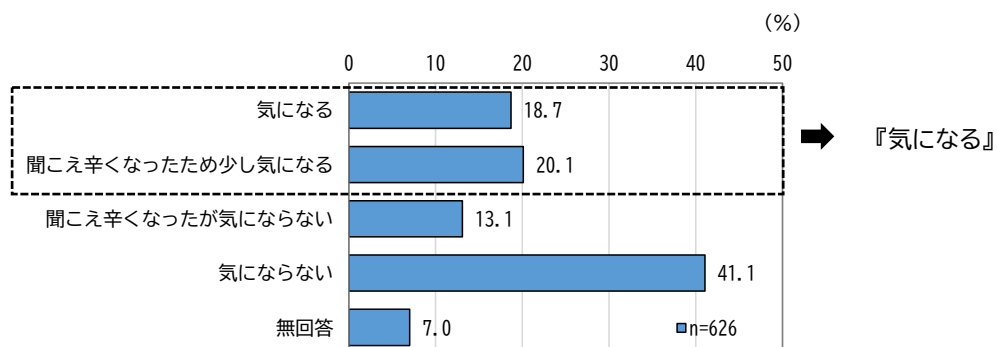
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q22. 耳の聞こえ具合

(SA)

○「気にならない」が41.1%で最も高くなっています。「気になる」と「聞こえ辛くなったため少し気になる」を合わせた『気になる』は38.8%となっています。

○要介護度別にみると、『気になる』は、“要支援1・2”の42.4%が最も高くなっています。



		合計	Q22.耳の聞こえ具合				無回答
			気になる	聞こえ辛くなったため少し気になる	聞こえ辛くなったが気にならない	気にならない	
全体		626	117	126	82	257	44
		100.0	18.7	20.1	13.1	41.1	7.0
要介護度 (統合)	要支援1・2	85	18	18	8	36	5
		100.0	21.2	21.2	9.4	42.4	5.9
	要介護1・2	343	65	78	41	140	19
	100.0	19.0	22.7	12.0	40.8	5.5	
	要介護3以上	194	33	30	33	78	20
	100.0	17.0	15.5	17.0	40.2	10.3	

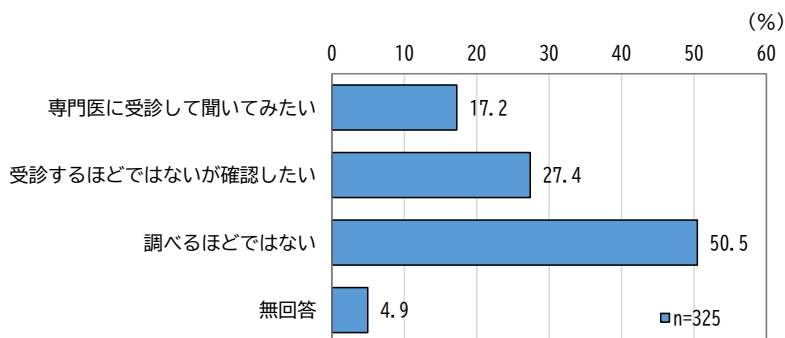
Q22-1. 耳の聞こえ具合について調べたいか

(SA)

【Q22で「1」～「3」(気になる、聞こえ辛い)方のみ】

○「調べるほどではない」が50.5%で最も高く、次いで「受診するほどではないが確認したい」が27.4%、「専門医に受診して聞いてみたい」が17.2%となっています。

○要介護度別にみると、「専門医に受診して聞いてみたい」は“要支援1・2”の27.3%が最も高くなっています。



		合計	Q22-1.耳の聞こえ具合について調べたいか			無回答
			専門医に受診して聞いてみたい	受診するほどではないが確認したい	調べるほどではない	
全体		325	56	89	164	16
		100.0	17.2	27.4	50.5	4.9
要介護度 (統合)	要支援1・2	44	12	9	21	2
		100.0	27.3	20.5	47.7	4.5
	要介護1・2	184	26	54	96	8
	100.0	14.1	29.3	52.2	4.3	
	要介護3以上	96	17	26	47	6
	100.0	17.7	27.1	49.0	6.3	

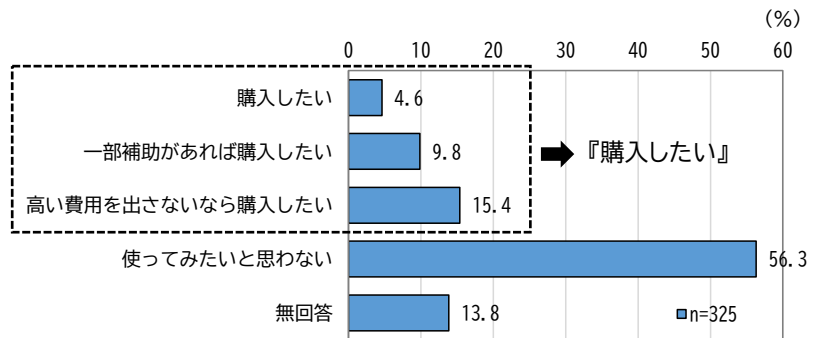
Q22-2. 補聴器を使ってみたいと思うか

(SA)

【Q22で「1」～「3」(気になる、聞こえ辛い)方のみ】

○「使ってみたいと思わない」が56.3%で最も高くなっています。「購入したい」と「一部補助があれば購入したい」、「高い費用を出さないなら購入したい」を合わせた『購入したい』は29.8%となっています。

○要介護度別にみると、『購入したい』は“要支援1・2”の31.8%が最も高くなっています。



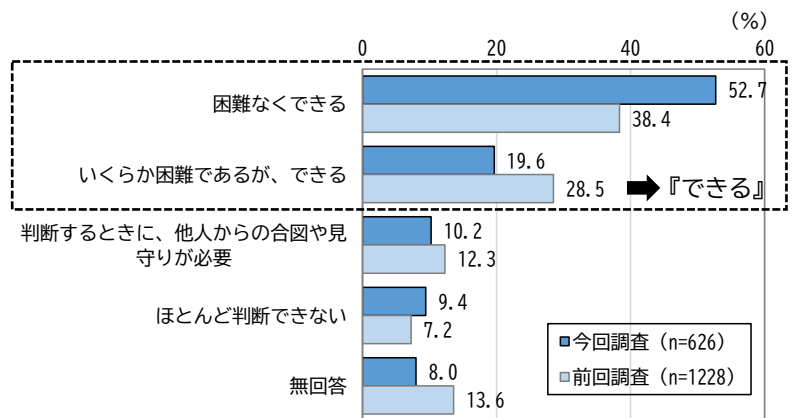
		合計	Q22-2.補聴器を使ってみたいと思うか				無回答
			購入したい	一部補助があれば購入したい	高い費用を出さないなら購入したい	使ってみたいと思わない	
全体		325	15	32	50	183	45
		100.0	4.6	9.8	15.4	56.3	13.8
要介護度(統合)	要支援1・2	44	4	4	6	24	6
		100.0	9.1	9.1	13.6	54.5	13.6
	要介護1・2	184	7	21	29	104	23
	100.0	3.8	11.4	15.8	56.5	12.5	
	要介護3以上	96	3	7	15	55	16
	100.0	3.1	7.3	15.6	57.3	16.7	

Q23. その日の活動を自分で判断できるか

(SA)

○「困難なくできる」が52.7%で最も高く、次いで「いくらか困難であるが、できる」が19.6%で合わせた『できる』は72.3%となっています。

○認知症自立度別にみると、“Ⅲ以上”は「ほとんど判断ができない」が30.9%で最も高くなっています。



		合計	Q23.その日の活動を自分で判断できるか				無回答
			困難なくできる	いくらか困難であるが、できる	判断するときに、他人からの合図や見守りが必要	ほとんど判断できない	
全体		626	330	123	64	59	50
		100.0	52.7	19.6	10.2	9.4	8.0
認知症自立度(統合)	自立+ I	282	209	39	9	8	17
		100.0	74.1	13.8	3.2	2.8	6.0
	II	213	98	55	30	13	17
		100.0	46.0	25.8	14.1	6.1	8.0
	Ⅲ以上	123	18	26	25	38	16
	100.0	14.6	21.1	20.3	30.9	13.0	

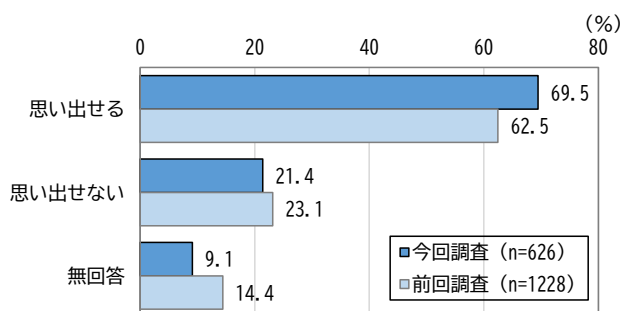
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q24. 5分前のことを思い出せるか

(SA)

○「思い出せる」が69.5%、「思い出せない」が21.4%となっています。

○認知症自立度別にみると、“Ⅲ以上”は「思い出せない」が49.6%で最も高くなっています。



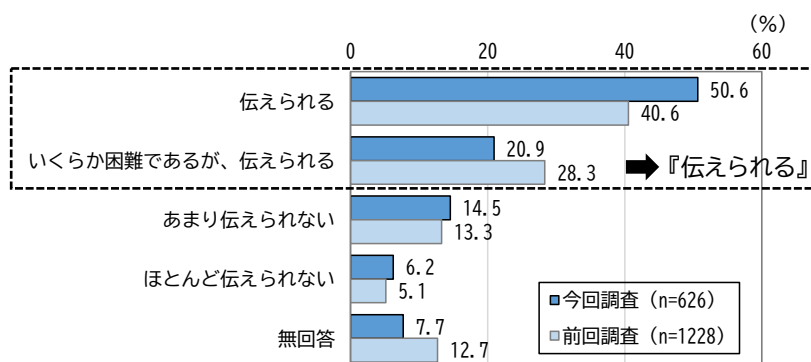
		合計	Q24.5分前のことが思い出せるか		
			思い出せる	思い出せない	無回答
全体		626	435	134	57
		100.0	69.5	21.4	9.1
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282	247	17	18
		100.0	87.6	6.0	6.4
	II	213	138	54	21
		100.0	64.8	25.4	9.9
	Ⅲ以上	123	44	61	18
		100.0	35.8	49.6	14.6

Q25. 自分の考えをうまく伝えられるか

(SA)

○「伝えられる」が50.6%で最も高く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」が20.9%で合わせた『伝えられる』は71.5%となっています。

○認知症自立度別にみると、“Ⅲ以上”は「あまり伝えられない」が24.4%で最も高くなっています。



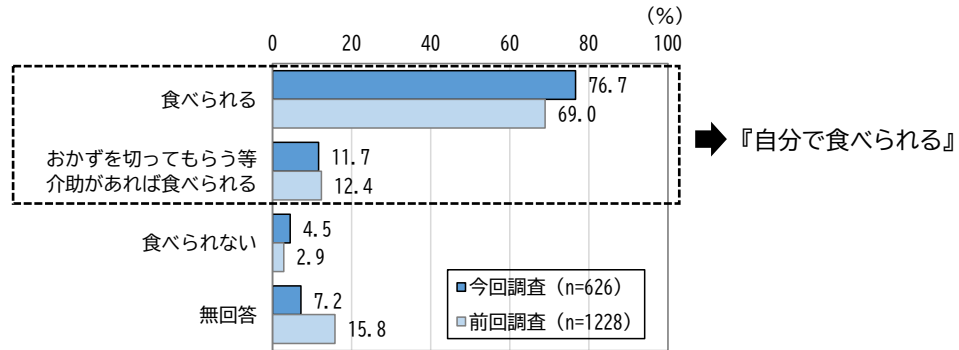
		合計	Q25.自分の考えをうまく伝えられるか				無回答
			伝えられる	いくらか困難であるが、伝えられる	あまり伝えられない	ほとんど伝えられない	
全体		626	317	131	91	39	48
		100.0	50.6	20.9	14.5	6.2	7.7
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282	205	40	23	1	13
		100.0	72.7	14.2	8.2	0.4	4.6
	II	213	84	61	36	14	18
		100.0	39.4	28.6	16.9	6.6	8.5
	Ⅲ以上	123	24	28	30	24	17
		100.0	19.5	22.8	24.4	19.5	13.8

Q26. 食事を自分で食べられるか

(SA)

○「食べられる」が76.7%で最も高く、次いで「おかずを切ってもら等介助があれば食べられる」が11.7%で合わせた『自分で食べられる』は88.4%となっています。

○「食べられない」は、要介護度別にみると“要介護3以上”、認知症自立度別にみると、“Ⅲ以上”で高くなっています。



		合計	Q26.食事を自分で食べられるか			
			食べられる	おかずを切ってもら等介助があれば食べられる	食べられない	無回答
全体		626 100.0	480 76.7	73 11.7	28 4.5	45 7.2
要介護度 (統合)	要支援1・2	85 100.0	80 94.1	1 1.2	0 0.0	4 4.7
	要介護1・2	343 100.0	291 84.8	25 7.3	2 0.6	25 7.3
	要介護3以上	194 100.0	106 54.6	47 24.2	26 13.4	15 7.7
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282 100.0	241 85.5	23 8.2	4 1.4	14 5.0
	Ⅱ	213 100.0	173 81.2	21 9.9	5 2.3	14 6.6
	Ⅲ以上	123 100.0	60 48.8	28 22.8	19 15.4	16 13.0

2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

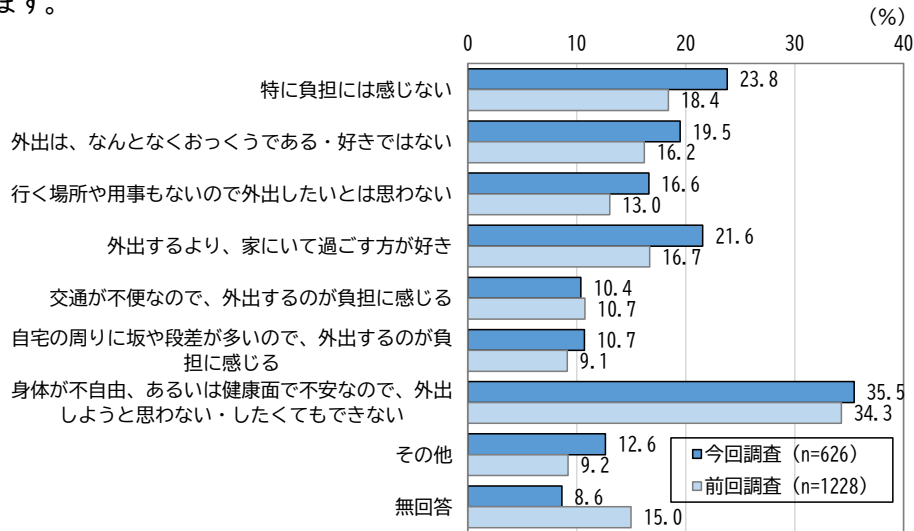
Q27. 外出することに対する考え

(SA)

○外出することに対しては、「身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない」が35.5%で最も高く、次いで「特に負担には感じない」が23.8%、「外出するより、家において過ごす方が好き」が21.6%の順となっています。

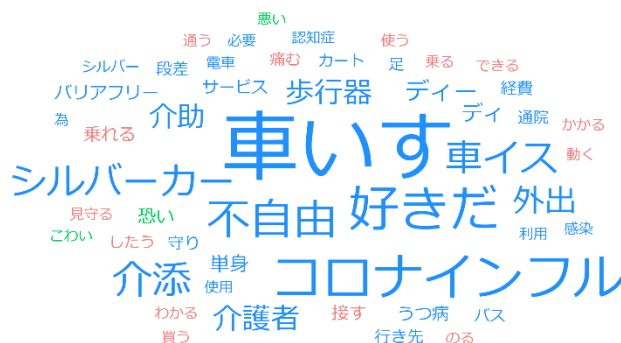
○要介護度別にみると、「特に負担には感じない」は、「要支援1・2」の41.2%が最も高くなっています。

○「その他」は外出はしたいが、体が不自由だったり、車椅子、認知症、コロナ感染が怖いという意見が多くなっています。



	合計	Q27.外出することに対する考え									
		特に負担には感じない	外出は、なんとなくおっくうである・好きではない	行く場所や用事もないので外出したいとは思わない	外出するより、家において過ごす方が好き	交通が不便なので、外出するのが負担に感じる	自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる	身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない	その他	無回答	
全体	626 100.0	149 23.8	122 19.5	104 16.6	135 21.6	65 10.4	67 10.7	222 35.5	79 12.6	54 8.6	
要介護度(統合)	要支援1・2	85 100.0	35 41.2	16 18.8	12 14.1	19 22.4	9 10.6	10 11.8	16 18.8	10 11.8	6 7.1
	要介護1・2	343 100.0	82 23.9	73 21.3	67 19.5	74 21.6	42 12.2	42 12.2	113 32.9	39 11.4	26 7.6
	要介護3以上	194 100.0	32 16.5	32 16.5	25 12.9	41 21.1	14 7.2	15 7.7	91 46.9	30 15.5	22 11.3
認知症自立度(統合)	自立+ I	282 100.0	77 27.3	49 17.4	40 14.2	60 21.3	35 12.4	34 12.1	96 34.0	39 13.8	15 5.3
	II	213 100.0	48 22.5	48 22.5	40 18.8	46 21.6	22 10.3	20 9.4	88 41.3	16 7.5	20 9.4
	III以上	123 100.0	23 18.7	24 19.5	24 19.5	28 22.8	8 6.5	12 9.8	35 28.5	23 18.7	19 15.4

【その他】



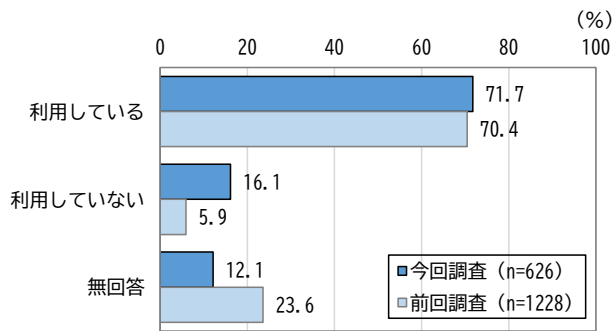
5. 介護サービスの利用状況について

Q28. 介護保険サービスの利用の有無

(SA)

○「利用している」が71.7%、「利用していない」が16.1%となっています。

○「利用している」は、要介護度別にみると、“要介護3以上”、認知症自立度別にみると“Ⅲ以上”、世帯類型別にみると“その他”で高くなっています。



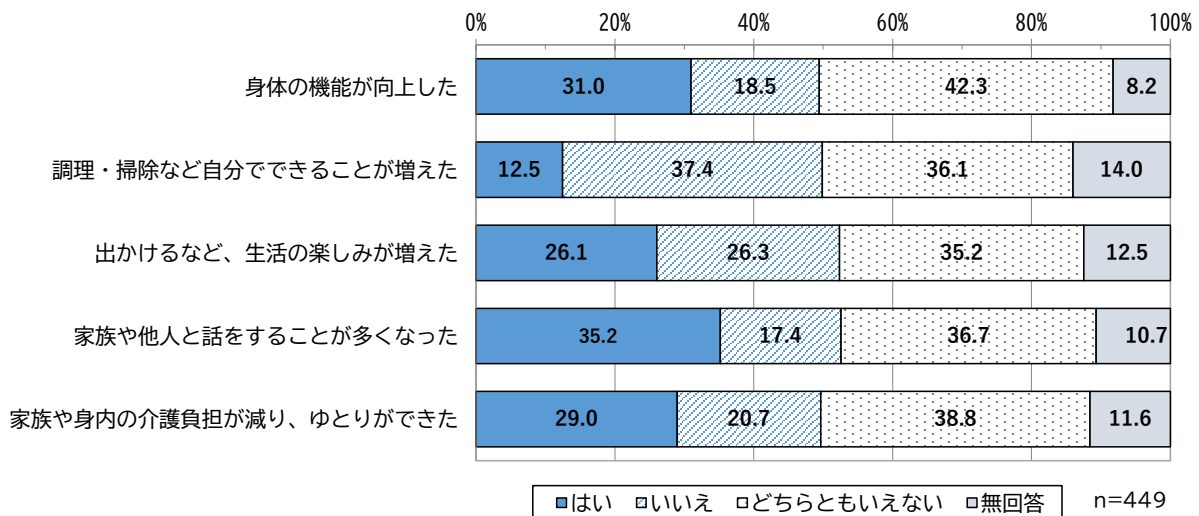
	合計	Q28.介護保険サービスの利用の有無			
		利用している	利用していない	無回答	
全体	626 100.0	449 71.7	101 16.1	76 12.1	
要介護度 (統合)	要支援1・2	85 100.0	60 70.6	16 18.8	9 10.6
	要介護1・2	343 100.0	237 69.1	62 18.1	44 12.8
	要介護3以上	194 100.0	148 76.3	23 11.9	23 11.9
認知症自立度 (統合)	自立+Ⅰ	282 100.0	202 71.6	46 16.3	34 12.1
	Ⅱ	213 100.0	151 70.9	38 17.8	24 11.3
	Ⅲ以上	123 100.0	90 73.2	15 12.2	18 14.6
世帯類型	単身世帯	161 100.0	114 70.8	23 14.3	24 14.9
	夫婦のみ世帯	207 100.0	154 74.4	35 16.9	18 8.7
	その他	223 100.0	167 74.9	37 16.6	19 8.5

Q28-1. 介護保険サービスを利用したことによる体や気持ちの変化

(SA)

【Q28で「1. 利用している」方のみ】

○体や気持ちの変化があった「はい」は、“家族や他人と話をすることが多くなった”が35.2%で最も高く、次いで“身体の機能が向上した”が31.0%、“家族や身内の介護負担が減り、ゆとりができた”が29.0%の順となっています。



2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

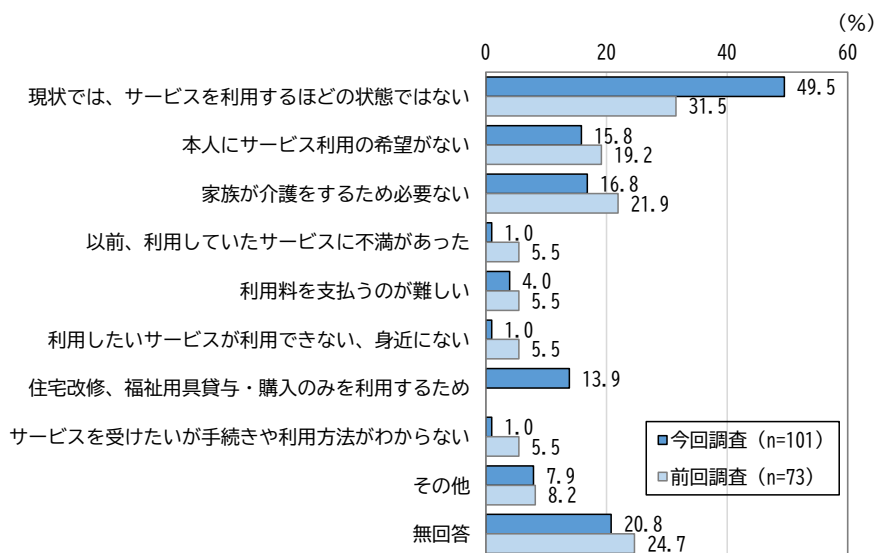
Q28-2. 介護保険サービス未利用の理由

(MA)

【Q28で「2. 利用していない」方のみ】

○「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が49.5%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が16.8%、「本人にサービス利用の希望がない」が15.8%の順となっています。

○要介護度別、認知症自立度別、世帯類型別にみても大きな差異はみられません。



	合計	Q28-2. 介護保険サービス未利用の理由									
		現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	無回答
全体	101	50	16	17	1	4	1	14	1	8	21
	100.0	49.5	15.8	16.8	1.0	4.0	1.0	13.9	1.0	7.9	20.8
要介護度 (統合)	要支援1・2	16	10	1	1	0	0	3	0	1	3
		100.0	62.5	6.3	6.3	0.0	0.0	18.8	0.0	6.3	18.8
	要介護1・2	62	32	11	10	1	2	8	0	4	13
	100.0	51.6	17.7	16.1	1.6	3.2	12.9	0.0	6.5	21.0	
要介護3以上	23	8	4	6	0	2	3	1	3	5	
	100.0	34.8	17.4	26.1	0.0	8.7	13.0	4.3	13.0	21.7	
認知症自立度 (統合)	自立+I	46	27	8	9	0	2	10	1	4	6
		100.0	58.7	17.4	19.6	0.0	4.3	21.7	2.2	8.7	13.0
	II	38	18	4	5	1	0	4	0	2	11
	100.0	47.4	10.5	13.2	2.6	0.0	10.5	0.0	5.3	28.9	
III以上	15	4	3	3	0	2	1	0	0	2	4
	100.0	26.7	20.0	20.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3	26.7
世帯類型	単身世帯	23	11	4	1	0	1	1	0	1	6
		100.0	47.8	17.4	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3	26.1
	夫婦のみ世帯	35	23	3	8	0	2	4	1	4	4
	100.0	65.7	8.6	22.9	0.0	5.7	11.4	2.9	11.4	11.4	
その他	37	15	7	7	1	1	8	0	3	8	
	100.0	40.5	18.9	18.9	2.7	2.7	21.6	0.0	8.1	21.6	

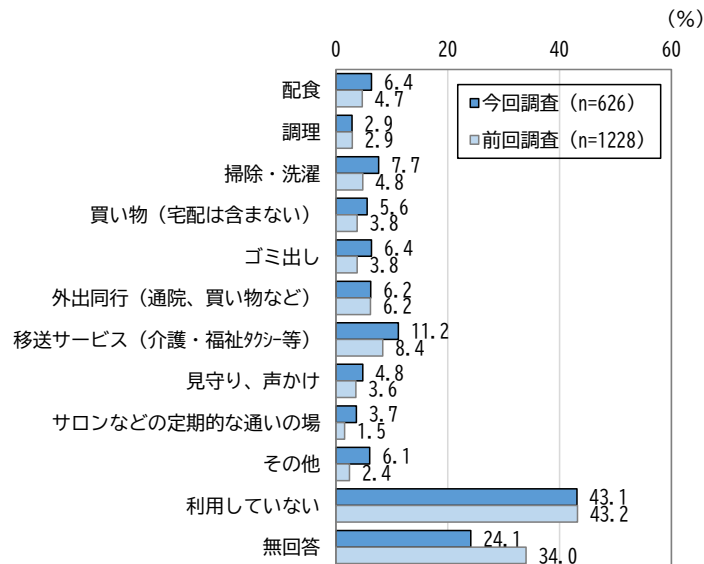
II 市民調査結果

Q29. 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

(MA)

○「利用していない」が43.1%となっています。利用している支援・サービスとしては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が11.2%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が7.7%となっています。

○何らかのサービスを利用している割合は、要介護度別にみると、“要介護3以上”、認知症自立度別にみると“Ⅱ”、世帯類型別にみると“単身世帯”で高くなっています。



	合計	Q29.現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス											利用して いない	無回答
		配食	調理	掃除・洗 濯	買い物 (宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買 い物など)	移送サー ビス(介 護・福祉タ クシー等)	見守り、 声かけ	サロンな どの定期 的な通い の場	その他			
全体	626 100.0	40 6.4	18 2.9	48 7.7	35 5.6	40 6.4	39 6.2	70 11.2	30 4.8	23 3.7	38 6.1	270 43.1	151 24.1	
要介護度 (統合)	要支援1・2	85 100.0	9 10.6	1 1.2	8 9.4	6 7.1	5 5.9	7 8.2	4 4.7	3 3.5	1 1.2	8 9.4	35 41.2	21 24.7
	要介護1・2	343 100.0	13 3.8	7 2.0	29 8.5	20 5.8	20 5.8	17 5.0	26 7.6	11 3.2	15 4.4	20 5.8	160 46.6	81 23.6
	要介護3以上	194 100.0	16 8.2	9 4.6	10 5.2	6 3.1	13 6.7	14 7.2	39 20.1	15 7.7	6 3.1	9 4.6	75 38.7	48 24.7
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282 100.0	14 5.0	4 1.4	22 7.8	16 5.7	15 5.3	18 6.4	28 9.9	8 2.8	7 2.5	15 5.3	126 44.7	68 24.1
	Ⅱ	213 100.0	18 8.5	10 4.7	20 9.4	10 4.7	16 7.5	14 6.6	21 9.9	13 6.1	9 4.2	12 5.6	93 43.7	53 24.9
	Ⅲ以上	123 100.0	6 4.9	3 2.4	5 4.1	5 4.1	7 5.7	6 4.9	20 16.3	8 6.5	6 4.9	9 7.3	48 39.0	29 23.6
世帯類型	単身世帯	161 100.0	22 13.7	10 6.2	25 15.5	22 13.7	28 17.4	15 9.3	21 13.0	12 7.5	8 5.0	7 4.3	49 30.4	36 22.4
	夫婦のみ世帯	207 100.0	8 3.9	5 2.4	10 4.8	5 2.4	4 1.9	9 4.3	23 11.1	10 4.8	8 3.9	16 7.7	97 46.9	47 22.7
	その他	223 100.0	7 3.1	3 1.3	12 5.4	6 2.7	8 3.6	15 6.7	23 10.3	8 3.6	6 2.7	15 6.7	117 52.5	46 20.6

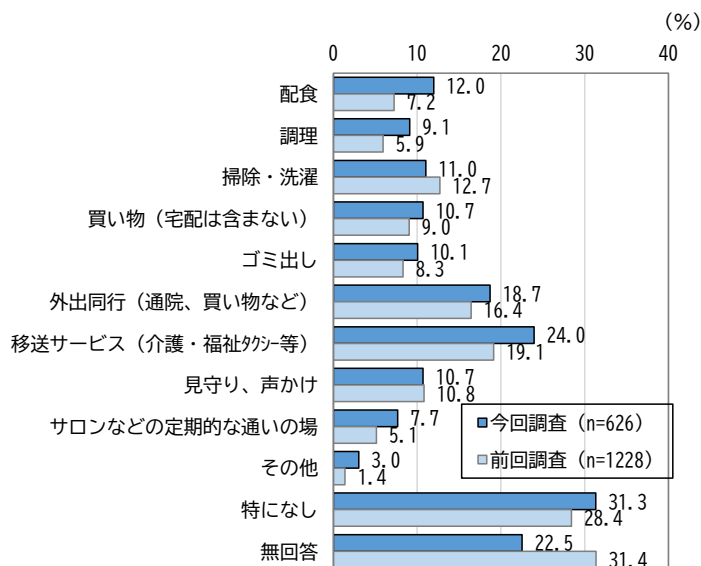
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q30. 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

(MA)

○「特になし」が31.3%となっています。必要な支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.0%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」18.7%、「配食」が12.0%の順となっています。

○「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は、要介護度別にみると、「要介護3以上」、認知症自立度別にみると「Ⅲ以上」で最も高くなっています。



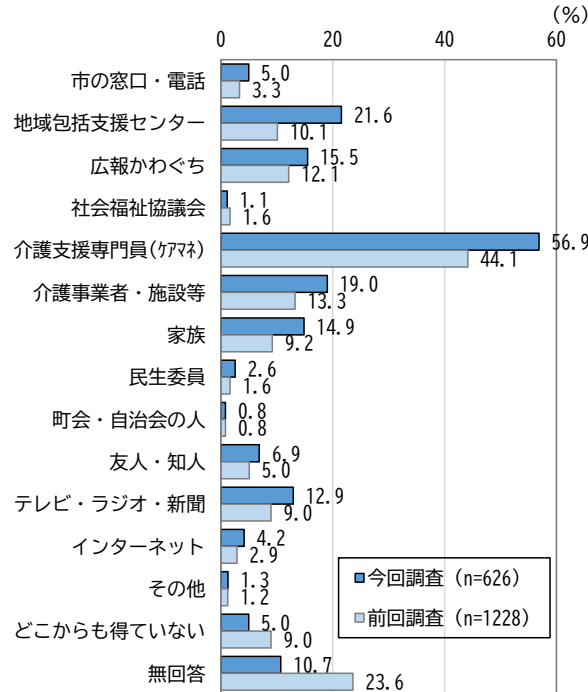
		合計	Q30.在宅生活の継続に必要な支援・サービス											
			配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院, 買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り, 声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体		626	75	57	69	67	63	117	150	67	48	19	196	141
		100.0	12.0	9.1	11.0	10.7	10.1	18.7	24.0	10.7	7.7	3.0	31.3	22.5
要介護度(統合)	要支援1・2	85	6	5	12	8	9	15	15	6	5	3	30	23
		100.0	7.1	5.9	14.1	9.4	10.6	17.6	17.6	7.1	5.9	3.5	35.3	27.1
	要介護1・2	343	30	22	31	35	30	60	71	32	29	7	117	78
	100.0	8.7	6.4	9.0	10.2	8.7	17.5	20.7	9.3	8.5	2.0	34.1	22.7	
	要介護3以上	194	37	29	25	21	21	40	61	27	13	8	49	39
	100.0	19.1	14.9	12.9	10.8	10.8	20.6	31.4	13.9	6.7	4.1	25.3	20.1	
認知症自立度(統合)	自立+ I	282	29	23	26	23	30	52	68	24	19	7	94	63
		100.0	10.3	8.2	9.2	8.2	10.6	18.4	24.1	8.5	6.7	2.5	33.3	22.3
	II	213	29	23	32	34	25	45	46	27	16	3	74	43
	100.0	13.6	10.8	15.0	16.0	11.7	21.1	21.6	12.7	7.5	1.4	34.7	20.2	
	Ⅲ以上	123	15	10	10	6	5	18	33	14	12	6	26	34
	100.0	12.2	8.1	8.1	4.9	4.1	14.6	26.8	11.4	9.8	4.9	21.1	27.6	
世帯類型	単身世帯	161	29	22	33	32	32	39	37	19	14	6	46	30
		100.0	18.0	13.7	20.5	19.9	19.9	24.2	23.0	11.8	8.7	3.7	28.6	18.6
	夫婦のみ世帯	207	27	19	18	18	16	33	56	22	15	6	58	48
	100.0	13.0	9.2	8.7	8.7	7.7	15.9	27.1	10.6	7.2	2.9	28.0	23.2	
	その他	223	18	16	18	15	13	44	53	25	19	7	87	38
	100.0	8.1	7.2	8.1	6.7	5.8	19.7	23.8	11.2	8.5	3.1	39.0	17.0	

6. 介護保険以外の高齢者福祉サービスについて

Q31. 高齢者福祉に関する情報の入手先

(MA)

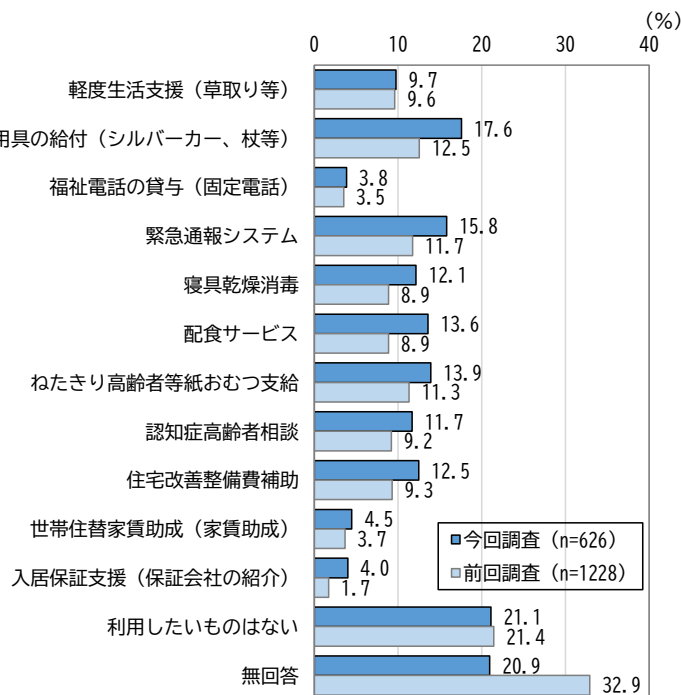
○高齢者福祉に関する情報の入手先は、「介護支援専門員(ケアマネ)」が56.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が21.6%、「介護事業者・施設等」が19.0%の順となっています。



Q32. 今後3年間ぐらいで利用したいサービス

(MA)

○「利用したいものはない」が21.1%となっています。利用したいサービスとしては、「日常生活用具の給付(シルバーカー、杖等)」が17.6%で最も高く、次いで「緊急通報システム」が15.8%、「ねたきり高齢者等紙おむつ支給」が13.9%の順となっています。



2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q33. どんなサービスがあれば利用したいか

(FA)

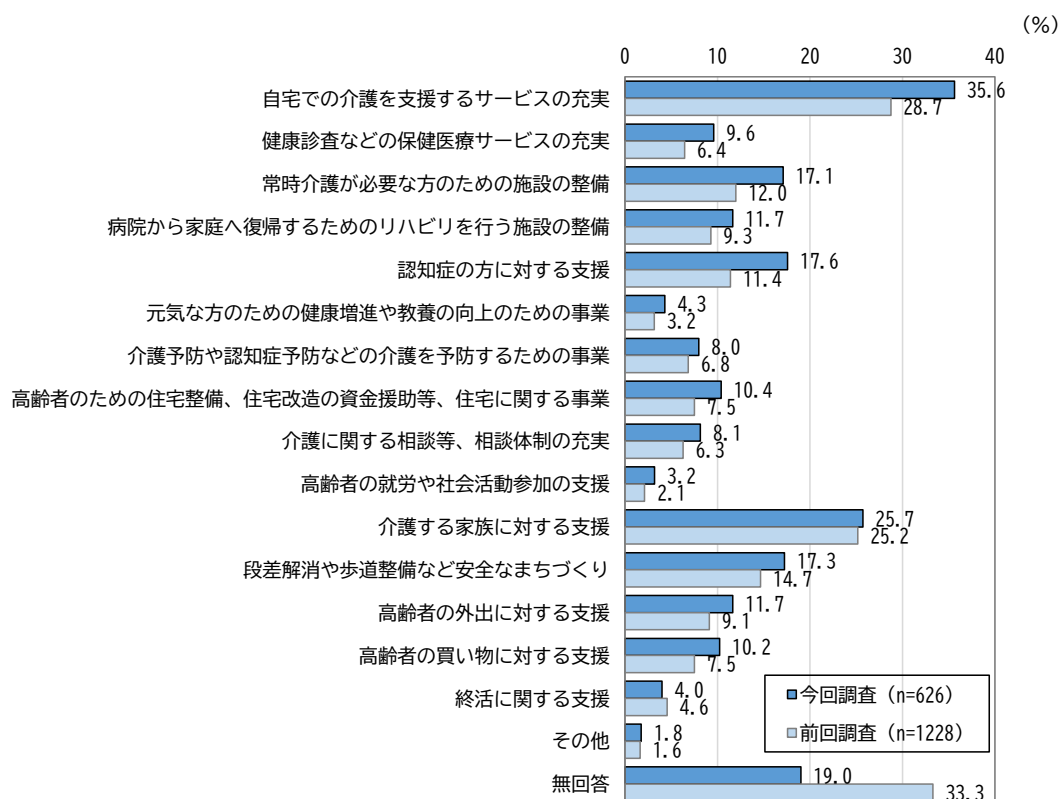
○どんなサービスがあれば利用したいかでは、“なし”“思いつかない”などを除くと72人から78件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

意見内容	件数
外出や移動の支援 ・タクシー券の配布・外出同行・病院の送迎・バス料金の無料化 ・巡回バスの増便	21
家事の支援 ・ホームヘルパーの派遣・買物支援・窓ふき・ゴミ出し	12
施設のサービス ・リハビリができる施設・お風呂に入れる施設・安く入所できる施設	7
配食サービス	3
福祉用具の貸し出し ・車椅子・介護ベッド	3
見守りサービス	3
集える場所やサークル ・当事者が集い合い、悩み事、解決談を話し合える場 ・健康に役に立つ歌の教室、カラオケ教室	3
紙おむつの支給	2
その他 ・ネット投票システム・トイレ改修・ネットサービスの利用方法の指導 ・一時預かり(レスパイトサービス)・看護師派遣・金銭的な支援 等	24

Q34. 川口市が優先すべき取り組み

(MA:3つまで)

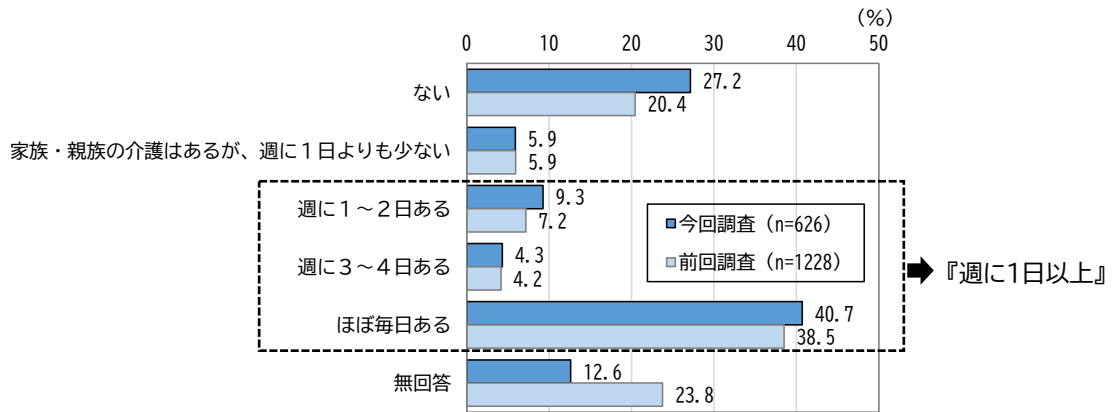
○川口市が優先すべき取り組みは、「自宅での介護を支援するサービスの充実」が35.6%で最も高く、次いで「介護する家族に対する支援」が25.7%、「認知症の方に対する支援」が17.6%の順となっています。



Q35. 家族や親族からの介護の状況

(SA)

- 「ほぼ毎日ある」が40.7%で最も高くなっています。「ほぼ毎日ある」と「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」を合わせた『週に1日以上』が54.3%。一方、「ない」が27.2%となっています。
- 前回調査に比べ、『週に1日以上』は4.4ポイント増加しています。
- 「ない」は、要介護度別にみると、“要支援1・2”、認知症自立度別にみると“自立+1”、世帯類型別にみると“単身世帯”で最も高くなっています。



	合計	Q35.家族や親族からの介護の状況						
		ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答	
全体	626 100.0	170 27.2	37 5.9	58 9.3	27 4.3	255 40.7	79 12.6	
要介護度 (統合)	要支援1・2	85 100.0	35 41.2	5 5.9	10 11.8	2 2.4	21 24.7	12 14.1
	要介護1・2	343 100.0	99 28.9	25 7.3	33 9.6	17 5.0	131 38.2	38 11.1
	要介護3以上	194 100.0	35 18.0	6 3.1	14 7.2	8 4.1	103 53.1	28 14.4
認知症自立度 (統合)	自立+ I	282 100.0	100 35.5	17 6.0	29 10.3	5 1.8	99 35.1	32 11.3
	II	213 100.0	46 21.6	16 7.5	20 9.4	13 6.1	90 42.3	28 13.1
	III以上	123 100.0	20 16.3	3 2.4	8 6.5	9 7.3	65 52.8	18 14.6
世帯類型	単身世帯	161 100.0	67 41.6	15 9.3	24 14.9	11 6.8	27 16.8	17 10.6
	夫婦のみ世帯	207 100.0	56 27.1	11 5.3	15 7.2	10 4.8	91 44.0	24 11.6
	その他	223 100.0	44 19.7	9 4.0	15 6.7	5 2.2	130 58.3	20 9.0

2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

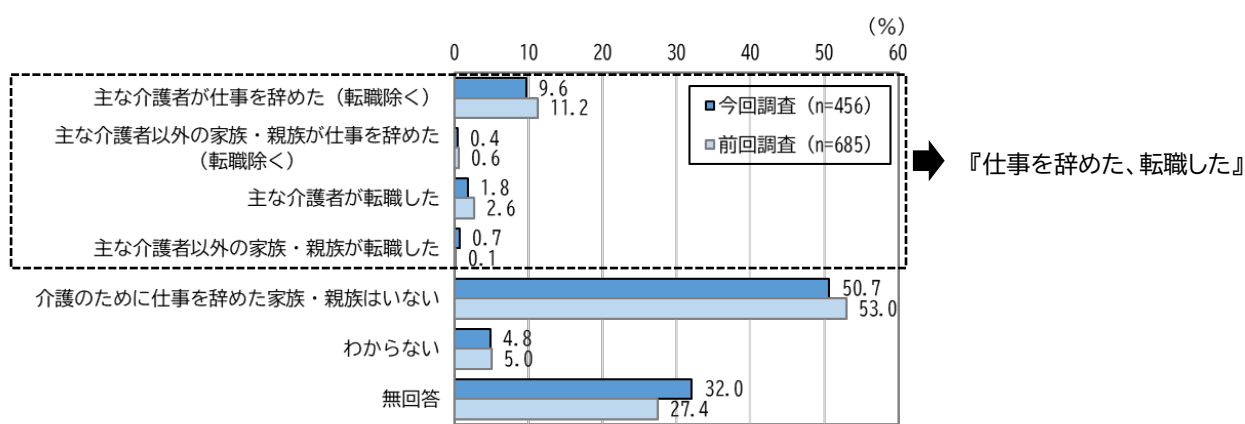
B票 主な介護者について

【Q35で「2」～「5」(家族からの介護がある)方のみ】

Q36. 介護のために仕事を辞めた方の有無

(MA)

- 家族や親族の中で介護のために「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は50.7%で、前回調査に比べ2.3ポイント減少しています。
- 「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」、「主な介護者が転職した」、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」を合わせた『仕事を辞めた、転職した』は12.5%となっています。
- 『仕事を辞めた、転職した』は、要介護度別にみると、“要介護3以上”、認知症自立度別にみると、“Ⅱ”、サービス利用の組み合わせでみると、“訪問系のみ”で高くなっています。

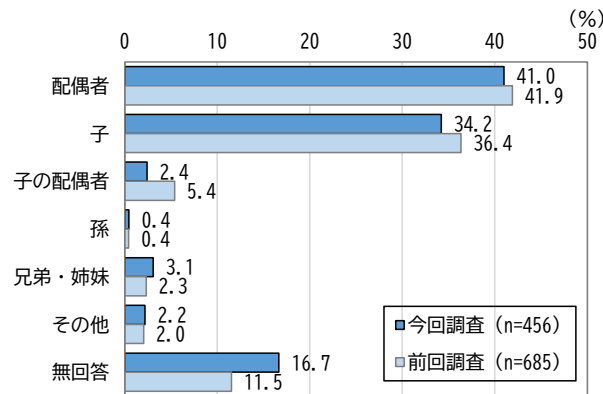


		合計	Q36. 介護のために仕事を辞めた方の有無					わからない	無回答
			主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない		
全体		456 100.0	44 9.6	2 0.4	8 1.8	3 0.7	231 50.7	22 4.8	146 32.0
要介護度 (統合)	要支援1・2	50 100.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 54.0	4 8.0	17 34.0
	要介護1・2	244 100.0	23 9.4	0 0.0	6 2.5	1 0.4	139 57.0	10 4.1	65 26.6
	要介護3以上	159 100.0	19 11.9	2 1.3	2 1.3	2 1.3	64 40.3	8 5.0	62 39.0
認知症自立度 (統合)	自立+Ⅰ	182 100.0	15 8.2	0 0.0	2 1.1	0 0.0	99 54.4	9 4.9	57 31.3
	Ⅱ	167 100.0	18 10.8	1 0.6	6 3.6	3 1.8	83 49.7	9 5.4	47 28.1
	Ⅲ以上	103 100.0	10 9.7	1 1.0	0 0.0	0 0.0	48 46.6	4 3.9	40 38.8
サービス利用 の組み合わせ (統合)	未利用	87 100.0	7 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	41 47.1	4 4.6	35 40.2
	訪問系のみ	67 100.0	7 10.4	0 0.0	2 3.0	0 0.0	33 49.3	4 6.0	21 31.3
	訪問系を含む組み合わせ	120 100.0	10 8.3	2 1.7	2 1.7	2 1.7	59 49.2	8 6.7	37 30.8
	通所系・短期系のみ	182 100.0	20 11.0	0 0.0	4 2.2	1 0.5	98 53.8	6 3.3	53 29.1

Q37. 主な介護者

(SA)

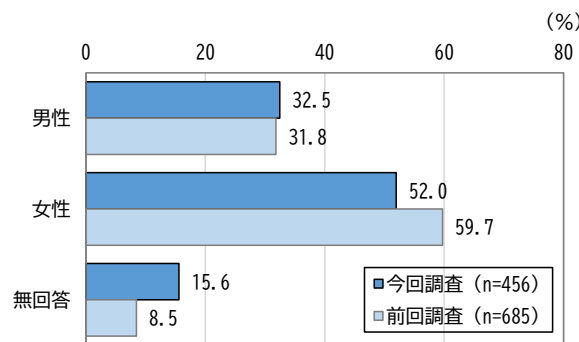
○「配偶者」が41.0%で最も高く、次いで「子」が34.2%、「兄弟・姉妹」が3.1%の順となっています。



Q38. 主な介護者の性別

(SA)

○「女性」が52.0%、「男性」が32.5%となっています。

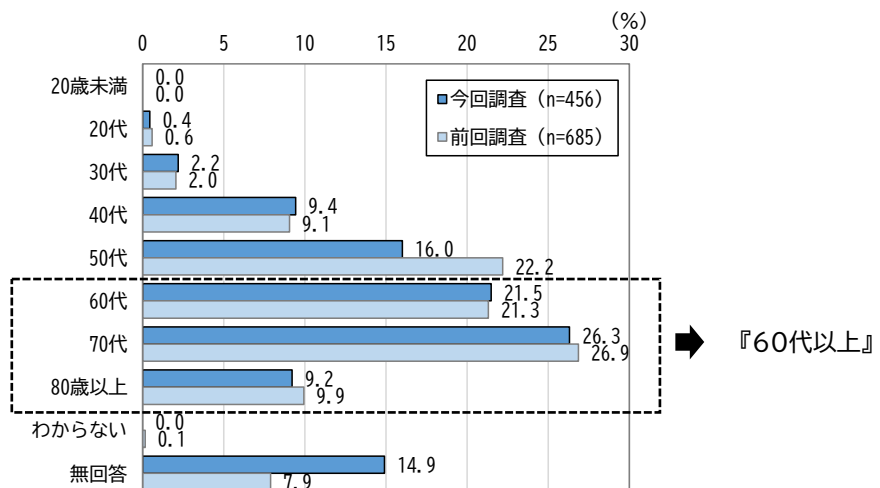


Q39. 主な介護者の年齢

(SA)

○「70代」が26.3%で最も高く、次いで「60代」が21.5%、「50代」が16.0%の順となっています。

○『60代以上』が、57.0%となっています。

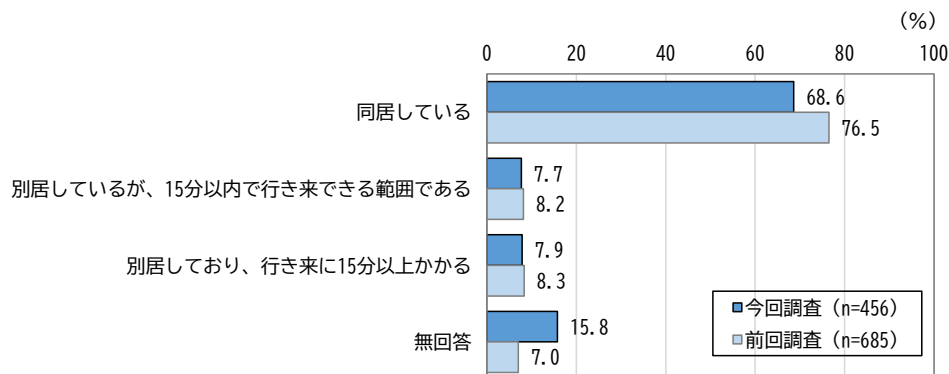


2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q40. 主な介護者と認定者の同居の状況

(SA)

○「同居している」が68.6%で最も高く、次いで「別居しており、行き来に15分以上かかる」が7.9%、「別居しているが、15分以内で行き来できる範囲である」が7.7%の順となっています。



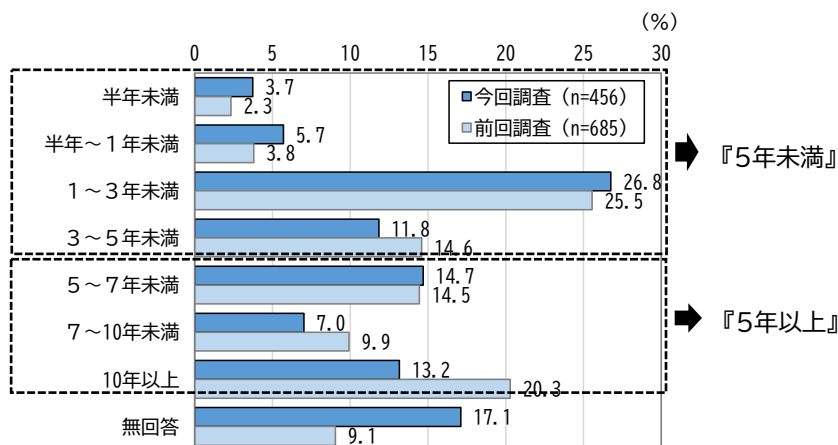
Q41. 介護期間

(SA)

○「1～3年未満」が26.8%で最も高く、次いで「5～7年未満」が14.7%、「10年以上」が13.2%の順となっています。

○『5年未満』が48.0%、『5年以上』が34.9%で、前回調査に比べ『5年以上』は9.8ポイント減少しています。

○「10年以上」は、介護度別にみると「要介護3以上」で14.5%、認知症自立度別にみると“Ⅱ”で13.8%と高くなっています。

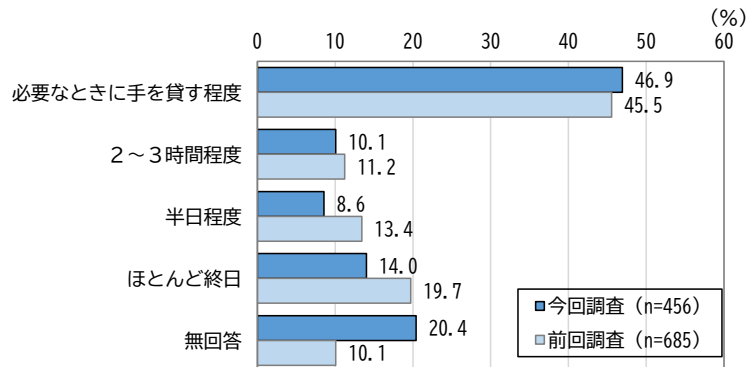


		合計	Q41.介護期間							無回答
			半年未満	半年～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上	
全体		456 100.0	17 3.7	26 5.7	122 26.8	54 11.8	67 14.7	32 7.0	60 13.2	78 17.1
要介護度 (統合)	要支援1・2	50 100.0	0 0.0	4 8.0	15 30.0	8 16.0	6 12.0	0 0.0	7 14.0	10 20.0
	要介護1・2	244 100.0	7 2.9	15 6.1	74 30.3	25 10.2	44 18.0	13 5.3	30 12.3	36 14.8
	要介護3以上	159 100.0	9 5.7	7 4.4	33 20.8	20 12.6	16 10.1	19 11.9	23 14.5	32 20.1
認知症自立度 (統合)	自立+Ⅰ	182 100.0	5 2.7	11 6.0	52 28.6	23 12.6	24 13.2	11 6.0	25 13.7	31 17.0
	Ⅱ	167 100.0	6 3.6	10 6.0	46 27.5	17 10.2	31 18.6	8 4.8	23 13.8	26 15.6
	Ⅲ以上	103 100.0	4 3.9	5 4.9	24 23.3	13 12.6	11 10.7	13 12.6	12 11.7	21 20.4

Q42. 1日あたりの介護時間

(SA)

- 「必要なときに手を貸す程度」が46.9%で最も高く、次いで「ほとんど終日」が14.0%、「2～3時間程度」が10.1%の順となっています。
- 要介護度別にみると、「要介護3以上」では、「必要なときに手を貸す程度」と同率で「ほとんど終日」が最も高くなっています。
- サービス利用の組み合わせでみると、「ほとんど終日」は“訪問系を含む組み合わせ”が他のサービス利用の組み合わせに比べ高くなっています。



	合計	Q42.一日あたりの介護時間					
		必要なときに手を貸す程度	2～3時間程度	半日程度	ほとんど終日	無回答	
全体	456 100.0	214 46.9	46 10.1	39 8.6	64 14.0	93 20.4	
要介護度 (統合)	要支援1・2	50 100.0	32 64.0	0 0.0	2 4.0	4 8.0	12 24.0
	要介護1・2	244 100.0	137 56.1	27 11.1	21 8.6	16 6.6	43 17.6
	要介護3以上	159 100.0	43 27.0	19 11.9	16 10.1	43 27.0	38 23.9
サービス利用の組み合わせ (統合)	未利用	87 100.0	46 52.9	11 12.6	5 5.7	3 3.4	22 25.3
	訪問系のみ	67 100.0	38 56.7	7 10.4	4 6.0	3 4.5	15 22.4
	訪問系を含む組み合わせ	120 100.0	42 35.0	10 8.3	14 11.7	27 22.5	27 22.5
	通所系・短期系のみ	182 100.0	88 48.4	18 9.9	16 8.8	31 17.0	29 15.9

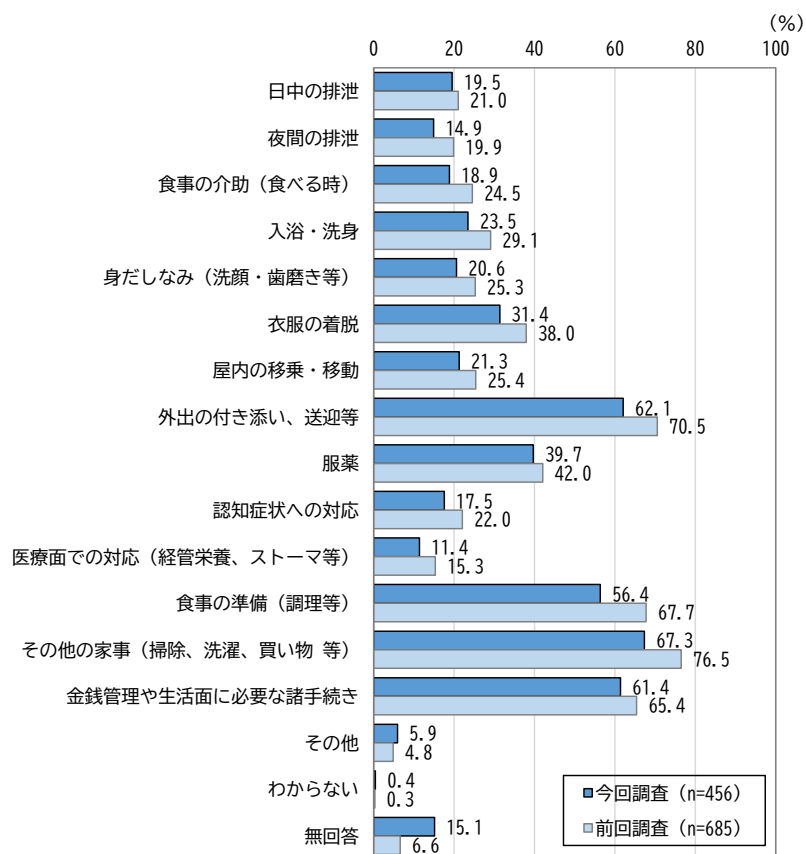
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q43. 主な介護者が行っている介護等

(MA)

○「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が67.3%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が62.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が61.4%の順で、上位は生活援助が多くなっています。

○要介護度別に見ると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」と同率で「外出の付き添い、送迎等」、認知症自立度別にみると「Ⅲ以上」は「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高くなっています。



	合計	Q43.主な介護者が行っている介護等										
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	
全体	456 100.0	89 19.5	68 14.9	86 18.9	107 23.5	94 20.6	143 31.4	97 21.3	283 62.1	181 39.7	80 17.5	
要介護度(統合)	要支援1・2	50 100.0	2 4.0	3 6.0	0 0.0	8 16.0	2 4.0	6 12.0	7 14.0	27 54.0	4 8.0	1 2.0
	要介護1・2	244 100.0	17 7.0	13 5.3	25 10.2	50 20.5	33 13.5	51 20.9	34 13.9	161 66.0	83 34.0	37 15.2
	要介護3以上	159 100.0	70 44.0	52 32.7	60 37.7	48 30.2	59 37.1	85 53.5	55 34.6	93 58.5	93 58.5	42 26.4
認知症自立度(統合)	自立+I	182 100.0	17 9.3	14 7.7	17 9.3	38 20.9	19 10.4	39 21.4	34 18.7	114 62.6	35 19.2	3 1.6
	II	167 100.0	30 18.0	22 13.2	29 17.4	37 22.2	30 18.0	49 29.3	29 17.4	106 63.5	75 44.9	36 21.6
	Ⅲ以上	103 100.0	41 39.8	31 30.1	38 36.9	30 29.1	44 42.7	53 51.5	32 31.1	60 58.3	69 67.0	41 39.8

	合計	Q43.主な介護者が行っている介護等						
		医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体	456 100.0	52 11.4	257 56.4	307 67.3	280 61.4	27 5.9	2 0.4	69 15.1
要介護度(統合)	要支援1・2	50 100.0	3 6.0	24 48.0	27 54.0	20 40.0	2 4.0	1 2.0
	要介護1・2	244 100.0	21 8.6	122 50.0	162 66.4	144 59.0	13 5.3	1 0.4
	要介護3以上	159 100.0	26 16.4	110 69.2	116 73.0	113 71.1	12 7.5	0 0.0
認知症自立度(統合)	自立+I	182 100.0	18 9.9	90 49.5	117 64.3	95 52.2	10 5.5	1 0.5
	II	167 100.0	17 10.2	96 57.5	113 67.7	104 62.3	7 4.2	1 0.6
	Ⅲ以上	103 100.0	15 14.6	69 67.0	74 71.8	77 74.8	10 9.7	0 0.0

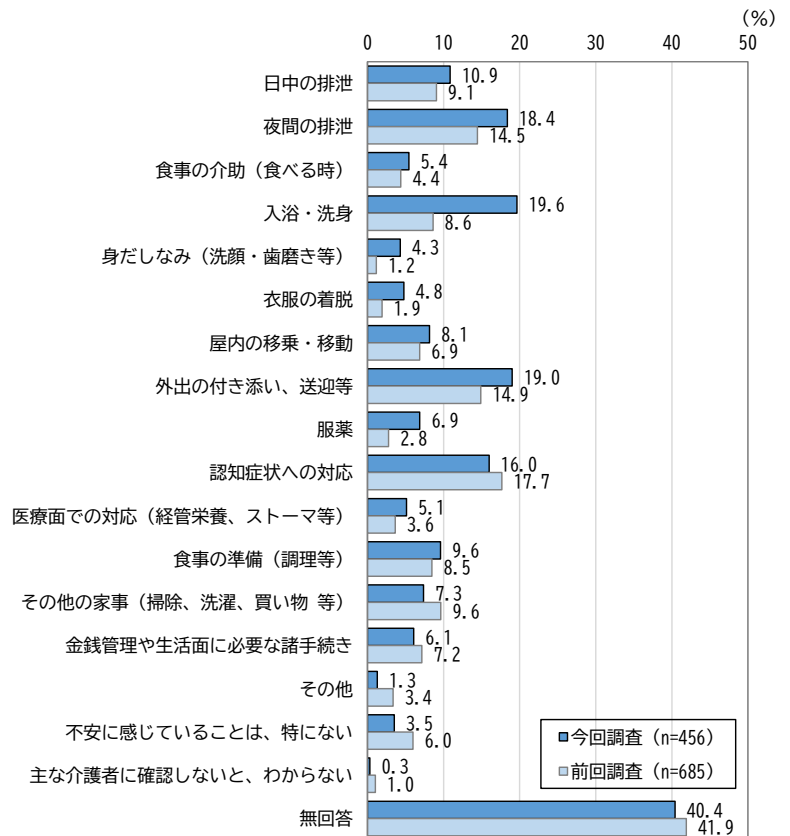
Q44. 不安を感じる介護等

(MA)

○「入浴・洗身」が19.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が19.0%、「夜間の排泄」が18.4%の順となっています。

○前回調査に比べ「不安を感じていることは、特にない」は2.5ポイント減少しています。

○要介護度別にみると、「要介護3以上」は「夜間の排泄」が最も高く、認知症自立度別にみると、「Ⅲ以上」は、「認知症状への対応」が30.1%と最も高くなっています。



	合計	Q44.不安を感じる介護等										
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	
全体	626 100.0	68 10.9	115 18.4	34 5.4	123 19.6	27 4.3	30 4.8	51 8.1	119 19.0	43 6.9	100 16.0	
要介護度(統合)	要支援1・2	85 100.0	2 2.4	5 5.9	0 0.0	8 9.4	1 1.2	3 3.5	10 11.8	20 23.5	3 3.5	5 5.9
	要介護1・2	343 100.0	35 10.2	58 16.9	15 4.4	74 21.6	17 5.0	11 3.2	28 8.2	69 20.1	23 6.7	57 16.6
	要介護3以上	194 100.0	31 16.0	50 25.8	18 9.3	39 20.1	9 4.6	16 8.2	13 6.7	28 14.4	17 8.8	38 19.6
認知症自立度(統合)	自立+I	282 100.0	18 6.4	36 12.8	8 2.8	44 15.6	9 3.2	8 2.8	24 8.5	61 21.6	11 3.9	21 7.4
	II	213 100.0	28 13.1	45 21.1	16 7.5	48 22.5	12 5.6	14 6.6	19 8.9	37 17.4	17 8.0	42 19.7
	Ⅲ以上	123 100.0	22 17.9	32 26.0	9 7.3	28 22.8	6 4.9	8 6.5	7 5.7	18 14.6	15 12.2	37 30.1

	合計	Q44.不安を感じる介護等							主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
		医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安を感じていることは、特にない			
全体	626 100.0	32 5.1	60 9.6	46 7.3	38 6.1	8 1.3	22 3.5	2 0.3	253 40.4	
要介護度(統合)	要支援1・2	85 100.0	3 3.5	9 10.6	8 9.4	5 5.9	0 0.0	4 4.7	1 1.2	47 55.3
	要介護1・2	343 100.0	11 3.2	28 8.2	26 7.6	23 6.7	3 0.9	12 3.5	1 0.3	138 40.2
	要介護3以上	194 100.0	17 8.8	22 11.3	12 6.2	10 5.2	5 2.6	6 3.1	0 0.0	67 34.5
認知症自立度(統合)	自立+I	282 100.0	14 5.0	28 9.9	24 8.5	19 6.7	4 1.4	10 3.5	2 0.7	141 50.0
	II	213 100.0	8 3.8	20 9.4	16 7.5	15 7.0	1 0.5	10 4.7	0 0.0	68 31.9
	Ⅲ以上	123 100.0	9 7.3	11 8.9	6 4.9	4 3.3	3 2.4	2 1.6	0 0.0	40 32.5

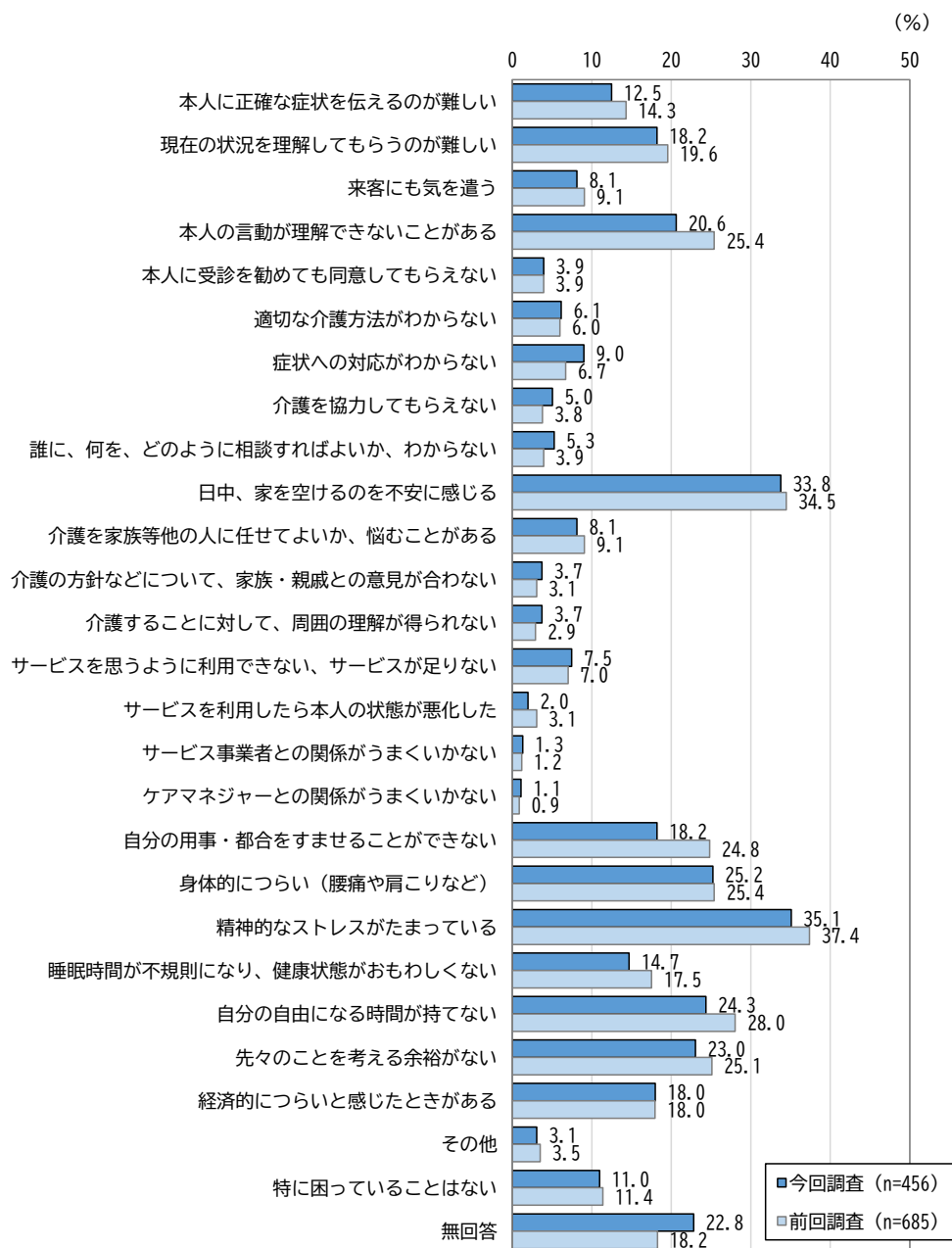
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q45. 在宅の介護で困ったり、負担に感じていること

(MA)

○「精神的なストレスがたまっている」が35.1%で最も高く、次いで「日中、家を空けるのを不安に感じる」が33.8%、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」が25.2%の順となっています。

○前回調査に比べ、「症状への対応がわからない」が2.3ポイント増加、「自分の用事・都合をすませることができない」が6.6ポイント減少しています。

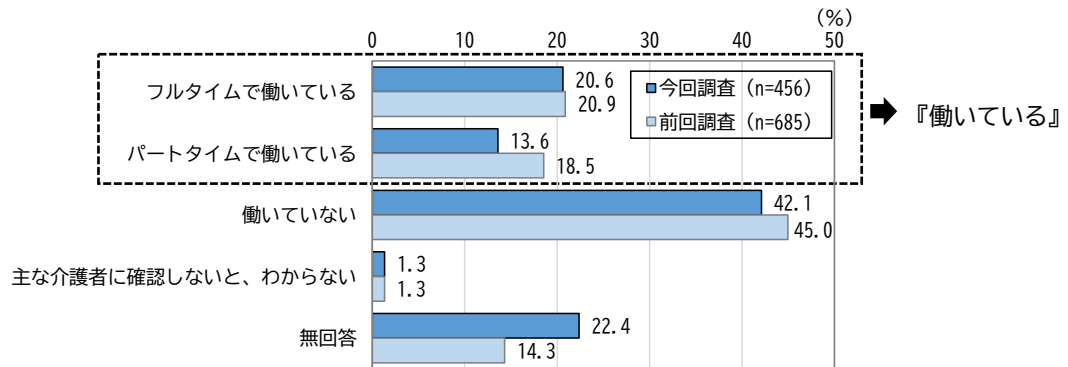


Q46. 主な介護者の就労状況

(SA)

○「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせて『働いている』が34.2%、一方、「働いていない」が42.1%となっています。

○『働いている』は、要介護度別にみると、“要介護1・2”、認知症自立度別にみると、“Ⅱ”、サービス利用の組み合わせ別にみると“訪問系のみ”で、高くなっています。



	合計	Q46.主な介護者の勤務状況					
		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わか	無回答	
全体	456 100.0	94 20.6	62 13.6	192 42.1	6 1.3	102 22.4	
要介護度 (統合)	要支援1・2	50 100.0	13 26.0	6 12.0	19 38.0	0 0.0	12 24.0
	要介護1・2	244 100.0	52 21.3	41 16.8	94 38.5	5 2.0	52 21.3
	要介護3以上	159 100.0	27 17.0	15 9.4	78 49.1	1 0.6	38 23.9
認知症自立度 (統合)	自立+ I	182 100.0	34 18.7	29 15.9	76 41.8	3 1.6	40 22.0
	Ⅱ	167 100.0	35 21.0	24 14.4	70 41.9	2 1.2	36 21.6
	Ⅲ以上	103 100.0	23 22.3	9 8.7	44 42.7	1 1.0	26 25.2
サービス利用の組み合わせ (統合)	未利用	87 100.0	21 24.1	8 9.2	33 37.9	0 0.0	25 28.7
	訪問系のみ	67 100.0	14 20.9	13 19.4	20 29.9	5 7.5	15 22.4
	訪問系を含む組み合わせ	120 100.0	24 20.0	19 15.8	48 40.0	1 0.8	28 23.3
	通所系・短期系のみ	182 100.0	35 19.2	22 12.1	91 50.0	0 0.0	34 18.7

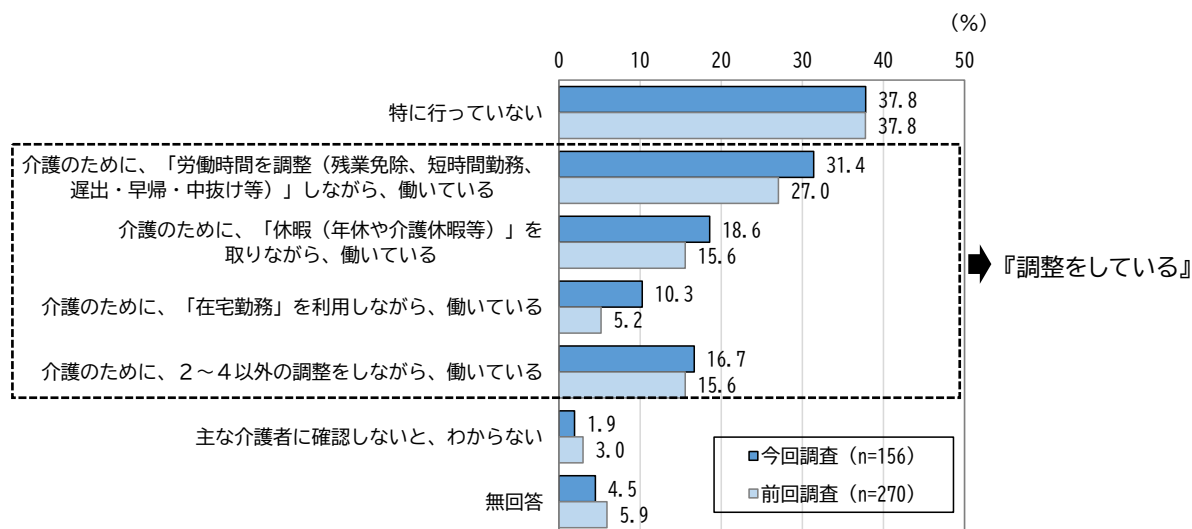
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q46-1. 就労者の働き方の調整等

(MA)

【Q46で「1.」及び「2.」の方のみ】

- 「特に行っていない」が37.8%で最も高く、次いで「介護のために労働時間を調整しながら、働いている」が31.4%、「介護のために、休暇を取りながら、働いている」が18.6%の順となっています。
- 全体では、「特に行っていない」と「主な介護者に確認しないと、わからない」以外の『調整をしている』が77.0%となっています。
- 『調整をしている』は、要介護度別に見ると“要介護3以上”、認知症自立度別にみると“Ⅲ以上”、就労形態別にみると“フルタイム”で高くなっています。



		Q46-1. 就労者の働き方の調整等						
	合計	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	156 100.0	59 37.8	49 31.4	29 18.6	16 10.3	26 16.7	3 1.9	7 4.5
要介護度 (統合)	要支援1・2	19 100.0	12 63.2	4 21.1	2 10.5	1 5.3	2 10.5	0 0.0
	要介護1・2	93 100.0	34 36.6	32 34.4	17 18.3	11 11.8	13 14.0	3 3.2
	要介護3以上	42 100.0	13 31.0	11 26.2	9 21.4	3 7.1	11 26.2	0 0.0
認知症自立度 (統合)	自立+ I	63 100.0	26 41.3	16 25.4	10 15.9	4 6.3	12 19.0	3 4.8
	Ⅱ	59 100.0	21 35.6	24 40.7	10 16.9	7 11.9	6 10.2	0 0.0
	Ⅲ以上	32 100.0	12 37.5	7 21.9	8 25.0	4 12.5	8 25.0	0 0.0
主な介護者の 現在の勤務形態	フルタイムで働いている	94 100.0	36 38.3	28 29.8	25 26.6	13 13.8	14 14.9	1 1.1
	パートタイムで働いている	62 100.0	23 37.1	21 33.9	4 6.5	3 4.8	12 19.4	2 3.2

Q46-2. 仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援

(MA)

【Q46で「1.」及び「2.」の方のみ】

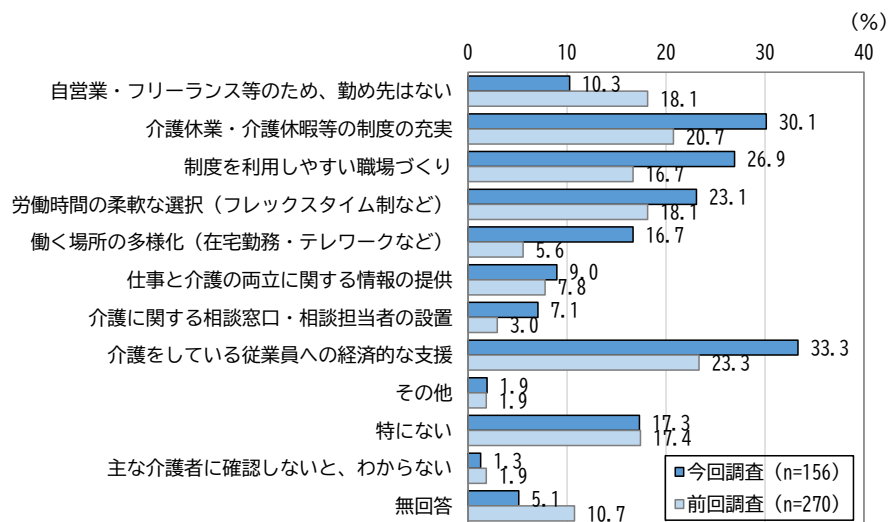
○「介護をしている従業員への経済的な支援」が33.3%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.1%、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.9%の順となっています。

○前回調査に比べ、上位3項目が大きく増加しています。

○要介護度別にみると“要支援1・2”は「特にない」が最も高くなっています。

○認知症自立度別にみると、“Ⅲ以上”は、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高くなっています。

○就労形態別にみると、“パートタイム”に比べ“フルタイム”は、「特にない」以外のほとんどの項目で、割合が高くなっています。



	合計	Q46-2.仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援												
		自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	156	16	47	42	36	26	14	11	52	3	27	2	8	
	100.0	10.3	30.1	26.9	23.1	16.7	9.0	7.1	33.3	1.9	17.3	1.3	5.1	
要介護度 (統合)	要支援1・2	19	0	5	4	3	1	0	4	0	7	0	4	
		100.0	0.0	26.3	21.1	15.8	5.3	0.0	21.1	0.0	36.8	0.0	21.1	
	要介護1・2	93	8	31	30	19	15	8	7	31	2	15	2	2
	100.0	8.6	33.3	32.3	20.4	16.1	8.6	7.5	33.3	2.2	16.1	2.2	2.2	
要介護3以上	42	8	10	7	13	10	5	3	16	1	5	0	2	
	100.0	19.0	23.8	16.7	31.0	23.8	11.9	7.1	38.1	2.4	11.9	0.0	4.8	
認知症自立度 (統合)	自立+Ⅰ	63	1	23	22	13	7	5	4	24	2	10	2	5
		100.0	1.6	36.5	34.9	20.6	11.1	7.9	6.3	38.1	3.2	15.9	3.2	7.9
	Ⅱ	59	8	15	13	11	10	5	3	19	0	11	0	2
	100.0	13.6	25.4	22.0	18.6	16.9	8.5	5.1	32.2	0.0	18.6	0.0	3.4	
Ⅲ以上	32	7	8	6	11	9	3	4	8	1	6	0	1	
	100.0	21.9	25.0	18.8	34.4	28.1	9.4	12.5	25.0	3.1	18.8	0.0	3.1	
世帯類型	単身世帯	45	4	14	9	9	5	4	2	14	3	8	1	4
		100.0	8.9	31.1	20.0	20.0	11.1	8.9	4.4	31.1	6.7	17.8	2.2	8.9
	夫婦のみ世帯	34	5	9	7	6	4	2	2	11	0	8	0	1
	100.0	14.7	26.5	20.6	17.6	11.8	5.9	5.9	32.4	0.0	23.5	0.0	2.9	
その他	71	7	22	26	19	16	7	7	25	0	11	1	1	
	100.0	9.9	31.0	36.6	26.8	22.5	9.9	9.9	35.2	0.0	15.5	1.4	1.4	
主な介護者の現在の勤務形態	フルタイムで働いている	94	11	37	32	25	17	8	7	32	1	13	1	3
		100.0	11.7	39.4	34.0	26.6	18.1	8.5	7.4	34.0	1.1	13.8	1.1	3.2
パートタイムで働いている	62	5	10	10	11	9	6	4	20	2	14	1	5	
	100.0	8.1	16.1	16.1	17.7	14.5	9.7	6.5	32.3	3.2	22.6	1.6	8.1	

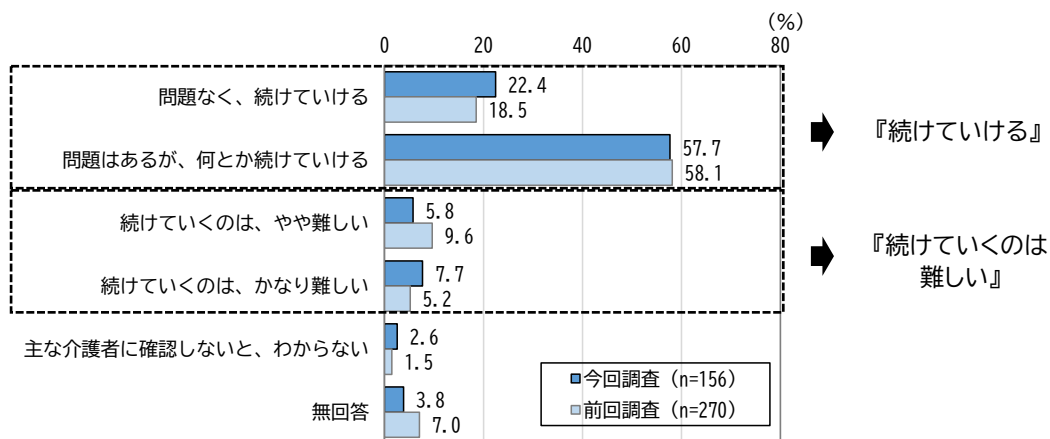
2. 在宅サービス利用者調査（在宅介護実態調査）

Q46-3. 今後の就労継続見込み

(SA)

【Q46で「1.」及び「2.」の方のみ】

- 「問題はあるが、何とか続けていける」と「問題なく、続けていける」を合わせた『続けていける』が80.1%、一方、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは難しい』が13.5%となっています。
- 『続けていける』は、要介護度別にみると“要支援1・2”、認知症自立度別にみると“Ⅱ”、サービス利用の組み合わせ別にみると“訪問系を含む組み合わせ”、就労形態別にみると“パートタイム”で高くなっています。



		合計	Q46-3. 今後の就労継続見込み					
			問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		156	35	90	9	12	4	6
		100.0	22.4	57.7	5.8	7.7	2.6	3.8
⑥要介護度 (統合)	要支援1・2	19	9	8	0	0	0	2
		100.0	47.4	42.1	0.0	0.0	0.0	10.5
	要介護1・2	93	19	57	6	4	4	3
		100.0	20.4	61.3	6.5	4.3	4.3	3.2
要介護3以上		42	7	23	3	8	0	1
		100.0	16.7	54.8	7.1	19.0	0.0	2.4
	認知症自立度 (統合)	63	18	33	4	0	3	5
	100.0	28.6	52.4	6.3	0.0	4.8	7.9	
Ⅱ		59	13	39	1	5	1	0
		100.0	22.0	66.1	1.7	8.5	1.7	0.0
	Ⅲ以上	32	4	16	4	7	0	1
	100.0	12.5	50.0	12.5	21.9	0.0	3.1	
サービス利用の組み合わせ (統合)	未利用	29	6	17	3	1	0	2
		100.0	20.7	58.6	10.3	3.4	0.0	6.9
	訪問系のみ	27	7	13	3	2	1	1
		100.0	25.9	48.1	11.1	7.4	3.7	3.7
	訪問系を含む組み合わせ	43	12	26	2	3	0	0
	100.0	27.9	60.5	4.7	7.0	0.0	0.0	
通所系・短期系のみ	57	10	34	1	6	3	3	
	100.0	17.5	59.6	1.8	10.5	5.3	5.3	
Q46. 主な介護者の現在の勤務形態	フルタイムで働いている	94	16	58	6	8	2	4
		100.0	17.0	61.7	6.4	8.5	2.1	4.3
	62	19	32	3	4	2	2	
	100.0	30.6	51.6	4.8	6.5	3.2	3.2	

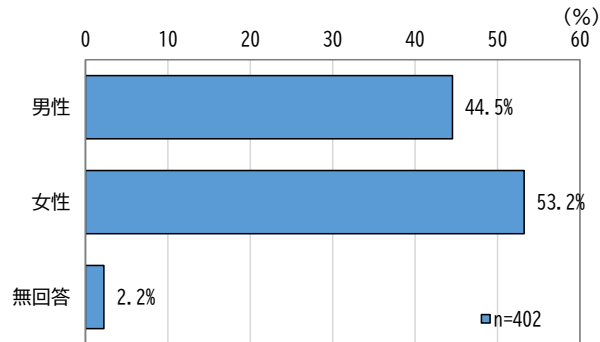
3. 市民アンケート調査(2号被保険者)

1. 回答者及びご家族について

Q2.性別

(SA)

○性別は、“男性”が44.5%、“女性”が53.2%となっています。

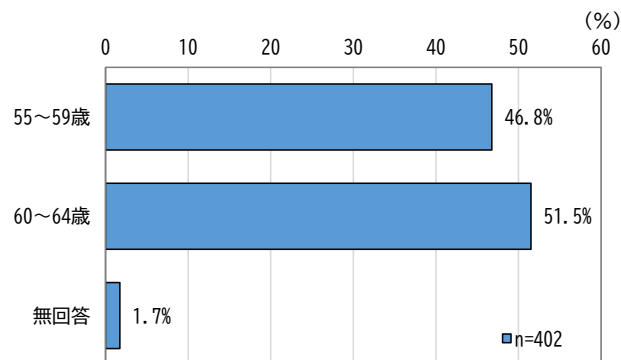


Q3.年齢

(SA)

○年齢は、「55～59歳」が46.8%、「60～64歳」が51.5%となっています。

○性別にみると、「55～59歳」は“女性”が“男性”に比べて9.4ポイント高くなっています。



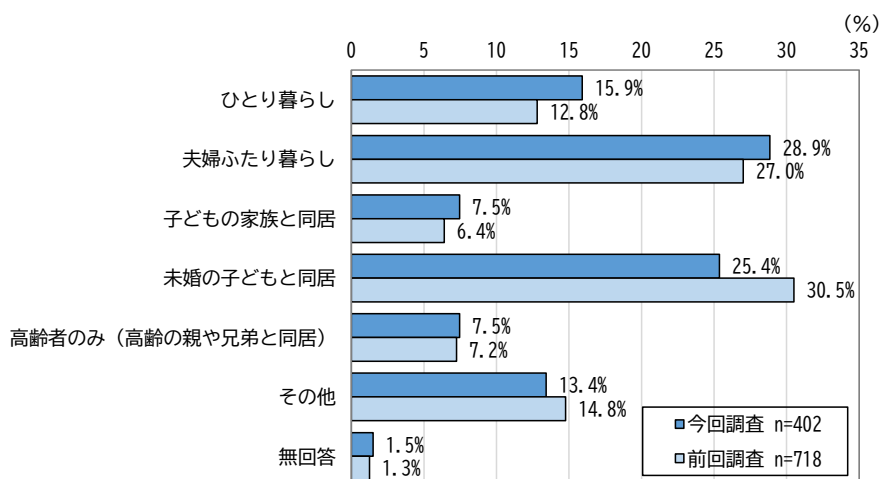
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q3.年齢			
		55～59歳	60～64歳	無回答	
全体	402 100.0	188 46.8	207 51.5	7 1.7	
性別	男性	179 100.0	76 42.5	102 57.0	1 0.6
	女性	214 100.0	111 51.9	103 48.1	0 0.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q4. 世帯状況

(SA)

- 世帯状況は、「夫婦ふたり暮らし」が28.9%で最も高く、次いで「未婚の子どもと同居」が25.4%、「ひとり暮らし」が15.9%の順となっています。
- 前回調査と比べて、「ひとり暮らし」が3.1ポイント増加している一方、「未婚の子どもと同居」が5.1ポイント減少しています。
- 年齢別にみると、“55～59歳”では「未婚の子どもと同居」が最も高くなっています。



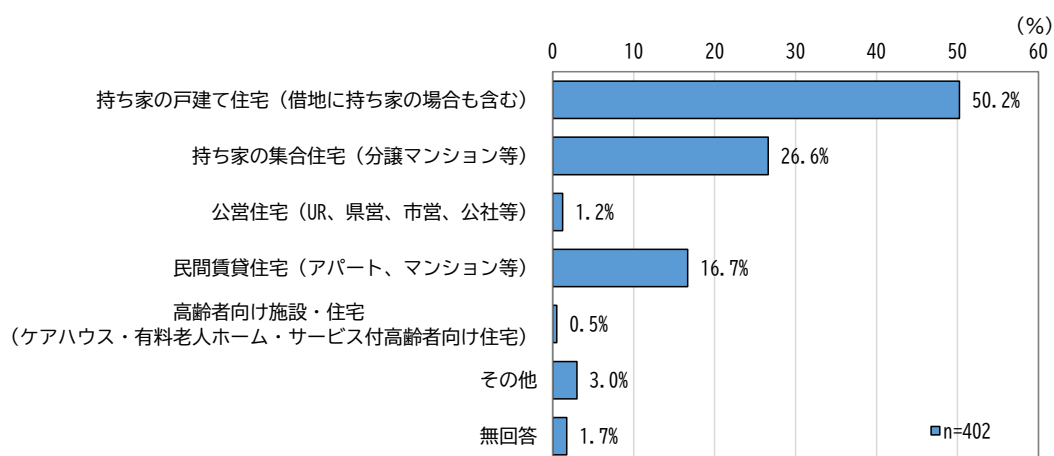
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q4.世帯状況							
		ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	子どもの家族と同居	未婚の子どもと同居	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	その他	無回答	
全体	402 100.0	64 15.9	116 28.9	30 7.5	102 25.4	30 7.5	54 13.4	6 1.5	
年齢	55～59歳	188 100.0	32 17.0	41 21.8	20 10.6	50 26.6	16 8.5	29 15.4	0 0.0
	60～64歳	207 100.0	32 15.5	75 36.2	10 4.8	51 24.6	14 6.8	25 12.1	0 0.0

Q5. 住まいの種類

(SA)

○住まいの種類は、「持ち家の戸建て住宅（借地に持ち家の場合も含む）」が50.2%で最も高く、次いで「持ち家の集合住宅（分譲マンション等）」が26.6%、「民間賃貸住宅（アパート、マンション等）」が16.7%の順となっています。

○性別にみると、「持ち家の集合住宅（分譲マンション等）」は“女性”が“男性”に比べて9.0ポイント高くなっています。



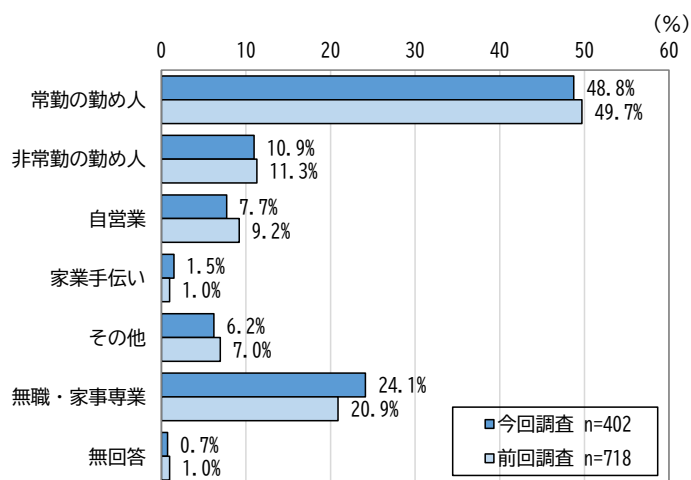
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q5.住まいの種類						
		持ち家の戸建て住宅(借地に持ち家の場合も含む)	持ち家の集合住宅(分譲マンション等)	公営住宅(UR、県営、市営、公社等)	民間賃貸住宅(アパート、マンション等)	高齢者向け施設・住宅(ケアハウス・有料老人ホーム・サービス付高齢者向け住宅)	その他	無回答
全体	402 100.0	202 50.2	107 26.6	5 1.2	67 16.7	2 0.5	12 3.0	7 1.7
性別	男性	95 53.1	39 21.8	3 1.7	36 20.1	1 0.6	5 2.8	0 0.0
	女性	106 49.5	66 30.8	2 0.9	31 14.5	1 0.5	7 3.3	1 0.5

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

2. 日常生活や社会活動について

Q6.職業

- 職業は、「常勤の勤め人」が48.8%で最も高く、次いで「無職・家事専業」が24.1%、「非常勤の勤め人」が10.9%の順となっています。
- 性別にみると、男女ともに「常勤の勤め人」が最も高いなかでも、“男性”が“女性”に比べ29.9ポイント高くなっています。また、「無職・家事専業」は、“女性”が“男性”に比べて18.2ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、50代・60代ともに「常勤の勤め人」が最も高いなかでも、“55～59歳”が“60～64歳”に比べて12.9ポイント高くなっています。また、「無職・家事専業」は、“60～64歳”が“55～59歳”に比べて10.4ポイント高くなっています。

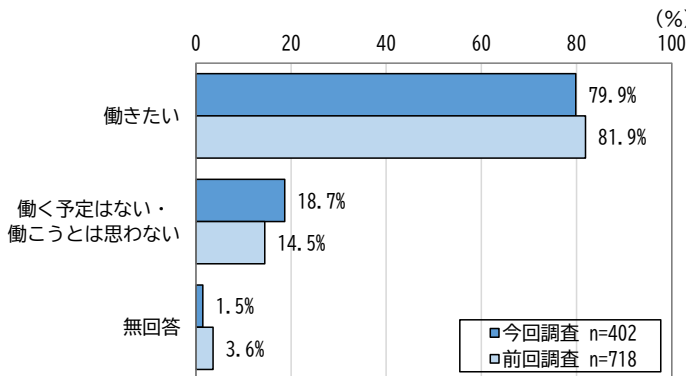


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q6.職業							
		常勤の勤め人	非常勤の勤め人	自営業	家業手伝い	その他	無職・家事専業	無回答	
全体	402 100.0	196 48.8	44 10.9	31 7.7	6 1.5	25 6.2	97 24.1	3 0.7	
性別	男性	179 100.0	118 65.9	9 5.0	19 10.6	0 0.0	8 4.5	25 14.0	0 0.0
	女性	214 100.0	77 36.0	32 15.0	12 5.6	6 2.8	16 7.5	69 32.2	2 0.9
年齢	55～59歳	188 100.0	106 56.4	19 10.1	15 8.0	1 0.5	10 5.3	35 18.6	2 1.1
	60～64歳	207 100.0	90 43.5	23 11.1	16 7.7	5 2.4	13 6.3	60 29.0	0 0.0

Q7. 勤務意向

(SA)

- 勤務意向は、「働きたい」が約8割、「働く予定はない・働こうとは思わない」が約2割となっています。
- 前回調査と比べ、「働く予定はない・働こうとは思わない」が4.2ポイント増加しています。
- 性別にみると、男女ともに「働きたい」が最も高いなかでも、“男性”が“女性”に比べて15.4ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、50代・60代ともに「働きたい」が最も高いなかでも、“55～59歳”が“60～64歳”に比べて7.7ポイント高くなっています。
- 働きたいと回答した人の働きたい年齢の平均は「68.3歳」となっています。

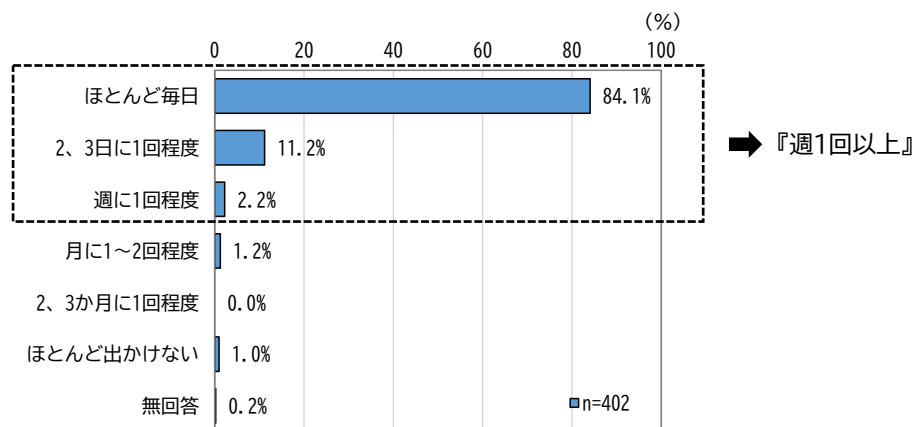


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q7.勤務意向			
		働きたい	働く予定はない・働こうとは思わない	無回答	
全体	402 100.0	321 79.9	75 18.7	6 1.5	
性別	男性	179 100.0	158 88.3	20 11.2	1 0.6
	女性	214 100.0	156 72.9	54 25.2	4 1.9
年齢	55～59歳	188 100.0	158 84.0	28 14.9	2 1.1
	60～64歳	207 100.0	158 76.3	46 22.2	3 1.4

Q8. 外出頻度

(SA)

- 外出頻度は、「ほとんど毎日」が8割以上となっています。
- 性別にみると、「ほとんど毎日」と「2、3日に1回程度」、「週に1回程度」を合わせた『週1回以上』では大きな違いはありません。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q8.外出頻度						無回答	
		ほとんど毎日	2、3日に1回程度	週に1回程度	月に1～2回程度	2、3か月に1回程度	ほとんど出かけない		
全体	402 100.0	338 84.1	45 11.2	9 2.2	5 1.2	0 0.0	4 1.0	1 0.2	
性別	男性	179 100.0	157 87.7	11 6.1	6 3.4	3 1.7	0 0.0	2 1.1	0 0.0
	女性	214 100.0	173 80.8	34 15.9	3 1.4	2 0.9	0 0.0	2 0.9	0 0.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

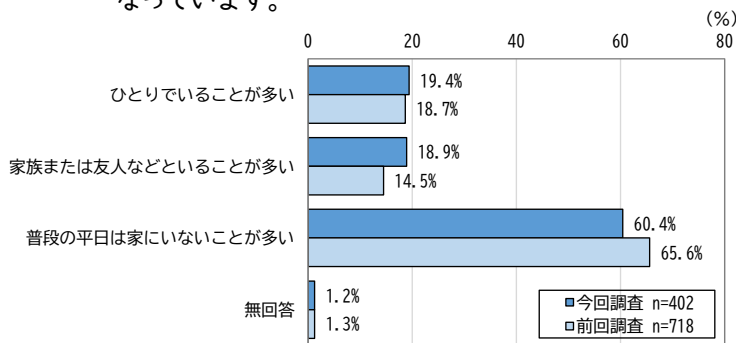
Q9. 平日の日中の居場所

(SA)

○平日の日中の居場所は、「普段の平日は家にはいないことが多い」が60.4%、「ひとりていることが多い」が19.4%、「家族または友人などといることが多い」が18.9%となっています。

○性別にみると、「ひとりていることが多い」は“女性”が“男性”に比べて6.4ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「ひとりていることが多い」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて2.2ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q9.平日の日中の居場所				
		ひとりていることが多い	家族または友人などといることが多い	普段の平日は家にはいないことが多い	無回答	
全体	402	78	76	243	5	
	100.0	19.4	18.9	60.4	1.2	
性別	男性	179	28	24	126	1
		100.0	15.6	13.4	70.4	0.6
女性	214	47	52	112	3	
		100.0	22.0	24.3	52.3	1.4
年齢	55～59歳	188	34	31	121	2
		100.0	18.1	16.5	64.4	1.1
60～64歳	207	42	45	118	2	
		100.0	20.3	21.7	57.0	1.0

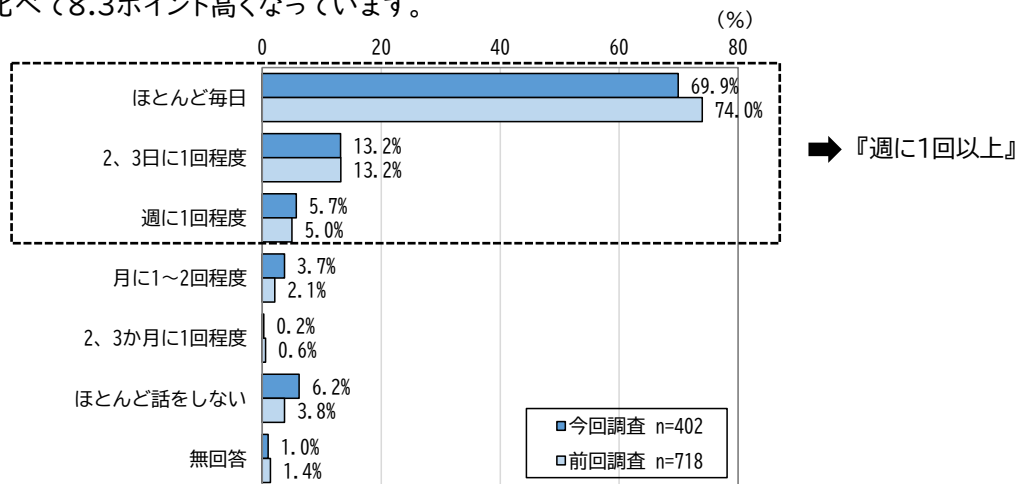
Q10. 家族以外との会話の頻度

(SA)

○家族以外と会話する割合は、「ほとんど毎日」と「2、3日に1回程度」、「週に1回程度」を合わせた『週に1回以上』が88.8%で、前回調査に比べ3.4ポイント減少しています。

○性別にみると、男女ともに「ほとんど毎日」が最も高いなかでも、“男性”が“女性”に比べて12.1ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、50代・60代ともに「ほとんど毎日」が最も高いなかでも、“55～59歳”が“60～64歳”に比べて8.3ポイント高くなっています。

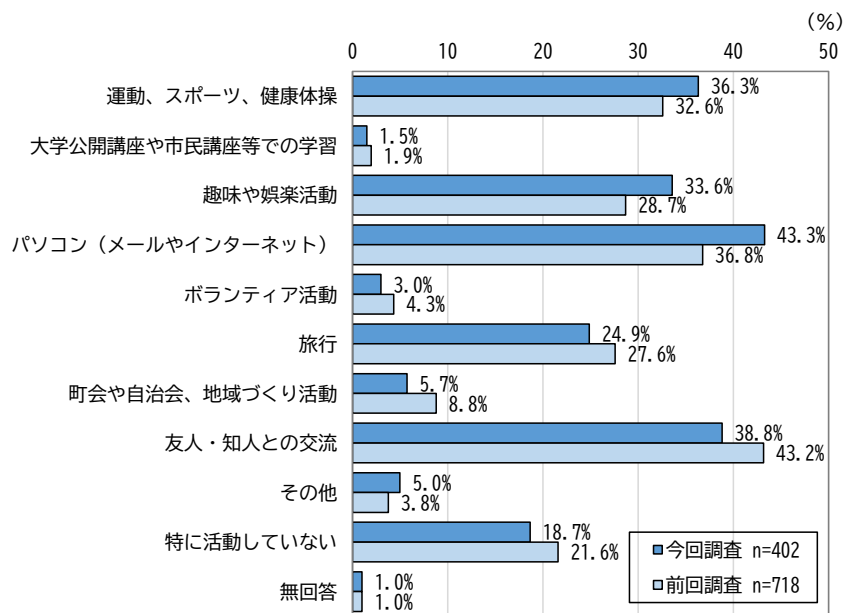


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q10.家族以外との会話の頻度						無回答	
		ほとんど毎日	2、3日に1回程度	週に1回程度	月に1～2回程度	2、3か月に1回程度	ほとんど話をしない		
全体	402	281	53	23	15	1	25	4	
	100.0	69.9	13.2	5.7	3.7	0.2	6.2	1.0	
性別	男性	179	138	14	11	3	1	12	0
		100.0	77.1	7.8	6.1	1.7	0.6	6.7	0.0
女性	214	139	38	12	11	0	11	3	
		100.0	65.0	17.8	5.6	5.1	0.0	5.1	1.4
年齢	55～59歳	188	141	18	6	9	0	13	1
		100.0	75.0	9.6	3.2	4.8	0.0	6.9	0.5
60～64歳	207	138	34	17	5	1	10	2	
		100.0	66.7	16.4	8.2	2.4	0.5	4.8	1.0

Q11. 現在行っている活動

(MA)

- 現在行っている活動は、「パソコン(メールやインターネット)」が43.3%で最も高く、次いで「友人・知人との交流」が38.8%、「運動、スポーツ、健康体操」が36.3%の順となっています。
- 前回調査に比べ、最も増加したのは「パソコン(メールやインターネット)」(6.5ポイント増加)、最も減少したのは「友人・知人との交流」(4.4ポイント減少)となっています。
- 性別にみると、「女性」では「友人・知人との交流」が最も高くなっています。
- 主観的健康感別にみると、「健康」と答えた人では「運動、スポーツ、健康体操」が最も高くなっています。「運動、スポーツ、健康体操」「旅行」「友人・知人との交流」等については、主観的健康感が高い人ほど高くなる傾向がみられる一方、「特に活動していない」については、主観的健康感が低い人ほど高くなる傾向がみられます。



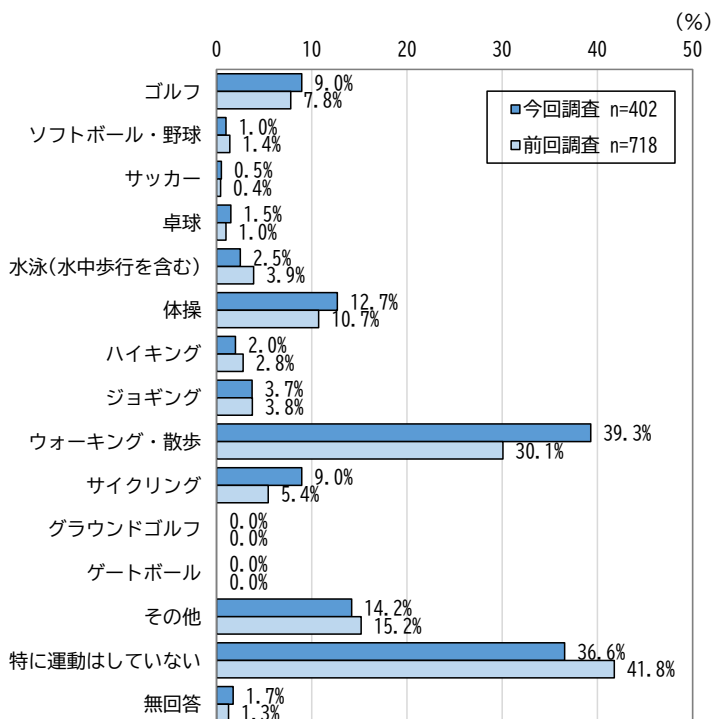
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q11.現在行っている活動											
		運動、ス ポーツ、 健康体操	大学公開 講座や市 民講座等 での学習	趣味や娯 楽活動	パソコン (メール やイン ターネッ ト)	ボラン ティア活 動	旅行	町会や自 治会、地 域づくり 活動	友人・知 人との交 流	その他	特に活動 していな い	無回答	
全体	402 100.0	146 36.3	6 1.5	135 33.6	174 43.3	12 3.0	100 24.9	23 5.7	156 38.8	20 5.0	75 18.7	4 1.0	
性別	男性	179 100.0	67 37.4	1 0.6	61 34.1	92 51.4	3 1.7	42 23.5	10 5.6	48 26.8	9 5.0	30 16.8	2 1.1
	女性	214 100.0	78 36.4	4 1.9	72 33.6	77 36.0	9 4.2	54 25.2	13 6.1	105 49.1	10 4.7	44 20.6	1 0.5
主観的 健康感	健康	75 100.0	46 61.3	3 4.0	26 34.7	33 44.0	2 2.7	25 33.3	4 5.3	35 46.7	4 5.3	5 6.7	0 0.0
	まあ健康	231 100.0	81 35.1	2 0.9	83 35.9	104 45.0	7 3.0	57 24.7	14 6.1	90 39.0	8 3.5	44 19.0	2 0.9
	あまり健康でない	76 100.0	16 21.1	0 0.0	21 27.6	31 40.8	3 3.9	16 21.1	5 6.6	24 31.6	7 9.2	21 27.6	1 1.3
	健康ではない	13 100.0	2 15.4	0 0.0	1 7.7	5 38.5	0 0.0	1 7.7	0 0.0	3 23.1	1 7.7	4 30.8	0 0.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q12. 普段行っている運動

(MA:3つまで)

- 普段行っている運動は、「ウォーキング・散歩」が39.3%で最も高く、次いで「特に運動はしていない」が36.6%、「その他」が14.2%となっています。
- 前回調査に比べ、「ウォーキング・散歩」が9.2ポイント増加しており、「特に運動はしていない」は5.2ポイント減少しています。
- 性別にみると、「ゴルフ」は「男性」が「女性」に比べて11.4ポイント、「体操」は「女性」が「男性」に比べて13.1ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「55～59」歳では「特に運動はしていない」が最も高くなっています。
- 主観的健康感別にみると、「健康」と「まあ健康」と答えた人では「ウォーキング・散歩」、「あまり健康ではない」と「健康ではない」と答えた人では「特に運動はしていない」が最も高くなっています。

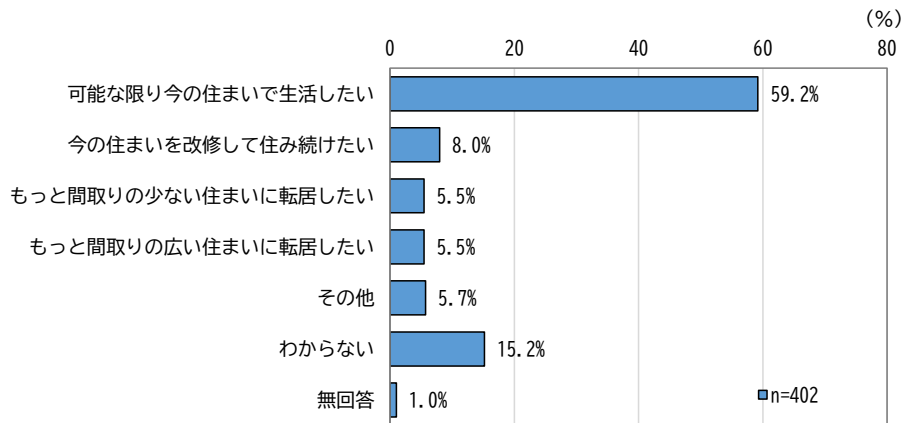


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q12. 普段行っている運動														特に運動はしていない	無回答
		ゴルフ	ソフトボール・野球	サッカー	卓球	水泳(水中歩行を含む)	体操	ハイキング	ジョギング	ウォーキング・散歩	サイクリング	グラウンドゴルフ	ゲートボール	その他			
全体	402	36	4	2	6	10	51	8	15	158	36	0	0	57	147	7	
	100.0	9.0	1.0	0.5	1.5	2.5	12.7	2.0	3.7	39.3	9.0	0.0	0.0	14.2	36.6	1.7	
性別	男性	179	27	4	2	5	10	3	10	73	20	0	0	23	63	3	
	100.0	15.1	2.2	1.1	1.1	2.8	5.6	1.7	5.6	40.8	11.2	0.0	0.0	12.8	35.2	1.7	
女性	214	8	0	0	3	5	40	5	5	83	15	0	0	32	80	4	
	100.0	3.7	0.0	0.0	1.4	2.3	18.7	2.3	2.3	38.8	7.0	0.0	0.0	15.0	37.4	1.9	
年齢	55～59歳	188	18	2	0	1	3	17	5	10	67	17	0	0	26	78	2
	100.0	9.6	1.1	0.0	0.5	1.6	9.0	2.7	5.3	35.6	9.0	0.0	0.0	13.8	41.5	1.1	
60～64歳	207	18	2	2	5	7	34	3	5	90	19	0	0	28	65	5	
	100.0	8.7	1.0	1.0	2.4	3.4	16.4	1.4	2.4	43.5	9.2	0.0	0.0	13.5	31.4	2.4	
主観的健康感	健康	75	13	1	1	2	4	9	1	5	31	8	0	0	17	17	2
	100.0	17.3	1.3	1.3	2.7	5.3	12.0	1.3	6.7	41.3	10.7	0.0	0.0	22.7	22.7	2.7	
	まあ健康	231	18	3	1	3	3	32	3	9	95	25	0	0	29	81	2
	100.0	7.8	1.3	0.4	1.3	1.3	13.9	1.3	3.9	41.1	10.8	0.0	0.0	12.6	35.1	0.9	
あまり健康でない	76	5	0	0	1	3	8	4	1	26	3	0	0	11	38	1	
100.0	6.6	0.0	0.0	1.3	3.9	10.5	5.3	1.3	3.9	34.2	3.9	0.0	0.0	14.5	50.0	1.3	
健康ではない	13	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	8	0	
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5	0.0	

Q13. 今後も現在の住まいで生活したいか

(SA)

- 今後も現在の住まいで生活したいかでは、「可能な限り今の住まいで生活したい」が59.2%で最も高く、次いで「わからない」15.2%、「今の住まいを改修して住み続けたい」が8.0%の順となっています。
- 年齢別にみると、50代・60代ともに「可能な限り今の住まいで生活したい」が最も高いなかでも、“60～64歳”が“55～59歳”に比べて11.0ポイント高くなっています。
- 住まいの種類別にみると、“公営住宅”“民間賃貸住宅”では「もっと間取りの広い住まいに転居したい」が他に比べて高くなっています。また、「わからない」は、“公営住宅”“民間賃貸住宅”“高齢者向け施設・住宅”が、“持ち家の戸建て住宅”と“持ち家の集合住宅”に比べて高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q13.今後も現在の住まいで生活したいか							
		可能な限り今の住まいで生活したい	今の住まいを改修して住み続けたい	もっと間取りの少ない住まいに転居したい	もっと間取りの広い住まいに転居したい	その他	わからない	無回答	
全体	402 100.0	238 59.2	32 8.0	22 5.5	22 5.5	23 5.7	61 15.2	4 1.0	
年齢	55～59歳	188 100.0	101 53.7	19 10.1	9 4.8	13 6.9	13 6.9	31 16.5	2 1.1
	60～64歳	207 100.0	134 64.7	13 6.3	12 5.8	9 4.3	7 3.4	30 14.5	2 1.0
住まいの種類	持ち家の戸建て住宅	202 100.0	133 65.8	20 9.9	15 7.4	5 2.5	6 3.0	21 10.4	2 1.0
	持ち家の集合住宅	107 100.0	68 63.6	11 10.3	3 2.8	5 4.7	5 4.7	15 14.0	0 0.0
	公営住宅	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	民間賃貸住宅	67 100.0	24 35.8	0 0.0	3 4.5	10 14.9	7 10.4	22 32.8	1 1.5
	高齢者向け施設・住宅	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
	その他	12 100.0	7 58.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

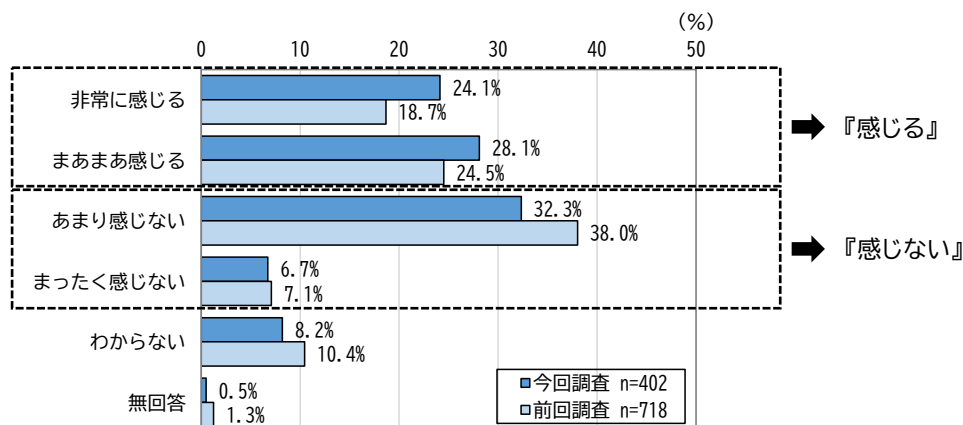
Q14. 孤独死について身近な問題だと感じるか

(SA)

○孤独死について身近な問題だと感じるかでは、「非常に感じる」と「まあまあ感じる」を合わせた『感じる』が52.2%、「あまり感じない」と「まったく感じない」を合わせた『感じない』が39.0%となっています。

○前回調査と比べ、『感じる』が9.0ポイント増加した一方、『感じない』が6.1ポイント減少しています。

○世帯状況別にみると、“ひとり暮らし”では「非常に感じる」、「高齢者のみ（高齢の親や兄弟と同居）」では「まあまあ感じる」が最も高くなっています。また、『感じる』の割合についても“ひとり暮らし”が約8割、“高齢者のみ（高齢の親や兄弟と同居）」が約7割となり、他の家族形態に比べて高くなっています。

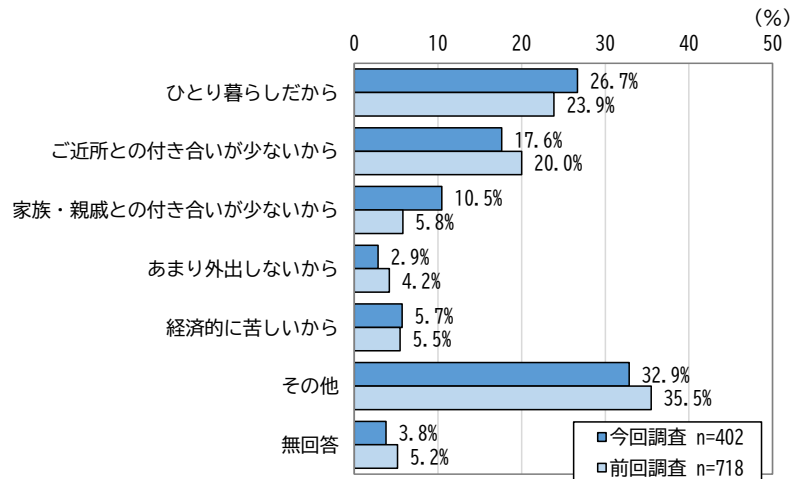


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q14. 孤独死について身近な問題だと感じるか						
		非常に感じる	まあまあ感じる	あまり感じない	まったく感じない	わからない	無回答	
全体	402	97	113	130	27	33	2	
	100.0	24.1	28.1	32.3	6.7	8.2	0.5	
世帯状況	ひとり暮らし	64	31	21	6	4	0	
		100.0	48.4	32.8	9.4	6.3	0.0	
	夫婦ふたり暮らし	116	23	30	43	6	14	0
		100.0	19.8	25.9	37.1	5.2	12.1	0.0
	子どもの家族と同居	30	7	7	9	4	3	0
		100.0	23.3	23.3	30.0	13.3	10.0	0.0
	未婚の子どもと同居	102	11	31	44	10	6	0
	100.0	10.8	30.4	43.1	9.8	5.9	0.0	
高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30	10	11	5	1	1	2	
	100.0	33.3	36.7	16.7	3.3	3.3	6.7	
その他	54	12	11	22	4	5	0	
	100.0	22.2	20.4	40.7	7.4	9.3	0.0	

Q14-1.孤独死が身近な問題と感ずる理由

(SA)

- 孤独死が身近な問題と感ずる理由は、「その他」が32.9%で最も高く、次いで「ひとり暮らしだから」が26.7%、「ご近所との付き合いが少ないから」が17.6%の順となっています。
- 「その他」の内容で多かったのは、「将来ひとり暮らしになる可能性がある（配偶者が亡くなった時等）」「知り合いにいないから」「子供がいない、独身」等となっています。
- 性別にみると、“男性”では「ひとり暮らしだから」が最も高くなっています。
- 世帯状況別にみると、“ひとり暮らし”では「ひとり暮らしだから」、「高齢者のみ（高齢の親や兄弟と同居）」では「家族・親戚との付き合いが少ないから」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q14-1.孤独死が身近な問題と感ずる理由								
		ひとり暮らしだから	ご近所との付き合いが少ないから	家族・親戚との付き合いが少ないから	あまり外出しないから	経済的に苦しいから	その他	無回答	非該当	
全体	210 100.0	56 26.7	37 17.6	22 10.5	6 2.9	12 5.7	69 32.9	8 3.8	192	
性別	男性	86 100.0	23 26.7	15 17.4	14 16.3	3 3.5	8 9.3	19 22.1	4 4.7	93
	女性	118 100.0	33 28.0	18 15.3	8 6.8	2 1.7	4 3.4	49 41.5	4 3.4	96
世帯状況	ひとり暮らし	52 100.0	47 90.4	1 1.9	1 1.9	0 0.0	1 1.9	1 1.9	1 1.9	12
	夫婦ふたり暮らし	53 100.0	2 3.8	15 28.3	10 18.9	1 1.9	2 3.8	22 41.5	1 1.9	63
	子どもの家族と同居	14 100.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	9 64.3	0 0.0	16
	未婚の子どもと同居	42 100.0	5 11.9	12 28.6	1 2.4	1 2.4	5 11.9	16 38.1	2 4.8	60
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	21 100.0	2 9.5	2 9.5	7 33.3	1 4.8	1 4.8	5 23.8	3 14.3	9
	その他	23 100.0	0 0.0	2 8.7	2 8.7	1 4.3	2 8.7	15 65.2	1 4.3	31

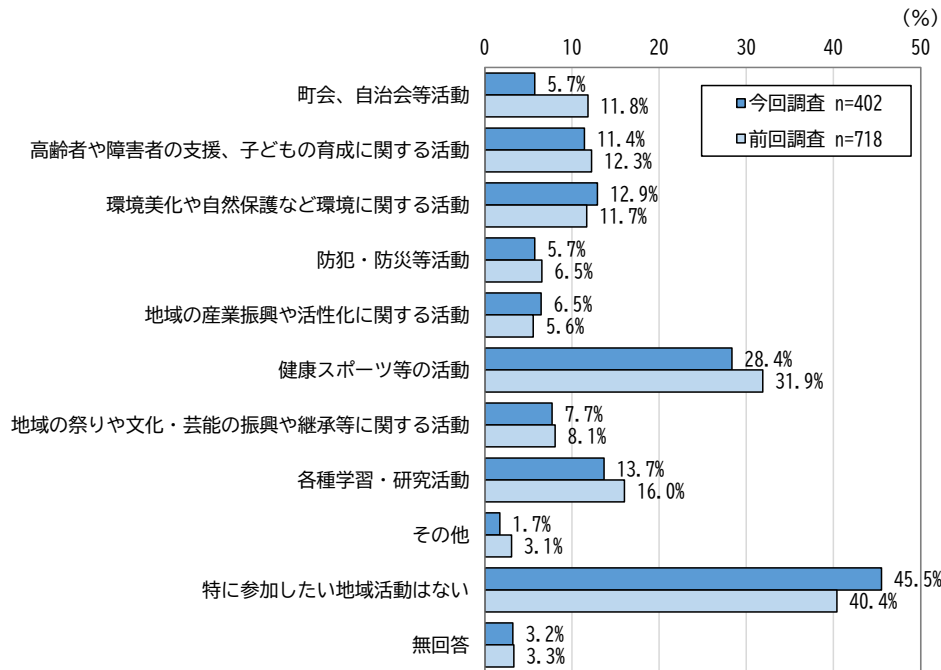
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q15.参加したい、または続けたい地域活動

(MA)

○参加したい、または続けたい地域活動は、「特に参加したい地域活動はない」が45.5%で最も高く、次いで「健康スポーツ等の活動」が28.4%、「各種学習・研究活動」が13.7%の順となっています。

○前回調査に比べ、最も増加したのは「特に参加したい地域活動はない」（5.1ポイント増加）、最も減少したのは「町会、自治会等活動」（6.1ポイント減少）となっています。

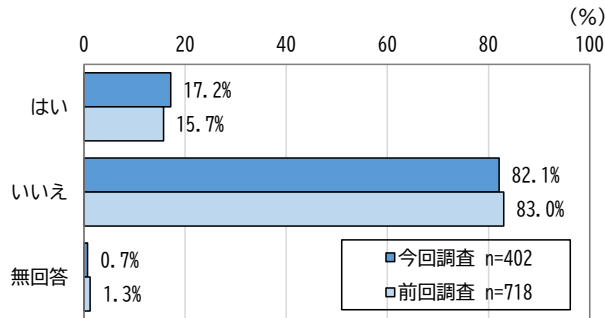


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q15.参加したい、または続けたい地域活動											
		町会、自治会等活動	高齢者や障害者の支援、子どもの育成に関する活動	環境美化や自然保護など環境に関する活動	防犯・防災等活動	地域の産業振興や活性化に関する活動	健康スポーツ等の活動	地域の祭りや文化・芸能の振興や継承等に関する活動	各種学習・研究活動	その他	特に参加したい地域活動はない	無回答	
全体	402 100.0	23 5.7	46 11.4	52 12.9	23 5.7	26 6.5	114 28.4	31 7.7	55 13.7	7 1.7	183 45.5	13 3.2	
性別	男性	179 100.0	13 7.3	10 5.6	22 12.3	10 5.6	15 8.4	41 22.9	10 5.6	23 12.8	5 2.8	89 49.7	9 5.0
	女性	214 100.0	10 4.7	33 15.4	29 13.6	13 6.1	10 4.7	71 33.2	19 8.9	30 14.0	2 0.9	92 43.0	4 1.9
年齢	55~59歳	188 100.0	13 6.9	22 11.7	19 10.1	11 5.9	10 5.3	51 27.1	10 5.3	20 10.6	3 1.6	92 48.9	7 3.7
	60~64歳	207 100.0	10 4.8	23 11.1	33 15.9	12 5.8	15 7.2	62 30.0	20 9.7	34 16.4	4 1.9	89 43.0	5 2.4

II 市民調査結果

Q16. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無 (SA)

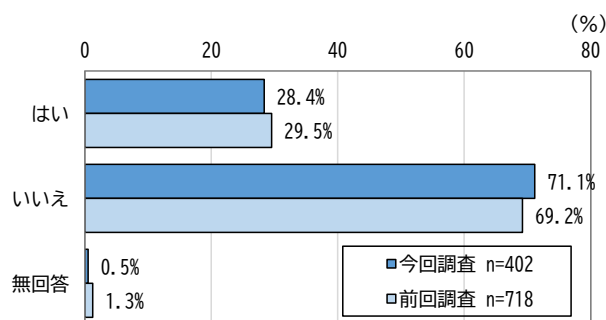
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無では、「いいえ」が8割以上となっています。
- 前回調査に比べ、大きな違いはみられません。
- 性別にみると、「はい」は“女性”が“男性”に比べて6.1ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「はい」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて3.2ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q16. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無			
		はい	いいえ	無回答	
全体	402 100.0	69 17.2	330 82.1	3 0.7	
性別	男性	179 100.0	25 14.0	153 85.5	1 0.6
	女性	214 100.0	43 20.1	169 79.0	2 0.9
年齢	55～59歳	188 100.0	36 19.1	150 79.8	2 1.1
	60～64歳	207 100.0	33 15.9	173 83.6	1 0.5

Q17. 認知症に関する相談窓口の認知度 (SA)

- 認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」が約3割、「いいえ」が約7割となっています。
- 前回調査に比べ、大きな違いはみられません。
- 性別にみると、「はい」は“女性”が“男性”に比べて15.9ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「はい」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて12.5ポイント高くなっています。
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無で「はい」と答えた人の42.0%は、認知症に関する相談窓口を知らないと回答しています。



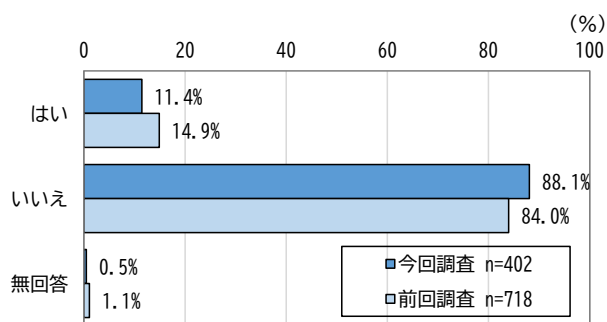
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q17. 認知症に関する相談窓口の認知度			
		はい	いいえ	無回答	
全体	402 100.0	114 28.4	286 71.1	2 0.5	
性別	男性	179 100.0	35 19.6	143 79.9	1 0.6
	女性	214 100.0	76 35.5	137 64.0	1 0.5
年齢	55～59歳	188 100.0	41 21.8	146 77.7	1 0.5
	60～64歳	207 100.0	71 34.3	135 65.2	1 0.5
認知症の症状の有無	はい	69 100.0	40 58.0	29 42.0	0 0.0
	いいえ	330 100.0	74 22.4	256 77.6	0 0.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q18. 認知症ポスター養成講座の認知度

(SA)

- 認知症ポスター養成講座の認知度は、「いいえ」が約9割となっています。
- 前回調査に比べ、「いいえ」が4.1ポイント増加しています。
- 性別にみると、「はい」は“女性”が“男性”に比べて8.3ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「はい」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて8.1ポイント高くなっています。
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無で「はい」と答えた人では、認知症ポスター養成講座を知っていると回答した人が24.6%と全体に比べて高くなっています。

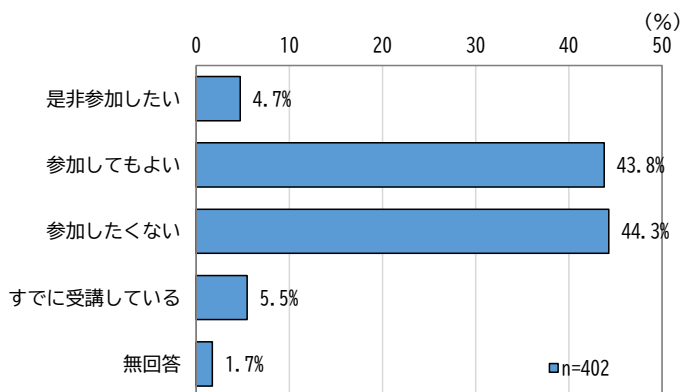


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q18.認知症ポスター養成講座の認知度		
		はい	いいえ	無回答
全体	402 100.0	46 11.4	354 88.1	2 0.5
性別				
男性	179 100.0	12 6.7	166 92.7	1 0.6
女性	214 100.0	32 15.0	181 84.6	1 0.5
年齢				
55～59歳	188 100.0	13 6.9	174 92.6	1 0.5
60～64歳	207 100.0	31 15.0	175 84.5	1 0.5
認知症の症状の有無				
はい	69 100.0	17 24.6	52 75.4	0 0.0
いいえ	330 100.0	29 8.8	301 91.2	0 0.0

Q19. 認知症ポスター養成講座への参加意向

(SA)

- 認知症ポスター養成講座への参加意向は、「参加したくない」が44.3%で最も高く、次いで「参加してもよい」が43.8%、「すでに受講している」が5.5%の順となっています。
- 性別にみると、“男性”では「参加したくない」が60.3%であるのに対し、“女性”では「参加してもよい」が50.9%となっています。
- 年齢別にみると、“60～64歳”では「参加してもよい」が最も高くなっています。
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無で「はい」と答えた人では、「参加してもよい」が最も高く、「是非参加したい」も11.6%と全体に比べて高くなっています。

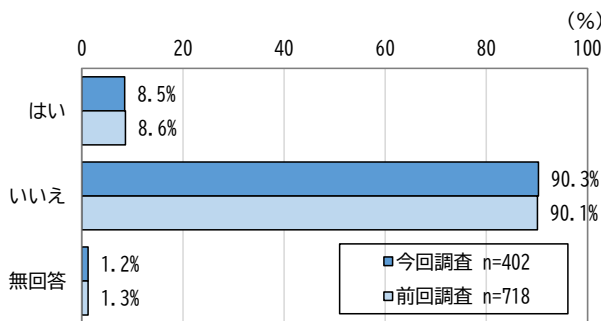


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q19.認知症ポスター養成講座への参加意向				
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	すでに受講している	無回答
全体	402 100.0	19 4.7	176 43.8	178 44.3	22 5.5	7 1.7
性別						
男性	179 100.0	3 1.7	62 34.6	108 60.3	3 1.7	3 1.7
女性	214 100.0	15 7.0	109 50.9	69 32.2	17 7.9	4 1.9
年齢						
55～59歳	188 100.0	7 3.7	81 43.1	92 48.9	4 2.1	4 2.1
60～64歳	207 100.0	11 5.3	93 44.9	84 40.6	16 7.7	3 1.4
認知症の症状の有無						
はい	69 100.0	8 11.6	30 43.5	25 36.2	6 8.7	0 0.0
いいえ	330 100.0	11 3.3	146 44.2	152 46.1	16 4.8	5 1.5

Q20. 認知症あんしんガイドの認知度

(SA)

- 認知症あんしんガイドの認知度は、「いいえ」が約9割となっています。
- 性別にみると、「はい」は“女性”が“男性”に比べて9.2ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「はい」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて4.7ポイント高くなっています。
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無で「はい」と答えた人では、認知症あんしんガイドを知っていると回答した人が24.6%と全体に比べて高くなっています。



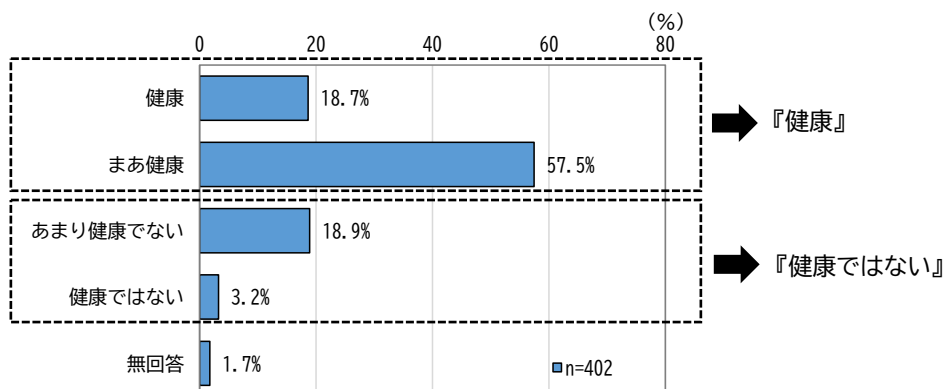
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q20.認知症あんしんガイドの認知度			
		はい	いいえ	無回答	
全体	402 100.0	34 8.5	363 90.3	5 1.2	
性別	男性	179 100.0	6 3.4	170 95.0	3 1.7
	女性	214 100.0	27 12.6	185 86.4	2 0.9
年齢	55～59歳	188 100.0	11 5.9	174 92.6	3 1.6
	60～64歳	207 100.0	22 10.6	184 88.9	1 0.5
症状の 有無	はい	69 100.0	17 24.6	52 75.4	0 0.0
	いいえ	330 100.0	17 5.2	310 93.9	3 0.9

3. あなたの身体や健康について

Q21. 主観的健康感

(SA)

- 主観的健康感は、「まあ健康」が57.5%で最も高く、次いで「あまり健康でない」が18.9%、「健康」が18.7%の順となっています。「健康」と「まあ健康」を合わせた『健康』が76.2%、「あまり健康でない」と「健康ではない」を合わせた『健康ではない』が22.1%となっています。
- 年齢別にみると、『健康』は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて9.9ポイント高くなっています。
- 規則的な食事、定期的な運動、歯の健康維持をしている人ほど、『健康』の割合が高い傾向がみられます。
- 普段から健康に気を使っている人では、8割以上が『健康』と回答しています。
- 定期的な健康診断を受けている人ほど、『健康』の割合が高い傾向がみられます。



3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)		合計	Q21.主観的健康感				
			健康	まあ健康	あまり健康でない	健康ではない	無回答
全体		402 100.0	75 18.7	231 57.5	76 18.9	13 3.2	7 1.7
年齢	55～59歳	188 100.0	40 21.3	112 59.6	26 13.8	7 3.7	3 1.6
	60～64歳	207 100.0	33 15.9	114 55.1	50 24.2	6 2.9	4 1.9
規則的な食事	している	238 100.0	65 27.3	130 54.6	32 13.4	7 2.9	4 1.7
	だいたい、している	137 100.0	10 7.3	87 63.5	36 26.3	4 2.9	0 0.0
	していない	24 100.0	0 0.0	13 54.2	8 33.3	2 8.3	1 4.2
定期的な運動	している	96 100.0	33 34.4	46 47.9	13 13.5	2 2.1	2 2.1
	だいたい、している	123 100.0	24 19.5	78 63.4	17 13.8	3 2.4	1 0.8
	していない	179 100.0	18 10.1	106 59.2	46 25.7	7 3.9	2 1.1
歯の健康維持	している	147 100.0	45 30.6	72 49.0	22 15.0	4 2.7	4 2.7
	だいたい、している	185 100.0	23 12.4	118 63.8	38 20.5	6 3.2	0 0.0
	していない	66 100.0	7 10.6	40 60.6	15 22.7	3 4.5	1 1.5
普段から健康に気を使っているか	気をつかっている	116 100.0	49 42.2	49 42.2	16 13.8	1 0.9	1 0.9
	まあ、気をつかっている	249 100.0	24 9.6	159 63.9	53 21.3	10 4.0	3 1.2
	気をつかっていない	34 100.0	2 5.9	22 64.7	7 20.6	2 5.9	1 2.9
定期的な健康診断を受けているか	受けている	274 100.0	59 21.5	155 56.6	54 19.7	4 1.5	2 0.7
	時々受けている	75 100.0	10 13.3	48 64.0	11 14.7	4 5.3	2 2.7
	受けていない	50 100.0	6 12.0	27 54.0	11 22.0	5 10.0	1 2.0

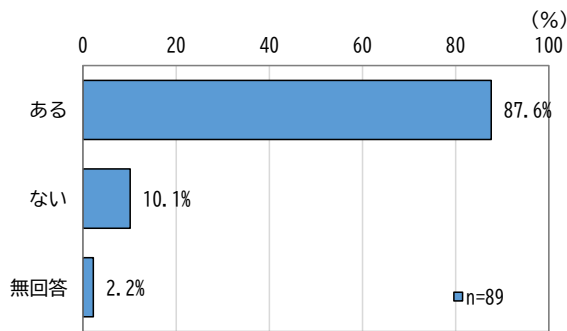
Q21-1. 治療中・服薬中の病気やけがの有無

(SA)

○治療中・服薬中の病気やけがの有無は、「ある」が約9割となっています。

○性別にみると、男女ともに「ある」が最も高いなかでも、「男性」が「女性」に比べて9.2ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、50代・60代ともに「ある」が最も高いなかでも、「60～64歳」が「55～59歳」に比べて4.5ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q21-1.治療中・服薬中の病気やけがの有無			
		ある	ない	無回答	
全体	89 100.0	78 87.6	9 10.1	2 2.2	
性別	男性	40 100.0	37 92.5	2 5.0	1 2.5
	女性	48 100.0	40 83.3	7 14.6	1 2.1
年齢	55～59歳	33 100.0	28 84.8	5 15.2	0 0.0
	60～64歳	56 100.0	50 89.3	4 7.1	2 3.6

Q21-2. 治療中・服薬中の病気・けが

(SA)

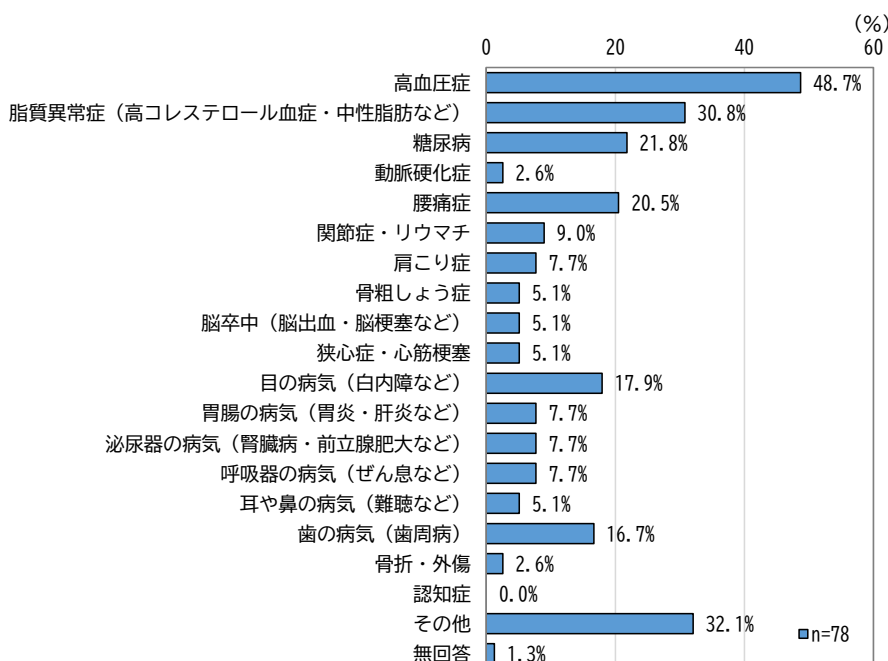
○治療中・服薬中の病気・けがは、「高血圧症」が48.7%で最も高く、次いで「その他」が32.1%、「脂質異常症(高コレステロール血症・中性脂肪など)」が30.8%の順となっています。

○「その他」の内容で多かったのは、「癌」「うつ病」「頭痛・めまい」等となっています。

○性別にみると、「糖尿病」は「男性」が「女性」に比べて19.9ポイント高くなっています。一方、「腰痛症」は「女性」が「男性」に比べて16.7ポイント高くなっています。

○規則的な食事をしている人ほど、「高血圧症」「糖尿病」「歯の病気(歯周病)」の割合が低い傾向がみられます。

○定期的な運動をしている人ほど、「高血圧症」「脂質異常症(高コレステロール血症・中性脂肪など)」「糖尿病」の割合が低い傾向がみられます。



3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q21-2.治療中・服薬中の病気・けが										
		高血圧症	脂質異常症(高コレステロール血症・中性脂肪など)	糖尿病	動脈硬化症	腰痛症	関節症・リウマチ	肩こり症	骨粗しょう症	脳卒中(脳出血・脳梗塞など)	狭心症・心筋梗塞	
全体	78 100.0	38 48.7	24 30.8	17 21.8	2 2.6	16 20.5	7 9.0	6 7.7	4 5.1	4 5.1	4 5.1	
性別	男性	37 100.0	17 45.9	12 32.4	12 32.4	1 2.7	4 10.8	2 5.4	1 2.7	1 2.7	3 8.1	2 5.4
	女性	40 100.0	20 50.0	12 30.0	5 12.5	1 2.5	11 27.5	5 12.5	5 12.5	3 7.5	1 2.5	2 5.0
規則的な食事	している	34 100.0	14 41.2	10 29.4	6 17.6	0 0.0	5 14.7	2 5.9	2 5.9	3 8.8	2 5.9	3 8.8
	だいたい、している	37 100.0	19 51.4	12 32.4	9 24.3	2 5.4	11 29.7	4 10.8	4 10.8	1 2.7	2 5.4	1 2.7
	していない	7 100.0	5 71.4	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
定期的な運動	している	15 100.0	6 40.0	3 20.0	1 6.7	0 0.0	4 26.7	0 0.0	3 20.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7
	だいたい、している	17 100.0	7 41.2	5 29.4	3 17.6	0 0.0	5 29.4	1 5.9	2 11.8	1 5.9	0 0.0	0 0.0
	していない	45 100.0	24 53.3	16 35.6	13 28.9	2 4.4	7 15.6	5 11.1	1 2.2	1 2.2	2 4.4	3 6.7

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q21-2.治療中・服薬中の病気・けが										
		目の病気(白内障など)	胃腸の病気(胃炎・肝炎など)	泌尿器の病気(腎臓病・前立腺肥大など)	呼吸器の病気(ぜん息など)	耳や鼻の病気(難聴など)	歯の病気(歯周病)	骨折・外傷	認知症	その他	無回答	
全体	78 100.0	14 17.9	6 7.7	6 7.7	6 7.7	4 5.1	13 16.7	2 2.6	0 0.0	25 32.1	1 1.3	
性別	男性	37 100.0	4 10.8	2 5.4	2 5.4	1 2.7	4 10.8	6 16.2	0 0.0	0 37.8	1 2.7	
	女性	40 100.0	10 25.0	4 10.0	4 10.0	5 12.5	7 17.5	7 17.5	2 5.0	0 25.0	0 0.0	
規則的な食事	している	34 100.0	6 17.6	3 8.8	4 11.8	4 11.8	1 2.9	4 11.8	1 2.9	0 0.0	16 47.1	0 0.0
	だいたい、している	37 100.0	8 21.6	2 5.4	2 5.4	2 5.4	7 18.9	1 2.7	1 2.7	0 21.6	8 21.6	1 2.7
	していない	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 14.3	1 14.3	0 0.0
定期的な運動	している	15 100.0	4 26.7	1 6.7	2 13.3	0 0.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0	9 60.0	0 0.0
	だいたい、している	17 100.0	2 11.8	3 17.6	2 11.8	1 5.9	0 23.5	4 23.5	0 0.0	0 23.5	4 23.5	0 0.0
	していない	45 100.0	8 17.8	2 4.4	2 4.4	2 11.1	3 6.7	7 15.6	1 2.2	0 26.7	12 26.7	1 2.2

II 市民調査結果

Q22.①タバコを吸っているか

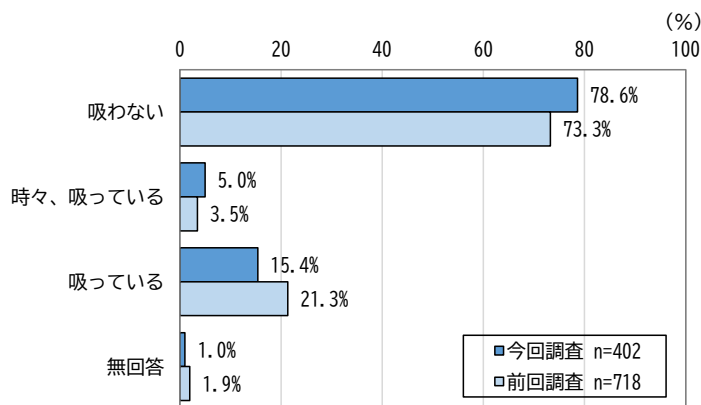
(SA)

○タバコを吸っているかでは、「吸わない」が78.6%、「吸っている」が15.4%、「時々、吸っている」が5.0%となっています。

○前回調査と比べ、「吸わない」が5.3ポイント増加しています。

○性別にみると、「吸っている」は“男性”が“女性”に比べて20.3ポイント高くなっています。

○年齢別にみて、大きな違いはみられません。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q22.①タバコを吸っているか				
		吸わない	時々、吸っている	吸っている	無回答	
全体	402 100.0	316 78.6	20 5.0	62 15.4	4 1.0	
性別	男性	179 100.0	120 67.0	9 5.0	48 26.8	2 1.1
	女性	214 100.0	187 87.4	11 5.1	14 6.5	2 0.9
年齢	55~59歳	188 100.0	149 79.3	10 5.3	27 14.4	2 1.1
	60~64歳	207 100.0	160 77.3	10 4.8	35 16.9	2 1.0

Q22.②お酒は飲むか

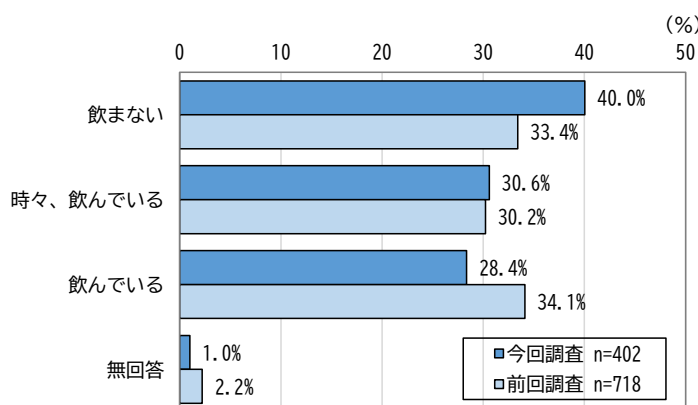
(SA)

○お酒を飲むかでは、「飲まない」が40.0%、「時々、飲んでいる」が30.6%、「飲んでいる」が28.4%となっています。

○前回調査に比べ、「飲まない」が6.6ポイント増加し、「飲んでいる」が5.7ポイント減少しています。

○性別にみると、“男性”では「飲んでいる」が最も高くなっています。

○年齢別にみて、大きな違いはみられません。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q22.②お酒は飲むか				
		飲まない	時々、飲んでいる	飲んでいる	無回答	
全体	402 100.0	161 40.0	123 30.6	114 28.4	4 1.0	
性別	男性	179 100.0	53 29.6	52 29.1	72 40.2	2 1.1
	女性	214 100.0	106 49.5	67 31.3	39 18.2	2 0.9
年齢	55~59歳	188 100.0	73 38.8	62 33.0	51 27.1	2 1.1
	60~64歳	207 100.0	86 41.5	58 28.0	61 29.5	2 1.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

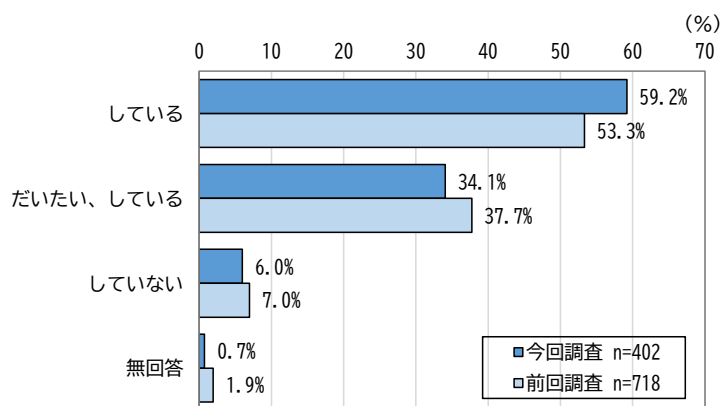
Q22.③規則的な食事

(SA)

○規則的な食事は、「している」が59.2%、「だいたい、している」が34.1%、「していない」が6.0%となっています。

○前回調査に比べ、「している」が5.9ポイント高くなっています。

○性別、年齢別にみて、大きな違いはみられません。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q22.③規則的な食事				
		している	だいた い、して いる	してい ない	無回答	
全体	402 100.0	238 59.2	137 34.1	24 6.0	3 0.7	
性別	男性	179 100.0	107 59.8	57 31.8	13 7.3	2 1.1
	女性	214 100.0	126 58.9	77 36.0	10 4.7	1 0.5
年齢	55~59歳	188 100.0	108 57.4	67 35.6	12 6.4	1 0.5
	60~64歳	207 100.0	125 60.4	69 33.3	11 5.3	2 1.0

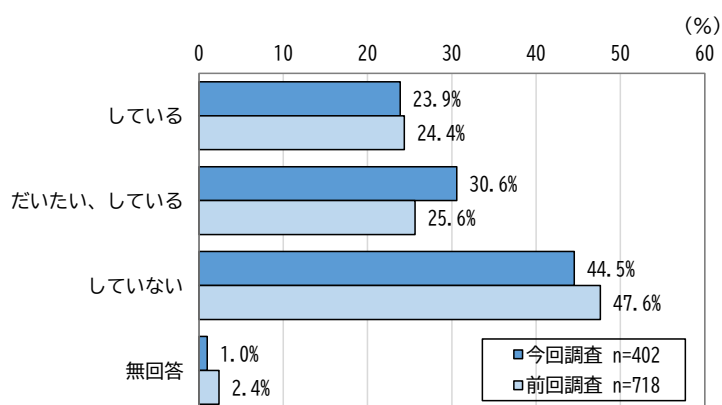
Q22.④定期的な運動

(SA)

○定期的な運動は、「していない」が44.5%、「だいたい、している」が30.6%、「している」が23.9%となっています。

○前回調査に比べ、「だいたい、している」が5.0ポイント増加しています。

○性別、年齢別にみて、大きな違いはみられません。

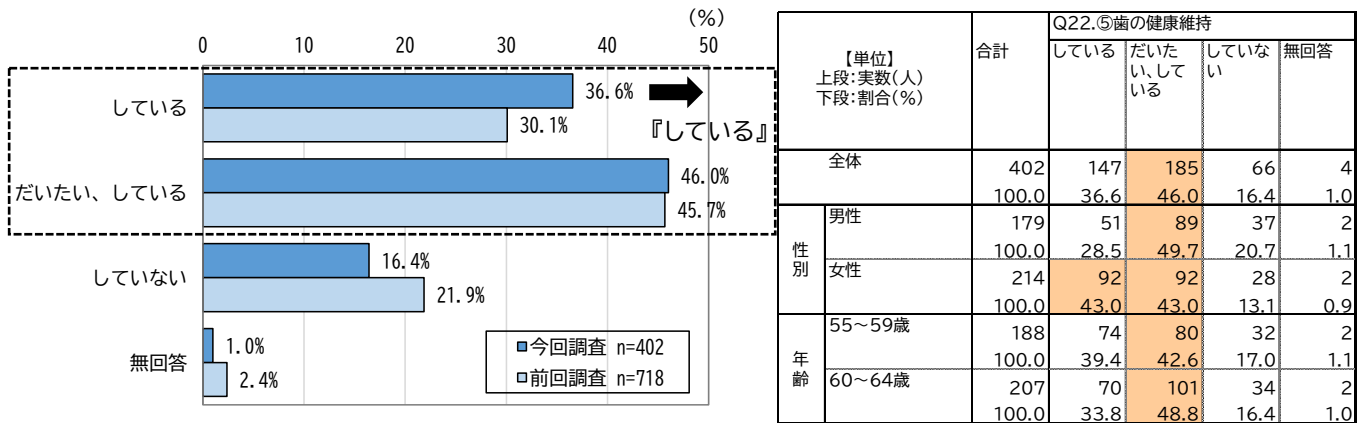


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q22.④定期的な運動				
		している	だいた い、して いる	してい ない	無回答	
全体	402 100.0	96 23.9	123 30.6	179 44.5	4 1.0	
性別	男性	179 100.0	44 24.6	50 27.9	82 45.8	3 1.7
	女性	214 100.0	50 23.4	71 33.2	92 43.0	1 0.5
年齢	55~59歳	188 100.0	39 20.7	64 34.0	84 44.7	1 0.5
	60~64歳	207 100.0	55 26.6	59 28.5	90 43.5	3 1.4

Q22.⑤歯の健康維持

(SA)

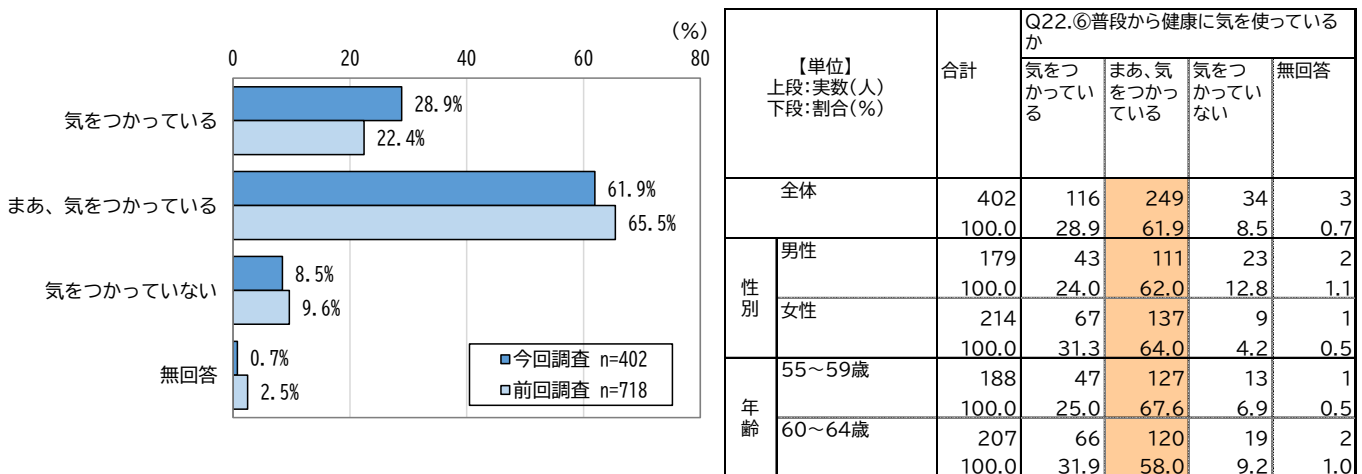
- 歯の健康維持は、「だいたい、している」が46.0%、「している」が36.6%、「していない」が16.4%となっています。
- 前回調査に比べ、「している」が6.5ポイント増加しています。
- 性別にみると、“女性”では「している」と「だいたい、している」が最も高く、2つを合わせた『している』が8割以上となっています。
- 年齢別にみて、大きな違いはみられません。



Q22.⑥普段から健康に気を使っているか

(SA)

- 普段から健康に気を使っているかでは、「まあ、気をつかっている」が61.9%、「気をつかっている」が28.9%、「気をつかっていない」が8.5%となっています。
- 前回調査に比べ、「気をつかっている」が6.5ポイント増加しています。
- 性別にみると、「気をつかっている」は“女性”が“男性”に比べて7.3ポイント高くなっている一方、「気をつかっていない」は“男性”が“女性”に比べて8.6ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「気をつかっている」は、“60~64歳”が“55~59歳”に比べて6.9ポイント高くなっています。



3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

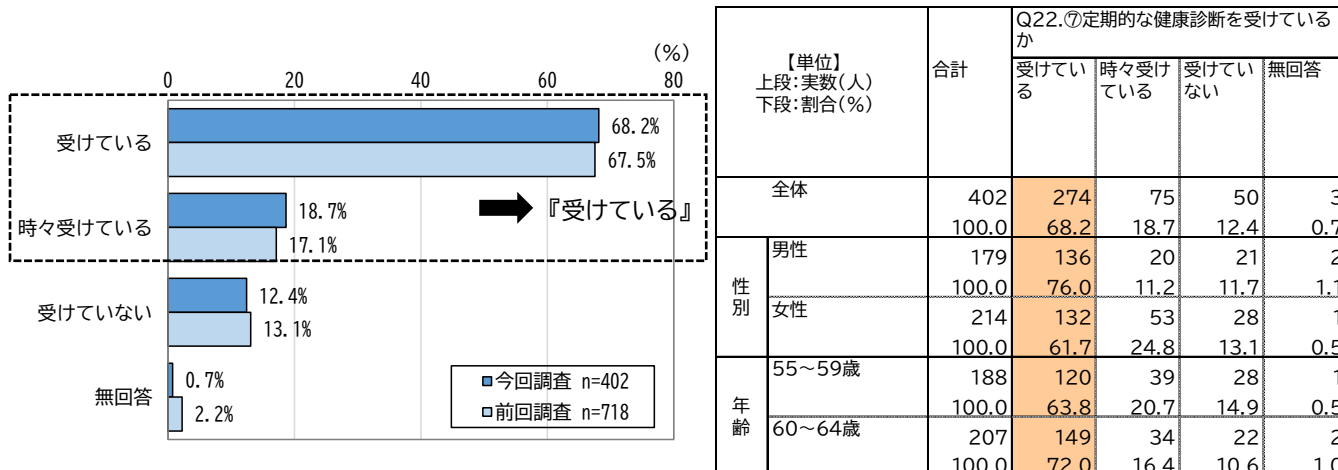
Q22.⑦定期的な健康診断を受けているか

(SA)

○定期的な健康診断を受けているかでは、「受けている」が68.2%、「時々受けている」が18.7%、「受けていない」が12.4%となっています。

○前回調査に比べ、大きな違いはみられません。

○性別、年齢別にみると、「受けている」と「時々受けている」を合わせた『受けている』の割合に大きな違いはみられませんが、「受けている」の割合は、“女性”に比べ“男性”が、“55～59歳”に比べて“60～64歳”が高くなっています。



Q22.⑧かかりつけ医はいるか

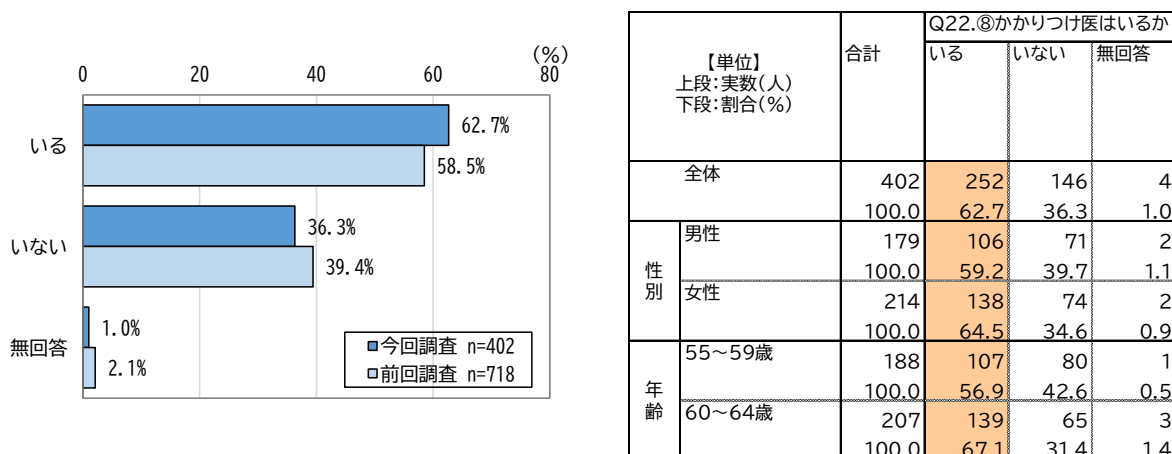
(SA)

○かかりつけ医はいるかでは、「いる」が約6割、「いない」が約4割となっています。

○前回調査に比べ、「いる」が4.2ポイントとやや増加しています。

○性別にみて、大きな違いはみられません。

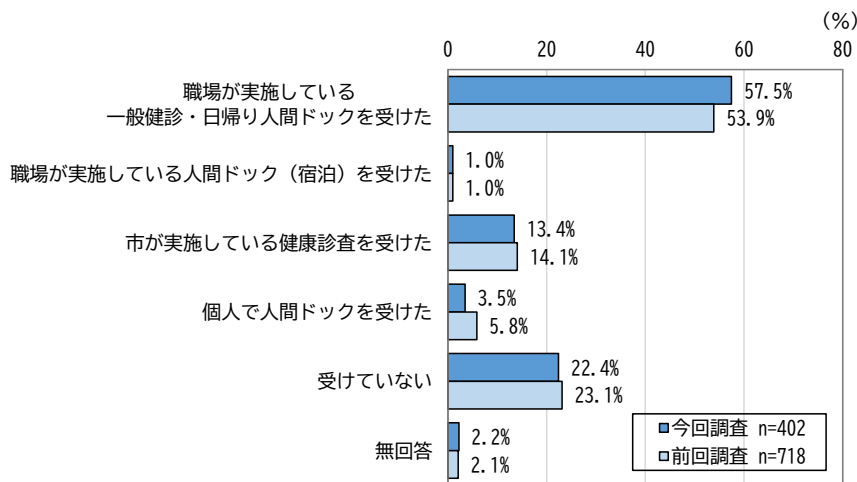
○年齢別にみると、「いる」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて10.2ポイント高くなっています。



Q23. 過去1年間での健康診断や人間ドックの受診経験

(SA)

- 過去1年間での健康診断や人間ドックの受診経験は、「職場が実施している一般健診・日帰り人間ドックを受けた」が57.5%で最も高く、次いで「受けていない」が22.4%、「市が実施している健康診査を受けた」が13.4%の順となっています。
- 性別にみると、「職場が実施している一般健診・日帰り人間ドックを受けた」は“男性”が“女性”に比べて18.1ポイント高く、「市が実施している健康診査を受けた」は“女性”が“男性”に比べて10.9ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「市が実施している健康診査を受けた」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて6.3ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q23.過去1年間での健康診断や人間ドックの受診経験						
		職場が実施している一般健診・日帰り人間ドックを受けた	職場が実施している人間ドック(宿泊)を受けた	市が実施している健康診査を受けた	個人で人間ドックを受けた	受けていない	無回答	
全体	402 100.0	231 57.5	4 1.0	54 13.4	14 3.5	90 22.4	9 2.2	
性別	男性	179 100.0	121 67.6	3 1.7	13 7.3	3 1.7	37 20.7	2 1.1
	女性	214 100.0	106 49.5	1 0.5	39 18.2	9 4.2	52 24.3	7 3.3
年齢	55～59歳	188 100.0	109 58.0	4 2.1	19 10.1	3 1.6	48 25.5	5 2.7
	60～64歳	207 100.0	118 57.0	0 0.0	34 16.4	9 4.3	42 20.3	4 1.9

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q23-1. 受診の結果、異常を指摘されたか

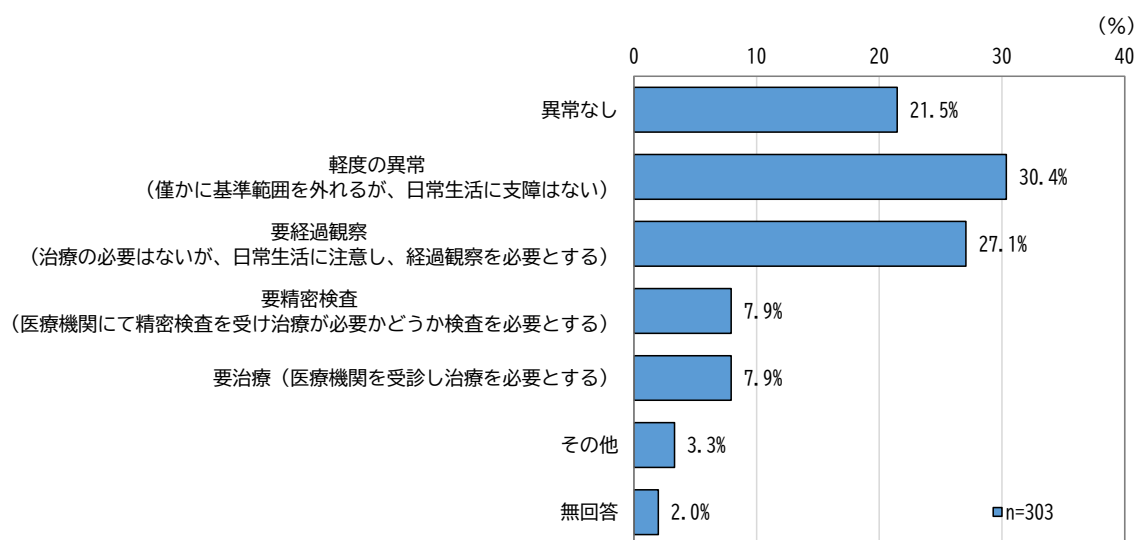
(SA)

【Q23「1.」～「4.」の方のみ】

○受診の結果、異常を指摘されたかでは、「軽度の異常（僅かに基準範囲を外れるが、日常生活に支障はない）」が30.4%で最も高く、次いで「要経過観察（治療の必要はないが、日常生活に注意し、経過観察を必要とする）」27.1%、「異常なし」21.5%の順となっています。

○性別にみると、“女性”では「異常なし」と同じく「軽度の異常（僅かに基準範囲を外れるが、日常生活に支障はない）」が最も高くなっています。

○年齢別にみると、“60～64歳”では「要経過観察（治療の必要はないが、日常生活に注意し、経過観察を必要とする）」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q23-1.受診の結果、異常を指摘されたか							
		異常なし	軽度の異常 (僅かに基準範囲を外れるが、日常生活に支障はない)	要経過観察 (治療の必要はないが、日常生活に注意し、経過観察を必要とする)	要精密検査 (医療機関にて精密検査を受け治療が必要かどうか検査を必要とする)	要治療 (医療機関を受診し治療を必要とする)	その他	無回答	
全体	303 100.0	65 21.5	92 30.4	82 27.1	24 7.9	24 7.9	10 3.3	6 2.0	
性別	男性	140 100.0	19 13.6	48 34.3	39 27.9	13 9.3	15 10.7	5 3.6	1 0.7
	女性	155 100.0	43 27.7	43 27.7	42 27.1	10 6.5	7 4.5	5 3.2	5 3.2
年齢	55～59歳	135 100.0	35 25.9	43 31.9	31 23.0	12 8.9	9 6.7	4 3.0	1 0.7
	60～64歳	161 100.0	28 17.4	48 29.8	50 31.1	11 6.8	13 8.1	6 3.7	5 3.1

Q23-2. 指摘点を治療や日常生活に注意しているか

(SA)

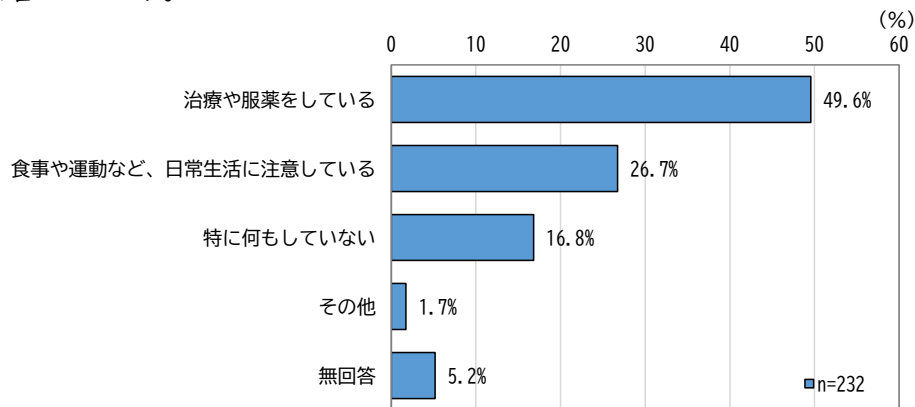
【Q23-1「2.」～「6.」の方のみ】

○指摘点を治療や日常生活に注意しているかでは、「治療や服薬をしている」が49.6%で最も高く、次いで「食事や運動など、日常生活に注意している」が26.7%、「特に何もしていない」が16.8%の順となっています。

○性別にみると、「特に何もしていない」は“男性”が“女性”に比べて5.2ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「特に何もしていない」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて9.7ポイント高くなっています。

○受診の結果、異常を指摘されたか別にみると、「要精密検査」の人の約3割が「特に何もしていない」と回答しています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q23-2.指摘点を治療や日常生活に注意しているか					
		治療や服薬をしている	食事や運動など、日常生活に注意している	特に何もしていない	その他	無回答	
全体	232 100.0	115 49.6	62 26.7	39 16.8	4 1.7	12 5.2	
性別	男性	120 100.0	63 52.5	25 20.8	23 19.2	2 1.7	7 5.8
	女性	107 100.0	49 45.8	37 34.6	15 14.0	2 1.9	4 3.7
年齢	55～59歳	99 100.0	46 46.5	25 25.3	22 22.2	2 2.0	4 4.0
	60～64歳	128 100.0	66 51.6	37 28.9	16 12.5	2 1.6	7 5.5
異常を指摘されたか 受診の結果、	軽度の異常	92 100.0	36 39.1	34 37.0	16 17.4	1 1.1	5 5.4
	要経過観察	82 100.0	39 47.6	24 29.3	13 15.9	1 1.2	5 6.1
	要精密検査	24 100.0	11 45.8	2 8.3	8 33.3	2 8.3	1 4.2
	要治療	24 100.0	22 91.7	1 4.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0
	その他	10 100.0	7 70.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0

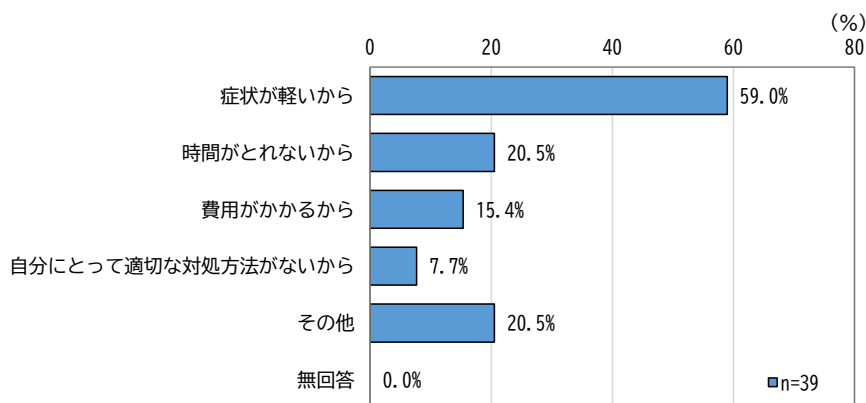
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q23-3. 特に何もしていない理由

(MA)

【Q23-2「3. 特に何もしていない」の方のみ】

- 特に何もしていない理由では、「症状が軽いから」が59.0%で最も高く、次いで「時間がとれないから」「その他」が20.5%の順となっています。
- 「その他」の内容で多かったのは、「症状がない、生活に支障がない」等となっています。
- 性別にみると、男女ともに「症状が軽いから」が最も高いなか、“男性”が“女性”に比べて22.9ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、50代・60代ともに「症状が軽いから」が最も高いなか、“55～59歳”が“60～64歳”に比べて18.2ポイント高くなっています。また、「時間がとれないから」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて17.7ポイント高くなっています。
- 受診の結果、異常を指摘されたか別にみると、「軽度の異常」の人の8割以上が「症状が軽いから」と回答しています。



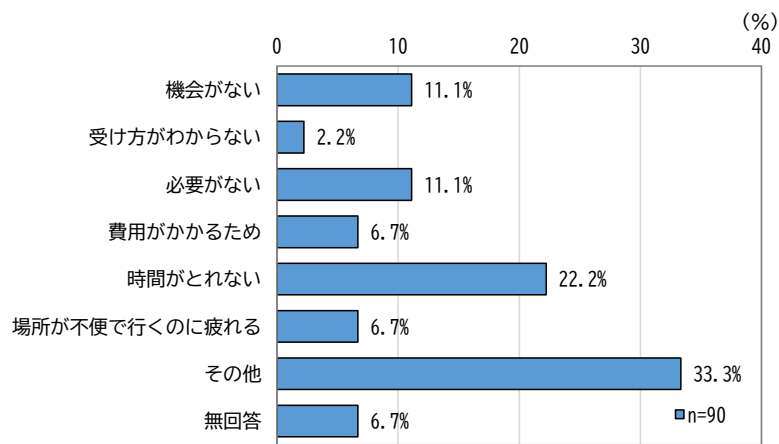
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q23-3.特に何もしていない理由						
		症状が軽いから	時間がとれないから	費用がかかるから	自分にとって適切な対処方法がないから	その他	無回答	
全体	39 100.0	23 59.0	8 20.5	6 15.4	3 7.7	8 20.5	0 0.0	
性別	男性	23 100.0	16 69.6	5 21.7	3 13.0	0 0.0	3 13.0	0 0.0
	女性	15 100.0	7 46.7	3 20.0	3 20.0	3 20.0	4 26.7	0 0.0
年齢	55～59歳	22 100.0	15 68.2	3 13.6	3 13.6	2 9.1	4 18.2	0 0.0
	60～64歳	16 100.0	8 50.0	5 31.3	3 18.8	1 6.3	3 18.8	0 0.0
異常を指摘されたか	軽度の異常	16 100.0	13 81.3	2 12.5	1 6.3	0 0.0	2 12.5	0 0.0
	要経過観察	13 100.0	6 46.2	4 30.8	2 15.4	3 23.1	2 15.4	0 0.0
	要精密検査	8 100.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	要治療	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

Q23-4. 受診していない主な理由

(SA)

【Q23「5. 受けていない」の方のみ】

- 受診していない主な理由は、「その他」が33.3%で最も高く、次いで「時間がとれない」が22.2%、「機会がない」「必要がない」が11.1%の順となっています。
- 「その他」の内容で多かったのは、「通院先等で検査をしているから」「面倒くさい」「病院が嫌い、怖い」等となっています。
- 性別にみると、“男性”では「その他」と同じく「時間がとれない」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、「必要がない」は、“60～64歳”が“55～59歳”に比べて14.8ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q23-4.受診していない主な理由								
		機会がない	受け方がわからない	必要がない	費用がかかるため	時間がとれない	場所が不便で行くのに疲れる	その他	無回答	
全体	90 100.0	10 11.1	2 2.2	10 11.1	6 6.7	20 22.2	6 6.7	30 33.3	6 6.7	
性別	男性	37 100.0	2 5.4	2 5.4	6 16.2	1 2.7	10 27.0	4 10.8	10 27.0	2 5.4
	女性	52 100.0	8 15.4	0 0.0	4 7.7	5 9.6	10 19.2	2 3.8	19 36.5	4 7.7
年齢	55～59歳	48 100.0	6 12.5	1 2.1	2 4.2	4 8.3	12 25.0	3 6.3	17 35.4	3 6.3
	60～64歳	42 100.0	4 9.5	1 2.4	8 19.0	2 4.8	8 19.0	3 7.1	13 31.0	3 7.1

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

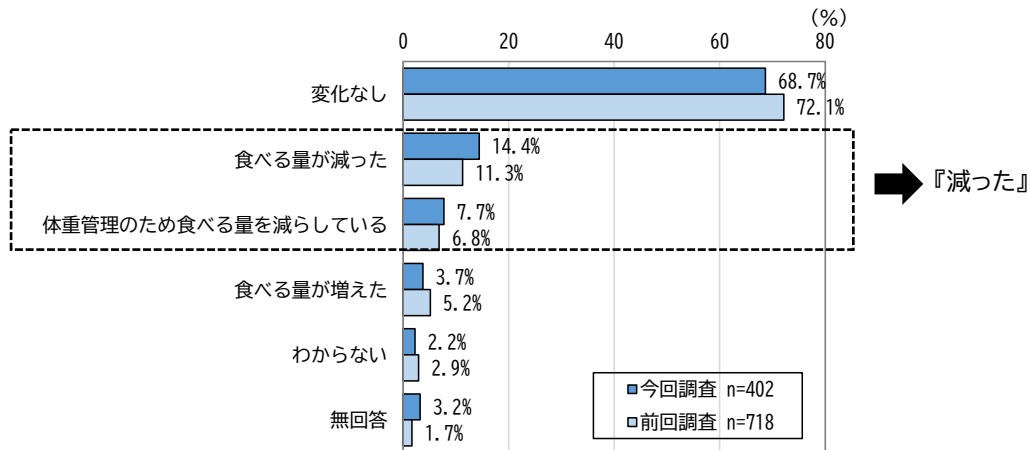
Q24. 半年前に比べた食事量の変化

(SA)

○半年前に比べた食事量の変化は、「変化なし」が68.7%で最も高く、「食べる量が減った」と「体重管理のため食べる量を減らしている」を合わせた『減った』が22.1%で「食べる量が増えた」3.7%に比べ高くなっています。

○前回調査に比べ、大きな違いはみられません。

○性別、年齢別にみて、大きな違いはみられません。



【単位】 上段: 実数(人) 下段: 割合(%)		合計	Q24. 半年前に比べた食事量の変化					無回答
			変化なし	食べる量が減った	体重管理のため食べる量を減らしている	食べる量が増えた	わからない	
全体		402	276	58	31	15	9	13
		100.0	68.7	14.4	7.7	3.7	2.2	3.2
性別	男性	179	124	28	12	7	4	4
		100.0	69.3	15.6	6.7	3.9	2.2	2.2
女性		214	146	28	19	7	5	9
		100.0	68.2	13.1	8.9	3.3	2.3	4.2
年齢	55~59歳	188	129	25	15	6	7	6
		100.0	68.6	13.3	8.0	3.2	3.7	3.2
60~64歳		207	144	31	16	8	1	7
		100.0	69.6	15.0	7.7	3.9	0.5	3.4

Q25. 自分の歯の本数

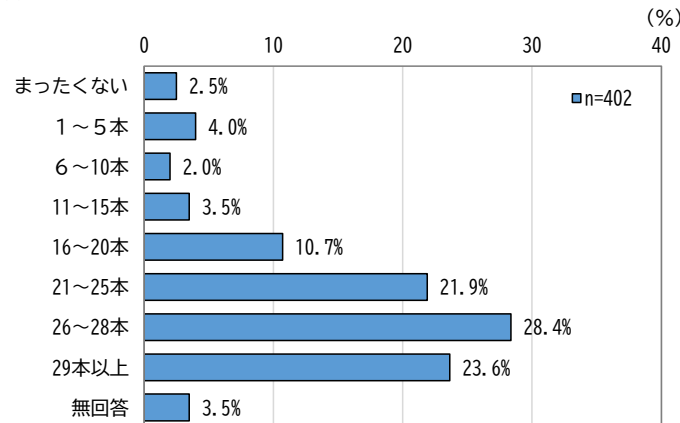
(SA)

○自分の歯の本数は、「26～28本」が28.4%で最も高く、次いで「29本以上」が23.6%、「21～25本」が21.9%の順となっています。

○年齢別にみると、「60～64歳」では「26～28本」と同じく「21～25本」が最も高くなっています。

○現在の歯ぐき・口の状態別にみると、「29本以上」の人では「あてはまるものはない」が最も高くなっています。

○噛んで食べる時の状態別にみると、「何でも、噛んで食べることができる」の割合は、歯の本数が多い人ほど高くなる傾向がみられます。



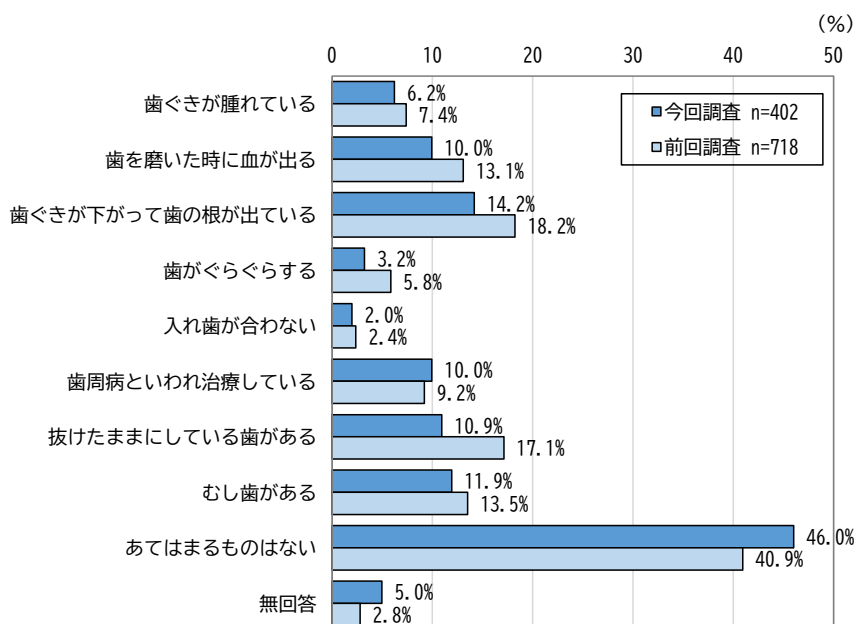
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q25.自分の歯の本数									
		まったく ない	1～5本	6～10本	11～15 本	16～20 本	21～25 本	26～28 本	29本以 上	無回答	
全体	402	10	16	8	14	43	88	114	95	14	
	100.0	2.5	4.0	2.0	3.5	10.7	21.9	28.4	23.6	3.5	
年齢	55～59歳	188	4	8	2	6	19	35	61	47	6
	100.0	2.1	4.3	1.1	3.2	10.1	18.6	32.4	25.0	3.2	
60～64歳	207	6	8	6	7	24	51	51	46	8	
	100.0	2.9	3.9	2.9	3.4	11.6	24.6	24.6	22.2	3.9	
現在の 歯ぐき・ 口の 状態	歯ぐきが腫れている	25	0	3	0	2	4	8	4	4	0
	100.0	0.0	12.0	0.0	8.0	16.0	32.0	16.0	16.0	0.0	
	歯を磨いた時に血が出る	40	0	4	1	2	4	9	12	6	2
	100.0	0.0	10.0	2.5	5.0	10.0	22.5	30.0	15.0	5.0	
	歯ぐきが下がって 歯の根が出ている	57	1	6	1	0	9	9	20	11	0
	100.0	1.8	10.5	1.8	0.0	15.8	15.8	35.1	19.3	0.0	
	歯がぐらぐらする	13	0	1	0	2	5	5	0	0	0
	100.0	0.0	7.7	0.0	15.4	38.5	38.5	0.0	0.0	0.0	
	入れ歯が合わない	8	1	3	2	1	0	1	0	0	0
	100.0	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	
	歯周病といわれ治 療している	40	2	2	0	4	6	12	7	6	1
	100.0	5.0	5.0	0.0	10.0	15.0	30.0	17.5	15.0	2.5	
抜けたままにして いる歯がある	44	0	2	4	3	6	8	18	3	0	
100.0	0.0	4.5	9.1	6.8	13.6	18.2	40.9	6.8	0.0		
むし歯がある	48	1	3	1	2	6	10	15	10	0	
100.0	2.1	6.3	2.1	4.2	12.5	20.8	31.3	20.8	0.0		
あてはまるもの はない	185	5	3	1	2	14	41	56	60	3	
100.0	2.7	1.6	0.5	1.1	7.6	22.2	30.3	32.4	1.6		
噛ん で 食 べ る と き の 状 態	何でも、噛んで食 べることができる	265	5	4	2	4	24	53	93	78	2
	100.0	1.9	1.5	0.8	1.5	9.1	20.0	35.1	29.4	0.8	
	噛みにくいものも あるが、たいていの ものは食べられる	117	4	10	5	10	17	32	20	16	3
	100.0	3.4	8.5	4.3	8.5	14.5	27.4	17.1	13.7	2.6	
あまり噛めないの で、食べものが限ら れている	7	0	0	1	0	2	2	1	1	0	
100.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0		
ほとんど噛めない	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	
100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q26. 現在の歯ぐき・口の状態

(SA)

- 現在の歯ぐき・口の状態は、「あてはまるものはない」が46.0%で最も高く、次いで「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」が14.2%、「むし歯がある」が11.9%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「あてはまるものはない」が5.1ポイント高くなっています。
- 性別にみると、男女ともに「あてはまるものはない」が最も高いなかでも、“女性”が“男性”に比べて8.1ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「歯周病といわれ治療している」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて5.7ポイント高くなっています。また、「むし歯がある」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて6.7ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q26.現在の歯ぐき・口の状態										
		歯ぐきが腫れている	歯を磨いた時に血が出る	歯ぐきが下がって歯の根が出ている	歯がぐらぐらする	入れ歯が合わない	歯周病といわれ治療している	抜けたままにしている歯がある	むし歯がある	あてはまるものはない	無回答	
全体	402	25	40	57	13	8	40	44	48	185	20	
	100.0	6.2	10.0	14.2	3.2	2.0	10.0	10.9	11.9	46.0	5.0	
性別	男性	179	15	19	26	7	6	14	26	23	75	9
	100.0	8.4	10.6	14.5	3.9	3.4	7.8	14.5	12.8	41.9	5.0	
女性	214	8	20	30	5	2	24	17	25	107	11	
	100.0	3.7	9.3	14.0	2.3	0.9	11.2	7.9	11.7	50.0	5.1	
年齢	55～59歳	188	7	19	27	8	2	13	20	29	89	10
	100.0	3.7	10.1	14.4	4.3	1.1	6.9	10.6	15.4	47.3	5.3	
60～64歳	207	16	19	29	5	6	26	24	18	94	10	
	100.0	7.7	9.2	14.0	2.4	2.9	12.6	11.6	8.7	45.4	4.8	

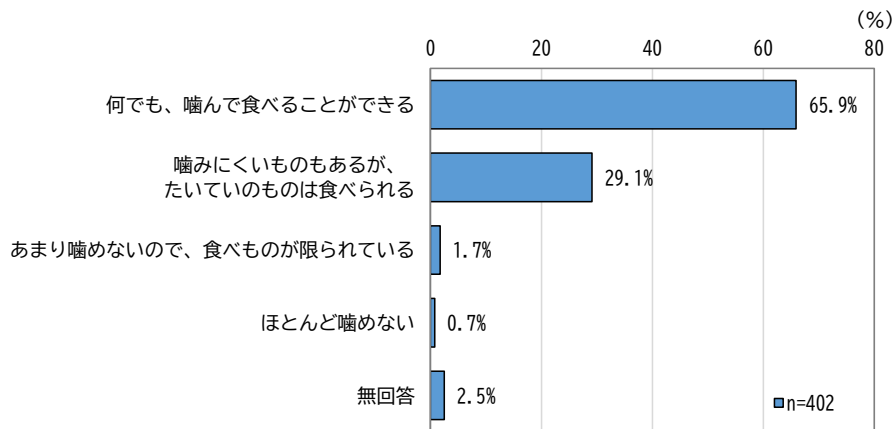
Q27. 噛んで食べる時の状態

(SA)

○噛んで食べる時の状態は、「何でも、噛んで食べることができる」が65.9%で最も高く、次いで「噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」が29.1%、「あまり噛めないので、食べものが限られている」が1.7%の順となっています。

○性別にみると、男女ともに「何でも、噛んで食べることができる」が最も高いなかでも、“女性”が“男性”に比べて8.1ポイント高くなっています。

○半年前に比べた食事量の変化別にみると、「変化なし」と回答した人の7割以上が「何でも、噛んで食べることができる」と回答しており、他に比べて高い割合となっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q27.噛んで食べる時の状態					
		何でも、噛んで食べることができる	噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる	あまり噛めないので、食べものが限られている	ほとんど噛めない	無回答	
全体	402 100.0	265 65.9	117 29.1	7 1.7	3 0.7	10 2.5	
性別	男性	179 100.0	110 61.5	60 33.5	3 1.7	3 1.7	3 1.7
	女性	214 100.0	149 69.6	55 25.7	3 1.4	0 0.0	7 3.3
半年前に比べた食事量の変化	変化なし	276 100.0	200 72.5	68 24.6	5 1.8	2 0.7	1 0.4
	食べる量が減った	58 100.0	29 50.0	27 46.6	1 1.7	1 1.7	0 0.0
	体重管理のため食べる量を減らしている	31 100.0	20 64.5	11 35.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	食べる量が増えた	15 100.0	7 46.7	8 53.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	9 100.0	6 66.7	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

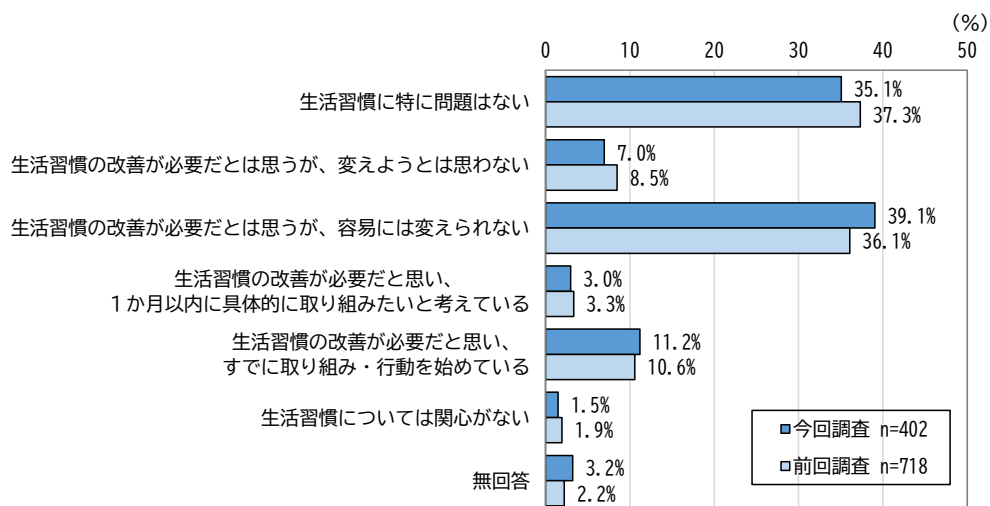
Q28. 自分の生活習慣についての考え

(SA)

○自分の生活習慣についての考えは、「生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない」が39.1%で最も高く、次いで「生活習慣に特に問題はない」が35.1%、「生活習慣の改善が必要だ」と思い、すでに取り組み・行動を始めている」が11.2%の順となっています。

○前回調査に比べ、「生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない」が3.0ポイント増加しています。

○性別にみると、“女性”では「生活習慣に特に問題はない」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q28.自分の生活習慣についての考え							無回答
		生活習慣に特に問題はない	生活習慣の改善が必要だとは思いますが、変えようとは思わない	生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない	生活習慣の改善が必要だと思い、1か月以内に具体的に取り組みたいと考えている	生活習慣の改善が必要だと思い、すでに取り組み・行動を始めている	生活習慣については関心がない		
全体	402 100.0	141 35.1	28 7.0	157 39.1	12 3.0	45 11.2	6 1.5	13 3.2	
性別	男性	179 100.0	59 33.0	14 7.8	77 43.0	4 2.2	18 10.1	4 2.2	3 1.7
	女性	214 100.0	79 36.9	12 5.6	78 36.4	6 2.8	27 12.6	2 0.9	10 4.7
年齢	55～59歳	188 100.0	66 35.1	9 4.8	74 39.4	8 4.3	20 10.6	4 2.1	7 3.7
	60～64歳	207 100.0	72 34.8	17 8.2	82 39.6	3 1.4	25 12.1	2 1.0	6 2.9

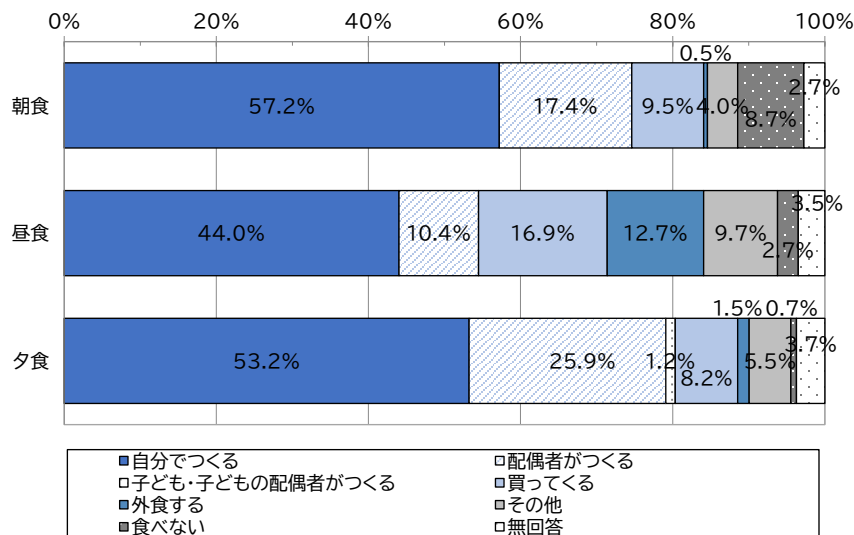
Q29. 平日の食事は主にどなたがつくるか

(SA)

○平日の食事は主にどなたがつくるかは、3食(朝・昼・夕)ともに「自分でつくる」が最も高くなっています。次いで、朝・夕食では「配偶者がつくる」が高いのに対し、昼食では「買ってくる」が高くなっています。なお、「食べない」の割合が最も高いのは朝食で8.7%となっています。

○性別にみると、“男性”では朝・夕食は「配偶者がつくる」、昼食は「買ってくる」が最も高くなっています。

○世帯状況別にみると、“ひとり暮らし”では、朝食を「食べない」と回答した人が18.8%となり、他に比べて高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q29.平日の朝食はどなたがつくるか								
		自分でつくる	配偶者がつくる	子ども・子どもの配偶者がつくる	買ってくる	外食する	その他	食べない	無回答	
全体	402 100.0	230 57.2	70 17.4	0 0.0	38 9.5	2 0.5	16 4.0	35 8.7	11 2.7	
性別	男性	179 100.0	56 31.3	61 34.1	0 0.0	28 15.6	2 1.1	12 6.7	16 8.9	4 2.2
	女性	214 100.0	168 78.5	9 4.2	0 0.0	9 4.2	0 0.0	4 1.9	17 7.9	7 3.3
年齢	55~59歳	188 100.0	111 59.0	24 12.8	0 0.0	19 10.1	1 0.5	10 5.3	18 9.6	5 2.7
	60~64歳	207 100.0	115 55.6	45 21.7	0 0.0	18 8.7	1 0.5	6 2.9	16 7.7	6 2.9
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	32 50.0	3 4.7	0 0.0	11 17.2	1 1.6	2 3.1	12 18.8	3 4.7
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	61 52.6	30 25.9	0 0.0	8 6.9	0 0.0	3 2.6	10 8.6	4 3.4
	子どもの家族と同居	30 100.0	24 80.0	5 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3
	未婚の子どもと同居	102 100.0	60 58.8	25 24.5	0 0.0	10 9.8	1 1.0	1 1.0	4 3.9	1 1.0
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	14 46.7	1 3.3	0 0.0	4 13.3	0 0.0	8 26.7	2 6.7	1 3.3
	その他	54 100.0	35 64.8	6 11.1	0 0.0	4 7.4	0 0.0	2 3.7	6 11.1	1 1.9

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)		合計	平日の昼食はどなたがつくるか							無回答
			自分でつくる	配偶者がつくる	子ども・子どもの配偶者がつくる	買ってこる	外食する	その他	食べない	
全体		402 100.0	177 44.0	42 10.4	0 0.0	68 16.9	51 12.7	39 9.7	11 2.7	14 3.5
性別	男性	179 100.0	30 16.8	39 21.8	0 0.0	41 22.9	39 21.8	21 11.7	4 2.2	5 2.8
	女性	214 100.0	144 67.3	3 1.4	0 0.0	26 12.1	9 4.2	16 7.5	7 3.3	9 4.2
年齢	55～59歳	188 100.0	78 41.5	18 9.6	0 0.0	36 19.1	28 14.9	17 9.0	5 2.7	6 3.2
	60～64歳	207 100.0	95 45.9	24 11.6	0 0.0	31 15.0	23 11.1	20 9.7	6 2.9	8 3.9
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	20 31.3	1 1.6	0 0.0	19 29.7	12 18.8	6 9.4	3 4.7	3 4.7
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	55 47.4	18 15.5	0 0.0	15 12.9	13 11.2	9 7.8	2 1.7	4 3.4
	子どもの家族と同居	30 100.0	14 46.7	5 16.7	0 0.0	3 10.0	5 16.7	1 3.3	0 0.0	2 6.7
	未婚の子どもと同居	102 100.0	48 47.1	15 14.7	0 0.0	12 11.8	14 13.7	9 8.8	2 2.0	2 2.0
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	10 33.3	0 0.0	0 0.0	7 23.3	3 10.0	6 20.0	3 10.0	1 3.3
	その他	54 100.0	27 50.0	3 5.6	0 0.0	11 20.4	4 7.4	6 11.1	1 1.9	2 3.7

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)		合計	平日の夕食はどなたがつくるか							無回答
			自分でつくる	配偶者がつくる	子ども・子どもの配偶者がつくる	買ってこる	外食する	その他	食べない	
全体		402 100.0	214 53.2	104 25.9	5 1.2	33 8.2	6 1.5	22 5.5	3 0.7	15 3.7
性別	男性	179 100.0	37 20.7	95 53.1	2 1.1	19 10.6	4 2.2	15 8.4	1 0.6	6 3.4
	女性	214 100.0	172 80.4	9 4.2	3 1.4	12 5.6	1 0.5	6 2.8	2 0.9	9 4.2
年齢	55～59歳	188 100.0	99 52.7	44 23.4	2 1.1	19 10.1	5 2.7	13 6.9	0 0.0	6 3.2
	60～64歳	207 100.0	111 53.6	59 28.5	3 1.4	13 6.3	1 0.5	8 3.9	3 1.4	9 4.3
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	31 48.4	3 4.7	0 0.0	16 25.0	4 6.3	3 4.7	2 3.1	5 7.8
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	64 55.2	39 33.6	1 0.9	4 3.4	0 0.0	4 3.4	0 0.0	4 3.4
	子どもの家族と同居	30 100.0	16 53.3	10 33.3	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.7
	未婚の子どもと同居	102 100.0	57 55.9	36 35.3	1 1.0	3 2.9	2 2.0	0 0.0	1 1.0	2 2.0
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	12 40.0	1 3.3	0 0.0	7 23.3	0 0.0	9 30.0	0 0.0	1 3.3
	その他	54 100.0	30 55.6	15 27.8	1 1.9	2 3.7	0 0.0	5 9.3	0 0.0	1 1.9

Q30. 外出することに対する考え

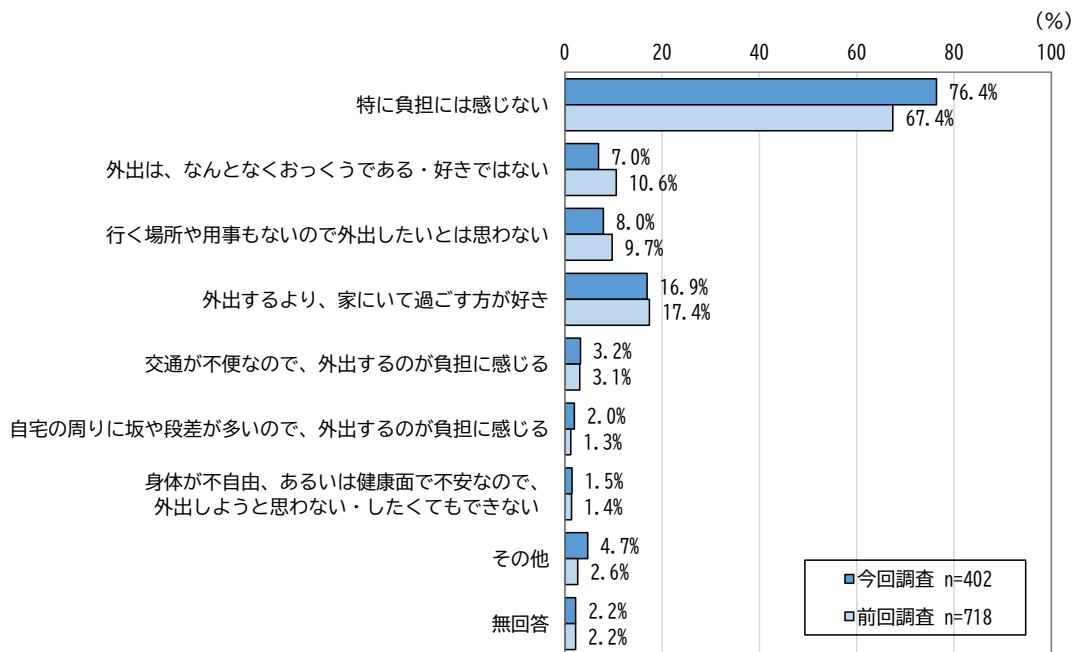
(SA)

○外出することに対する考えでは、「特に負担には感じない」が76.4%で最も高く、次いで「外出するより、家にいて過ごす方が好き」が16.9%、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」が8.0%の順となっています。

○前回調査に比べ、「特に負担には感じない」が9.0ポイント増加しています。

○性別にみると、「外出するより、家にいて過ごす方が好き」は“男性”に比べて“女性”が12.3ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、50代・60代ともに「特に負担には感じない」が最も高いなかでも、“60～64歳”が“55～59歳”に比べて9.4ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q30.外出することに対する考え								
		特に負担には感じない	外出は、なんとなくおっくうである・好きではない	行く場所や用事もないので外出したいとは思わない	外出するより、家にいて過ごす方が好き	交通が不便なので、外出するのが負担に感じる	自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる	身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない	その他	無回答
全体	402 100.0	307 76.4	28 7.0	32 8.0	68 16.9	13 3.2	8 2.0	6 1.5	19 4.7	9 2.2
性別	男性	179 100.0	147 82.1	10 5.6	15 8.4	19 10.6	6 3.4	1 0.6	3 1.7	2 1.1
	女性	214 100.0	153 71.5	18 8.4	16 7.5	49 22.9	7 3.3	7 3.3	14 6.5	7 3.3
年齢	55～59歳	188 100.0	134 71.3	15 8.0	11 5.9	32 17.0	5 2.7	4 2.1	3 1.6	6 3.2
	60～64歳	207 100.0	167 80.7	13 6.3	20 9.7	36 17.4	8 3.9	3 1.4	3 1.4	3 1.4

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

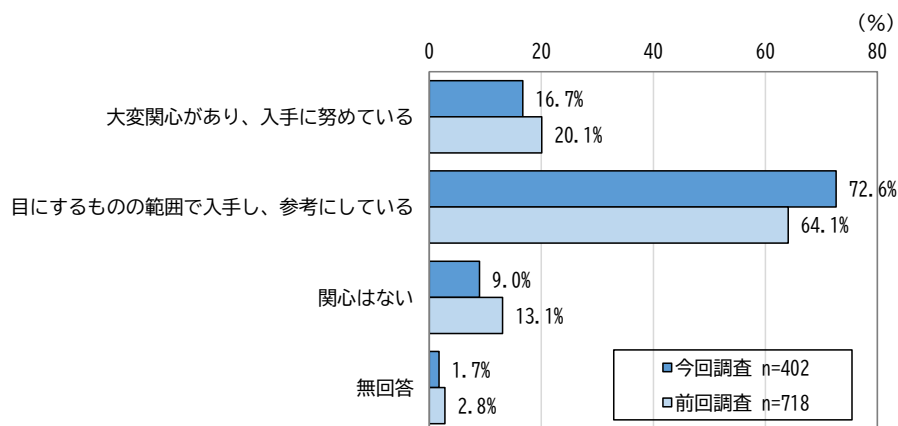
Q31. 健康に関して普段から情報を入手し生活に取り入れることへの関心 (SA)

○健康に関して普段から情報を入手し生活に取り入れることへの関心では、「目にするものの範囲で入手し、参考にしている」が72.6%、「大変関心があり、入手に努めている」が16.7%、「関心はない」が9.0%となっています。

○前回調査に比べ、「目にするものの範囲で入手し、参考にしている」が8.5ポイント高くなっています。

○性別にみると、「関心はない」は“女性”に比べて“男性”が3.7ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「関心はない」は“60～64歳”に比べて“55～59歳”が3.4ポイント高くなっています。

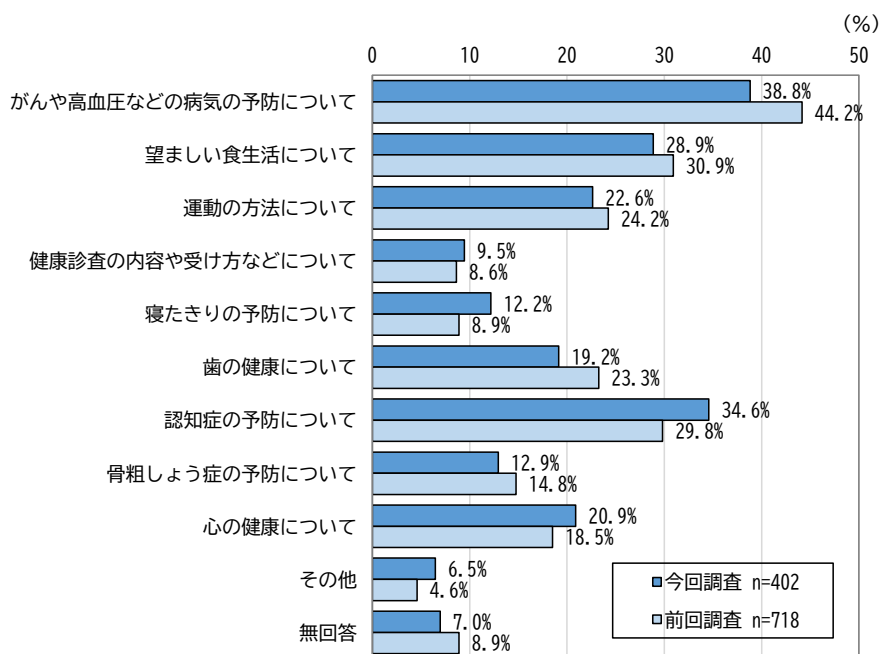


【単位】 上段:実数(人)	合計	Q31.健康に関して普段から情報を入手し生活に取り入れることへの関心			
		大変関心があり、入手に努めている	目にするものの範囲で入手し、参考にしている	関心はない	無回答
全体	402 100.0	67 16.7	292 72.6	36 9.0	7 1.7
性別	男性	24 100.0	133 74.3	20 11.2	2 1.1
	女性	40 100.0	153 71.5	16 7.5	5 2.3
年齢	55～59歳	26 100.0	140 74.5	20 10.6	2 1.1
	60～64歳	40 100.0	147 71.0	15 7.2	5 2.4

Q32. 健康について特に知りたいこと

(MA)

- 健康について特に知りたいことでは、「がんや高血圧などの病気の予防について」が38.8%で最も高く、次いで「認知症の予防について」が34.6%、「望ましい食生活について」が28.9%の順となっています。
- 前回調査に比べ、最も増加したのは「認知症の予防について」（4.8ポイント増加）、最も減少したのは「がんや高血圧などの病気の予防について」（5.4ポイント減少）となっています。
- 性別にみると、「女性」では「認知症の予防について」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、「その他」を除くすべての項目で“60～64歳”が“55～59歳”に比べて高くなっています。
- 健康に関する情報入手への関心別にみると、「大変関心があり、入手に努めている」人の知りたいことは、「がんや高血圧などの病気の予防について」が最も高く約半数となっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q32.健康について特に知りたいこと										
		がんや高血圧などの病気の予防について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診査の内容や受け方などについて	寝たきりの予防について	歯の健康について	認知症の予防について	骨粗しょう症の予防について	心の健康について	その他	無回答
全体	402 100.0	156 38.8	116 28.9	91 22.6	38 9.5	49 12.2	77 19.2	139 34.6	52 12.9	84 20.9	26 6.5	28 7.0
性別	男性	179 100.0	84 46.9	49 27.4	32 17.9	19 10.6	16 8.9	34 19.0	12 6.7	34 19.0	13 7.3	13 7.3
	女性	214 100.0	69 32.2	62 29.0	54 25.2	17 7.9	32 15.0	39 18.2	38 17.8	46 21.5	13 6.1	15 7.0
年齢	55～59歳	188 100.0	64 34.0	51 27.1	35 18.6	12 6.4	18 9.6	33 17.6	22 11.7	31 16.5	15 8.0	11 5.9
	60～64歳	207 100.0	90 43.5	62 30.0	52 25.1	25 12.1	30 14.5	42 20.3	28 13.5	49 23.7	11 5.3	17 8.2
健康 入手に 関する 関心 情報	大変関心があり、入手に努めている	67 100.0	33 49.3	26 38.8	19 28.4	8 11.9	6 9.0	17 25.4	10 14.9	15 22.4	5 7.5	4 6.0
	目にするものの範囲で入手し、参考にしている	292 100.0	114 39.0	87 29.8	69 23.6	29 9.9	41 14.0	56 19.2	38 13.0	64 21.9	15 5.1	11 3.8
	関心はない	36 100.0	9 25.0	3 8.3	3 8.3	1 2.8	1 2.8	4 11.1	4 11.1	5 13.9	6 16.7	7 19.4

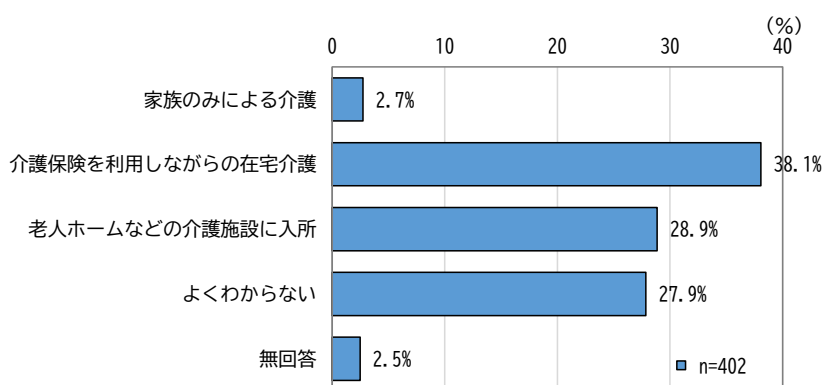
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

4. 介護保険制度全般について

Q33. 介護が必要な場合、望む介護

(SA)

- 介護が必要になった場合、望む介護は、「介護保険を利用しながらの在宅介護」が38.1%で最も高く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所」が28.9%、「よくわからない」が27.9%の順となっています。
- 性別にみると、男女ともに「介護保険を利用しながらの在宅介護」が最も高いなかでも、“女性”が“男性”に比べて7.0ポイント高くなっています。
- 世帯状況別にみると、“ひとり暮らし”“子どもの家族と同居”では「よくわからない」、「未婚の子どもと同居」では「老人ホームなどの介護施設に入所」、「高齢者のみ（高齢の親や兄弟と同居）」では「介護保険を利用しながらの在宅介護」と「老人ホームなどの介護施設に入所」が最も高くなっています。



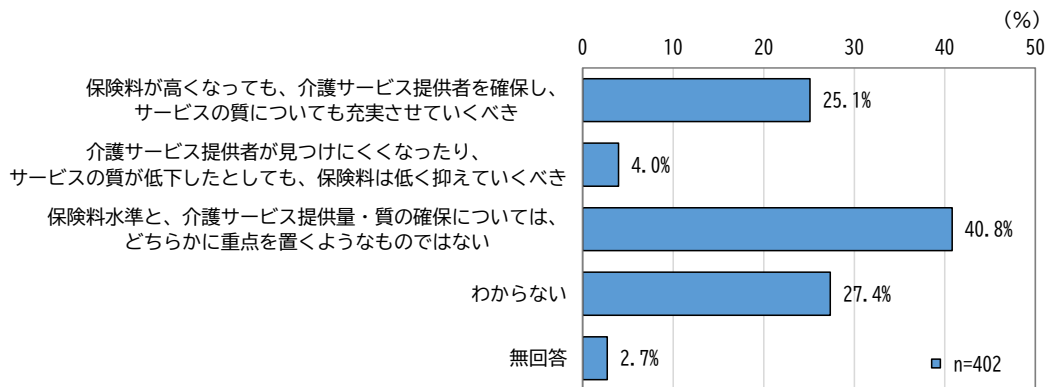
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q33.介護が必要な場合、望む介護					
		家族のみによる介護	介護保険を利用しながらの在宅介護	老人ホームなどの介護施設に入所	よくわからない	無回答	
全体	402 100.0	11 2.7	153 38.1	116 28.9	112 27.9	10 2.5	
性別	男性	179 100.0	8 4.5	61 34.1	48 26.8	59 33.0	3 1.7
	女性	214 100.0	3 1.4	88 41.1	66 30.8	51 23.8	6 2.8
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	0 0.0	20 31.3	20 31.3	23 35.9	1 1.6
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	4 3.4	50 43.1	31 26.7	28 24.1	3 2.6
	子どもの家族と同居	30 100.0	2 6.7	9 30.0	9 30.0	10 33.3	0 0.0
	未婚の子どもと同居	102 100.0	4 3.9	31 30.4	36 35.3	29 28.4	2 2.0
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	1 3.3	9 30.0	9 30.0	8 26.7	3 10.0
	その他	54 100.0	0 0.0	31 57.4	10 18.5	13 24.1	0 0.0

Q34. 介護保険料と介護サービスの整備のあり方 (SA)

○介護保険料と介護サービスの整備のあり方では、「保険料水準と、介護サービス提供量・質の確保については、どちらかに重点を置くようなものではない」が40.8%で最も高く、次いで「わからない」が27.4%、「保険料が高くなっても、介護サービス提供者を確保し、サービスの質についても充実させていくべき」が25.1%の順となっています。

○保険料よりもサービスの質を重視する意見が高くなっています。

○性別にみると、男女ともに「保険料水準と、介護サービス提供量・質の確保については、どちらかに重点を置くようなものではない」が高いなかでも、“女性”が“男性”に比べて7.0ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)		Q34.介護保険料と介護サービスの整備のあり方					
		合計	保険料が高くなっても、介護サービス提供者を確保し、サービスの質についても充実させていくべき	介護サービス提供者が見つげにくくなったり、サービスの質が低下したとしても、保険料は低く抑えていくべき	保険料水準と、介護サービス提供量・質の確保については、どちらかに重点を置くようなものではない	わからない	無回答
全体		402 100.0	101 25.1	16 4.0	164 40.8	110 27.4	11 2.7
性別	男性	179 100.0	53 29.6	11 6.1	66 36.9	47 26.3	2 1.1
	女性	214 100.0	45 21.0	5 2.3	94 43.9	62 29.0	8 3.7

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

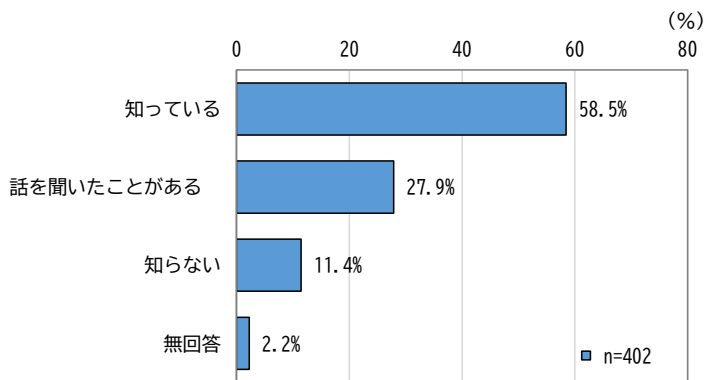
Q35. 介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知

(SA)

○介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知は、「知っている」が58.5%、「話を聞いたことがある」が27.9%、「知らない」が11.4%となっています。

○性別にみると、「知らない」は“男性”が“女性”に比べて7.7ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「知らない」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて4.1ポイント高くなっています。



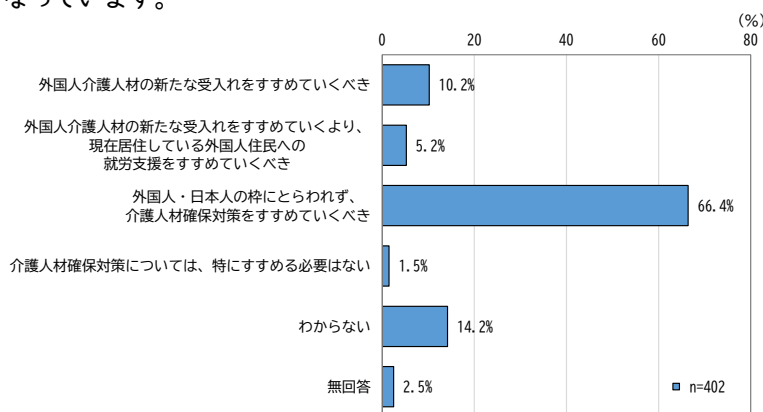
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q35.介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知			
		知っている	話を聞いたことがある	知らない	無回答
全体	402	235	112	46	9
	100.0	58.5	27.9	11.4	2.2
性別	男性	103	46	28	2
		100.0	57.5	25.7	15.6
女性	127	65	17	5	
		100.0	59.3	30.4	7.9
年齢	55～59歳	104	56	26	2
		100.0	55.3	29.8	13.8
60～64歳	126	56	20	5	
		100.0	60.9	27.1	9.7

Q36. 外国人介護人材受け入れに関する考え

(SA)

○外国人介護人材受け入れに関する考えは、「外国人・日本人の枠にとらわれず、介護人材確保対策をすすめていくべき」が66.4%で最も高く、次いで「わからない」が14.2%、「外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくべき」が10.2%の順となっています。

○性別にみると、「外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくべき」は“男性”が“女性”に比べて7.5ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q36.外国人介護人材受け入れに関する考え					
		外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくべき	外国人介護人材の新たな受け入れをすすめていくより、現在居住している外国人住民への就労支援をすすめていくべき	外国人・日本人の枠にとらわれず、介護人材確保対策をすすめていくべき	介護人材確保対策については、特にすすめる必要はない	わからない	無回答
全体	402	41	21	267	6	57	10
	100.0	10.2	5.2	66.4	1.5	14.2	2.5
性別	男性	25	6	115	4	27	2
		100.0	14.0	3.4	64.2	2.2	15.1
女性	14	14	147	2	30	7	
		100.0	6.5	6.5	68.7	0.9	14.0

Q37. 介護保険制度について知っていること

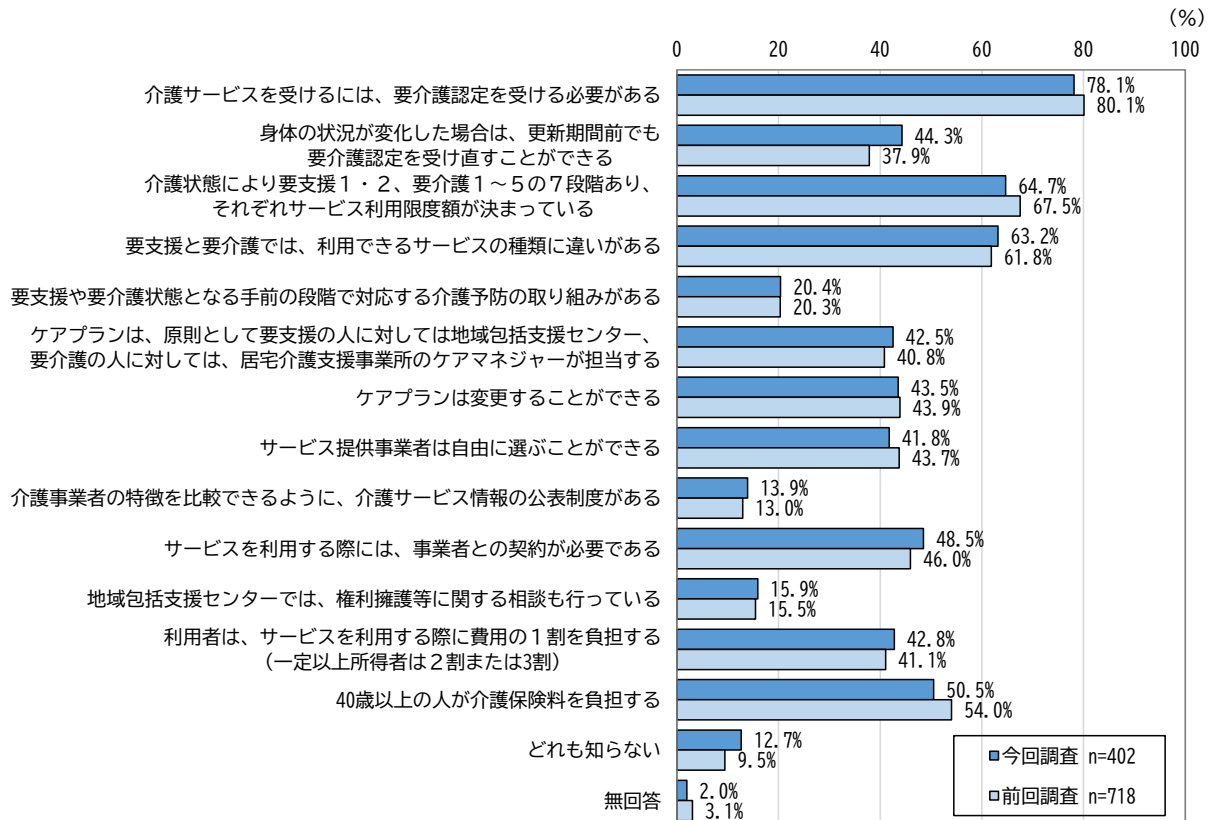
(MA)

○介護保険制度について知っていることでは、「介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が78.1%で最も高く、次いで「介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている」が64.7%、「要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある」が63.2%の順となっています。

○前回調査に比べて、「どれも知らない」が3.2ポイント高くなっています。

○性別にみると、「どれも知らない」は“男性”が“女性”に比べて6.4ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「どれも知らない」を除き、“60～64歳”が“55～59歳”に比べて高くなっています。



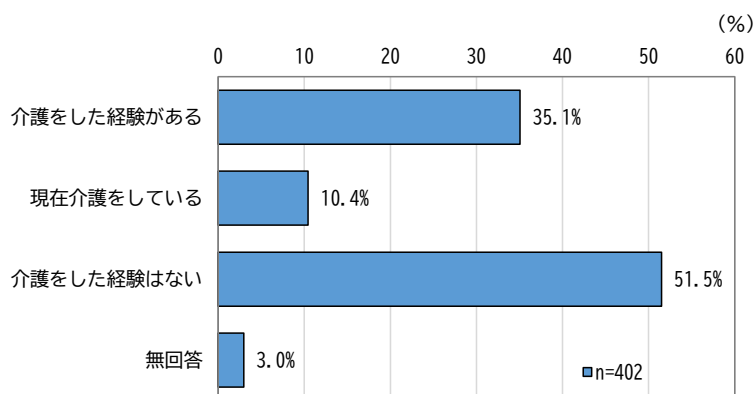
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q37.介護保険制度について知っていること															
		介護サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある	身体状況が変化した場合、更新期間前でも要介護認定を受け直すことができる	介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階あり、それぞれサービス利用限度額が決まっている	要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある	要支援や要介護状態となる手前の段階で対応する介護予防の取り組みがある	ケアプランは、原則として要支援の人に対しては地域包括支援センター、要介護の人に対しては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する	ケアプランは変更することができる	サービス提供事業者は自由に選ぶことができる	介護事業者の特徴を比較できるように、介護サービス情報の公表制度がある	サービスを利用する際には、事業者との契約が必要である	地域包括支援センターでは、権利擁護等に関する相談も行っている	利用者は、サービスを利用する際に費用の1割を負担する(一定以上所得者は2割または3割)	40歳以上の方が介護保険料を負担する	どれも知らない	無回答	
全体	402 100.0	314 78.1	178 44.3	260 64.7	254 63.2	82 20.4	171 42.5	175 43.5	168 41.8	56 13.9	195 48.5	64 15.9	172 42.8	203 50.5	51 12.7	8 2.0	
性別	男性	179 100.0	126 70.4	68 38.0	101 56.4	99 55.3	23 12.8	65 36.3	60 33.5	55 30.7	19 10.6	77 43.0	22 12.3	65 36.3	84 46.9	29 16.2	3 1.7
	女性	214 100.0	181 84.6	106 49.5	153 71.5	150 70.1	57 26.6	102 47.7	111 51.9	110 51.4	36 16.8	115 53.7	41 19.2	107 50.0	117 54.7	21 9.8	4 1.9
年齢	55～59歳	188 100.0	144 76.6	77 41.0	111 59.0	113 60.1	30 16.0	71 37.8	72 38.3	73 38.8	26 13.8	83 44.1	20 10.6	73 38.8	96 51.1	24 12.8	1 1.1
	60～64歳	207 100.0	166 80.2	99 47.8	146 70.5	139 67.1	52 25.1	99 47.8	101 48.8	94 45.4	30 14.5	110 53.1	44 21.3	99 47.8	107 51.7	25 12.1	5 2.4

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q38. 家族等の介護をした経験

(SA)

- 家族等の介護をした経験は、「介護をした経験はない」が51.5%、「介護をした経験がある」が35.1%、「現在介護をしている」が10.4%となっています。
- 性別にみると、“女性”では「介護をした経験がある」が最も高くなっており、“男性”に比べて18.4ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「介護をした経験がある」は、“60～64歳”が“55～59歳”に比べて13.8ポイント高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)		合計	Q38.家族等の介護をした経験			
			介護をし た経験が ある	現在介護 をしてい る	介護をし た経験は ない	無回答
全体		402 100.0	141 35.1	42 10.4	207 51.5	12 3.0
性別	男性	179 100.0	45 25.1	11 6.1	119 66.5	4 2.2
	女性	214 100.0	93 43.5	29 13.6	85 39.7	7 3.3
年齢	55～59歳	188 100.0	53 28.2	23 12.2	110 58.5	2 1.1
	60～64歳	207 100.0	87 42.0	17 8.2	94 45.4	9 4.3

Q38-1. 介護期間

(SA)

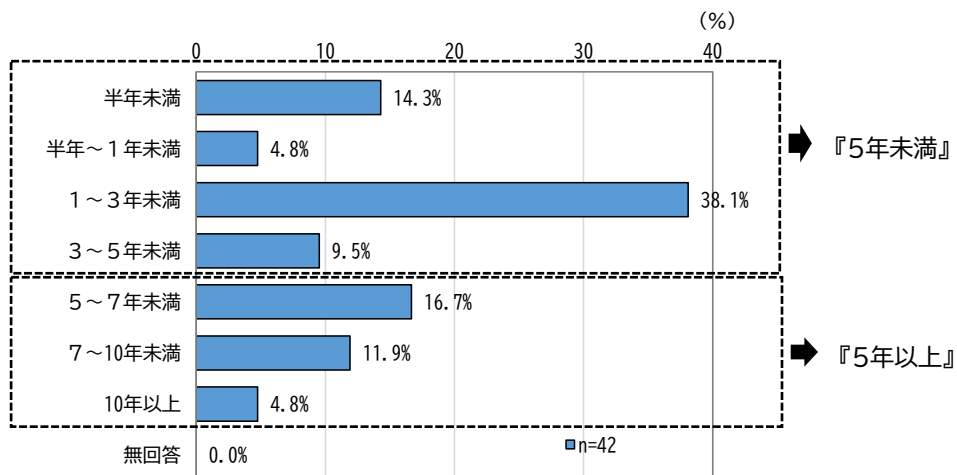
【Q38「2. 現在介護をしている」の方のみ】

○介護期間は、「1～3年未満」が38.1%で最も高く、次いで「5～7年未満」が16.7%、「半年未満」が14.3%の順となっています。『5年未満』が66.7%、『5年以上』が33.4%となっています。

○性別にみると、『5年以上』は“女性”が“男性”に比べて23.1ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「半年未満」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて15.8ポイント高くなっています。

○職業別にみると、“常勤の勤め人”では「1～3年未満」と同じく「5～7年未満」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q38-1.介護期間							
		半年未満	半年～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上	無回答
全体	42	6	2	16	4	7	5	2	0
	100.0	14.3	4.8	38.1	9.5	16.7	11.9	4.8	0.0
性別	男性	11	0	1	6	2	0	1	0
	100.0	0.0	9.1	54.5	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0
女性	29	6	1	8	2	7	4	1	0
	100.0	20.7	3.4	27.6	6.9	24.1	13.8	3.4	0.0
年齢	55～59歳	23	5	0	8	2	4	3	0
	100.0	21.7	0.0	34.8	8.7	17.4	13.0	4.3	0.0
60～64歳	17	1	2	6	2	3	2	1	0
	100.0	5.9	11.8	35.3	11.8	17.6	11.8	5.9	0.0
職業	常勤の勤め人	18	2	1	5	2	5	1	0
	100.0	11.1	5.6	27.8	11.1	27.8	5.6	11.1	0.0
	非常勤の勤め人	7	1	0	3	1	1	1	0
	100.0	14.3	0.0	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
	自営業	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家業手伝い	1	0	0	0	0	0	1	0
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
その他	4	1	0	3	0	0	0	0	
100.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無職・家事専業	12	2	1	5	1	1	2	0	
100.0	16.7	8.3	41.7	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	

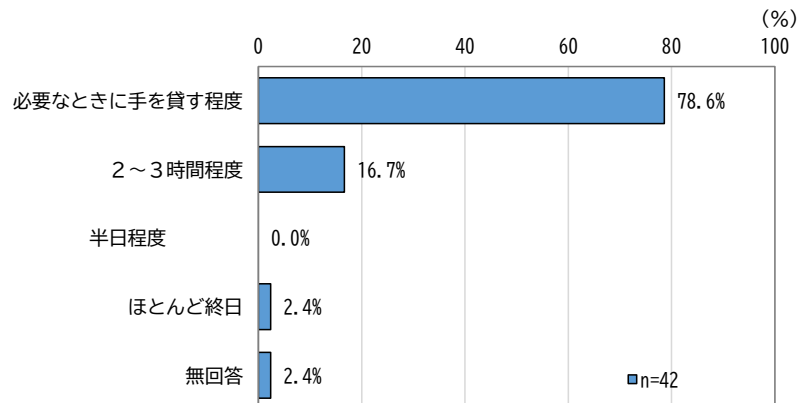
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q38-2. 一日あたりの介護時間

(SA)

【Q38「2. 現在介護をしている」の方のみ】

- 一日あたりの介護時間は、「必要なときに手を貸す程度」が約8割となっています。
- 性別にみると、“女性”では「2～3時間程度」が24.1%となっています。
- 年齢別にみると、「2～3時間程度」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて9.9ポイント高くなっています。

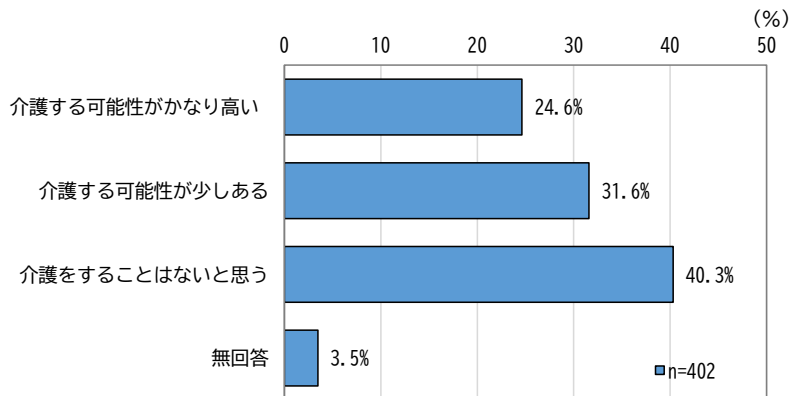


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q38-2.一日あたりの介護時間						非該当
		必要なときに手を貸す程度	2～3時間程度	半日程度	ほとんど終日	無回答		
全体	42 100.0	33 78.6	7 16.7	0 0.0	1 2.4	1 2.4	360	
性別	男性	11 100.0	10 90.9	0 0.0	0 0.0	1 9.1	168	
	女性	29 100.0	21 72.4	7 24.1	0 0.0	1 3.4	185	
年齢	55～59歳	23 100.0	18 78.3	5 21.7	0 0.0	0 0.0	165	
	60～64歳	17 100.0	13 76.5	2 11.8	0 0.0	1 5.9	190	

Q39. 近いうちに介護をすることになると思うか

(SA)

- 近いうちに介護をすることになると思うかでは、「介護をすることはないと思う」が40.3%、「介護する可能性が少しある」が31.6%、「介護する可能性がかなり高い」が24.6%となっています。
- 性別にみると、「介護する可能性がかなり高い」は“女性”が“男性”に比べて9.4ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“55～59歳”では「介護する可能性が少しある」が最も高くなっています。
- 職業別にみると、“非常勤の勤め人”では「介護する可能性がかなり高い」が最も高くなっています。



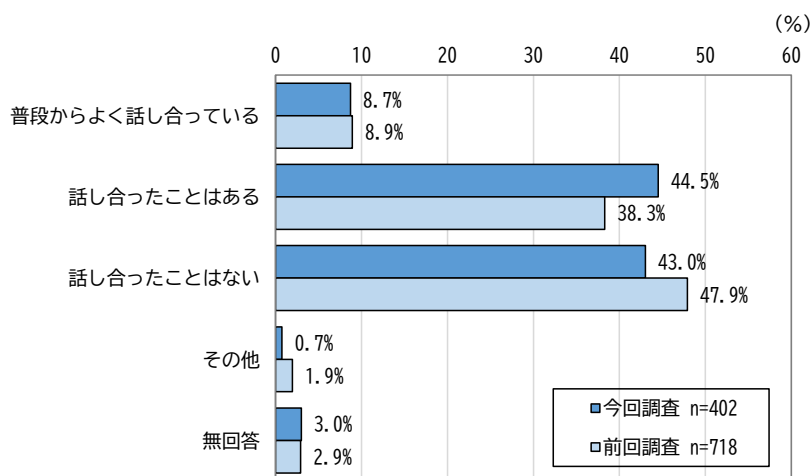
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q39.近いうちに介護をすることになると思うか				
		介護する可能性がかなり高い	介護する可能性が少しある	介護をすることはないと思う	無回答	
全体	402 100.0	99 24.6	127 31.6	162 40.3	14 3.5	
性別	男性	179 100.0	35 19.6	56 31.3	85 47.5	3 1.7
	女性	214 100.0	62 29.0	68 31.8	74 34.6	10 4.7
年齢	55～59歳	188 100.0	50 26.6	69 36.7	65 34.6	4 2.1
	60～64歳	207 100.0	47 22.7	56 27.1	95 45.9	9 4.3
職業	常勤の勤め人	196 100.0	43 21.9	71 36.2	78 39.8	4 2.0
	非常勤の勤め人	44 100.0	15 34.1	14 31.8	12 27.3	3 6.8
	自営業	31 100.0	5 16.1	10 32.3	14 45.2	2 6.5
	家業手伝い	6 100.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	0 0.0
	その他	25 100.0	7 28.0	6 24.0	11 44.0	1 4.0
	無職・家事専業	97 100.0	27 27.8	22 22.7	44 45.4	4 4.1

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q40. 家族等と介護について話し合うことはあるか

(SA)

- 家族等と介護について話し合うことはあるかでは、「話し合ったことはある」が44.5%で最も高く、次いで「話し合ったことはない」が43.0%、「普段からよく話し合っている」が8.7%の順となっています。
- 前回調査に比べて、「話し合ったことはある」が6.2ポイント増加した一方、「話し合ったことはない」が4.9ポイント減少しています。
- 性別にみると、“男性”では「話し合ったことはない」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、“55～59歳”では「話し合ったことはない」が最も高くなっています。
- 家族等を介護する可能性別にみると、“介護する可能性が少しある”では「話し合ったことはある」「話し合ったことはない」が、“介護をすることはないと思う”では「話し合ったことはない」が最も高くなっています。

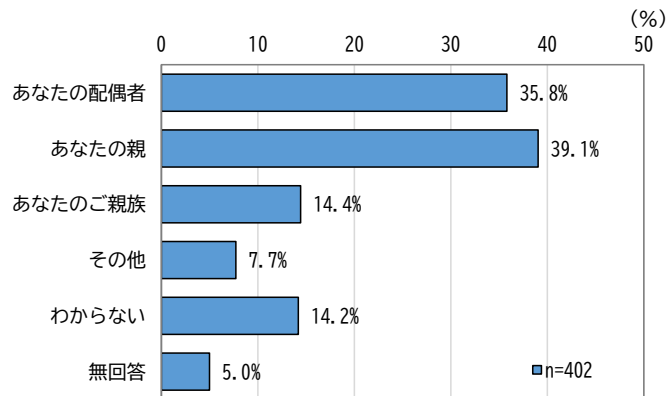


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q40.家族等と介護について話し合うことはあるか					
		普段からよく話し合っている	話し合ったことはある	話し合ったことはない	その他	無回答	
全体	402 100.0	35 8.7	179 44.5	173 43.0	3 0.7	12 3.0	
性別	男性	179 100.0	13 7.3	73 40.8	88 49.2	2 1.1	3 1.7
	女性	214 100.0	21 9.8	102 47.7	82 38.3	1 0.5	8 3.7
年齢	55～59歳	188 100.0	16 8.5	81 43.1	88 46.8	1 0.5	2 1.1
	60～64歳	207 100.0	18 8.7	97 46.9	81 39.1	2 1.0	9 4.3
家族等を介護する可能性	介護する可能性がかなり高い	99 100.0	26 26.3	50 50.5	22 22.2	0 0.0	1 1.0
	介護する可能性が少しある	127 100.0	5 3.9	61 48.0	61 48.0	0 0.0	0 0.0
	介護をすることはないと思う	162 100.0	3 1.9	67 41.4	88 54.3	3 1.9	1 0.6

Q41. 将来介護をすることになると思われる相手

(MA)

- 将来介護をすることになると思われる相手は、「あなたの親」が39.1%で最も高く、次いで「あなたの配偶者」が35.8%、「あなたのご親族」が14.4%の順となっています。
- 性別にみると、「あなたの配偶者」は“女性”が“男性”に比べて6.4ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“60～64歳”では「あなたの配偶者」が最も高くなっています。
- 家族等を介護する可能性別にみると、“介護をする可能性がかなり高い”人の7割以上が「あなたの親」と回答しています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)		合計	Q41.将来介護をすることになると思われる相手					無回答
			あなたの配偶者	あなたの親	あなたのご親族	その他	わからない	
全体		402 100.0	144 35.8	157 39.1	58 14.4	31 7.7	57 14.2	20 5.0
性別	男性	179 100.0	58 32.4	66 36.9	24 13.4	12 6.7	34 19.0	7 3.9
	女性	214 100.0	83 38.8	87 40.7	34 15.9	18 8.4	22 10.3	12 5.6
年齢	55～59歳	188 100.0	51 27.1	90 47.9	36 19.1	15 8.0	27 14.4	5 2.7
	60～64歳	207 100.0	91 44.0	64 30.9	22 10.6	15 7.2	30 14.5	14 6.8
家族等 を介護する 可能性	介護する可能性が かなり高い	99 100.0	23 23.2	72 72.7	20 20.2	11 11.1	0 0.0	2 2.0
	介護する可能性が 少しある	127 100.0	50 39.4	71 55.9	24 18.9	5 3.9	6 4.7	0 0.0
	介護をすることは ないと思う	162 100.0	68 42.0	12 7.4	13 8.0	15 9.3	49 30.2	10 6.2

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

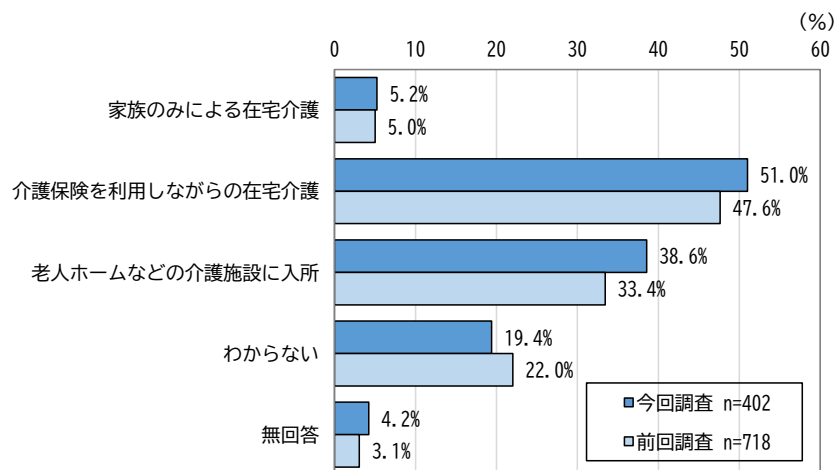
Q42. 家族等にしたい介護

(MA)

○家族等にしたい介護では、「介護保険を利用しながらの在宅介護」が51.0%で最も高く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所」が38.6%、「わからない」が19.4%の順となっています。

○前回調査に比べて、「老人ホームなどの介護施設に入所」が5.2ポイント増加しています。

○世帯状況別にみると、“ひとり暮らし”では「老人ホームなどの介護施設に入所」が最も高くなっています。

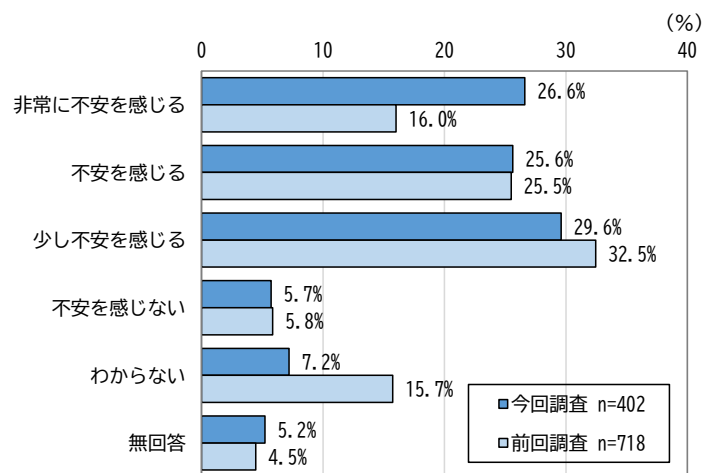


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q42.家族等にしたい介護					
		家族のみによる在宅介護	介護保険を利用しながらの在宅介護	老人ホームなどの介護施設に入所	わからない	無回答	
全体	402 100.0	21 5.2	205 51.0	155 38.6	78 19.4	17 4.2	
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	1 1.6	20 31.3	25 39.1	20 31.3	5 7.8
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	9 7.8	62 53.4	50 43.1	21 18.1	3 2.6
	子どもの家族と同居	30 100.0	1 3.3	15 50.0	7 23.3	10 33.3	1 3.3
	未婚の子どもと同居	102 100.0	7 6.9	55 53.9	43 42.2	14 13.7	3 2.9
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	2 6.7	16 53.3	11 36.7	2 6.7	2 6.7
	その他	54 100.0	1 1.9	33 61.1	16 29.6	11 20.4	2 3.7

Q43. 介護をすることについて不安を感じるか

(SA)

- 介護をすることについて不安を感じるかでは、「少し不安を感じる」が29.6%、次いで「非常に不安を感じる」が26.6%、「不安を感じる」が25.6%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「非常に不安を感じる」が10.6ポイント増加しています。
- 家族等を介護する可能性別にみると、“介護をする可能性がかなり高い”人では、「非常に不安を感じる」が最も高くなっています。
- 世帯状況別にみると、“夫婦ふたり暮らし”と“未婚の子どもと同居”では「非常に不安を感じる」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q43.介護をすることについて不安を感じるか						
		非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安を感じない	わからない	無回答	
全体	402 100.0	107 26.6	103 25.6	119 29.6	23 5.7	29 7.2	21 5.2	
可能性 家族等を介護する	介護する可能性がかなり高い	99 100.0	37 37.4	27 27.3	20 20.2	7 7.1	5 5.1	3 3.0
	介護する可能性が少しある	127 100.0	30 23.6	32 25.2	49 38.6	5 3.9	7 5.5	4 3.1
	介護をすることはないと思う	162 100.0	35 21.6	44 27.2	47 29.0	10 6.2	16 9.9	10 6.2
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	11 17.2	15 23.4	17 26.6	2 3.1	11 17.2	8 12.5
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	35 30.2	28 24.1	33 28.4	9 7.8	7 6.0	4 3.4
	子どもの家族と同居	30 100.0	7 23.3	9 30.0	9 30.0	1 3.3	4 13.3	0 0.0
	未婚の子どもと同居	102 100.0	31 30.4	30 29.4	30 29.4	3 2.9	3 2.9	5 4.9
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	8 26.7	7 23.3	9 30.0	2 6.7	3 10.0	1 3.3
	その他	54 100.0	12 22.2	13 24.1	20 37.0	6 11.1	1 1.9	2 3.7

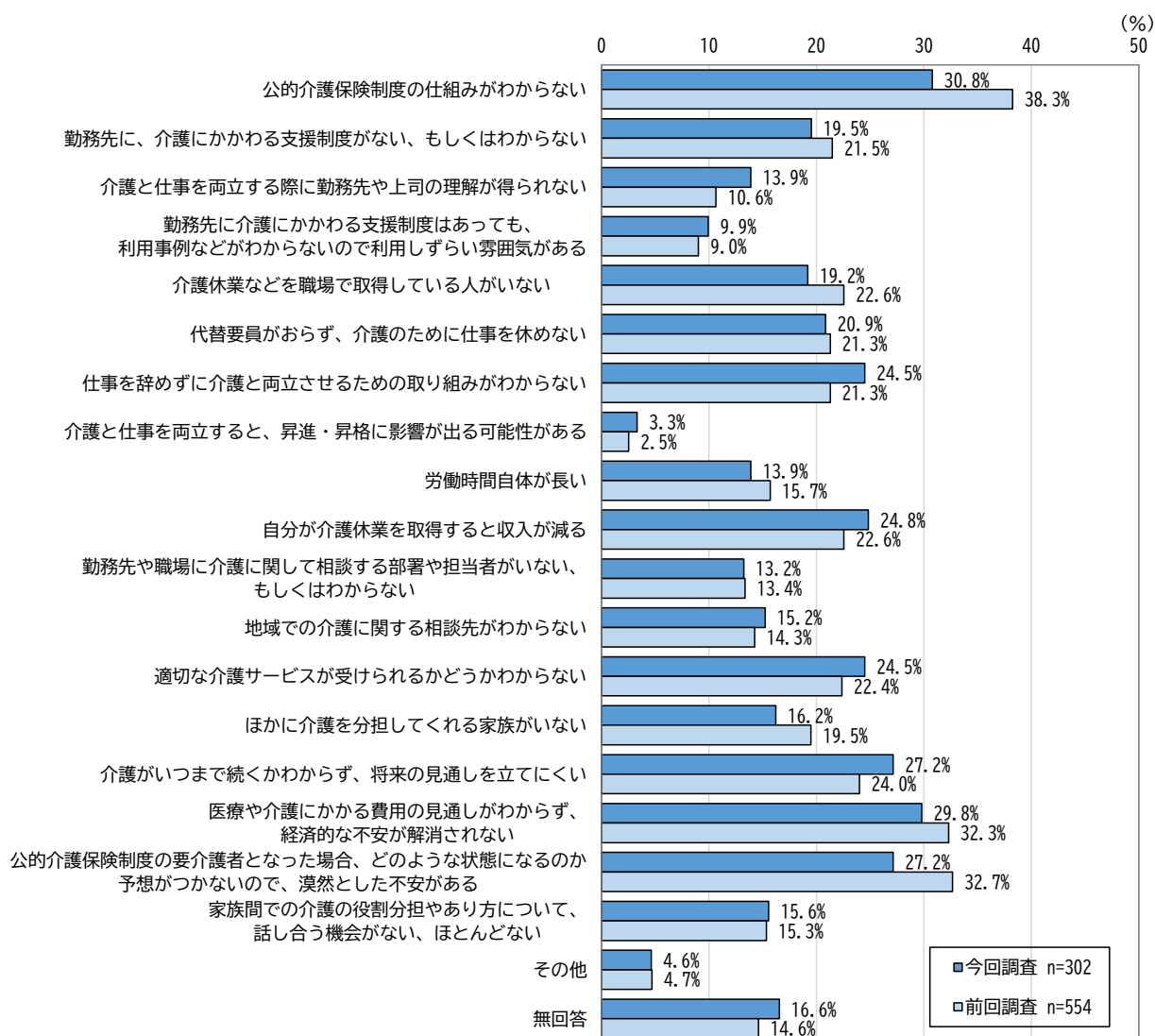
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q44. 介護について不安に感じること

(MA)

【現在お勤めの方のみ】

- 介護について不安に感じることで、「公的介護保険制度の仕組みがわからない」が30.8%で最も高く、次いで「医療や介護にかかる費用の見通しがわからず、経済的な不安が解消されない」が29.8%、「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい」「公的介護保険制度の要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある」が27.2%の順となっています。
- 前回調査に比べ、最も増加したのは「介護と仕事を両立する際に勤務先や上司の理解が得られない」（3.3ポイント増加）、最も減少したのは「公的介護保険制度の仕組みがわからない」（7.5ポイント減少）となっています。
- 家族等を介護する可能性別にみると、“介護をする可能性がかなり高い”人では、「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい」が最も高くなっています。
- 世帯状況別にみると、“夫婦ふたり暮らし”では「公的介護保険制度の要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある」が、“高齢者のみ（高齢の親や兄弟と同居）”では「自分が介護休業を取得すると収入が減る」「ほかに介護を分担してくれる家族がない」、 “その他”では「医療や介護にかかる費用の見通しがわからず、経済的な不安が解消されない」が最も高くなっています。



II 市民調査結果

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q44.介護について不安に感じること										
		公的介護 保険制度 の仕組み がわから ない	勤務先 に、介護 にかかわ る支援制 度がない 、もしく はわから ない	介護と仕 事を両立 する際に 勤務先や 上司の理 解が得ら れない	勤務先に 介護にか かわる支 援制度は あっても 、利用 事例など がわから ないので 利用しず らい雰囲気がある	介護休業 などを職 場で取得 している 人がいない	代替要員 があら ず、介護 のために 仕事を休 めない	仕事を辞 めずに介 護と両立 させるた めの取り 組みがわ からない	介護と仕 事を両立 すると、 昇進・昇 格に影響 が出る可 能性がある	労働時間 自体が長 い	自分が介 護休業を 取得する と収入が 減る	
全体	302 100.0	93 30.8	59 19.5	42 13.9	30 9.9	58 19.2	63 20.9	74 24.5	10 3.3	42 13.9	75 24.8	
性別	男性	154 100.0	60 39.0	33 21.4	27 17.5	17 11.0	33 21.4	36 23.4	43 27.9	5 3.2	29 18.8	34 22.1
	女性	143 100.0	33 23.1	26 18.2	15 10.5	13 9.1	24 16.8	26 18.2	30 21.0	5 3.5	13 9.1	39 27.3
可能性 家族等 を介護する	介護する可能性が かなり高い	71 100.0	15 21.1	16 22.5	10 14.1	13 18.3	19 26.8	21 29.6	21 29.6	4 5.6	10 14.1	23 32.4
	介護する可能性が 少しある	103 100.0	29 28.2	16 15.5	11 10.7	9 8.7	18 17.5	18 17.5	24 23.3	1 1.0	11 10.7	25 24.3
	介護をすることは ないと思う	118 100.0	47 39.8	27 22.9	20 16.9	7 5.9	21 17.8	24 20.3	27 22.9	5 4.2	20 16.9	24 20.3
世帯 状況	ひとり暮らし	49 100.0	17 34.7	13 26.5	4 8.2	1 2.0	8 16.3	8 16.3	8 16.3	0 0.0	12 24.5	9 18.4
	夫婦ふたり暮らし	78 100.0	23 29.5	11 14.1	14 17.9	9 11.5	14 17.9	14 17.9	13 16.7	4 5.1	7 9.0	18 23.1
	子どもの家族と同居	23 100.0	9 39.1	4 17.4	6 26.1	3 13.0	5 21.7	7 30.4	8 34.8	1 4.3	3 13.0	4 17.4
	未婚の子どもと同居	86 100.0	28 32.6	16 18.6	13 15.1	8 9.3	17 19.8	15 17.4	26 30.2	1 1.2	12 14.0	23 26.7
	高齢者のみ(高齢 の親や兄弟と同居)	23 100.0	7 30.4	3 13.0	1 4.3	4 17.4	4 17.4	6 26.1	7 30.4	1 4.3	3 13.0	8 34.8
	その他	40 100.0	9 22.5	12 30.0	4 10.0	5 12.5	9 22.5	12 30.0	11 27.5	3 7.5	5 12.5	11 27.5

【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q44.介護について不安に感じること										
		勤務先や 職場に介 護に関し て相談す る部署や 担当者が いない、 もしくは わからない	地域での 介護に関 する相談 先がわか らない	適切な介 護サービ スが受け られるか どうかわ からない	ほかに介 護を分担 してくれる 家族が いない	介護がい つまで続 くかわか らず、将 来の見通 しを立て にくい	医療や介 護にかか る費用の 見通しが わから ず、経済 的な不安 が解消さ れない	公的介護 保険制度 の要介護 者となっ た場合、 どのよう な状態に なるのか 予想がつか ないの で、漠然 とした不安 がある	家族間で の介護の 役割分担 やあり方 について、 話し合 う機会が ない、ほ とんど ない	その他	無回答	
全体	302 100.0	40 13.2	46 15.2	74 24.5	49 16.2	82 27.2	90 29.8	82 27.2	47 15.6	14 4.6	50 16.6	
性別	男性	154 100.0	25 16.2	29 18.8	44 28.6	25 16.2	39 25.3	46 29.9	45 29.2	26 16.9	4 2.6	20 13.0
	女性	143 100.0	15 10.5	16 11.2	29 20.3	24 16.8	41 28.7	41 28.7	37 25.9	20 14.0	9 6.3	30 21.0
可能性 家族等 を介護する	介護する可能性が かなり高い	71 100.0	11 15.5	7 9.9	14 19.7	11 15.5	29 40.8	22 31.0	20 28.2	9 12.7	2 2.8	13 18.3
	介護する可能性が 少しある	103 100.0	11 10.7	16 15.5	27 26.2	17 16.5	28 27.2	28 27.2	26 25.2	14 13.6	4 3.9	13 12.6
	介護をすることは ないと思う	118 100.0	18 15.3	23 19.5	31 26.3	21 17.8	24 20.3	37 31.4	34 28.8	23 19.5	7 5.9	20 16.9
世帯 状況	ひとり暮らし	49 100.0	7 14.3	7 14.3	10 20.4	5 10.2	9 18.4	9 18.4	9 18.4	8 16.3	4 8.2	7 14.3
	夫婦ふたり暮らし	78 100.0	6 7.7	12 15.4	19 24.4	14 17.9	18 23.1	24 30.8	27 34.6	9 11.5	2 2.6	16 20.5
	子どもの家族と同居	23 100.0	3 13.0	3 13.0	5 21.7	5 21.7	8 34.8	7 30.4	6 26.1	5 21.7	1 4.3	4 17.4
	未婚の子どもと同居	86 100.0	15 17.4	15 17.4	25 29.1	10 11.6	24 27.9	25 29.1	22 25.6	15 17.4	3 3.5	16 18.6
	高齢者のみ(高齢 の親や兄弟と同居)	23 100.0	3 13.0	6 26.1	6 26.1	8 34.8	7 30.4	7 30.4	5 21.7	1 4.3	1 4.3	1 4.3
	その他	40 100.0	6 15.0	3 7.5	8 20.0	7 17.5	14 35.0	16 40.0	13 32.5	9 22.5	2 5.0	6 15.0

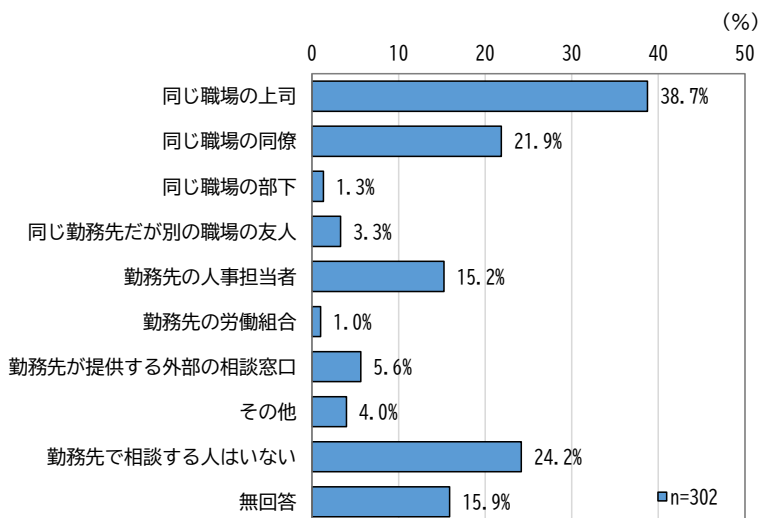
3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q45. 勤務先で介護の相談をする相手

(MA)

【現在お勤めの方のみ】

- 勤務先で介護の相談をする相手では、「同じ職場の上司」が38.7%で最も高く、次いで「勤務先で相談する人はいない」が24.2%、「同じ職場の同僚」が21.9%の順となっています。
- 性別にみると、「勤務先の人事担当者」は“男性”が“女性”に比べて13.0ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、50代・60代ともに、「同じ職場の上司」が最も高いなかでも、“55～59歳”では“60～64歳”に比べて17.1ポイント高くなっています。
- 職業別にみると、“自営業”“家業手伝い”では「勤務先で相談する人はいない」が最も高くなっています。



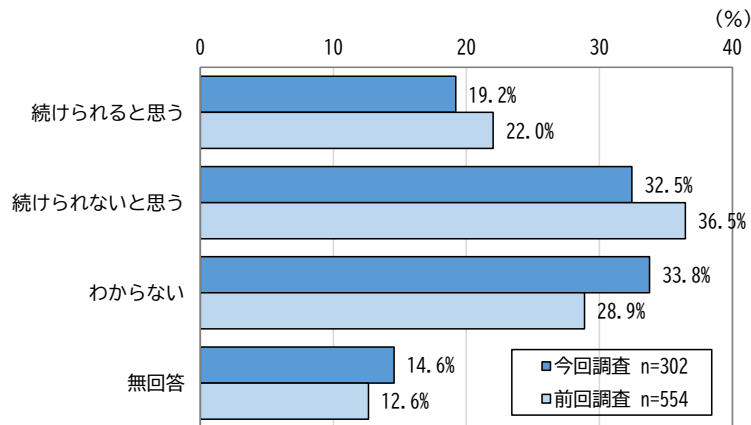
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q45.勤務先で介護の相談をする相手										
		同じ職場 の上司	同じ職場 の同僚	同じ職場 の部下	同じ勤務 先だが別 の職場の 友人	勤務先の 人事担当 者	勤務先の 労働組合	勤務先が 提供する 外部の相 談窓口	その他	勤務先で 相談する 人はいな い	無回答	
全体	302	117	66	4	10	46	3	17	12	73	48	
	100.0	38.7	21.9	1.3	3.3	15.2	1.0	5.6	4.0	24.2	15.9	
性別	男性	154	56	30	4	3	33	1	13	4	40	18
	100.0	36.4	19.5	2.6	1.9	21.4	0.6	8.4	2.6	26.0	11.7	
女性	143	58	34	0	7	12	1	4	7	32	30	
	100.0	40.6	23.8	0.0	4.9	8.4	0.7	2.8	4.9	22.4	21.0	
年齢	55～59歳	151	71	37	3	6	23	1	7	8	36	16
	100.0	47.0	24.5	2.0	4.0	15.2	0.7	4.6	5.3	23.8	10.6	
60～64歳	147	44	28	1	4	21	1	10	3	37	32	
	100.0	29.9	19.0	0.7	2.7	14.3	0.7	6.8	2.0	25.2	21.8	
職業	常勤の勤め人	196	95	44	4	6	41	2	14	7	45	11
	100.0	48.5	22.4	2.0	3.1	20.9	1.0	7.1	3.6	23.0	5.6	
	非常勤の勤め人	44	14	14	0	2	1	0	2	3	11	8
	100.0	31.8	31.8	0.0	4.5	2.3	0.0	4.5	6.8	25.0	18.2	
	自営業	31	1	3	0	0	0	0	1	2	11	15
	100.0	3.2	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5	35.5	48.4	
家業手伝い	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	
その他	25	7	5	0	2	4	1	0	0	5	9	
100.0	28.0	20.0	0.0	8.0	16.0	4.0	0.0	0.0	0.0	20.0	36.0	

Q46. 介護をしながら勤務先で仕事を続けることができるか

(SA)

【現在お勤めの方のみ】

- 介護をしながら勤務先で仕事を続けることができるかでは、「わからない」が33.8%、「続けられないと思う」が32.5%、「続けられると思う」が19.2%となっています。
- 性別にみると、“男性”では「続けられないと思う」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、“60～64歳”では「続けられないと思う」が最も高くなっています。
- 職業別にみると、“非常勤の勤め人”“家業手伝い”“その他”では「続けられないと思う」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q46.介護をしながら勤務先で仕事を続けることができるか				
		続けられると思う	続けられないと思う	わからない	無回答	
全体	302 100.0	58 19.2	98 32.5	102 33.8	44 14.6	
性別	男性	154 100.0	33 21.4	56 36.4	48 31.2	17 11.0
	女性	143 100.0	23 16.1	40 28.0	53 37.1	27 18.9
年齢	55～59歳	151 100.0	32 21.2	49 32.5	54 35.8	16 10.6
	60～64歳	147 100.0	25 17.0	48 32.7	47 32.0	27 18.4
職業	常勤の勤め人	196 100.0	45 23.0	68 34.7	75 38.3	8 4.1
	非常勤の勤め人	44 100.0	7 15.9	16 36.4	13 29.5	8 18.2
	自営業	31 100.0	2 6.5	7 22.6	8 25.8	14 45.2
	家業手伝い	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	5 83.3
	その他	25 100.0	4 16.0	6 24.0	6 24.0	9 36.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q47. 介護をすることになった時の望ましい働き方

(MA)

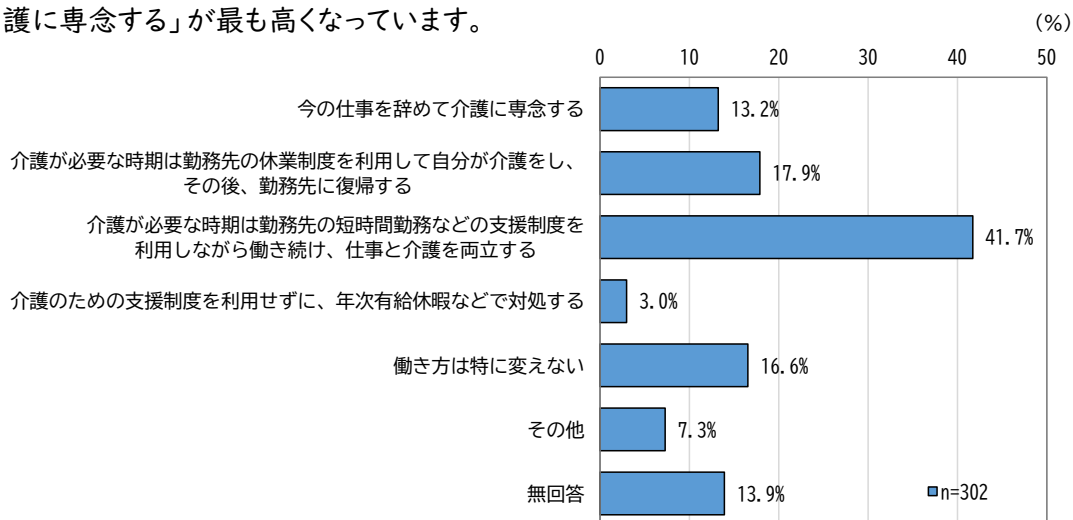
【現在お勤めの方のみ】

○介護をすることになった時の望ましい働き方では、「介護が必要な時期は勤務先の短時間勤務などの支援制度を利用しながら働き続け、仕事と介護を両立する」が41.7%で最も高く、次いで「介護が必要な時期は勤務先の休業制度を利用して自分が介護をし、その後、勤務先に復帰する」が17.9%、「働き方は特に変えない」が16.6%の順となっています。

○性別にみると、「介護が必要な時期は勤務先の休業制度を利用して自分が介護をし、その後、勤務先に復帰する」は“女性”が“男性”に比べて4.7ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「働き方は特に変えない」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて7.6ポイント高くなっています。

○職業別にみると、“自営業”では「働き方は特に変えない」、「家業手伝い」では「今の仕事を辞めて介護に専念する」が最も高くなっています。



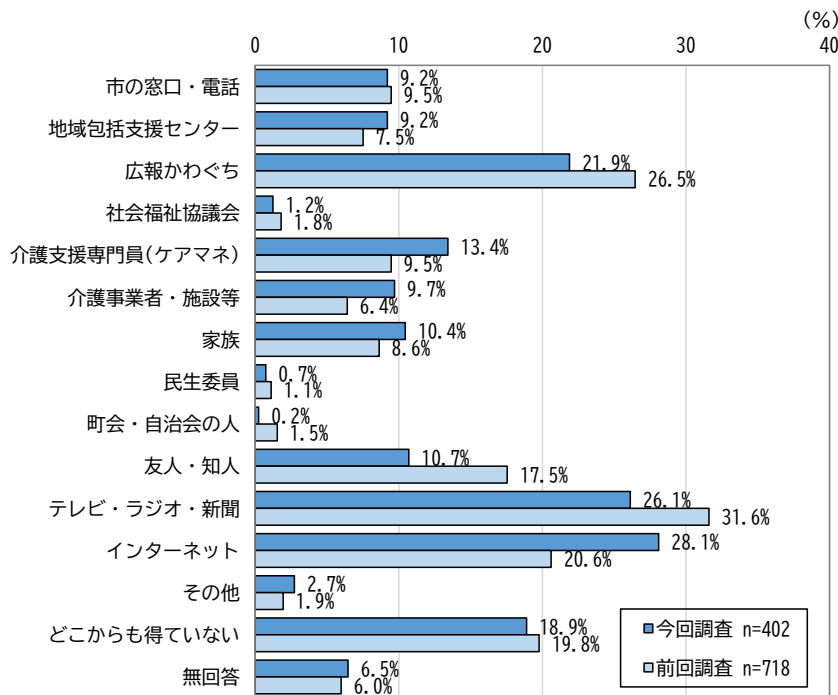
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q47.介護をすることになった時の望ましい働き方							
		今の仕事を辞めて介護に専念する	介護が必要な時期は勤務先の休業制度を利用して自分が介護をし、その後、勤務先に復帰する	介護が必要な時期は勤務先の短時間勤務などの支援制度を利用して働き続け、仕事と介護を両立する	介護のための支援制度を利用せずに、年次有給休暇などで対処する	働き方は特に変えない	その他	無回答	
全体	302 100.0	40 13.2	54 17.9	126 41.7	9 3.0	50 16.6	22 7.3	42 13.9	
性別	男性	154 100.0	19 12.3	24 15.6	68 44.2	6 3.9	26 16.9	14 9.1	15 9.7
	女性	143 100.0	19 13.3	29 20.3	56 39.2	3 2.1	24 16.8	8 5.6	27 18.9
年齢	55～59歳	151 100.0	20 13.2	27 17.9	65 43.0	3 2.0	31 20.5	10 6.6	15 9.9
	60～64歳	147 100.0	19 12.9	26 17.7	60 40.8	6 4.1	19 12.9	12 8.2	26 17.7
職業	常勤の勤め人	196 100.0	25 12.8	43 21.9	100 51.0	9 4.6	35 17.9	13 6.6	6 3.1
	非常勤の勤め人	44 100.0	11 25.0	5 11.4	14 31.8	0 0.0	6 13.6	3 6.8	8 18.2
	自営業	31 100.0	2 6.5	2 6.5	3 9.7	0 0.0	8 25.8	3 9.7	13 41.9
	家業手伝い	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3
	その他	25 100.0	1 4.0	4 16.0	9 36.0	0 0.0	1 4.0	3 12.0	10 40.0

5. 介護保険や高齢者福祉サービスの利用について

Q48. 高齢者福祉に関する情報の入手先

(MA:3つまで)

- 高齢者福祉に関する情報の入手先は、「インターネット」が最も高く28.1%、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」が26.1%、「広報かわぐち」が21.9%の順となっています。
- 前回調査と比べ、最も増加したのは「インターネット」(7.5ポイント増加)、最も減少したのは「友人・知人」(6.8ポイント減少)となっています。
- 性別にみると、「どこからも得ていない」は“男性”が“女性”に比べて10.1ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、“60~64歳”では「テレビ・ラジオ・新聞」が最も高くなっています。また、「どこからも得ていない」は“55~59歳”が“60~64歳”に比べて9.4ポイント高くなっています。



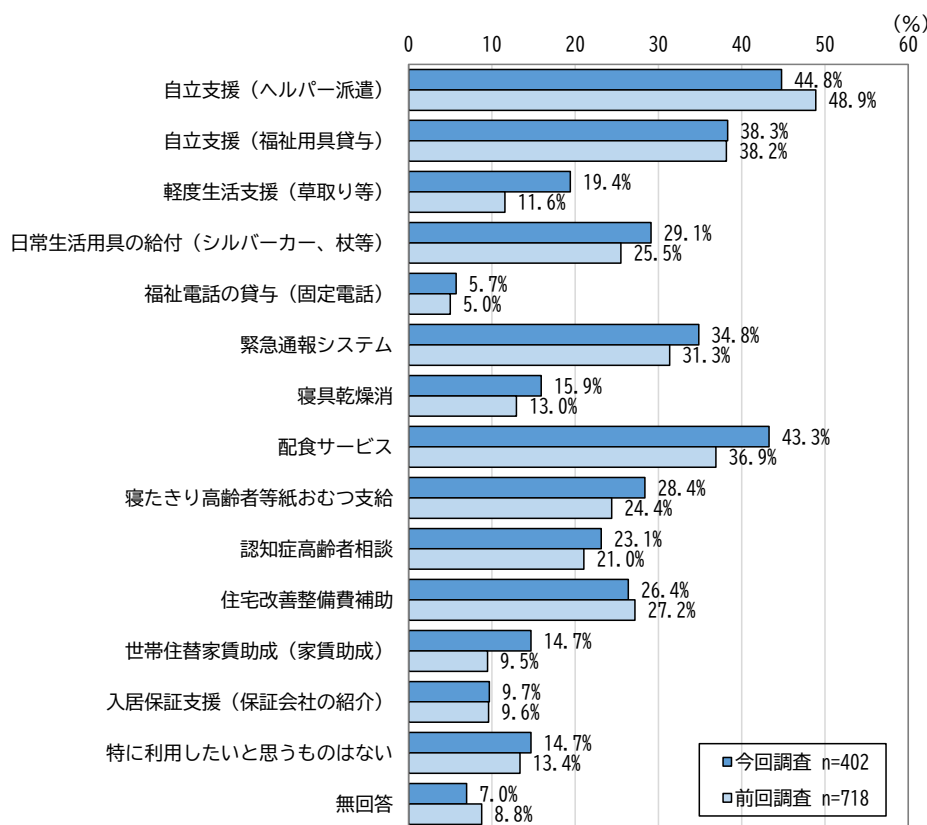
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q48.高齢化福祉に関する情報の入手先															
		市の窓口・電話	地域包括支援センター	広報かわぐち	社会福祉協議会	介護支援専門員(ケアマネ)	介護事業者・施設等	家族	民生委員	町会・自治会の人	友人・知人	テレビ・ラジオ・新聞	インターネット	その他	どこからも得ていない	無回答	
全体	402 100.0	37 9.2	37 9.2	88 21.9	5 1.2	54 13.4	39 9.7	42 10.4	3 0.7	1 0.2	43 10.7	105 26.1	113 28.1	11 2.7	76 18.9	26 6.5	
性別	男性	179 100.0	16 8.9	15 8.4	40 22.3	1 0.6	20 11.2	16 8.9	27 15.1	1 0.6	0 0.0	11 6.1	49 27.4	50 27.9	4 2.2	44 24.6	9 5.0
	女性	214 100.0	19 8.9	20 9.3	44 20.6	4 1.9	34 15.9	22 10.3	15 7.0	2 0.9	1 0.5	31 14.5	54 25.2	58 27.1	7 3.3	31 14.5	16 7.5
年齢	55~59歳	188 100.0	15 8.0	17 9.0	33 17.6	1 0.5	28 14.9	15 8.0	24 12.8	0 0.0	0 0.0	16 8.5	40 21.3	55 29.3	5 2.7	45 23.9	8 4.3
	60~64歳	207 100.0	21 10.1	18 8.7	52 25.1	4 1.9	26 12.6	23 11.1	18 8.7	3 1.4	1 0.5	27 13.0	65 31.4	56 27.1	6 2.9	30 14.5	16 7.7

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q49. 将来利用してみたいサービス

(MA)

- 将来利用してみたいサービスは、「自立支援（ヘルパー派遣）」が44.8%で最も高く、次いで「配食サービス」が43.3%、「自立支援（福祉用具貸与）」が38.3%の順となっています。
- 前回調査に比べ、最も増加したのは「配食サービス」（6.4ポイント増加）、最も減少したのは「自立支援（ヘルパー派遣）」（4.1ポイント減少）となっています。
- 性別にみると、“男性”では「自立支援（ヘルパー派遣）」と同じく「配食サービス」が最も高くなっています。また、“女性”では“男性”に比べて「自立支援（福祉用具貸与）」「寝たきり高齢者等紙おむつ支給」「認知症高齢者相談」が15ポイント以上高くなっています。
- 年齢別にみると、“55～59歳”では「配食サービス」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q49.将来利用してみたいサービス															
		自立支援 (ヘル パー派 遣)	自立支援 (福祉用 具貸与)	軽度生活 支援(草 取り等)	日常生活 用具の給 付(シル バーカ ー、杖 等)	福祉電話 の貸与 (固定電 話)	緊急通報 システム	寝具乾燥 消	配食サー ビス	寝たきり 高齢者等 紙おむつ 支給	認知症高 齢者相談	住宅改善 整備費補 助	世帯住替 家賃助成 (家賃助 成)	入居保証 支援(保 証会社の 紹介)	特に利用 したいと 思うもの はない	無回答	
全体	402 100.0	180 44.8	154 38.3	78 19.4	117 29.1	23 5.7	140 34.8	64 15.9	174 43.3	114 28.4	93 23.1	106 26.4	59 14.7	39 9.7	59 14.7	28 7.0	
性別	男性	179 100.0	72 40.2	51 28.5	29 16.2	46 25.7	8 4.5	52 29.1	24 13.4	72 40.2	30 16.8	27 22.9	41 16.2	29 12.8	23 18.4	11 6.1	
	女性	214 100.0	106 49.5	100 46.7	46 21.5	66 30.8	14 6.5	85 39.7	38 17.8	95 44.4	80 37.4	65 30.4	62 29.0	30 14.0	15 7.0	25 11.7	17 7.9
年齢	55～59歳	188 100.0	77 41.0	67 35.6	44 23.4	55 29.3	10 5.3	62 33.0	31 16.5	86 45.7	55 29.3	45 23.9	48 25.5	34 18.1	21 11.2	30 16.0	8 4.3
	60～64歳	207 100.0	100 48.3	84 40.6	30 14.5	57 27.5	12 5.8	75 36.2	31 15.0	82 39.6	55 26.6	47 22.7	56 27.1	24 11.6	18 8.7	29 14.0	20 9.7

Q50. どんなサービスがあれば利用したいか

○どんなサービスがあれば利用したいかでは、“なし”“思いつかない”などを除くと58人から62件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

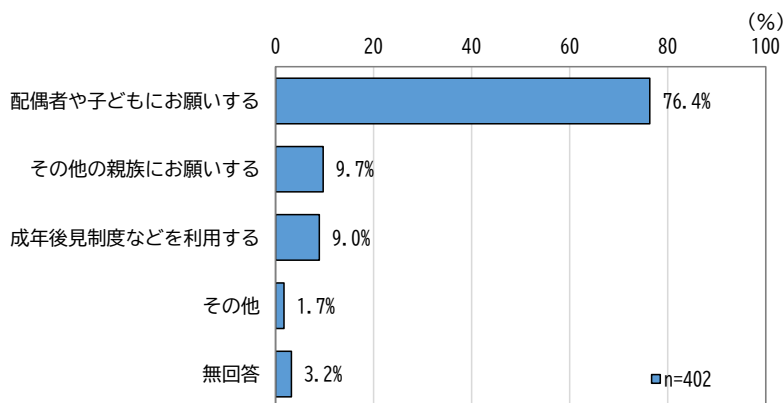
主な意見	件数(件)
移動支援 ・病院や買い物に行く時の送迎サービス。気軽に利用できるタクシー利用料金を安く。	9
家事代行 ・家族の代わりにちょっとした事をやってくれたり、見守ってくれる便利屋さんを公的支援してほしい。	7
相談支援、情報提供 ・市役所が土日も相談できるようにする事。何が受けられるのか情報が無い。家族に介護が必要になった時に、経験者等の話が聞けると良い。	6
見守り、安否確認 ・短時間の見守りサービス。ひとりになったら、何かあったときに来てくれるサービス。	5
経済的支援、補助・割引サービス ・サービスよりお金が大事、助成金制度を考えてほしい。低料金のヘルパー派遣。	4
高齢者用住宅の整備 ・低料金で利用できる高齢者用の住宅。施設ではなく、グループホームの様に何人かで協力しながら生活出来るサービス。	4
デイサービスの拡充	3
趣味、サークルの支援	3
買い物支援	3
入浴のサポート	2
訪問診療	2
食事のサポート、配食サービス	2
その他 ・生活支援。車椅子などの旅行。身元保証等。健康管理。日用品の支給。就業場所の確保。マッサージ。散髪。	12

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q51. 判断能力が不十分になった場合の金銭管理等の手続き

(SA)

- 判断能力が不十分になった場合の金銭管理等の手続きは、「配偶者や子どもに願うする」が約8割となっています。
- 性別にみると、「成年後見制度などを利用する」は“男性”が“女性”に比べて5.2ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「成年後見制度などを利用する」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて3.7ポイント高くなっています。
- 世帯状況別にみると、“ひとり暮らし”では「その他の親族に願うする」が最も高くなっています。

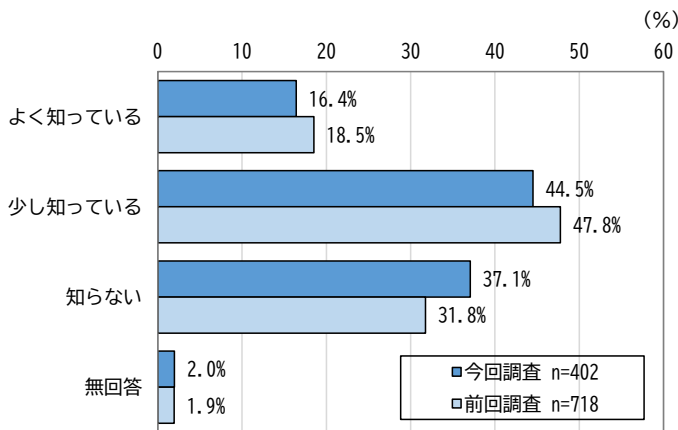


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q51.判断能力が不十分になった場合の金銭管理等の 手続き					
		配偶者や 子どもに 願うする	その他の 親族にお 願うする	成年後見 制度など を利用す る	その他	無回答	
全体	402 100.0	307 76.4	39 9.7	36 9.0	7 1.7	13 3.2	
性別	男性	179 100.0	133 74.3	19 10.6	21 11.7	5 2.8	1 0.6
	女性	214 100.0	167 78.0	19 8.9	14 6.5	2 0.9	12 5.6
年齢	55～59歳	188 100.0	140 74.5	25 13.3	13 6.9	6 3.2	4 2.1
	60～64歳	207 100.0	162 78.3	13 6.3	22 10.6	1 0.5	9 4.3
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	17 26.6	21 32.8	16 25.0	5 7.8	5 7.8
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	104 89.7	1 0.9	7 6.0	0 0.0	4 3.4
	子どもの家族と同居	30 100.0	25 83.3	1 3.3	4 13.3	0 0.0	0 0.0
	未婚の子どもと同居	102 100.0	100 98.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	11 36.7	10 33.3	6 20.0	2 6.7	1 3.3
	その他	54 100.0	46 85.2	4 7.4	2 3.7	0 0.0	2 3.7

Q52. 成年後見制度の成年後見人等の支援に関する認知

(SA)

- 成年後見制度の成年後見人等の支援に関する認知は、「少し知っている」が44.5%、「知らない」が37.1%、「よく知っている」が16.4%となっています。
- 前回調査に比べ、「知らない」が5.3ポイント増加しています。
- 性別にみると、“男性”では「知らない」が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、「知らない」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて7.1ポイント高くなっています。

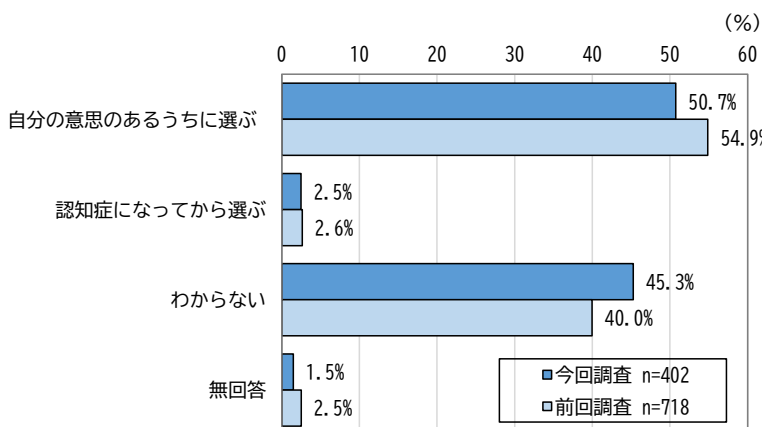


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q52.成年後見制度の成年後見人等の支援に関する認知				
		よく知っている	少し知っている	知らない	無回答	
全体	402	66	179	149	8	
	100.0	16.4	44.5	37.1	2.0	
性別	男性	179	29	67	82	1
		100.0	16.2	37.4	45.8	0.6
女性	214	34	111	62	7	
		100.0	15.9	51.9	29.0	3.3
年齢	55～59歳	188	24	85	76	3
		100.0	12.8	45.2	40.4	1.6
60～64歳	207	39	94	69	5	
		100.0	18.8	45.4	33.3	2.4

Q53. 成年後見人を選ぶ時期

(SA)

- 成年後見人を選ぶ時期は、「自分の意思のあるうちに選ぶ」が50.7%、「わからない」が45.3%、「認知症になってから選ぶ」が2.5%となっています。
- 前回調査に比べ、「わからない」が5.3ポイント増加しています。
- 性別にみると、“男性”では「わからない」が最も高くなっています。



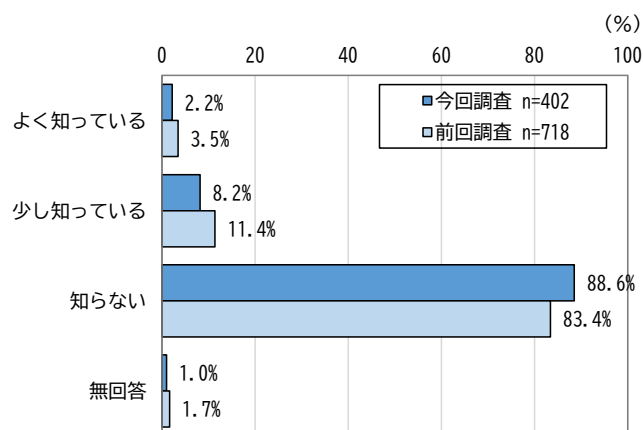
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q53.成年後見人を選ぶ時期				
		自分の意思のあるうちに選ぶ	認知症になってから選ぶ	わからない	無回答	
全体	402	204	10	182	6	
	100.0	50.7	2.5	45.3	1.5	
性別	男性	179	83	6	89	1
		100.0	46.4	3.4	49.7	0.6
女性	214	116	4	89	5	
		100.0	54.2	1.9	41.6	2.3

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q54. 川口市成年後見センター業務の認知度

(SA)

- 川口市成年後見センター業務の認知度は、「知らない」が約9割となっています。
- 前回調査に比べ、「知らない」が5.2ポイント増加しています。
- 性別にみると、男女ともに「知らない」が最も高いなかでも、“男性”が“女性”に比べて4.7ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、50代・60代ともに「知らない」が最も高いなかでも、“55～59歳”が“60～64歳”に比べて6.5ポイント高くなっています。

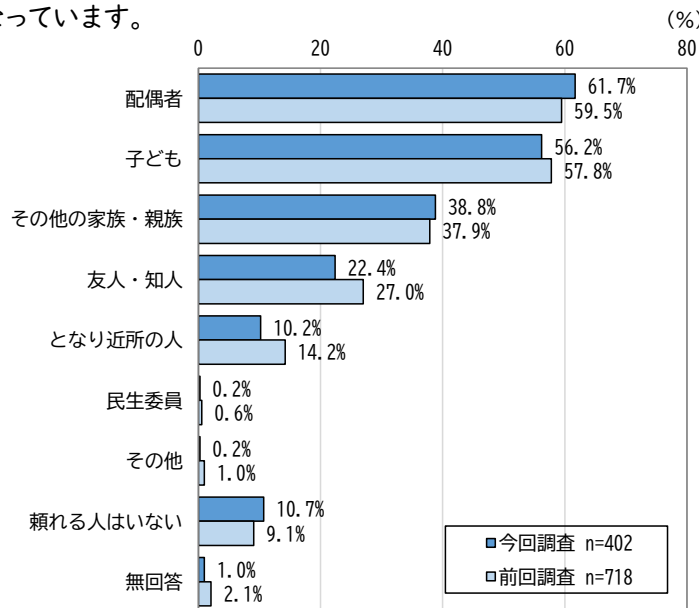


【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q54.川口市成年後見センター業務の認知度				
		よく知っている	少し知っている	知らない	無回答	
全体	402	9	33	356	4	
	100.0	2.2	8.2	88.6	1.0	
性別	男性	179	1	15	163	0
	100.0	0.6	8.4	91.1	0.0	
女性	214	8	17	185	4	
	100.0	3.7	7.9	86.4	1.9	
年齢	55～59歳	188	4	10	173	1
	100.0	2.1	5.3	92.0	0.5	
60～64歳	207	5	22	177	3	
	100.0	2.4	10.6	85.5	1.4	

Q55. 災害の際に頼れる人

(MA)

- 災害の際に頼れる人は、「配偶者」が61.7%で最も高く、次いで「子ども」が56.2%、「その他の家族・親族」が38.8%となっています。また、「頼れる人はいない」は10.7%となっています。
- 前回調査に比べ、最も増加したのは「配偶者」(2.2ポイント増加)、最も減少したのは「友人・知人」(4.6ポイント減少)となっています。
- 性別にみると、“女性”では「子ども」が最も高くなっています。また、「頼れる人はいない」は“男性”が“女性”に比べて10.6ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「その他の家族・親族」は“55～59歳”が“60～64歳”に比べて12.8ポイント高くなっています。
- 世帯状況別にみると、“ひとり暮らし” “高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)”では「頼れる人はいない」が最も高くなっています。



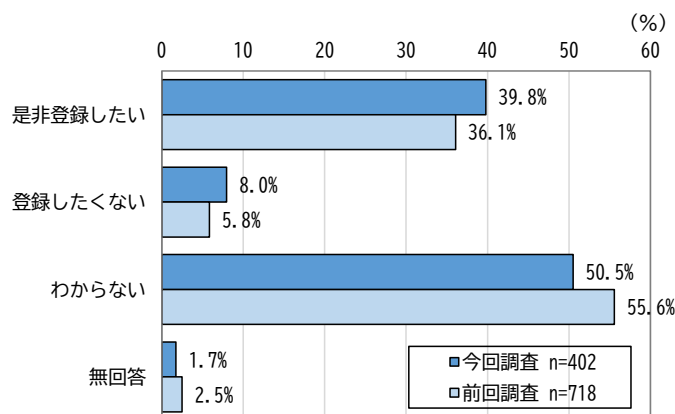
【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)	合計	Q55.災害の際に頼れる人									
		配偶者	子ども	その他の 家族・親 族	友人・知 人	となり近 所の人	民生委員	その他	頼れる人 はいない	無回答	
全体	402 100.0	248 61.7	226 56.2	156 38.8	90 22.4	41 10.2	1 0.2	1 0.2	43 10.7	4 1.0	
性別	男性	179 100.0	108 60.3	84 46.9	66 36.9	40 22.3	14 7.8	0 0.0	0 0.0	29 16.2	0 0.0
	女性	214 100.0	135 63.1	138 64.5	87 40.7	50 23.4	27 12.6	1 0.5	1 0.5	12 5.6	4 1.9
年齢	55～59歳	188 100.0	117 62.2	98 52.1	86 45.7	46 24.5	17 9.0	0 0.0	0 0.0	18 9.6	2 1.1
	60～64歳	207 100.0	127 61.4	125 60.4	68 32.9	44 21.3	24 11.6	1 0.5	1 0.5	24 11.6	2 1.0
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	7 10.9	13 20.3	21 32.8	15 23.4	4 6.3	0 0.0	0 0.0	22 34.4	1 1.6
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	94 81.0	62 53.4	31 26.7	25 21.6	11 9.5	1 0.9	0 0.0	6 5.2	1 0.9
	子どもの家族と同居	30 100.0	25 83.3	21 70.0	11 36.7	5 16.7	5 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3
	未婚の子どもと同居	102 100.0	79 77.5	83 81.4	47 46.1	28 27.5	10 9.8	0 0.0	1 1.0	2 2.0	0 0.0
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	4 13.3	9 30.0	10 33.3	7 23.3	4 13.3	0 0.0	0 0.0	10 33.3	1 3.3
	その他	54 100.0	36 66.7	35 64.8	34 63.0	10 18.5	7 13.0	0 0.0	0 0.0	2 3.7	0 0.0

3. 市民アンケート調査（2号被保険者）

Q56. 避難行動要支援者登録制度について

(SA)

- 避難行動要支援者登録制度については、「わからない」が50.5%、「是非登録したい」が39.8%、「登録したくない」が8.0%となっています。
- 前回調査に比べ、「是非登録したい」が3.7ポイント高くなっています。
- 性別にみると、「是非登録したい」は“女性”が“男性”に比べて7.8ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「是非登録したい」は“60～64歳”が“55～59歳”に比べて4.3ポイント高くなっています。
- 世帯状況別にみると、“高齢者のみ（高齢の親や兄弟と同居）”“その他”では「是非登録したい」が最も高くなっています。



【単位】 上段:実数(人) 下段:割合(%)		合計	Q56.避難行動要支援者登録制度について			
			是非登録 したい	登録した くない	わからな い	無回答
全体		402 100.0	160 39.8	32 8.0	203 50.5	7 1.7
性別	男性	179 100.0	63 35.2	15 8.4	100 55.9	1 0.6
	女性	214 100.0	92 43.0	17 7.9	99 46.3	6 2.8
年齢	55～59歳	188 100.0	70 37.2	15 8.0	102 54.3	1 0.5
	60～64歳	207 100.0	86 41.5	16 7.7	99 47.8	6 2.9
世帯状況	ひとり暮らし	64 100.0	21 32.8	8 12.5	34 53.1	1 1.6
	夫婦ふたり暮らし	116 100.0	51 44.0	4 3.4	59 50.9	2 1.7
	子どもの家族と同居	30 100.0	7 23.3	3 10.0	19 63.3	1 3.3
	未婚の子どもと同居	102 100.0	37 36.3	9 8.8	56 54.9	0 0.0
	高齢者のみ(高齢の親や兄弟と同居)	30 100.0	14 46.7	1 3.3	13 43.3	2 6.7
	その他	54 100.0	26 48.1	7 13.0	20 37.0	1 1.9

●自由意見

(FA)

○自由記述の意見は、73人から87件ありました。分野別の記述例は次表のとおりですが、「市政」が最も多くなっています。

分類	記述例	件数(件)
市政	高齢者施策や制度の充実。さいたま市社協の高齢者あんしん事業と同様の制度の導入。高齢者や障害者が通いやすい病院が増えるといふ。介護や高齢者について特に40代や50代に学ぶ機会を。子ども人口を増やし、高齢者が住みやすいまちづくり。等	15
不安、心配、困りごと	先々体調が不安。介護の為に仕事を辞めたが、収入ゼロでいつまで頑張れるか心配。介護保険利用料負担が不安。等	11
情報提供、相談対応、手続き	高齢者対応の部署についての高齢者への広報。高齢者福祉サービスについてのガイドブック(種類、内容、利用方法等)。後見人の手続きの簡素化。等	10
介護施設	低料金で入所できる介護施設を増やしてほしい。要介護3までいかないがひとり暮らしでは不安な高齢者が暮らせるケアハウスのような施設があればよい。等	8
介護保険サービス、介護保険制度	介護人材の確保。介護職員の就労環境の向上(処遇改善等)。低料金の訪問ホームヘルパー活用。介護事業者の評価制度や評価結果の公表。等	8
アンケート調査	年齢を早めてアンケートをすべき。老人扱いした質問が多くアンケート自体が気分が悪くなる。介護保険制度等、今回アンケートされたことを全く知らなかったので逆に勉強になった。等	6
介護予防、健康づくり、交流	生き生き体操に男性が参加しやすい施策を。介護予防に力を入れる(公園での体操教室、食事・運動等の講座開催等)。等	4
介護保険料等経済面	介護費用や介護保険料を安くしてほしい。等	3
近況、健康状況	まずは何でも自分でできるよう、人に頼らず生活していきたい。等	3
感謝	市の職員の方々には感謝しています。等	3
その他	今後、自分の体のことや介護のことを含め考えたい。介護の問題は自分の置かれている状況により必要となる制度を少しでも早く知ろうとしないといけないと思う。等	10
特になし	特になし。	3
よくわからない	高齢者という実感が無いのでわかりません。	3

4. 調査対象者別の比較

4. 調査対象者別の比較

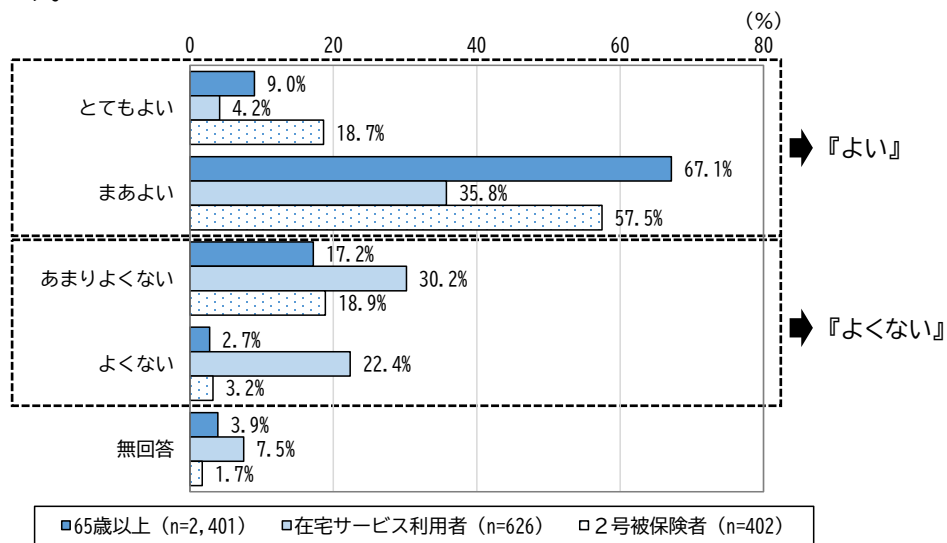
各調査共通の設問について、調査対象者ごとに比較した結果は、以下の通りとなっています。

■3種(65歳以上、在宅サービス利用者、2号被保険者)の比較

●主観的健康感

○主観的健康感について比較すると、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』は、“2号被保険者”が76.2%で最も高く、次いで“65歳以上”が76.1%、“在宅サービス利用者”が40.0%となっています。

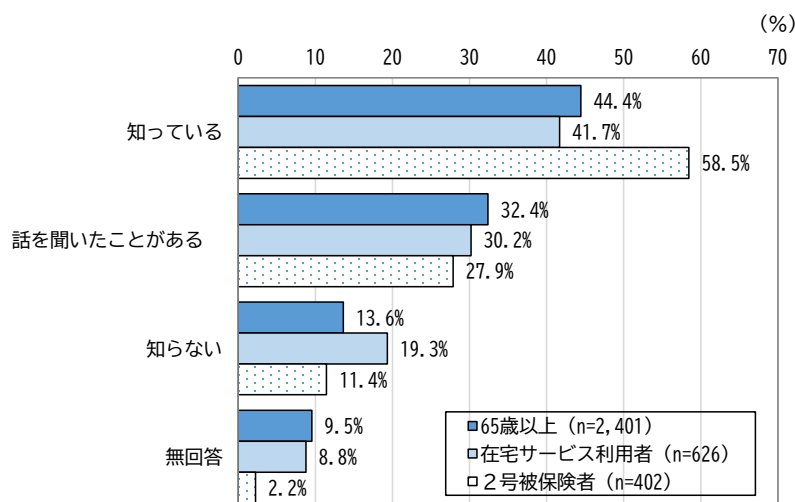
○「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は、“在宅サービス利用者”が過半数となり最も高くなっています。



●介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知

○介護サービス提供者へのハラスメントに関する社会問題の認知について比較すると、「知っている」は“2号被保険者”が58.5%で最も高く、次いで“65歳以上”が44.4%、“在宅サービス利用者”が41.7%となっています。

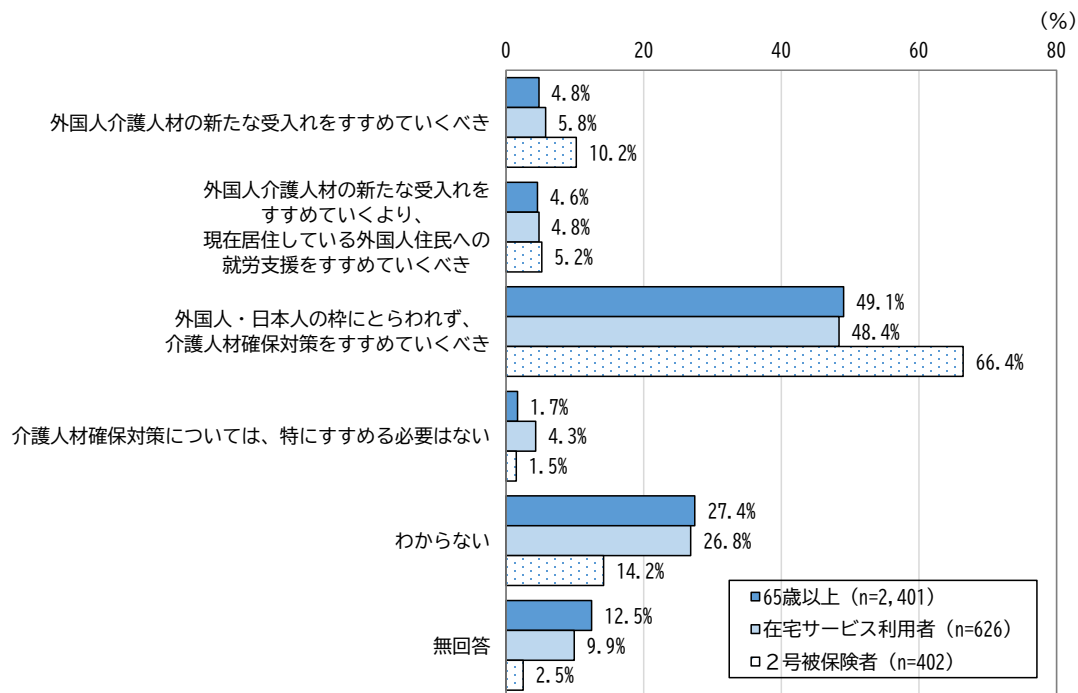
○「知らない」は“在宅サービス利用者”が約2割で最も高くなっています。



●外国人介護人材受け入れに関する考え

○外国人介護人材受け入れに関する考えについて比較すると、3種ともに「外国人・日本人の枠にとらわれず、介護人材確保対策をすすめていくべき」が最も高いなかでも、“2号被保険者”が66.4%で他の2種に比べて15ポイント以上高くなっています。

○また、“65歳以上”と“在宅サービス利用者”では、「わからない」が約3割となり、“2号被保険者”に比べて高くなっています。

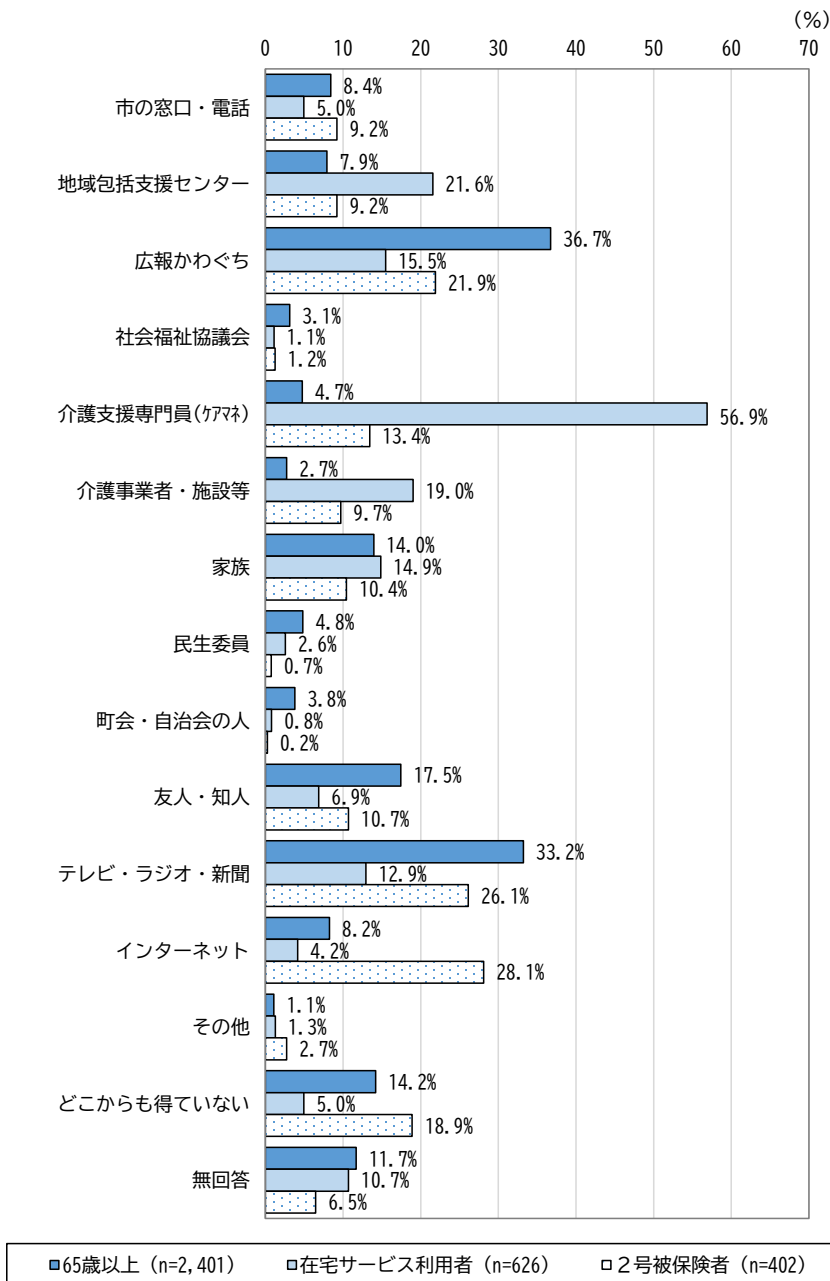


4. 調査対象者別の比較

●高齢者福祉に関する情報の入手先

○高齢者福祉に関する情報の入手先について比較すると、“65歳以上”では「広報かわぐち」、「在宅サービス利用者」では「介護支援専門員(ケアマネ)」、「2号被保険者」では「インターネット」がそれぞれ最も高くなり、対象者ごとに差がみられます。

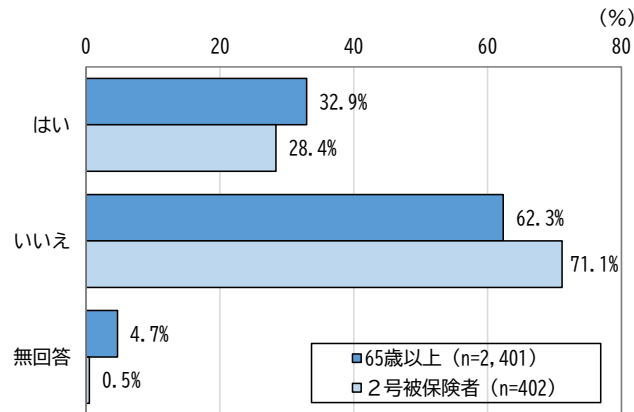
○「どこからも得ていない」は“2号被保険者”が約2割で最も高くなっています。



■65歳以上と2号被保険者(55～64歳)の比較

●認知症に関する相談窓口の認知度

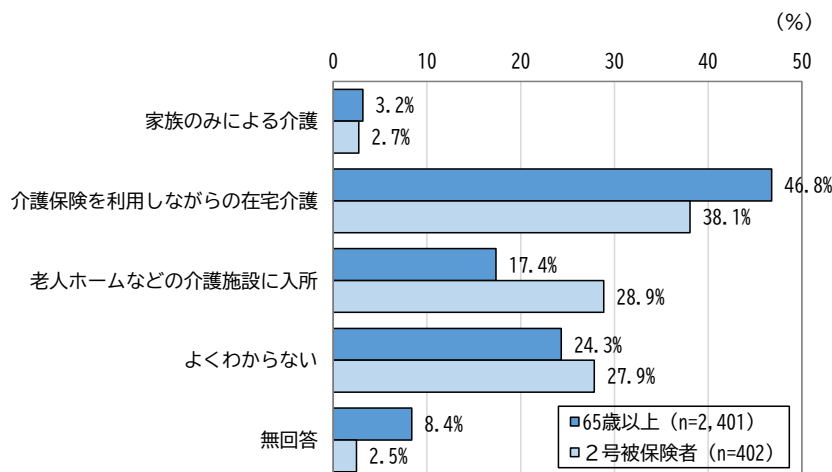
○認知症に関する相談窓口の認知度について比較すると、「はい」の割合は“65歳以上”が“2号被保険者”に比べて4.5ポイント高くなっています。



●介護が必要になった場合、望む介護

○介護が必要になった場合、望む介護について比較すると、2種ともに「介護保険を利用しながらの在宅介護」が最も高いなかでも、“65歳以上”が“2号被保険者”に比べて8.7ポイント高くなっています。

○「老人ホームなどの介護施設に入所」については、“2号被保険者”が“65歳以上”に比べて11.5ポイント高くなっています。

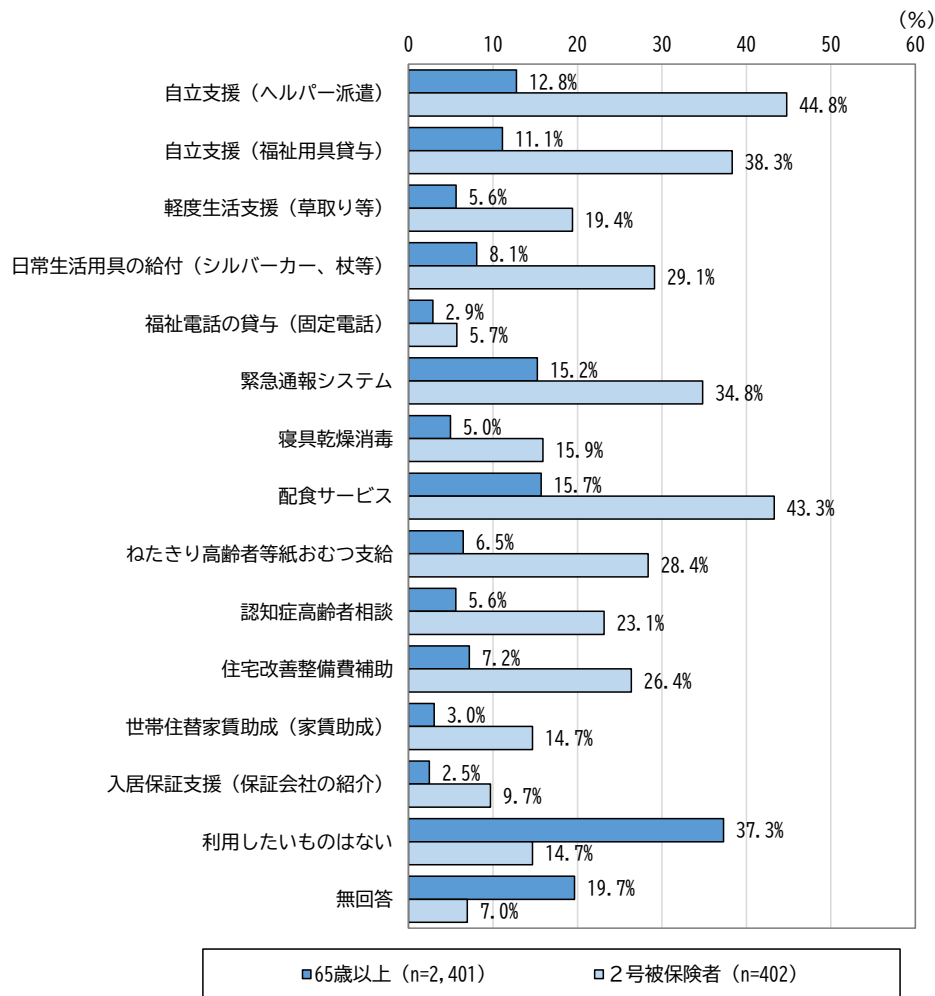


4. 調査対象者別の比較

●将来利用してみたいと思うサービス

○将来利用してみたいと思うサービスについて比較すると、「利用したいものはない」は“65歳以上”が“2号被保険者”に比べて22.6ポイント高く、すべてのサービスにおいて“2号被保険者”の方が高くなっています。

○利用してみたいと思うサービスは、“65歳以上”では「配食サービス」、「2号被保険者」では「自立支援（ヘルパー派遣）」が最も高くなっています。



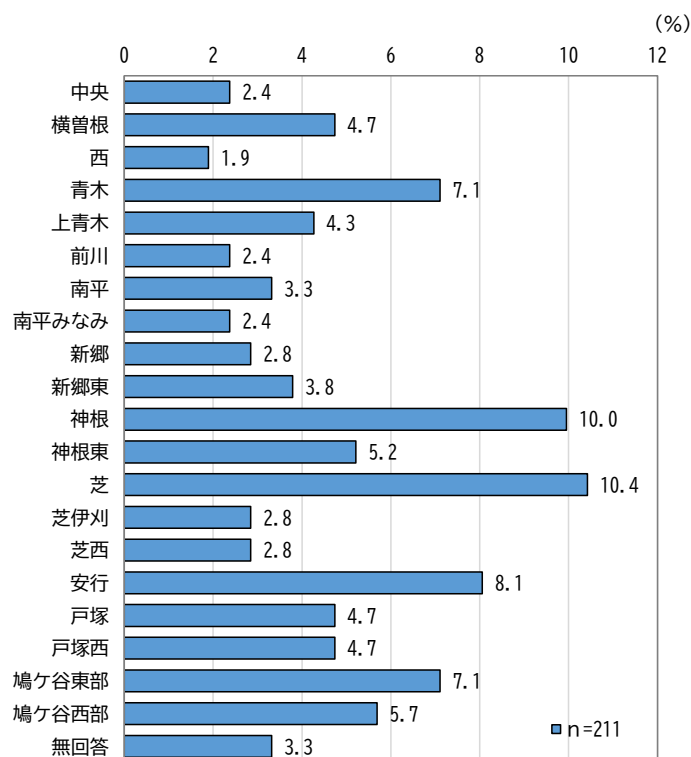
III 事業所アンケート調査

1. 全事業所対象設問

Q1. 事業所の所在地

(SA)

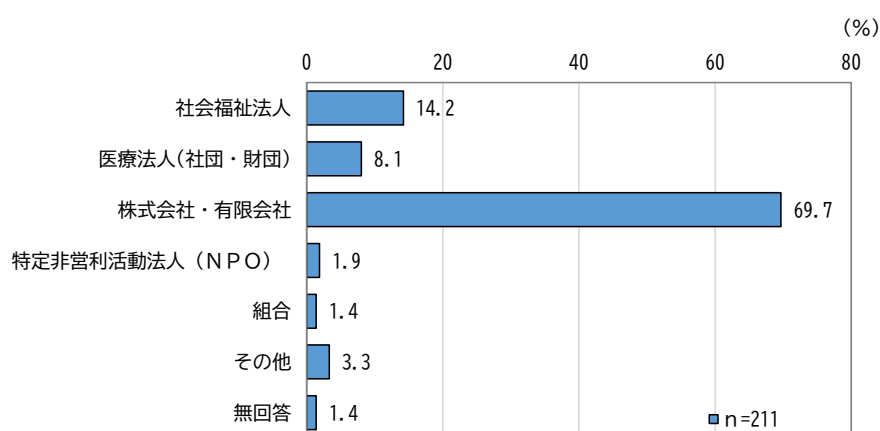
○事業所の所在地は、「芝」が10.4%で最も高く、次いで「神根」が10.0%、「安行」が8.1%の順となっています。



Q2. 経営主体

(SA)

○経営主体は、「株式会社・有限会社」が69.7%と最も高く、次いで「社会福祉法人」「医療法人(社団・財団)」の順となっています。



III 事業所アンケート調査結果

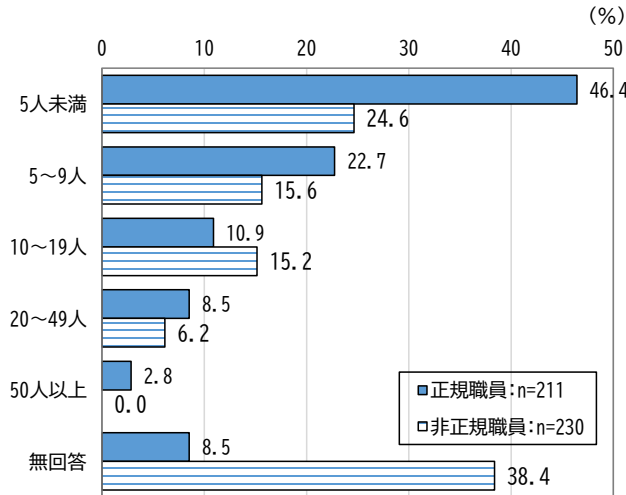
Q3. 介護職員の総数(正規職員数と非正規職員数)

(NA)

○介護職員のうち正規職員数は「5人未満」が46.4%と最も高く、次いで「5～9人」が22.7%、「10～19人」が10.9%の順となっています。

○正規職員数が9人以下の事業所は、非正規職員の方が多く、正規職員数が多いほど、非正規職員の割合が低い傾向がみられます。

○正規職員数を経営主体別にみると、「社会福祉法人」は「20～49人」が33.3%、「医療法人(社団・財団)」は「5～9人」が29.4%で最も高くなっています。



正規職員数	平均非職員数 (人)	非正規割合 (%)
5人未満	4.7	167.1
5～9人	7.9	129.4
10～19人	8.2	62.3
20～49人	15.7	48.1
50人以上	9.5	15.2

	合計	Q3. ①正規職員の人数					
		5人未満	5人～9人	10～19人	20～49人	50人以上	無回答
全体	211	98	48	23	18	6	18
	100.0	46.4	22.7	10.9	8.5	2.8	8.5
Q2. 経営主体							
社会福祉法人	30	3	7	3	10	4	3
	100.0	10.0	23.3	10.0	33.3	13.3	10.0
医療法人(社団・財団)	17	4	5	4	3	0	1
	100.0	23.5	29.4	23.5	17.6	0.0	5.9
株式会社・有限会社	147	79	33	15	5	2	13
	100.0	53.7	22.4	10.2	3.4	1.4	8.8
特定非営利活動法人(NPO)	4	3	0	1	0	0	0
	100.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
組合	3	2	1	0	0	0	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	6	1	0	0	0	0
	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

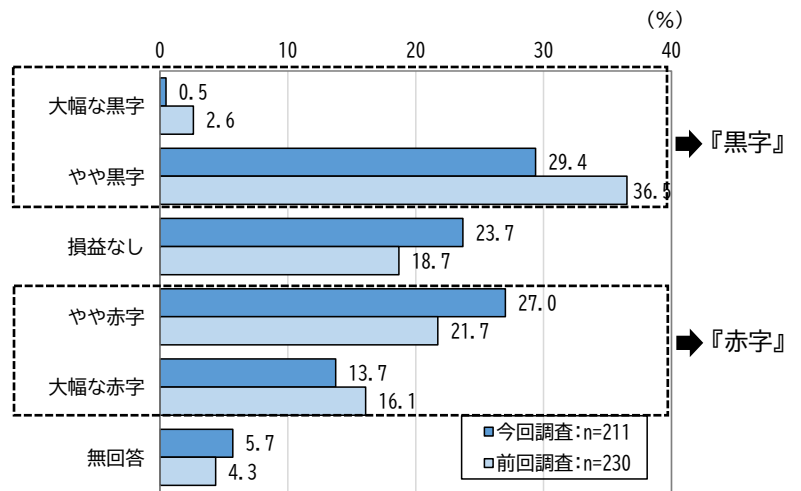
	合計	②非正規職員の人数					
		5人未満	5人～9人	10～19人	20～49人	50人以上	無回答
全体	211	52	33	32	13	0	81
	100.0	24.6	15.6	15.2	6.2	0.0	38.4
Q2. 経営主体							
社会福祉法人	30	7	5	9	5	0	4
	100.0	23.3	16.7	30.0	16.7	0.0	13.3
医療法人(社団・財団)	17	5	3	2	1	0	6
	100.0	29.4	17.6	11.8	5.9	0.0	35.3
株式会社・有限会社	147	34	24	19	7	0	63
	100.0	23.1	16.3	12.9	4.8	0.0	42.9
特定非営利活動法人(NPO)	4	2	0	0	0	0	2
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
組合	3	2	0	1	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
その他	7	1	0	1	0	0	5
	100.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	71.4

III 事業所アンケート調査結果

Q4. 昨年度の事業の採算

(SA)

- 昨年度の事業の採算は、「大幅な黒字」と「やや黒字」を合わせた『黒字』が29.9%、「やや赤字」と「赤字」を合わせた『赤字』が40.7%となっており、『赤字』のほうが10.8ポイント高くなっています。
- 前回調査に比べ『黒字』が9.2ポイント減少しています。
- 経営主体別にみると、“社会福祉法人”の『黒字』が43.3%と最も高くなっています。

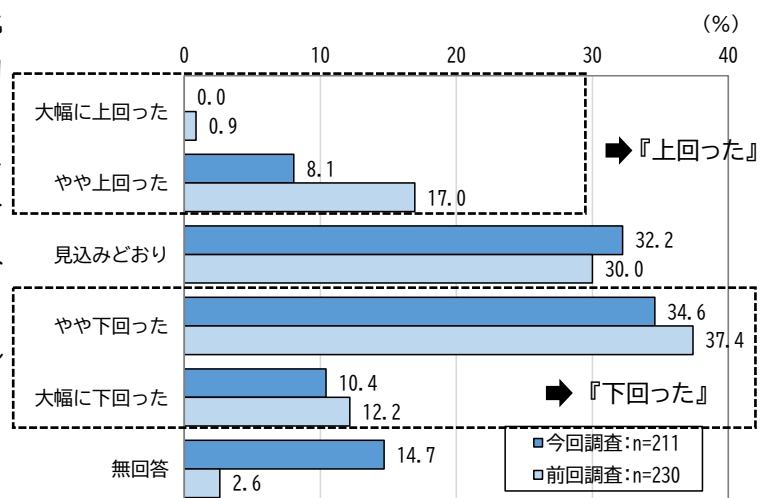


	合計	Q4. 昨年度の事業の採算					
		大幅な黒字	やや黒字	損益なし	やや赤字	大幅な赤字	無回答
全体	211	1	62	50	57	29	12
	100.0	0.5	29.4	23.7	27.0	13.7	5.7
Q2. 経営主体	30	0	13	7	5	4	1
社会福祉法人	100.0	0.0	43.3	23.3	16.7	13.3	3.3
医療法人(社団・財団)	17	0	5	5	4	3	0
	100.0	0.0	29.4	29.4	23.5	17.6	0.0
株式会社・有限会社	147	1	41	34	42	21	8
	100.0	0.7	27.9	23.1	28.6	14.3	5.4
特定非営利活動法人(NPO)	4	0	1	1	2	0	0
	100.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
組合	3	0	1	0	1	0	1
	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
その他	7	0	1	3	1	1	1
	100.0	0.0	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3

Q5. 昨年度の事業の採算の当初見込みとの比較

(SA)

- 昨年度の事業の採算を当初見込みと比較すると、「大幅に上回った」と「やや上回った」を合わせた『上回った』が8.1%、「やや下回った」と「大幅に下回った」を合わせた『下回った』が45.0%となっており、『下回った』のほうが36.9ポイント高くなっています。
- 前回調査に比べ『上回った』が9.8ポイント減少しています。



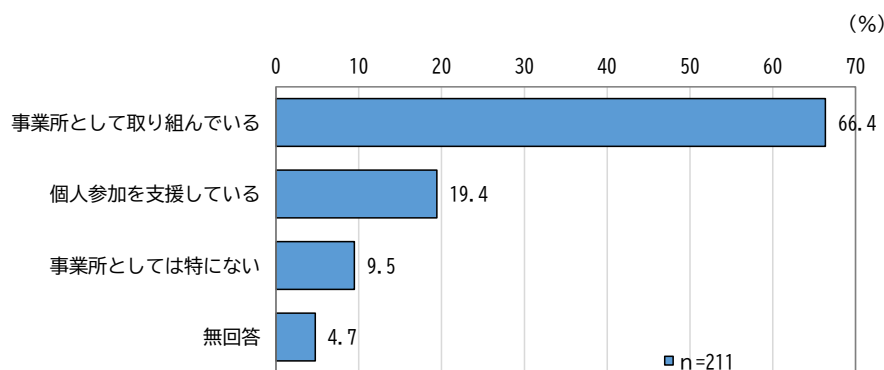
III 事業所アンケート調査結果

Q6. 事業所としてのスタッフの研修や資格取得の取り組み

(SA)

○「事業所として取り組んでいる」が66.4%で最も高く、次いで「個人参加を支援している」が19.4%、「事業所としては特にない」が9.5%の順となっています。

○経営主体別にみると、「事業所としては特にない」は、“株式会社・有限会社”の13.6%のみとなっています。



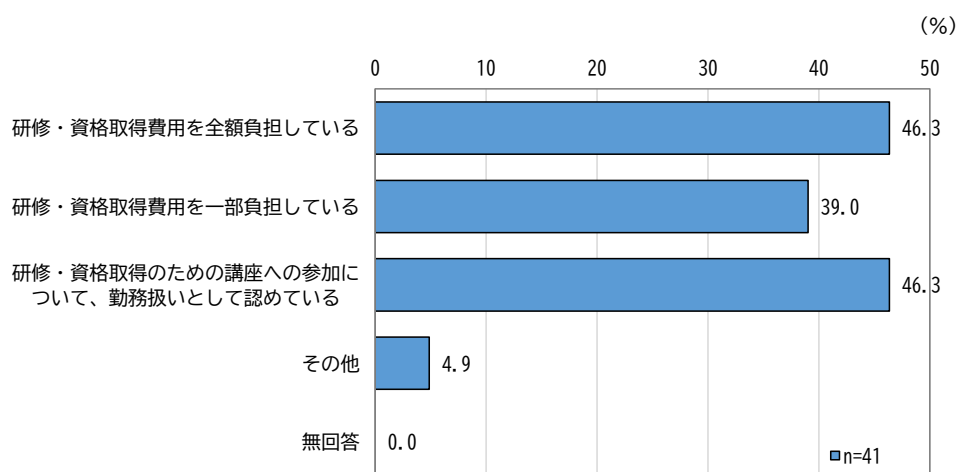
		合計	Q6. 事業所としてのスタッフの研修や資格取得の取り組み			
			事業所として取り組んでいる	個人参加を支援している	事業所としては特にない	無回答
全体		211 100.0	140 66.4	41 19.4	20 9.5	10 4.7
Q2. 経営主体	社会福祉法人	30 100.0	24 80.0	5 16.7	0 0.0	1 3.3
	医療法人(社団・財団)	17 100.0	13 76.5	3 17.6	0 0.0	1 5.9
	株式会社・有限会社	147 100.0	93 63.3	29 19.7	20 13.6	5 3.4
	特定非営利活動法人(NPO)	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	組合	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	7 100.0	2 28.6	3 42.9	0 0.0	2 28.6

Q6-1. 個人参加への支援の方法

(MA)

【Q6で「個人参加を支援している」を選択した方のみ】

○「研修・資格取得費用を全額負担している」と「研修・資格取得のための講座への参加について、勤務扱いとして認めている」が同率の46.3%となっています。

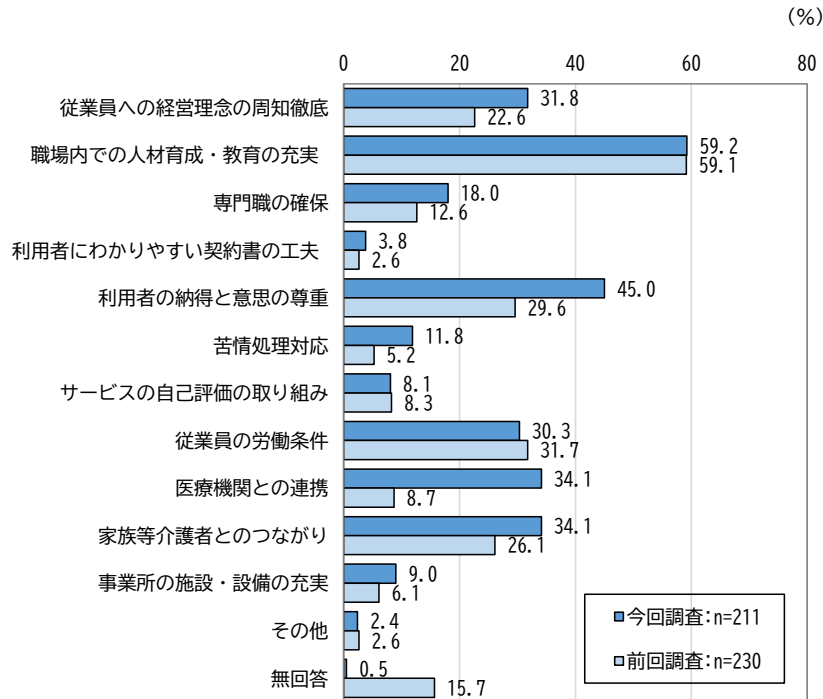


III 事業所アンケート調査結果

Q7. サービスの質の向上に向けた課題や取り組み

(MA)

- 「職場内での人材育成・教育の充実」が59.2%で最も高く、次いで「利用者の納得と意思の尊重」が45.0%、「医療機関との連携」と「家族等介護者とのつながり」が同率の34.1%となっています。
- 前回調査に比べ、「利用者の納得と意思の尊重」が15.4ポイント増加しています。
- 経営主体別にみると、“特定非営利活動法人(NPO)”“組合”“その他”では、「利用者の納得と意思の尊重」が高くなっています。



	合計	Q7. サービスの質の向上に向けた課題や取り組み												
		従業員への経営理念の周知徹底	職場内での人材育成・教育の充実	専門職の確保	利用者にわかりやすい契約書の工夫	利用者の納得と意思の尊重	苦情処理対応	サービスの自己評価の取り組み	従業員の労働条件	医療機関との連携	家族等介護者とのつながり	事業所の施設・設備の充実	その他	無回答
全体	211	67	125	38	8	95	25	17	64	72	72	19	5	1
100.0	100.0	31.8	59.2	18.0	3.8	45.0	11.8	8.1	30.3	34.1	34.1	9.0	2.4	0.5
Q2. 経営主体														
社会福祉法人	30	11	22	9	1	12	3	3	6	6	6	5	0	0
100.0	100.0	36.7	73.3	30.0	3.3	40.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	16.7	0.0	0.0
医療法人(社団・財団)	17	3	12	1	0	8	2	1	6	7	6	3	0	0
100.0	100.0	17.6	70.6	5.9	0.0	47.1	11.8	5.9	35.3	41.2	35.3	17.6	0.0	0.0
株式会社・有限会社	147	52	85	28	7	61	18	12	49	49	53	11	4	0
100.0	100.0	35.4	57.8	19.0	4.8	41.5	12.2	8.2	33.3	33.3	36.1	7.5	2.7	0.0
特定非営利活動法人(NPO)	4	0	0	0	0	4	1	0	2	1	4	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0
組合	3	0	2	0	0	3	1	0	0	3	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	1	3	0	0	5	0	1	0	5	2	0	1	0
100.0	100.0	14.3	42.9	0.0	0.0	71.4	0.0	14.3	0.0	71.4	28.6	0.0	14.3	0.0

Q8. サービスの提供体制

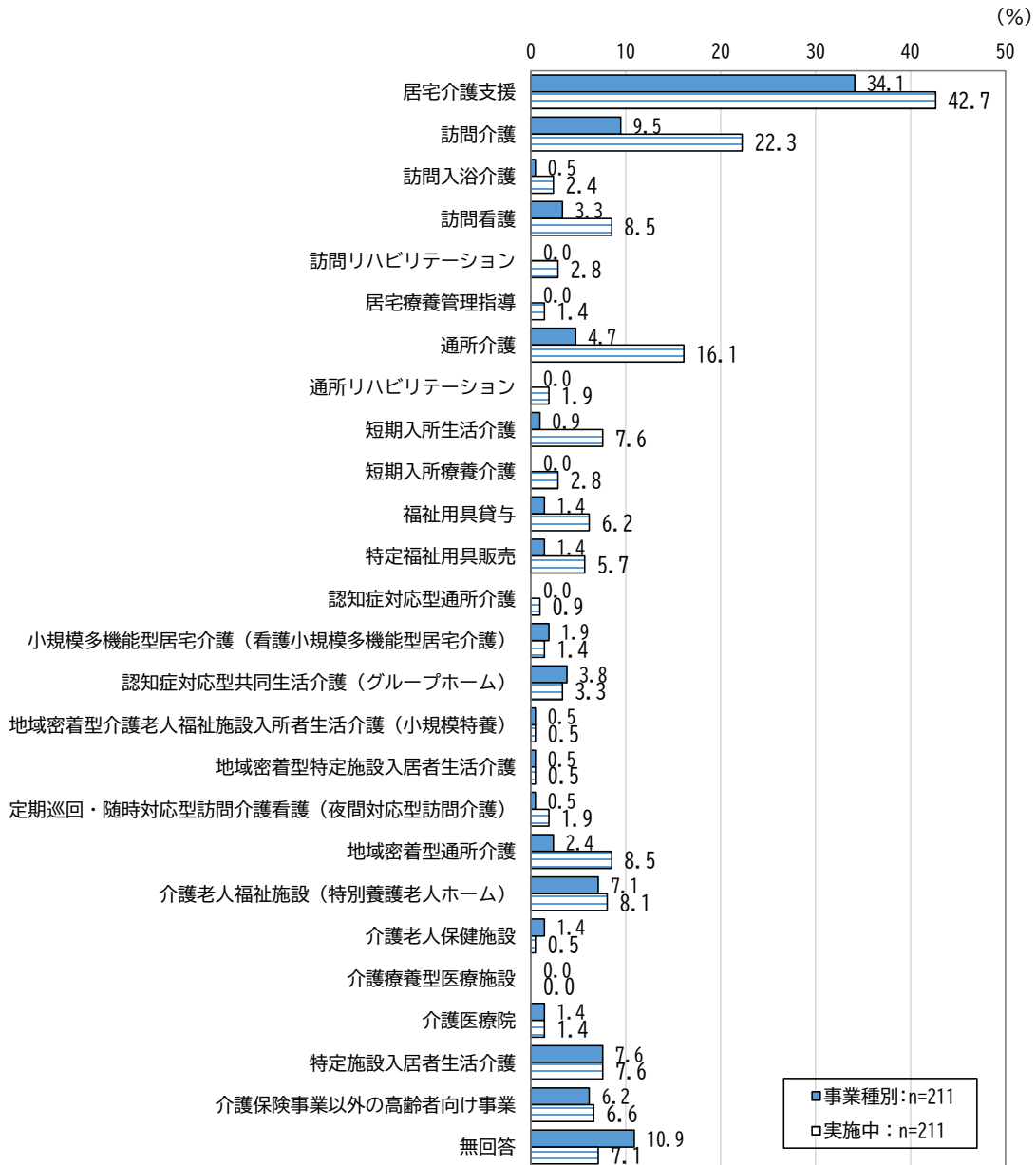
(SA)

①事業種別サービス

○事業種別サービスとしては、「居宅介護支援」が34.1%で最も高く、次いで「訪問介護」が9.5%、「特定施設入居者生活介護」が7.6%の順となっています。

②現在実施中のサービス

○現在実施中のサービスは「居宅介護支援」が42.7%で最も高く、次いで「訪問介護」が22.3%、「通所介護」が16.1%の順となっています。

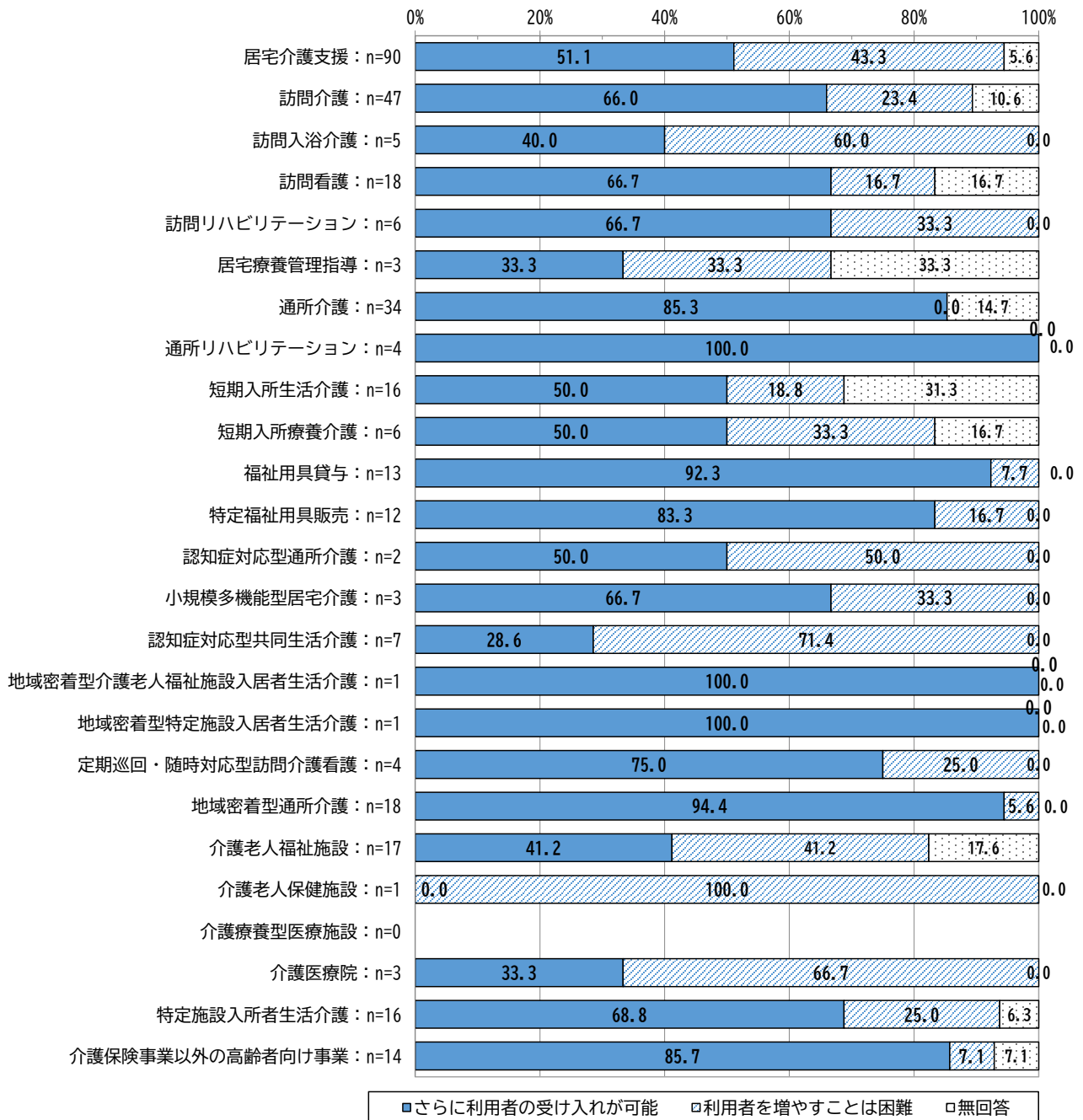


III 事業所アンケート調査結果

③今後のサービス提供体制

○「さらに利用者の受け入れが可能」は、“通所リハビリテーション”“地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）”“地域密着型特定施設入居者生活介護”の3つのサービスが100%となっています。

○「利用者を増やすことは困難」は施設・居住系サービスである“介護老人保健施設”が100%、“認知症対応型共同生活介護（グループホーム）”71.4%、“介護医療院”66.7%、“訪問入浴介護”60.0%の4サービスが高くなっています。

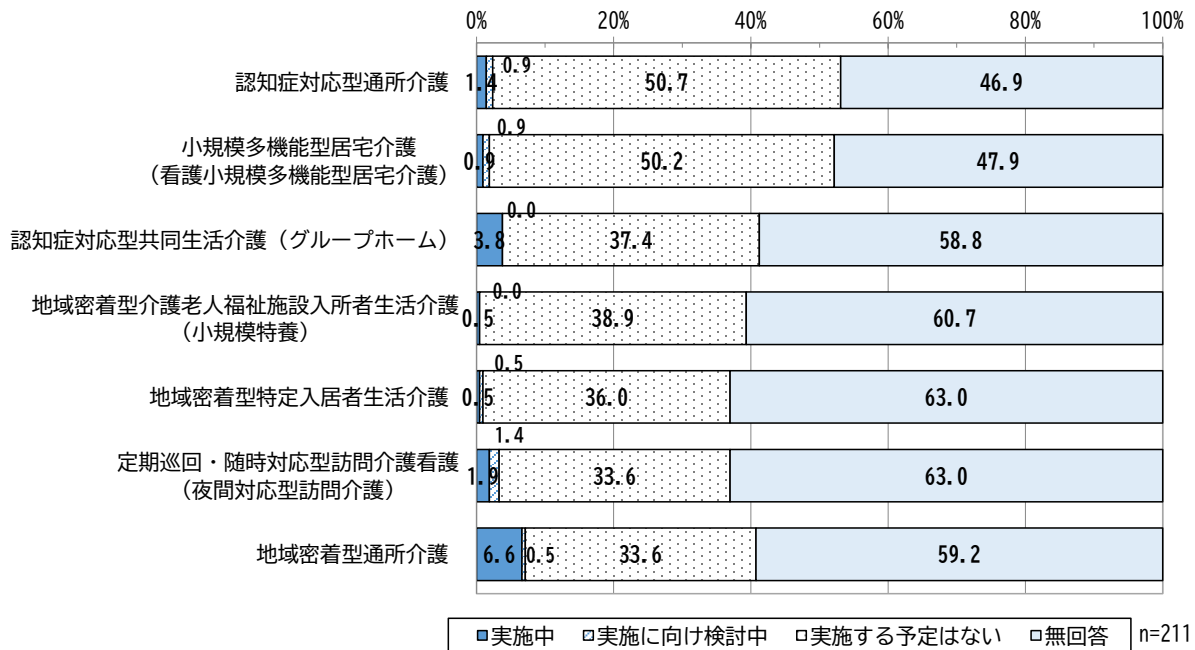


Q9. 地域密着型サービスの実施の方向性

①実施の方向性(SA)

○「実施中」は、“地域密着型通所介護”が6.6%で最も高く、次いで“認知症対応型共同生活介護(グループホーム)”3.8%、“定期巡回・随時対応型訪問介護看護(夜間対応型訪問介護)”が1.9%の順となっています。

○「実施に向け検討中」は、“定期巡回・随時対応型訪問介護看護(夜間対応型訪問介護)”の1.4%、が最も高く、“認知症対応型共同生活介護(グループホーム)”と“地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特養)”は0%となっています。



②実施する予定がない理由(MA)

○実施する予定がない理由は、すべてのサービスにおいて「職員などのマンパワーが確保できない」が最も高くなっています。

○“地域密着型通所介護”は、「その他」も同率で高くなっています。

サービス種別	Q9②. 地域密着型サービスについて実施する予定がない理由						
	現在提供しているサービスの種別と全く関連がない	職員などのマンパワーの確保ができない	コストに合わない	設備投資に費用がかかる	運営基準を満たすことが困難	その他	無回答
認知症対応型通所介護 (n=107)	20.6	32.7	8.4	13.1	17.8	16.8	13.1
小規模多機能型居宅介護 (看護小規模多機能型居宅介護) (n=106)	19.8	31.1	10.4	15.1	17.9	16.0	14.2
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) (n=79)	17.7	31.6	7.6	19.0	13.9	22.8	12.7
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (小規模特養) (n=79)	17.7	31.6	6.3	15.2	15.2	21.5	13.9
地域密着型特定入居者生活介護 (n=76)	18.4	31.6	7.9	14.5	11.8	22.4	14.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (夜間対応型訪問介護) (n=71)	16.9	35.2	11.3	8.5	16.9	21.1	15.5
地域密着型通所介護 (n=71)	18.3	25.4	9.9	12.7	11.3	25.4	16.9

III 事業所アンケート調査結果

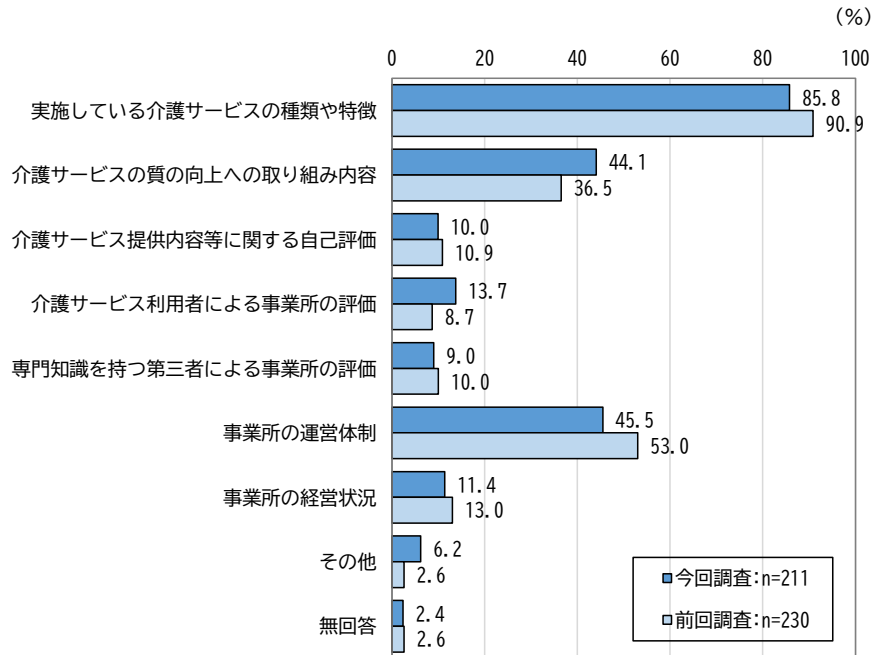
Q10. 利用者や市民へ提供している情報

(MA)

○「実施している介護サービスの種類や特徴」が85.8%で最も高く、次いで「事業所の運営体制」が45.5%、「介護サービスの質の向上への取り組み内容」が44.1%の順となっています。

○前回調査に比べ、「介護サービスの質の向上への取り組み内容」と「介護サービス利用者による事業所の評価」が高くなっています。

○経営主体別にみても、大きな違いは見られません。



	合計	Q10. 利用者や市民へ提供している情報									
		実施している介護サービスの種類や特徴	介護サービスの質の向上への取り組み内容	介護サービス提供内容等に関する自己評価	介護サービス利用者による事業所の評価	専門知識を持つ第三者による事業所の評価	事業所の運営体制	事業所の経営状況	その他	無回答	
全体	211 100.0	181 85.8	93 44.1	21 10.0	29 13.7	19 9.0	96 45.5	24 11.4	13 6.2	5 2.4	
Q2. 経営主体	社会福祉法人	30 100.0	27 90.0	14 46.7	2 6.7	3 10.0	2 6.7	20 66.7	13 43.3	1 3.3	2 6.7
	医療法人(社団・財団)	17 100.0	14 82.4	5 29.4	1 5.9	4 23.5	1 5.9	10 58.8	1 5.9	0 0.0	0 0.0
	株式会社・有限会社	147 100.0	126 85.7	68 46.3	13 8.8	19 12.9	15 10.2	61 41.5	9 6.1	10 6.8	3 2.0
	特定非営利活動法人(NPO)	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	組合	3 100.0	3 100.0	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	その他	7 100.0	6 85.7	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0

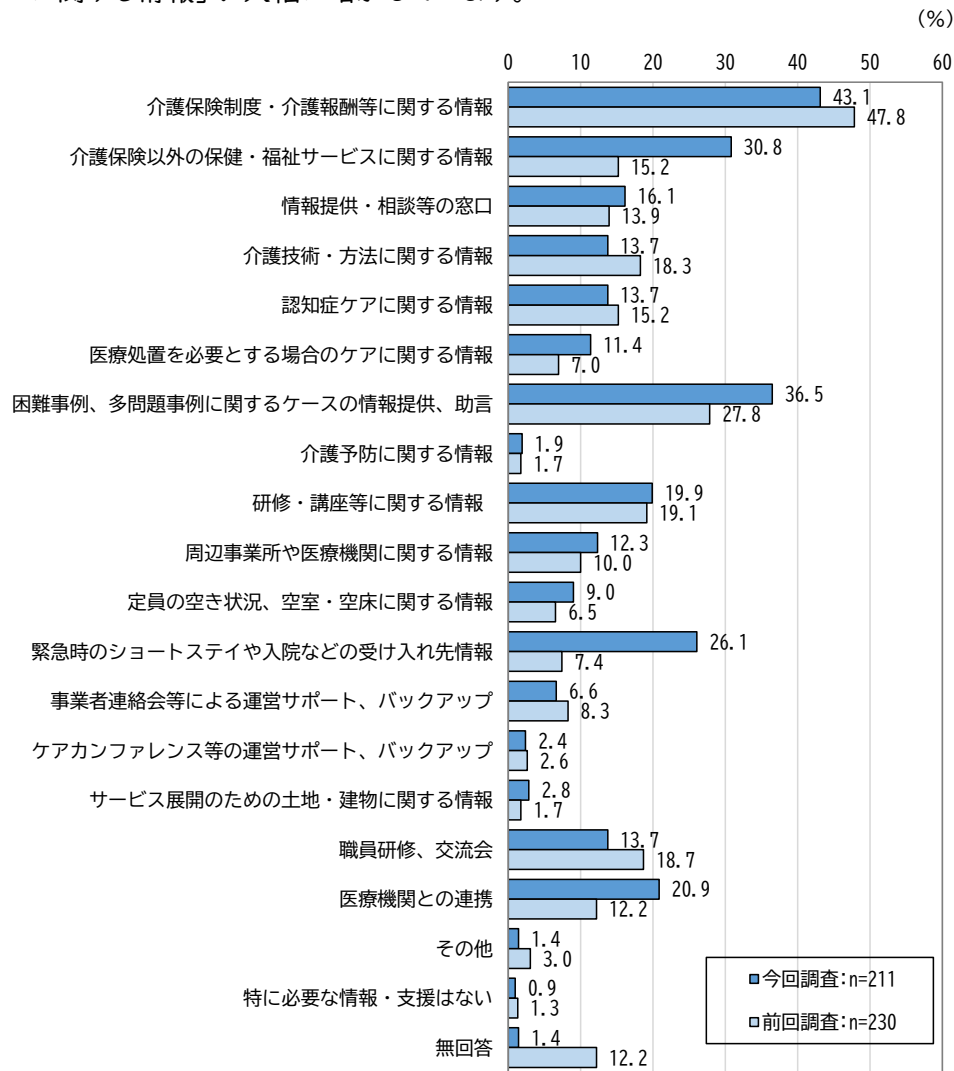
III 事業所アンケート調査結果

Q11. サービス向上のために必要な情報や支援

(MA)

○「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」が43.1%で最も高く、次いで「困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言」が36.5%、「介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報」が30.8%の順となっています。

○前回調査に比べ、「緊急時のショートステイや入院などの受け入れ先情報」「介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報」が大幅に増加しています。



III 事業所アンケート調査結果

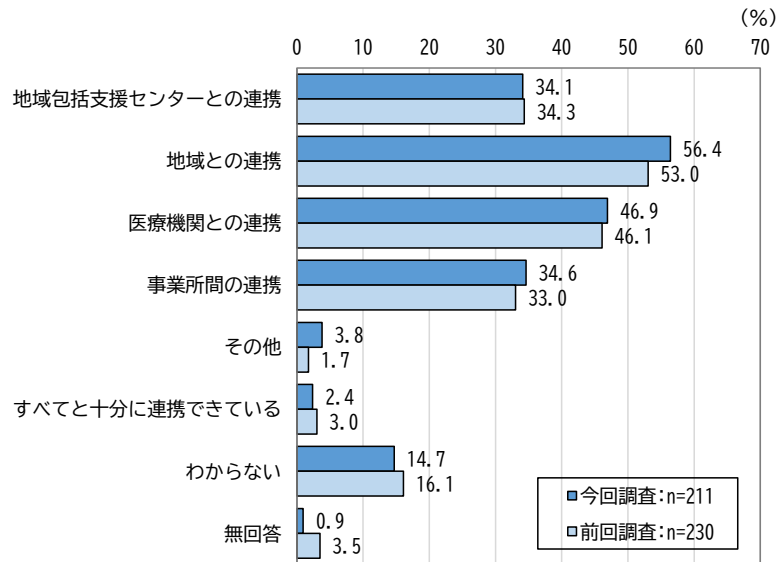
Q12. 地域包括ケアシステムの構築に当たり、連携が不足しているところ

(MA)

○「地域との連携」が56.4%で最も高く、次いで「医療機関との連携」が46.9%、「事業所間の連携」が34.6%の順となっています。

○前回調査に比べ、「地域との連携」が最も増加しています。

○経営主体別にみると、“特定非営利活動法人(NPO)”は「医療機関との連携」が最も高くなっています。



	合計	Q12. 地域包括ケアシステムの構築に当たり、連携が不足しているところ								
		地域包括支援センターとの連携	地域との連携	医療機関との連携	事業所間の連携	その他	すべてと十分に連携できている	わからない	無回答	
全体	211 100.0	72 34.1	119 56.4	99 46.9	73 34.6	8 3.8	5 2.4	31 14.7	2 0.9	
Q2. 経営主体	社会福祉法人	30 100.0	12 40.0	20 66.7	14 46.7	10 33.3	0 0.0	1 3.3	2 6.7	1 3.3
	医療法人(社団・財団)	17 100.0	11 64.7	13 76.5	8 47.1	7 41.2	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0
	株式会社・有限会社	147 100.0	45 30.6	79 53.7	69 46.9	48 32.7	7 4.8	4 2.7	24 16.3	1 0.7
	特定非営利活動法人(NPO)	4 100.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	組合	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	その他	7 100.0	1 14.3	3 42.9	4 57.1	5 71.4	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0

Q12-1. 連携をとるために、具体的に必要なもの

(FA)

○具体的に必要なものは、113事業所から123件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

意見内容	件数
地域との連携の場(民生委員、自治会、町会)	31
相互理解、話し合い、役割分担	19
情報提供	10
連絡・連携体制	9
人員の確保(相談員、専門的な意見を言える人)	7
情報収集・共有・発信	7
事業所同士の交流	7
運営会議や担当者会議の開催	6
医療機関との連携	6
地域包括支援センターとの連携	4
研修、勉強会	4
行政のかかわり	3
時間	2
意識改革	2
ICT化	1
その他	5
計	123

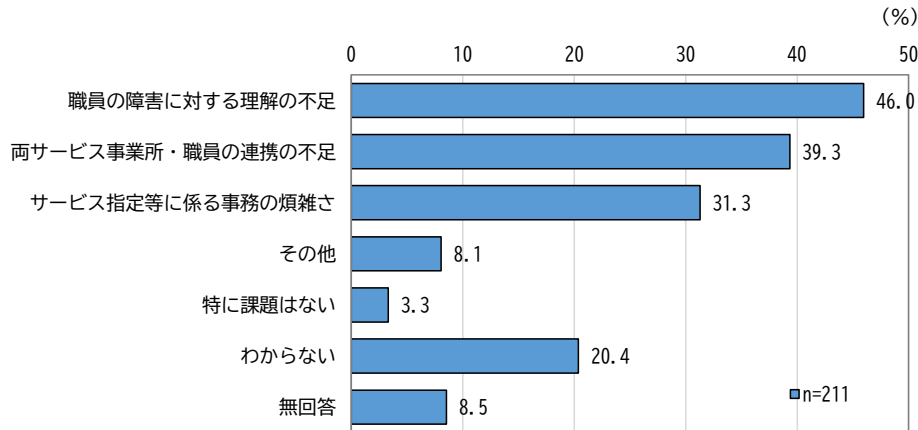
III 事業所アンケート調査結果

Q13.「共生型サービス」推進の課題

(MA)

○共生型サービスの推進にあたっての課題は、「職員の障害に対する理解の不足」が46.0%で最も高く、次いで「両サービス事業所・職員の連携の不足」が39.3%、「サービス指定等に係る事務の煩雑さ」が31.3%となっています。

○経営主体別にみると、“医療法人(社団・財団)”“特定非営利活動法人(NPO)”“その他”では、「両サービス事業所・職員の連携の不足」が最も高くなっています。



	合計	Q13.「共生型サービス」推進の課題						
		職員の障害に対する理解の不足	両サービス事業所・職員の連携の不足	サービス指定等に係る事務の煩雑さ	その他	特に課題はない	わからない	無回答
全体	211 100.0	97 46.0	83 39.3	66 31.3	17 8.1	7 3.3	43 20.4	18 8.5
Q2. 経営主体								
社会福祉法人	30 100.0	15 50.0	14 46.7	8 26.7	5 16.7	1 3.3	5 16.7	2 6.7
医療法人(社団・財団)	17 100.0	7 41.2	10 58.8	7 41.2	1 5.9	0 0.0	2 11.8	1 5.9
株式会社・有限会社	147 100.0	66 44.9	51 34.7	45 30.6	11 7.5	6 4.1	32 21.8	14 9.5
特定非営利活動法人(NPO)	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
組合	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
その他	7 100.0	3 42.9	4 57.1	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0

Ⅲ 事業所アンケート調査結果

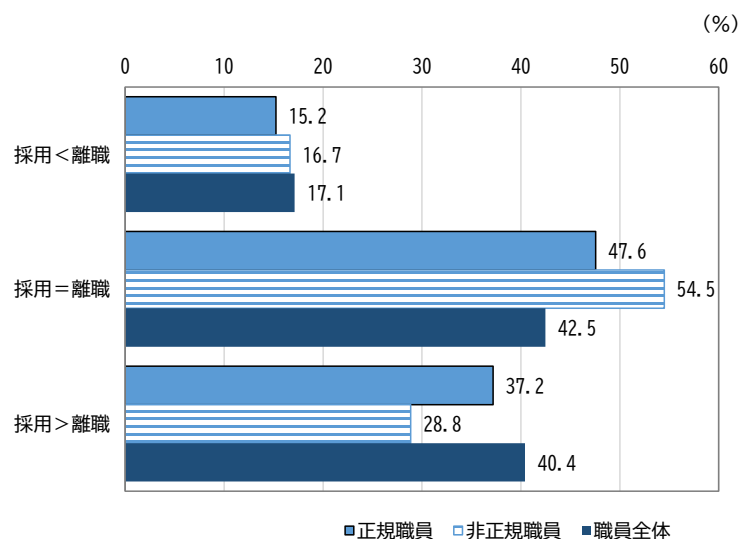
Q14. 過去1年間の採用者数と離職者数

(NA)

○正規職員についての回答があった164事業所で、正規職員の平均採用者数は2.4人、平均離職者数は1.4人で、採用<離職は15.2%、採用=離職は47.6%、採用>離職は37.2%となっています。

○非正規職員についての回答があった156事業所で、平均採用者数は1.8人、平均離職者数は1.4人で、採用<離職は16.7%、採用=離職は54.5%、採用>離職は28.8%となっています。

○正規職員と非正規職員を合わせた採用者数の平均は4.2人、離職者数の平均は2.7人で、採用<離職は17.1%、採用=離職は42.5%、採用>離職は40.4%となっており、全体では、採用者数が離職者数を上回っています。



	採用者数		離職者数	
	正規職員数 (%)	非正規職員数 (%)	正規職員数 (%)	非正規職員数 (%)
0人	30.3	32.2	37.9	37.9
1~4人	40.3	37.0	36.0	32.7
5~9人	10.4	4.7	6.6	3.8
10~14人	1.4	0.9	0.9	0.0
15人以上	0.5	1.4	0.0	0.9
無回答	17.1	23.7	18.5	24.6
平均人数	2.4人	1.8人	1.4人	1.4人
	4.2人		2.7人	

III 事業所アンケート調査結果

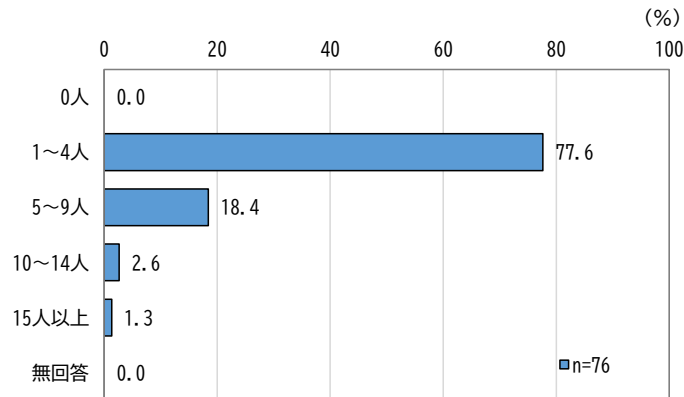
2. 居宅介護支援、小多機、看多機事業所対象設問

Q16. ケアマネジャーや利用者数

(NA)

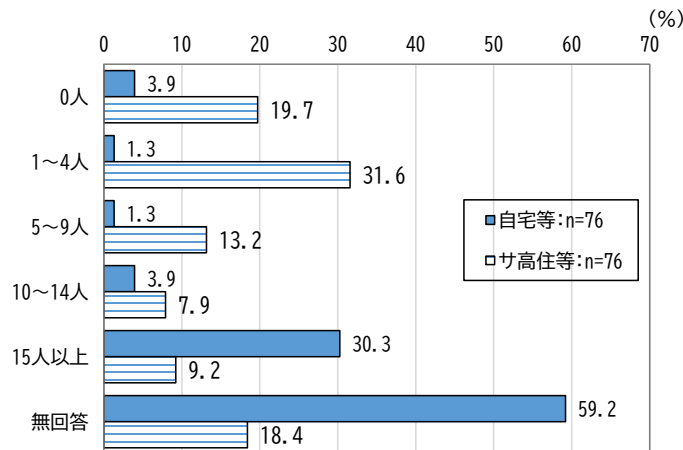
(1) ケアマネジャー人数

○「1～4人」が77.6%で最も高くなっています。



(2) 利用者数

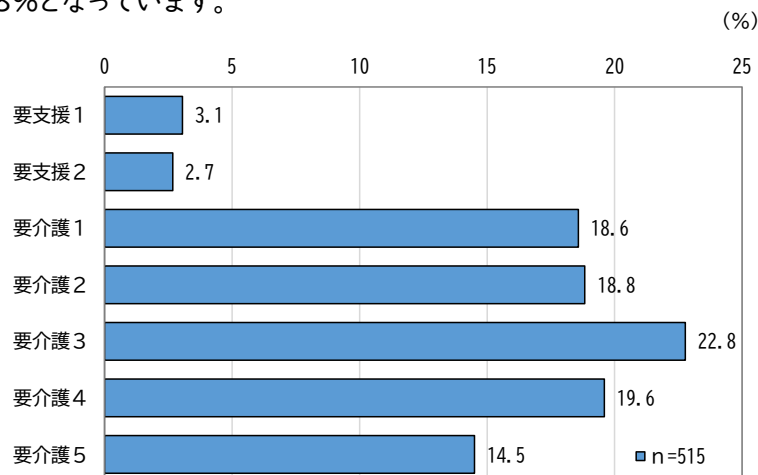
○利用者数は、自宅等は「15人以上」が30.3%、サ高住等は「1～4人」が31.6%となっています。



Q17. 過去1年間に自宅等から、居場所を変更した要介護度別の利用者数

(NA)

○居場所を変更した利用者数は、要介護度別にみると、「要介護3」が22.8%、「要介護4」が19.6%、「要介護2」が18.8%となっています。



III 事業所アンケート調査結果

Q18. 過去1年間に自宅等から、居場所を変更した利用者の行き先

(NA)

○居場所を変更した利用者の行き先は、「市内」が79.6%、「市外」が19.8%となっています。

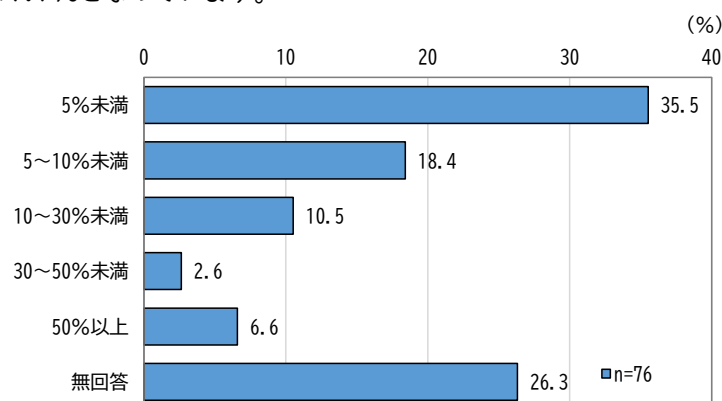
○施設等別にみると、市内の「特別養護老人ホーム」が32.6%で最も高く、次いで市内の「介護老人保健施設」が8.9%、市内の「特定施設」が8.0%の順となっています。

	市内	市外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	22人 4.3%	20人 3.9%	42人 8.2%
住宅型有料老人ホーム	36人 7.0%	21人 4.1%	57人 11.1%
軽費老人ホーム（特定施設除く）	1人 0.2%	2人 0.4%	3人 0.6%
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	22人 4.3%	11人 2.1%	33人 6.4%
グループホーム	25人 4.9%	1人 0.2%	26人 5.0%
特定施設	41人 8.0%	18人 3.5%	59人 11.5%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護老人保健施設	46人 8.9%	4人 0.8%	50人 9.7%
療養型・介護医療院	18人 3.5%	3人 0.6%	21人 4.1%
特別養護老人ホーム	168人 32.6%	12人 2.3%	180人 35.0%
地域密着型特別養護老人ホーム	3人 0.6%	1人 0.2%	4人 0.8%
その他	28人 5.4%	9人 1.7%	37人 7.2%
行先を把握していない			3人 0.6%
合計	410人 79.6%	102人 19.8%	515人 100.0%
死亡（※ 搬送先での死亡を含む）			300人

Q19. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しい利用者数

(NA)

○利用者の中で、生活の維持が難しい人の割合について76事業所別の回答をみると、「5%未満」が35.5%で最も高く、次いで「5～10%未満」が18.4%、「10～30%未満」が10.5%となっています。なお、全体の平均では9.7%となっています。



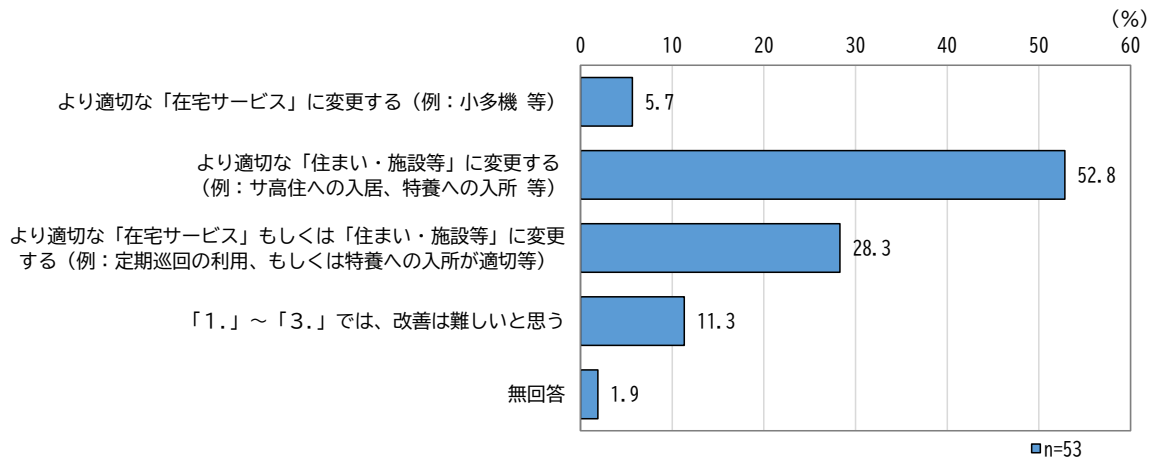
III 事業所アンケート調査結果

Q19-1. どのようなサービスに変更することによって、改善できるか

(SA)

【Q19で生活の維持が難しい利用者数を回答した方のみ】

○「より適切な「住まい・施設等」に変更する（例：サ高住への入居、特養への入所等）」が52.8%で最も高く、次いで、「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する（例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等）」が28.3%、「1.」～「3.」では、改善は難しいと思うが11.3%となっています。

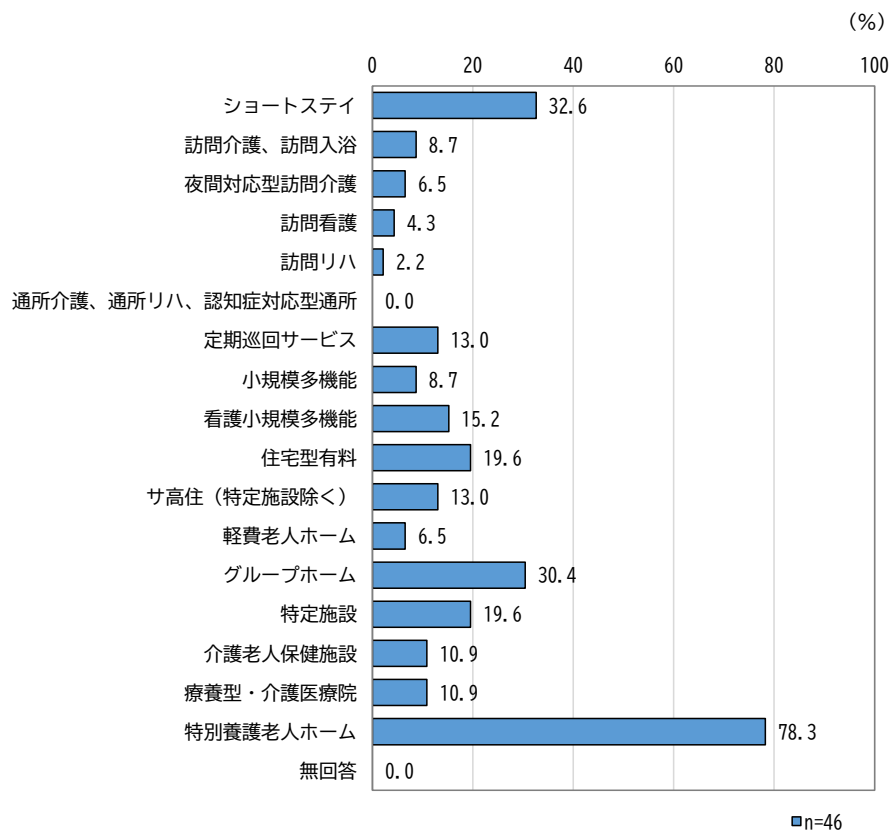


Q19-2. どのようなサービスに変更することによって、改善できるか

(SA)

【Q19-1で回答した方のみ】

○「特別養護老人ホーム」が78.3%で最も高く、次いで「ショートステイ」が32.6%、「グループホーム」が30.4%の順となっています。

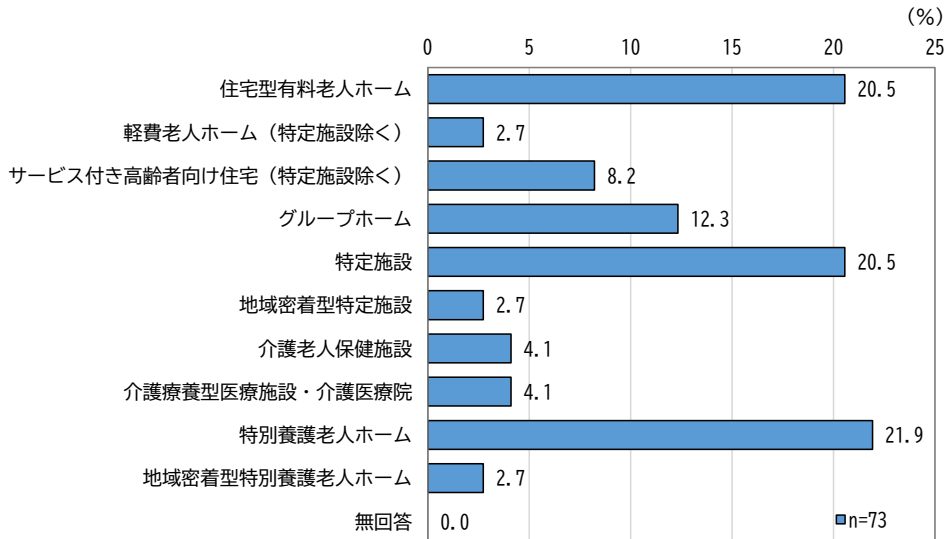


3. 施設・居住系サービス事業所対象設問

Q20. 該当するサービス種別

(SA)

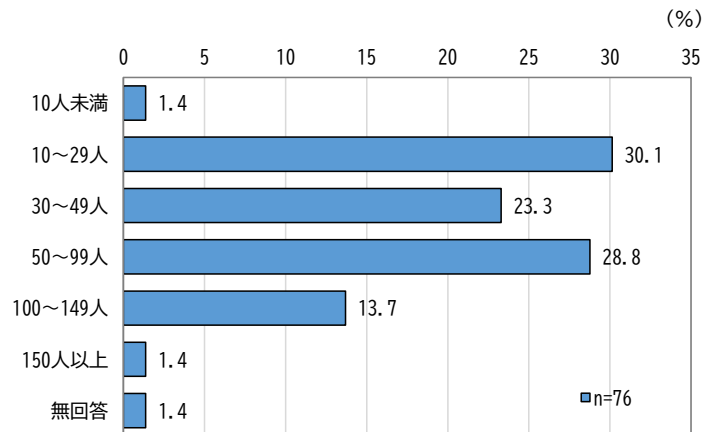
○該当するサービス種別は、「特別養護老人ホーム」が21.9%で最も高く、次いで「住宅型有料老人ホーム」と「特定施設」が同率の20.5%となっています。



Q21. 入所・入居者数

(NA)

○「10~29人」が30.1%で最も高く、次いで「50~99人」が28.8%、「30~49人」が23.3%の順となっています。

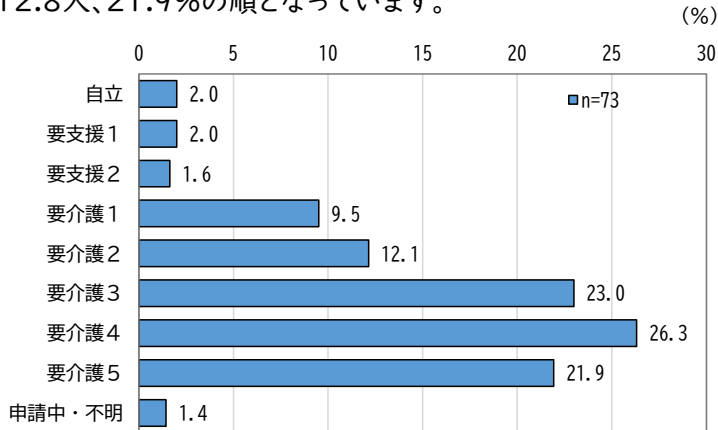


III 事業所アンケート調査結果

Q22. 入所・入居の要介護度

(NA)

○「要介護4」が平均14.6人、26.3%で最も高く、次いで「要介護3」が12.9人、23.0%、「要介護5」が12.8人、21.9%の順となっています。



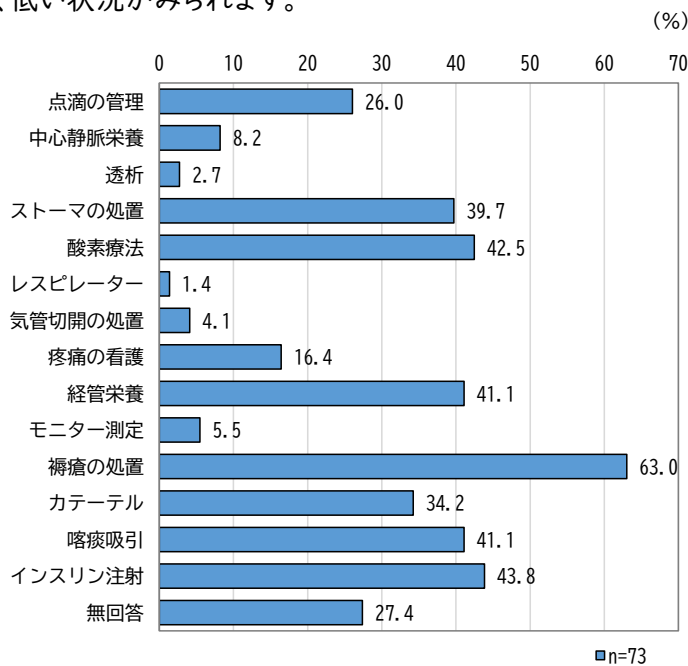
	平均人数 (人)	小計
自立	1.7	81
要支援1	1.6	81
要支援2	1.2	66
要介護1	5.7	384
要介護2	7.1	490
要介護3	12.9	928
要介護4	14.6	1,062
要介護5	12.8	885
申請中・不明	1.5	58

Q23. 現在実施している医療処置

(NA)

○「褥瘡の処置」が63.0%で最も高く、次いで「インスリン注射」が43.8%、「酸素療法」が42.5%の順となっています。

○事業種別にみると、“介護療養型医療施設・介護医療院”で実施している割合が高く、“軽費老人ホーム(特定施設を除く)”では、低い状況がみられます。



		合計	点滴の管 理	中心静脈 栄養	透析	ストーマ の処置	酸素療法	レスピ レーター	気管切開 の処置	疼痛の看 護	経管栄養	モニター 測定	褥瘡の処 置	カテーテ ル	喀痰吸引	インスリ ン注射	無回答	
全体		73	19	6	2	29	31	1	3	12	30	4	46	25	30	32	20	
100.0		100.0	26.0	8.2	2.7	39.7	42.5	1.4	4.1	16.4	41.1	5.5	63.0	34.2	41.1	43.8	27.4	
Q20. 該当する サービス種別	住宅型有料老人 ホーム	15	4	3	0	4	6	1	3	3	3	0	6	4	4	4	8	
	100.0	100.0	26.7	20.0	0.0	26.7	40.0	6.7	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	26.7	26.7	26.7	53.3	
	軽費老人ホーム (特定施設除く)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	サービス付き高齢 者向け住宅(特定 施設除く)	6	1	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	3	1	1	1	3
	100.0	100.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	16.7	50.0
	グループホーム	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	7
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	77.8
	特定施設	15	4	1	1	7	9	0	0	0	7	7	0	11	4	7	9	1
	100.0	100.0	26.7	6.7	6.7	46.7	60.0	0.0	0.0	0.0	46.7	0.0	0.0	73.3	26.7	46.7	60.0	6.7
	地域密着型特定施 設	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0
	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	50.0	100.0	0.0	
介護老人保健施設	3	2	0	0	3	2	0	0	1	2	2	1	3	3	3	2	0	
100.0	100.0	66.7	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	100.0	33.3	100.0	100.0	66.7	0.0	
介護療養型医療施 設・介護医療院	3	2	1	0	1	2	0	0	2	3	3	3	3	3	3	2	0	
100.0	100.0	66.7	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	0.0	
特別養護老人ホー ム	16	4	0	1	12	9	0	0	4	12	4	14	8	8	9	11	0	
100.0	100.0	25.0	0.0	6.3	75.0	56.3	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	87.5	50.0	56.3	68.8	0.0		
地域密着型特別養 護老人ホーム	2	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	2	2	2	2	0	0	
100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0		

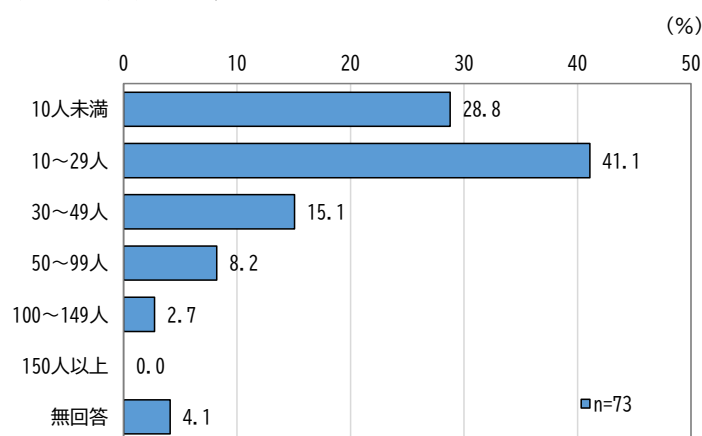
Ⅲ 事業所アンケート調査結果

Q24. 過去1年間の新規入所・入居者数

(NA)

○「10～29人」が41.1%で最も高く、次いで「10人未満」が28.8%、「30～49人」が15.1%の順となっています。

○“介護老人保健施設”の新規入所者数が最も多くなっています。



	合計	Q24. 過去1年間の新規入所・入居者数(合計)						
		10人未満	10～29人	30～49人	50～99人	100～149人	150人以上	無回答
全体	73 100.0	21 28.8	30 41.1	11 15.1	6 8.2	2 2.7	0 0.0	3 4.1
Q20. 該当するサービス種別								
住宅型有料老人ホーム	15 100.0	7 46.7	5 33.3	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
軽費老人ホーム(特定施設除く)	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	6 100.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
グループホーム	9 100.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特定施設	15 100.0	2 13.3	9 60.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7
地域密着型特定施設	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
介護老人保健施設	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
介護療養型医療施設・介護医療院	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特別養護老人ホーム	16 100.0	0 0.0	8 50.0	5 31.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

III 事業所アンケート調査結果

Q25. 新規入所・入居者の前の居場所

(NA)

○新規入所・入居者の前の居場所は、「市内」が62.9%、「市外」が31.6%となっています。

○施設等別にみると、市内の「自宅」が28.6%で最も高く、次いで市内の「その他」が16.2%、市外の「その他」が13.6%の順となっています。

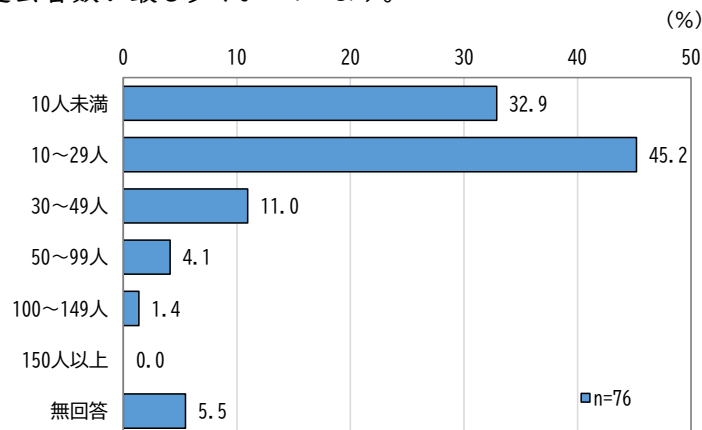
	新規入居		
	市内	市外	合計
自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	438人 28.6%	190人 12.4%	628人 40.9%
住宅型有料老人ホーム	14人 0.9%	9人 0.6%	23人 1.5%
軽費老人ホーム（特定施設除く）	4人 0.3%	4人 0.3%	8人 0.5%
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	11人 0.7%	9人 0.6%	20人 1.3%
グループホーム	16人 1.0%	5人 0.3%	21人 1.4%
特定施設	9人 0.6%	9人 0.6%	18人 1.2%
地域密着型特定施設	4人 0.3%	1人 0.1%	5人 0.3%
介護老人保健施設	152人 9.9%	36人 2.3%	188人 12.3%
療養型・介護医療院	39人 2.5%	9人 0.6%	48人 3.1%
特別養護老人ホーム	30人 2.0%	3人 0.2%	33人 2.2%
地域密着型特別養護老人ホーム	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	248人 16.2%	209人 13.6%	457人 29.8%
入居・入所する前の居場所を把握していない			85人 5.5%
合計	965人 62.9%	484人 31.6%	1534人 100.0%

Q26. 過去1年間の退去者数

(NA)

○「10～29人」が45.2%で最も高く、次いで「10人未満」が32.9%、「30～49人」が11.0%の順となっています。

○“介護老人保健施設”の退去者数が最も多くなっています。



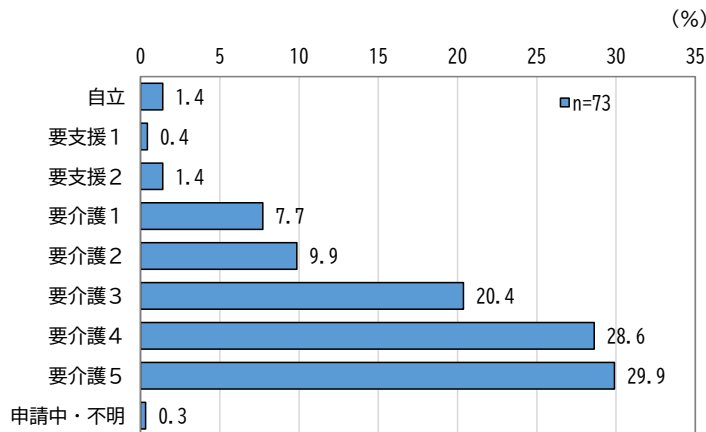
Ⅲ 事業所アンケート調査結果

	合計	Q26. 過去1年間の退去者数(合計)						無回答
		10人未満	10～29人	30～49人	50～99人	100～149人	150人以上	
全体	73 100.0	24 32.9	33 45.2	8 11.0	3 4.1	1 1.4	0 0.0	4 5.5
Q20. 該当するサービス種別	住宅型有料老人ホーム	15 100.0	8 53.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0
	軽費老人ホーム(特定施設除く)	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 16.7
	グループホーム	9 100.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	特定施設	15 100.0	1 6.7	10 66.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 20.0
	地域密着型特定施設	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	介護老人保健施設	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	介護療養型医療施設・介護医療院	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	特別養護老人ホーム	16 100.0	0 0.0	12 75.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0
	地域密着型特別養護老人ホーム	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q27. 退去者の要介護度

(NA)

○「要介護5」が29.9%で最も高く、次いで「要介護4」が28.6%、「要介護3」が20.4%の順となり、重度の方が多くなっています。



	平均人数 (人)	小計
自立	0.5	13
要支援1	0.2	4
要支援2	0.5	13
要介護1	1.8	72
要介護2	2.2	92
要介護3	3.5	190
要介護4	5.1	267
要介護5	5.4	279
申請中・不明	0.1	3

Ⅲ 事業所アンケート調査結果

Q28. 退去者の退去先

(NA)

○退去者全体の51.0%は「死亡」となっています。

○退去先は、市内の「その他の医療機関」が16.2%で最も高く、次いで市内の「自宅」が13.9%、市内の「特別養護老人ホーム」が8.9%の順となっています。

	退去		
	市内	市外	合計
自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	97人 13.9%	15人 2.2%	112人 16.1%
住宅型有料老人ホーム	6人 0.9%	8人 1.1%	14人 2.0%
軽費老人ホーム（特定施設除く）	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	6人 0.9%	8人 1.1%	14人 2.0%
グループホーム	5人 0.7%	4人 0.6%	9人 1.3%
特定施設	53人 7.6%	3人 0.4%	56人 8.0%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護老人保健施設	53人 7.6%	5人 0.7%	58人 8.3%
療養型・介護医療院	58人 8.3%	14人 2.0%	72人 10.3%
その他の医療機関	113人 16.2%	18人 2.6%	131人 18.8%
特別養護老人ホーム	62人 8.9%	22人 3.2%	84人 12.1%
地域密着型特別養護老人ホーム	27 3.9%	7人 1.0%	34 4.9%
その他	50人 7.2%	20人 2.9%	70人 10.1%
行き先を把握していない			36人 5.2%
合計	531人 76.3%	124人 17.8%	696人 100.0%
死亡（※ 搬送先での死亡を含む）			724人

III 事業所アンケート調査結果

Q29. 退去理由の上位3つ

(SA)

○退去理由の第1位、第2位は、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」となっています。

○第3位は「その他」が最も高くなっています。

○サービス種別にみると、“特定施設”“地域密着型特定施設”は、「費用負担が重くなったから」が第1位となっています。

	合計	Q29. 退去理由：1位									
		必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	3) 認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	費用負担が重くなったから	その他	無回答
全体	73 100.0	2 2.7	1 1.4	1 1.4	27 37.0	12 16.4	1 1.4	0 0.0	8 11.0	16 21.9	5 6.8
Q20. 該当するサービス種別											
住宅型有料老人ホーム	15 100.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	7 46.7	4 26.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0
軽費老人ホーム（特定施設除く）	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7
グループホーム	9 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	4 44.4	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0
特定施設	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	5 33.3	5 33.3	2 13.3
地域密着型特定施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
介護老人保健施設	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
介護療養型医療施設・介護医療院	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特別養護老人ホーム	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 43.8	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 37.5	2 12.5
地域密着型特別養護老人ホーム	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	合計	2位									
		必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	3) 認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	費用負担が重くなったから	その他	無回答
全体	73 100.0	0 0.0	10 13.7	6 8.2	26 35.6	7 9.6	1 1.4	3 4.1	4 5.5	5 6.8	11 15.1
Q20. 該当するサービス種別											
住宅型有料老人ホーム	15 100.0	0 0.0	2 13.3	3 20.0	6 40.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7
軽費老人ホーム（特定施設除く）	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	6 100.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
グループホーム	9 100.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	2 22.2
特定施設	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 46.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	3 20.0
地域密着型特定施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
介護老人保健施設	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
介護療養型医療施設・介護医療院	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
特別養護老人ホーム	16 100.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	7 43.8	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	3 18.8
地域密着型特別養護老人ホーム	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0

III 事業所アンケート調査結果

	合計	3位									
		必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	3) 認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	費用負担が重くなったから	その他	無回答
全体	73 100.0	3 4.1	5 6.8	6 8.2	6 8.2	7 9.6	6 8.2	0 0.0	10 13.7	13 17.8	17 23.3
Q20. 該当するサービス種別											
住宅型有料老人ホーム	15 100.0	1 6.7	4 26.7	2 13.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	4 26.7	1 6.7
軽費老人ホーム（特定施設除く）	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	6 100.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7
グループホーム	9 100.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2
特定施設	15 100.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	3 20.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0	3 20.0	0 0.0	5 33.3
地域密着型特定施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
介護老人保健施設	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
介護療養型医療施設・介護医療院	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0
特別養護老人ホーム	16 100.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 6.3	1 6.3	5 31.3	2 12.5	7 43.8
地域密着型特別養護老人ホーム	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0